

第 58 回 杉並区区民意向調査
区政に関する意識と実態

令和 8 年 10 月

杉 並 区

は じ め に

杉並区は、基礎的自治体として、区民の皆様のよりよい生活を実現するため、さまざまな課題に取り組んでいます。

これらの課題を解決していくためには、区民の皆様の意識の変化やニーズを把握し、できる限り施策に反映させていくことが必要です。このため、区では毎年「杉並区区民意向調査」(平成12年度までは「杉並区行政実態調査」)を実施しており、今回は、58回目の調査となります。

今年度は、①定住性と生活環境、②地域防災、③狭あい道路拡幅整備、④駅周辺の満足度、⑤商店街、⑥農にふれあう機会、⑦環境に配慮した行動、⑧グリーンインフラ、⑨健康と医療、⑩人権、⑪性の多様性、⑫高齢者在宅支援、⑬障害差別の解消、⑭地域活動、⑮子どもの権利・子育て支援、⑯多文化共生、⑰運動・スポーツ、⑱生涯学習、⑲区の情報、⑳区役所のデジタル化、㉑その他の区政に関して調査いたしました。

今回の調査結果につきましては、これからの行政運営の基礎資料として活用してまいりたいと考えております。

おわりに、今回の調査にあたり、ご協力いただきました区民の皆様に心からお礼を申し上げます。

令和8年10月

杉並区長 岸本 聡子

I. 調 査 の 概 要	1
1. 調査の目的	3
2. 調査の内容	3
3. 調査の設計	3
4. 地域区分	4
5. 回収結果	4
6. 調査回答者の属性	5
7. 報告書の見方	8
II. 質 問 と 回 答	11
III. 調 査 結 果 の 分 析	33
1. 定住性と生活環境について	35
(1) 居住年数	37
(2) 定住意向	40
(3) 住み続けたい理由	44
(4) 転出したい理由	46
(5) 住みやすさ	47
(6) 生活環境の評価	50
(7) 魅力を感じる地域	52
(8) 魅力を感じる理由	53
2. 地域防災について	55
(1) 家庭での防災対策の実施状況	57
3. 狭あい道路拡幅整備について	59
(1) 「狭あい道路拡幅整備事業」に関する取組の認知度	61
4. 駅周辺の満足度について	63
(1) 普段利用する駅	65
(2) 普段利用する駅までの交通手段	66
(3) 普段利用する駅周辺の満足度	67
(4) 普段利用する駅周辺で満足に感じていること	69
(5) 普段利用する駅周辺で不満に感じていること	70
5. 商店街について	71
(1) 商店街の魅力点	73
(2) 商店街のイベントへの参加状況	74
(3) 商店街の施設・設備の充実度	75

6. 農にふれあう機会について	77
(1) 農にふれあう機会の取組への参加状況	79
7. 環境に配慮した行動について	81
(1) 環境に配慮した行動への取組	83
8. グリーンインフラについて	85
(1) グリーンインフラの認知度	87
9. 健康と医療について	89
(1) 健康状態	91
(2) かかりつけ医療機関の有無	94
(3) 救急医療体制への不安感	96
(4) 不安を感じている診療科目	99
(5) 自殺対策	100
10. 人権について	103
(1) 人権意識	105
11. 性の多様性について	107
(1) 「性の多様性が尊重される地域社会を実現するための取組の推進に関する条例」の認知度	109
12. 高齢者在宅支援について	111
(1) 現在の介護状況	113
(2) 今後の在宅介護の見通し	115
(3) 高齢者総合相談窓口 ケア 24(地域包括支援センター)の認知度	116
(4) 高齢になっても安心して暮らせる体制	118
(5) 生きがいの有無	120
13. 障害差別の解消について	123
(1) 「障害者差別解消法」や合理的配慮の認知度	125
(2) 障害のある方への声かけ	127
14. 地域活動について	129
(1) ボランティア活動経験	131
(2) 地域活動・社会活動参加状況	134
15. 子どもの権利・子育て支援について	137
(1) 「子どもの権利条約」と「杉並区子どもの権利に関する条例」の認知度	139
(2) 子どもの権利の認知度	141
(3) 18歳未満の子どもの有無	143
(4) 地域の子育て支援についての意識	144
(5) 地域の子育て支援サービス等の利用しやすさ	146
16. 多文化共生について	149
(1) 地域に外国人が増えていくことに対する意識	151

17. 運動・スポーツについて	153
(1) この1年間の運動やスポーツの実施状況.....	155
(2) スポーツ・運動の実施状況や考え方.....	157
(3) スポーツ・運動に関するボランティア活動の実施状況.....	159
18. 生涯学習について	161
(1) この1年間の生涯学習の実施状況.....	163
(2) 生涯学習を通じて身につけた知識・技能や経験の活用.....	164
(3) 文化・芸術鑑賞の有無	165
(4) 文化・芸術鑑賞の頻度	166
(5) 仕事と生活の調和に対する意識.....	169
19. 区の情報について	171
(1) 区の情報の伝達度	173
(2) 区の広報媒体等の利用状況	176
20. 区役所のデジタル化について	179
(1) 区のデジタル化の取組によって生活が便利になったと感じているか.....	181
(2) 区のデジタル化の取組の中で期待すること.....	183
(3) 区のデジタル化の取組の中で具体的に取組んでほしい場面やサービス.....	185
21. その他の区政について	191
(1) 区が力を入れていると評価できる施策や取組.....	193
(2) 力の入れ方が不十分だと思う施策や取組.....	195
(3) 今後特に力を入れるべきだと思う施策や取組.....	197
(4) 区の事業やサービスの満足度.....	200
IV. 杉並区に対する意見・要望【自由意見】	203
1. 都市基盤の整備	205
2. 環境基盤の整備	209
3. 交通安全・防災・防犯	211
4. 保健・医療の充実	213
5. 社会福祉の充実	213
6. 産業の振興	216
7. 教育・文化	217
8. 地域コミュニティ	219
9. 行財政の運営	219
10. その他.....	224
V. 使用した調査票	225
* (参考資料) : 行政実態調査経過表	249

I . 調 査 の 概 要

1. 調査の目的

区政に関する区民の意見・要望などを調査、把握することにより、今後の行政施策の基礎資料とする。

2. 調査の内容

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| (1) 定住性と生活環境について | (12) 高齢者在宅支援について |
| (2) 地域防災について | (13) 障害差別の解消について |
| (3) 狭あい道路拡幅整備について | (14) 地域活動について |
| (4) 駅周辺の満足度について | (15) 子どもの権利・子育て支援について |
| (5) 商店街について | (16) 多文化共生について |
| (6) 農にふれあう機会について | (17) 運動・スポーツについて |
| (7) 環境に配慮した行動について | (18) 生涯学習について |
| (8) グリーンインフラについて | (19) 区の情報について |
| (9) 健康と医療について | (20) 区役所のデジタル化について |
| (10) 人権について | (21) その他の区政について |
| (11) 性の多様性について | |

3. 調査の設計

- | | |
|-----------|-----------------------|
| (1) 調査地域 | 杉並区全域 |
| (2) 調査対象 | 杉並区在住の満18歳以上の個人 |
| (3) 調査対象数 | 3,000人 |
| (4) 母集団 | 杉並区住民基本台帳上の満18歳以上の区民 |
| (5) 抽出法 | 単純無作為抽出法 |
| (6) 調査方法 | 郵送配布・郵送回収またはインターネット回答 |
| (7) 調査票 | 「V. 使用した調査票」を参照のこと |
| (8) 調査期間 | 令和8年5月12日～5月26日 |
| (9) 調査機関 | 株式会社アダムスコミュニケーション |

4. 地域区分



5. 回収結果

有効回収数 1,237件(郵送回収657件、インターネット回答580件)

有効回収率 41.2%

地 域	18歳以上の人口(人)	構成比(%)	調査対象人数(人)	回収数(人)	回収率(%)
区 全 体	513,318	100.0	3,000	1,237	41.2
井草地域	45,072	8.8	252	106	42.1
西萩地域	59,248	11.5	359	147	40.9
萩窪地域	85,238	16.6	520	243	46.7
阿佐谷地域	67,972	13.2	353	148	41.9
高円寺地域	95,126	18.5	562	182	32.4
高井戸地域	105,760	20.6	625	249	39.8
方南・和泉地域	54,902	10.7	329	139	42.2
無回答	-	-	-	23	-

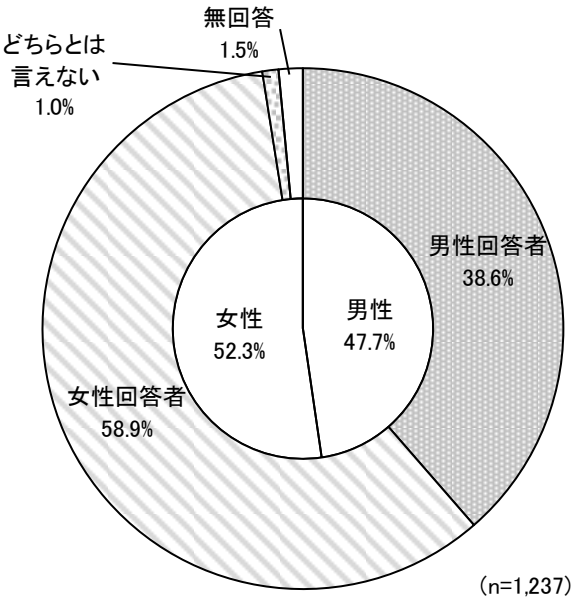
6. 調査回答者の属性

(令和 8 年 4 月 1 日現在)

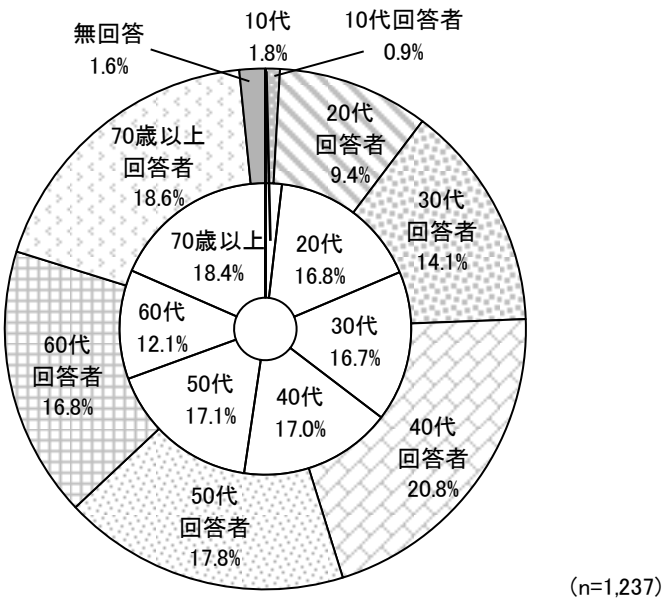
		母集団		回答者	
		人数(人)	構成比(%)	人数(人)	構成比(%)
全 体		513,318	100.0	1,237	100.0
性 別	男性	245,039	47.7	478	38.6
	女性	268,279	52.3	728	58.9
	どちらとも言えない	-	-	12	1.0
	無回答	-	-	19	1.5
年 齢 別	18・19歳	9,377	1.8	11	0.9
	20代	86,259	16.8	116	9.4
	30代	85,953	16.7	175	14.1
	40代	87,051	17.0	257	20.8
	50代	87,842	17.1	220	17.8
	60代	62,181	12.1	208	16.8
	70歳以上	94,655	18.4	230	18.6
	無回答	-	-	20	1.6

(注)母集団は、杉並区の住民登録者数：584, 351人(男性281, 183人、女性303, 168人)から、
0 歳～17歳人口：71, 033人(男性36, 144人、女性34, 889人)を除いた人数となる。

F 1 性 別

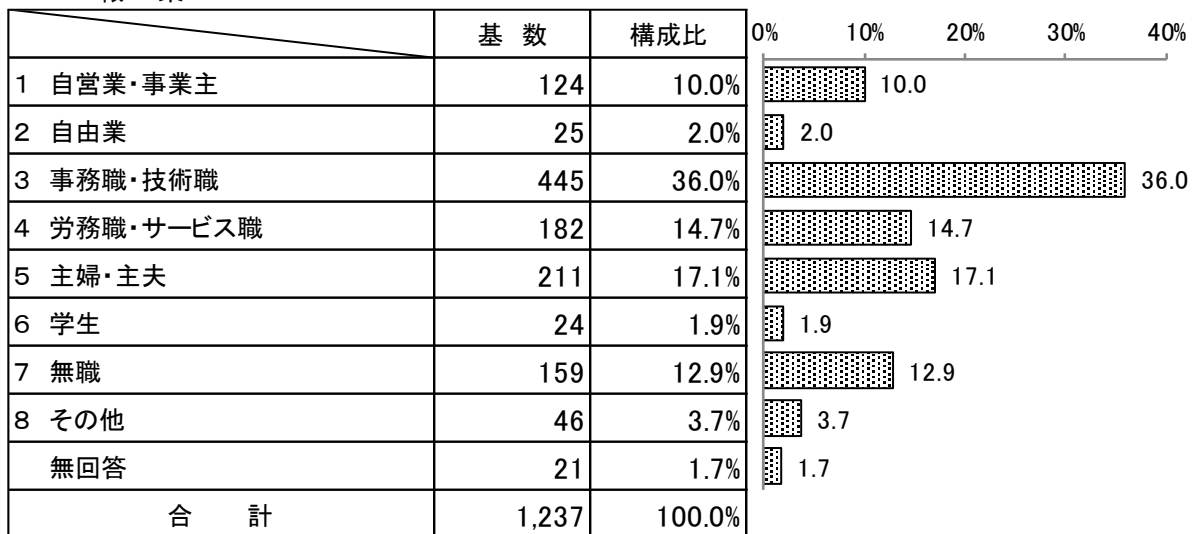


F 2 年 齢 別

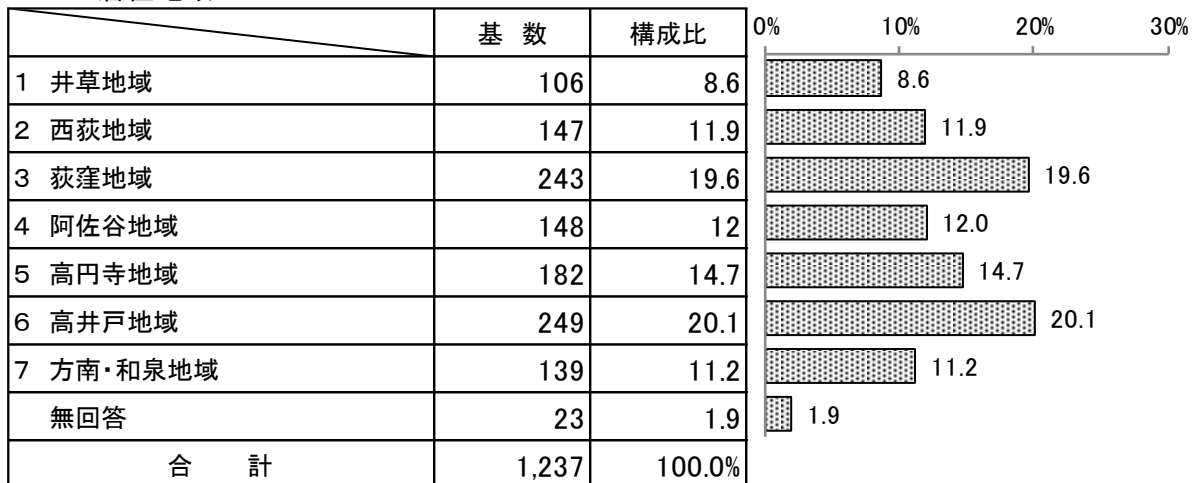


(注)内円は母集団の、外円は調査回答者の構成比を表している。

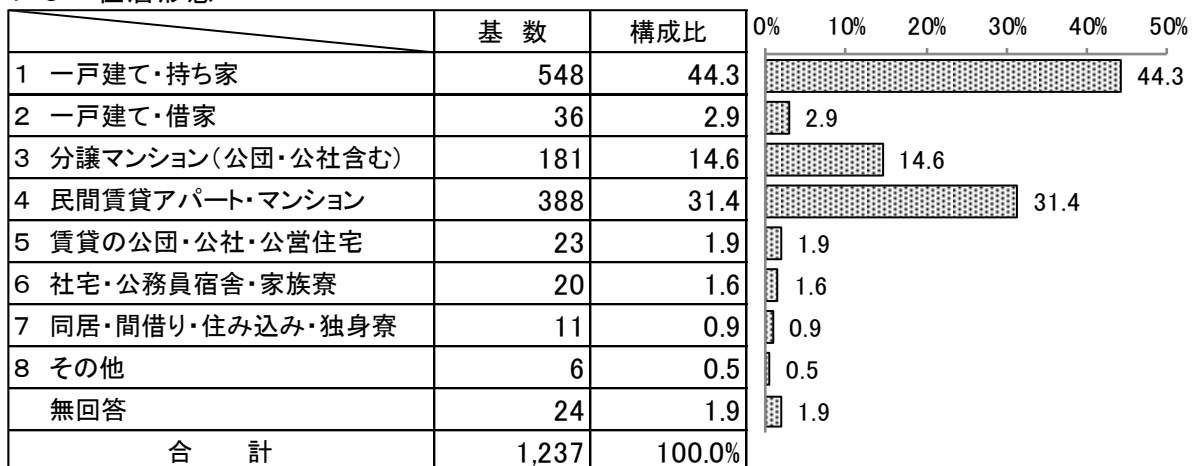
F 3 職 業



F 4 居住地域



F 5 住居形態



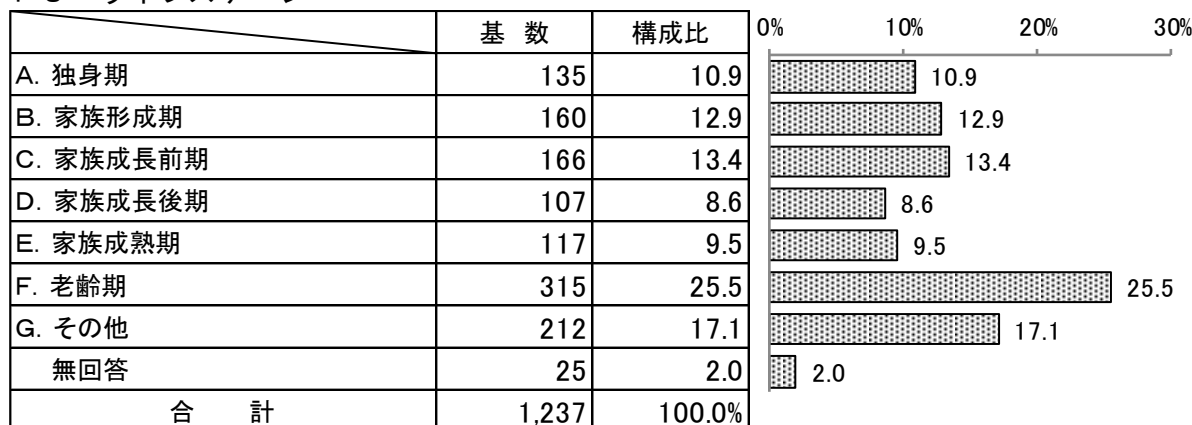
F 6 同居家族人数



F 7 家族構成



F 8 ライフステージ



(注)ライフステージは、次のような定義に基づいて区分した。

- A. 独身期 40 歳未満の独身者
- B. 家族形成期 40 歳未満の子どものいない夫婦またはパートナー同士
または一番上の子どもが入学前の人
- C. 家族成長前期 一番上の子どもが小・中学生の人
- D. 家族成長後期 一番上の子どもが高校・大学生の人
- E. 家族成熟期 本人が 64 歳以下で、一番上の子どもが社会人の人
- F. 老齢期 本人が 65 歳以上で、一番上の子どもが社会人の人
または 65 歳以上の独身者、65 歳以上の子どものいない夫婦
またはパートナー同士
- G. その他 40 歳以上 64 歳以下の独身者または 40 歳以上 64 歳以下の
子どものいない夫婦またはパートナー同士

7. 報告書の見方

- (1) 集計は小数第2位を四捨五入して算出した。したがって、回答率を合計しても100%ちょうどにならず、1%程度の範囲で増減することがある。(計)の場合も同様で、項目の合計値と(計)の%があわないことがある。
- (2) 回答の比率(%)は、その設問の回答者数を基数nとして算出した。したがって、複数回答の設問は、すべての比率を合計すると100%を超えることがある。
- (3) 「住みよい」と「まあまあ住みよい」を合わせて『住みよい(計)』とする場合など、2つ以上の選択肢を合わせた項目の比率を表記する場合、その比率は、それぞれの選択肢の回答数を合計し、比率を再計算したものを使用しているため、(計)の合計が個別の%の合計と一致しないことがある。
- (4) 本文やグラフ・数表上の選択肢表記は、場合によっては語句を簡略化してある。
- (5) n (Number of Casesの略)は比率算出の基数であり、100%が何人の回答者数に相当するかを示す。
- (6) クロス結果の帯グラフや表について、表側となる設問に「無回答」がある場合、これを表示しない。ただし、全体の件数には含めているので、表側のカテゴリーの件数の合計が、全体の件数と一致しないことがある。
- (7) 回答者数が30に満たないものについては、参考として記載している。
- (8) 集計は、①単純集計、②回答者の属性とのクロス集計、③設問間のクロス集計の3種類を行った。
- (9) ライフステージの分類は以下のとおりである。

- A. 独身期……………40歳未満の独身者
- B. 家族形成期……………40歳未満の子どもいない夫婦またはパートナー同士
または一番上の子どもが入学前の人
- C. 家族成長前期 ……一番上の子どもが小・中学生の人
- D. 家族成長後期 ……一番上の子どもが高校・大学生の人
- E. 家族成熟期……………本人が64歳以下で、一番上の子どもが社会人の人
- F. 老齢期……………本人が65歳以上で、一番上の子どもが社会人の人
または65歳以上の独身者、65歳以上の子どもいない夫婦
またはパートナー同士
- G. その他……………40歳以上64歳以下の独身者または40歳以上64歳以下の
子どもいない夫婦またはパートナー同士

- (10) 本文および図表中、使用している過去の調査結果のうち、平成元年以降は従前の個別面接調査から郵送留置・訪問回収へ、令和2年は郵送配布・郵送回収へ、令和3年以降は郵送配布・郵送回収またはインターネット回答へ調査方法が変わっていることに留意されたい。

- (11) 標本誤差は次式で得られ、①比率算出の基数(n)、②回答の比率(P)によって誤差幅が異なる。

$$b = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

b = 標本誤差
 N = 母集団数
 n = 比率算出の基数
 P = 回答の比率

今回の調査結果の場合、誤差および信頼の範囲は下記表のとおりであり、「ある設問の回答者が1,237人で、その設問中の選択肢の回答比率が60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は、最高でも2.80%である」というようにみる。

標本誤差一覧表

回答の比率 基数(n)	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
1,237	±1.72%	±2.29%	±2.62%	±2.80%	±2.86%
1,000	±1.90%	±2.53%	±2.90%	±3.10%	±3.16%
800	±2.12%	±2.83%	±3.24%	±3.46%	±3.64%
600	±2.45%	±3.27%	±3.74%	±4.00%	±4.08%
400	±3.00%	±4.00%	±4.58%	±4.90%	±5.00%
200	±4.24%	±5.66%	±6.48%	±6.93%	±7.07%

注) $\frac{N-n}{N-1} = 1$ として計算した。

Ⅱ. 質 問 と 回 答

【定住性と生活環境について】

問1 あなたは、杉並区に住んで何年になりますか。(○は1つだけ)

n=1,237

22.0	5年未満	20.8	10年～19年	30.3	30年以上
10.0	5年～9年	16.5	20年～29年	0.4	無回答

問2 これからも引き続いて、杉並区にお住まいになりますか。(○は1つだけ)

n=1,237

62.5	住み続けるつもり	1.2	できれば転居したい	→問2-2へ
27.7	当分の間は住み続けたい	3.1	転居するつもり	
		4.3	わからない	⇒ 問3へ
		1.2	無回答	

(問2で「住み続けるつもり」「当分の間は住み続けたい」と回答の方に)

問2-1 その主な理由は何ですか。(○は2つまで)

n=1,116

40.5	住み慣れているから	5.6	子どもの教育のため
47.4	自分の家(土地)だから	4.9	地域での人間関係がよいから
8.1	家の広さなどの居住環境がよいから	17.9	自然や町並みなどの生活環境が好きだから
2.2	家賃(地代)が安いから	1.7	文化や教育などの公共施設が整備されているから
18.6	通勤・通学に便利だから	2.3	その他(具体的に)
22.0	買物など毎日の生活の便がよいから	0.2	無回答
3.8	仕事や商売の関係で		

(問2で「できれば転居したい」「転居するつもり」と回答の方に)

問2-2 その主な理由は何ですか。(○は2つまで)

n=53

20.8	自分の家(土地)でないから	1.9	子どもの教育のため
22.6	家が狭いなど居住環境がよいから	1.9	地域での人間関係がよいから
28.3	家賃(地代)が高いから	9.4	自然や町並みなどの生活環境がよいから
—	相続税・固定資産税の負担が重いから	—	文化や教育などの公共施設が整備されていないから
1.9	通勤・通学に不便だから	26.4	その他(具体的に)
3.8	買物など毎日の生活に不便だから		
15.1	仕事や商売の関係で		

問3 現在の杉並区は「住みよいまち」だと思いますか。(○は1つだけ)

n=1,237

52.8	住みよい	3.0	あまり住みよくない
42.7	まあまあ住みよい	0.3	住みよくない
		1.2	無回答

問4 自宅周辺の生活環境についての評価をおたずねします。
以下について、それぞれ1つだけに○をつけてください。

n=1,237

	良い	まあ良い	あまり 良くない	悪い	無回答
① 交通の便	57.0	36.9	4.9	0.9	0.3
② 買物の便	51.3	39.0	8.1	1.1	0.5
③ みどりの豊かさ	43.2	45.3	8.6	1.7	1.1
④ みどりや水(河川等)とのふれあい	33.0	47.3	16.4	2.7	0.6
⑤ 町並みの美しさや落ち着き	28.9	56.0	13.3	1.5	0.3
⑥ 公園や広場	36.1	48.4	12.3	2.6	0.6
⑦ 建物のこみ具合・日当たり	24.3	51.3	19.5	4.6	0.4
⑧ 交通の安全性	24.0	52.1	20.3	3.1	0.6
⑨ 道路の舗装・補修	24.3	57.6	14.8	2.8	0.5
⑩ 騒音や排気ガス	22.0	51.7	20.9	5.0	0.4
⑪ 日常や災害時の安全性	20.3	59.4	16.2	3.0	1.1
⑫ 風紀	28.3	61.7	7.6	1.8	0.6
⑬ 隣近所との人間関係	26.6	63.6	7.8	1.4	0.6
⑭ 生活環境全般	32.6	63.1	3.2	0.5	0.6

問5 あなたは、杉並区のどの地域に最も魅力を感じますか。(○は1つだけ)

n=1,237

4.2 井草地域	9.3 高円寺地域	9.3 特に魅力を感じる地域 はない → 問6へ
15.0 西荻地域	10.8 高井戸地域	0.9 無回答
26.6 荻窪地域	8.4 方南・和泉地域	
15.5 阿佐谷地域		

→(問5で「井草地域」「西荻地域」「荻窪地域」「阿佐谷地域」「高円寺地域」「高井戸地域」「方南・和泉地域」と回答の方に)

問5-1 その理由を1つ選ぶとしたらどれですか。(○は1つだけ)

n=1,111

65.3 交通や買物など、生活の便が良い	
25.4 公園やまち並みなど、生活環境が良い	
5.6 歴史や文化などが、まちに根づいている	
3.7 その他(具体的に	)

【地域防災について】

区では、区立小中学校等に「震災救援所」を設けているほか、「街頭消火器」の設置などの取組を進めていますが、災害の被害を最小限に抑えるには、行政や地域による備えに加え、各家庭での普段からの備えも大切です。

問6 現在、あなたの家庭で行っている防災対策は何ですか。(〇はいくつでも)

n=1,237

72.4 食料等の備蓄対策 (例：非常用食料・飲料水の用意、日頃利用している食料品等を少し多めに購入しておく日常備蓄 など)	17.5 倒壊等の防止対策 (例：住宅の耐震・免震化、ブロック塀倒壊防止 など)
66.5 停電時の対策 (例：懐中電灯・携帯ラジオ・モバイルバッテリーの用意 など)	31.4 家族との連絡対策 (例：家族・親族との待ち合わせ場所の確認、安否確認手段の確保、災害時伝言版アプリの活用 など)
28.5 けが防止等の対策 (例：家具類の転倒防止・窓ガラスの飛散防止、救急医薬品の用意 など)	0.6 その他(具体的に)
26.4 火災対策 (例：消火器の用意、感震ブレーカーの設置、風呂水のくみ置き など)	11.4 特に何もしていない
	0.3 無回答

【狭あい道路拡幅整備について】

問7 杉並区では、道幅4m未満の狭い道路(狭あい道路)を拡幅する事業「狭あい道路拡幅整備事業」を区民の皆様とともに進めています。あなたは、狭あい道路に関する次の取組をご存知ですか。(〇はいくつでも)

n=1,237

38.6 狭あい道路沿いでは、建築をする際に道路拡幅が必要なこと	
17.2 拡幅した道路に支障物件(花壇など)の設置を禁止していること	
17.1 火災の延焼危険度が高い地区を整備地区としていること	
8.9 塀の除却などに助成制度があること	
30.6 事業効果として、消防車などの緊急車両が通行しやすくなること	
20.5 事業効果として、介護車両や清掃車両が通行しやすくなること	
0.6 その他(具体的に)	
48.0 知っている取組はない	
1.1 無回答	

【駅周辺の満足度について】

問8 あなたが普段利用する駅はどこですか。(○は1つだけ)

n=1,237

3.7 高円寺駅	1.2 中野富士見町駅	1.6 桜上水駅
7.6 阿佐ヶ谷駅	4.3 永福町駅	0.9 上北沢駅
24.4 荻窪駅	2.5 西永福駅	1.1 八幡山駅
11.6 西荻窪駅	4.4 浜田山駅	0.2 芦花公園駅
3.4 東高円寺駅	3.5 高井戸駅	2.0 下井草駅
5.1 新高円寺駅	1.8 富士見ヶ丘駅	1.9 井荻駅
3.4 南阿佐ヶ谷駅	4.4 久我山駅	1.4 上井草駅
5.4 方南町駅	0.5 下高井戸駅	3.4 その他(具体的に)
		0.2 無回答

問9 あなたは、普段利用する駅まで、主にどの交通手段を利用していますか。(○は1つだけ)

n=1,237

76.1 徒歩	0.2 タクシー
13.4 自転車	0.2 自家用車
8.8 バス(すぎ丸を除く)	0.5 その他(具体的に)
0.6 すぎ丸バス	0.2 無回答

問10 あなたが普段利用する駅周辺について、どの程度満足していますか。(最も近い意見1つに○)

n=1,237

31.8 満足	→ 問10-1へ	20.5 やや不満	→ 問10-2へ
42.6 やや満足		4.3 不満	
		0.8 無回答	

(問10で「満足」「やや満足」と回答した方に)

問10-1 あなたが普段利用する駅周辺について、満足に感じていることは何ですか。(○は2つまで)
n=920

- 21.7 線路を挟んだ地域間の行き来がしやすい
- 29.2 混雑しておらず、通行しやすい
- 40.7 交通機関の乗換えがしやすい
- 2.6 案内表示がわかりやすい
- 3.0 バリアフリーが行き届いている
- 0.8 災害時に滞留できるスペースがある
- 5.1 イベントや待ち合わせ、休憩ができるスペースがある
- 25.1 公園や商店街など訪れたいスポットがある
- 6.7 みどりが豊か
- 8.8 自転車駐車場(駐輪場)が利用しやすい
- 0.5 自動車駐車場が利用しやすい
- 6.3 路上駐車がな(少ない)
- 0.7 自転車が交通ルールを守っている(マナーが良い)
- 2.8 歩行者が交通ルールを守っている(マナーが良い)
- 0.4 自転車ナビライン・自転車ナビマークが整備されている
- 3.3 その他(具体的に)
- 0.3 無回答

(問10で「やや不満」「不満」と回答した方に)

問10-2 あなたが普段利用する駅周辺について、不満に感じていることは何ですか。(○は2つまで)
n=307

- 25.1 線路を挟んだ地域間の行き来がしづらい
- 21.2 混雑しており、通行しづらい
- 3.9 交通機関の乗換えがしづらい
- 0.3 案内表示がわかりづらい
- 6.2 バリアフリーが行き届いていない
- 7.5 災害時に滞留できるスペースがない(少ない)
- 14.3 イベントや待ち合わせ、休憩ができるスペースがない(少ない)
- 31.3 公園や商店街など訪れたいスポットがない(少ない)
- 3.3 みどりが乏しい
- 22.8 自転車駐車場(駐輪場)が利用しづらい
- 3.6 自動車駐車場が利用しづらい
- 3.3 路上駐車がが多い
- 15.0 自転車が交通ルールを守っていない(マナーが悪い)
- 1.3 歩行者が交通ルールを守っていない(マナーが悪い)
- 2.0 自転車ナビライン・自転車ナビマークが整備されていない
- 12.4 その他(具体的に)

【商店街について】

問11 商店街について、どのような点を魅力に感じていますか。(〇はいくつでも)

n=1,237

- 67.3 日常の買い物や飲食
- 25.6 個性的な店舗や町並
- 17.3 イベントなどによる街の賑わいや地域内の交流
- 31.9 安全・安心に街を歩ける環境
- 14.4 景観や街歩き
- 11.7 子ども連れ・高齢者にやさしい取組
- 0.6 その他(具体的に)
- 14.7 特に魅力を感じない
- 0.9 無回答

問12 過去1年間に、以下の商店街のイベントに参加したことがありますか。(〇はいくつでも)

n=1,237

- | | |
|---|--|
| 31.4 盆踊りなどのお祭り
※久我山ホテル祭、阿佐谷七夕まつり、HONANエイサー&ミュージックフェスなど | 4.0 スタンプラリー
2.7 その他(具体的に)
※高円寺びっくり大道芸、タウンセブンファミリーフェスタなど |
| 11.0 福引などの抽選会 | 47.2 参加したことがない |
| 5.7 イルミネーション | 9.4 イベントがない・知らない |
| 5.7 大売出し・セール | 1.5 無回答 |

問13 商店街の施設・設備について、どのように感じていますか。(それぞれ最も近い意見1つに〇)

n=1,237

	充実している	やや充実している	あまり充実していない	充実していない	わからない	無回答
① アーケード	13.9	29.3	20.6	16.3	17.8	2.0
② 防犯カメラ	5.0	16.2	10.5	3.6	62.7	2.0
③ 夜間照明	17.4	45.3	12.5	2.6	20.9	1.4
④ レンガ敷・カラー舗装など	9.7	30.1	17.3	8.1	33.1	1.8

【農にふれあう機会について】

問14 杉並区では、農にふれあう機会の提供を行っています。以下の取組について、あなたの参加状況を教えてください。（それぞれあてはまるものに○を1つ） n=1,237

	取り組んだことがある	取り組んだことがない	今後取り組みたい	無回答
① 杉並産の野菜、果物や花の購入	18.9	60.8	19.6	0.7
② 杉並産農産物を使ったレストランでの飲食	4.9	70.8	23.1	1.2
③ 収穫体験への参加	4.5	77.0	17.1	1.5
④ 区民農園や体験農園等で農作物を育てる	4.0	77.1	17.5	1.4
⑤ 農業ボランティアの参加	0.5	84.2	14.0	1.4

【環境に配慮した行動について】

問15 環境に配慮した行動への取組についておたずねします。あなたは、以下の取組を行っていますか。以下の取組について、それぞれあてはまるもの1つに○をつけてください。 n=1,237

	いつもしている	おおむねしている	あまりしていない	していない	無回答
① LED照明など省エネ機器を使い、不要時は家電製品の電源を切っている	28.9	56.0	11.4	3.1	0.6
② 省エネ性能の高い家電や再生品を購入するなど、環境に配慮した買物をしている	15.0	53.0	26.5	4.8	0.8
③ ごみの分別を徹底するなど、資源・リサイクル活動に取り組んでいる	55.6	40.3	3.0	0.6	0.6
④ マイバッグ持参や生ごみの水切りをするなど、ごみの減量に取り組んでいる	51.7	42.1	5.2	0.6	0.4
⑤ できるだけ徒歩、自転車、公共交通機関を使って移動している	66.0	27.8	4.9	0.9	0.4

【グリーンインフラについて】

- 問16 近年、都市が抱える課題である都市型水害、ヒートアイランド現象、生物多様性の保全などに
対応するため、自然の力を活用する「グリーンインフラ」が注目されています。あなたはグリーン
インフラという言葉をご存知ですか。また、グリーンインフラを活用した取組について知ってい
ますか。(グリーンインフラを活用した取組の例：木を植える、草花を大切に育てる、雨が浸み
込む庭をつくる、など)(○は1つだけ) n=1,237

20.0 言葉も活用した取組も知っている
34.8 言葉は知っているが、活用した取組は知らない
44.4 言葉も活用した取組も知らない
0.8 無回答

【健康と医療について】

- 問17 あなたは、ご自身の健康状態をどのように感じていますか。(○は1つだけ) n=1,237

14.3 非常に健康である
72.1 おおむね健康である
11.2 あまり健康ではない
2.2 健康ではない
0.2 無回答

- 問18 あなたは、かかりつけ医療機関を決めていますか。(それぞれあてはまるもの1つに○)

n=1,237

	決めており、定 期的に受診(利 用)している	決めてはいるが、 最近を受診(利 用)していない	特に決めて はいない	必要が ない	無回答
① かかりつけ医	47.6	18.2	32.3	1.6	0.3
② かかりつけ歯科医	58.2	17.4	21.9	1.9	0.6
③ かかりつけ薬局	42.4	11.2	43.6	2.1	0.6

- 問19 あなたは、杉並区の休日・夜間の医療体制(救急医療体制)について不安を感じていますか。
(○は1つだけ) n=1,237

27.7 はい 71.0 いいえ ⇒ 問20へ 1.3 無回答

▶(問19で「はい」と回答した方に)

- 問19-1 どのような診療科目に不安を感じていますか。(○はいくつでも) n=343

40.5 小児科 22.4 整形外科 13.4 眼科
59.8 内科 14.6 耳鼻咽喉科 10.8 婦人科(産科含む)
37.3 外科 15.2 歯科 5.0 その他(具体的に)
0.3 無回答

問20 自殺対策は自分自身に関係することだと思いますか。(○は1つだけ)

n=1,237

9.5	そう思う	31.3	どちらかといえばそう思わない
15.6	どちらかといえばそう思う	42.4	そうは思わない
		1.3	無回答

【人権について】

問21 あなたは、普段生活する中で、他人の立場を尊重・理解するなど、人権を意識しながら生活していますか。(○は1つだけ)

n=1,237

45.8	いつも意識している	10.8	あまり意識していない
40.0	ときどき意識することがある	2.5	意識していない
		0.8	無回答

【性の多様性について】

杉並区は、令和5年4月に「性の多様性が尊重される地域社会を実現するための取組の推進に関する条例」を施行しました。この条例に基づき、性的マイノリティのカップルを対象としたパートナーシップ制度の運用を行っています。

問22 あなたは、「性の多様性が尊重される地域社会を実現するための取組の推進に関する条例」について知っていますか。(○は1つだけ)

n=1,237

14.4	名前も内容も知っていた	9.9	内容のみ知っていた
23.4	名前のみ知っていた	51.5	名前も内容も知らなかった
		0.8	無回答

【高齢者在宅支援について】

問23 現在、あなたは介護をしていますか。(○は1つだけ)

n=1,237

6.6	はい	92.6	いいえ ⇒ 問24へ	0.7	無回答
-----	----	------	------------	-----	-----

▶(問23で「はい」と回答した方に)

問23-1 介護者のあなたが、身体的、精神的な負担を考えて、これからも在宅での介護を続けていけると考えますか。(○は1つだけ)

n=82

1.2	負担なくやっていけると思う
19.5	何とかやっていけると思う
57.3	これ以上負担が重くならないとやっていけると思う
14.6	すでにやっていけない状況にあると思う
7.3	わからない

問24 高齢者の身近な相談窓口である「高齢者総合相談窓口 ケア24(地域包括支援センター)」をご存知ですか。(〇は1つだけ) n=1,237

41.6 知っている	57.6 知らない
	0.7 無回答

問25 杉並区では、地域で支えあい、サービスや医療を受けながら、高齢になっても安心して暮らせる体制を整えるよう取り組んでいます。あなたは、この体制が整っていると思いますか。(〇は1つだけ) n=1,237

4.4 そう思う	6.2 そう思わない
26.8 どちらかといえばそう思う	52.5 わからない
9.6 どちらかといえばそう思わない	0.6 無回答

問26 あなたは、いま生きがいを感じていますか。(〇は1つだけ) n=1,237

33.4 十分感じている	15.9 あまり感じていない
47.0 多少感じている	2.7 感じていない
	1.1 無回答

【障害差別の解消について】

平成28年4月から「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」いわゆる「障害者差別解消法」が施行されています。この法律では、障害のある人もない人も、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現を目指し、障害を理由とした不当な差別的取扱いを禁止し、合理的配慮の提供を求めています。

問27 あなたは、この法律や合理的配慮について、知っていますか。(〇は1つだけ) n=1,237

21.5 法律も合理的配慮も知っている	26.4 法律は知らないが、合理的配慮は知っている
16.6 法律は知っているが、合理的配慮は知らない	34.5 法律も合理的配慮も知らない
	1.0 無回答

問28 まちで障害のある方が困っているところを見かけた際に、あなたは声をかけたことがありますか。(〇は1つだけ) n=1,237

3.0 常に声をかけている	17.0 見かけたことはあるが、声をかけたことがない
20.2 できる限り声をかけるようにしている	
32.3 声をかけたことがある	26.8 困っているところを見かけたことがない
	0.8 無回答

【地域活動について】

問29 あなたは、ボランティア活動をしたことがありますか。(○は1つだけ)

n=1,237

5.8 現在活動している	31.6 するかどうかわからない
22.9 以前活動していたが現在はしていない	0.8 その他(具体的に)
21.7 したことはないが活動してみたいと思う	16.1 活動する気はない
	1.1 無回答

問30 あなたが参加している地域活動、社会活動はありますか。(○はいくつでも)

n=1,237

11.6 町会・自治会や防災会の活動	1.5 その他(具体的に)
4.0 NPOやボランティア団体の活動	69.5 取り組んでいる活動はない・活動できない
13.7 文化活動や趣味・スポーツなどの活動	
2.1 行政への協力活動(民生委員・児童委員、青少年委員など)	2.5 無回答

【子どもの権利・子育て支援について】

問31 あなたは、「子どもの権利条約」と「杉並区子どもの権利に関する条例」を知っていますか。

(それぞれあてはまる番号1つに○)

n=1,237

	内容をくわしく知っている	内容について少し知っている	名前だけ聞いたことがある	聞いたことがない・知らない	無回答
① 子どもの権利条約	4.4	18.4	33.5	42.4	1.4
② 杉並区子どもの権利に関する条例	2.4	11.2	26.3	58.6	1.5

問31-1 あなたは、以下の子どもの権利について知っていますか。(それぞれあてはまる番号1つに○)

n=1,237

	内容をくわしく知っている	内容について少し知っている	聞いたことがある	聞いたことがない・知らない	無回答
① 子どもはどんな理由でも差別されない	8.3	19.3	38.5	32.6	1.3
② 子どもの命が守られ、成長できる	8.8	21.1	38.6	30.0	1.5
③ 子どもに関することについて、大人はその子どもにとって最も良いことを優先する	7.2	18.0	32.1	41.2	1.5
④ 子どもは自分に関することについて、自由に意見を表すことができ、大人はそれを尊重する	8.1	18.8	33.3	38.2	1.6

問 32 あなたには、18 歳未満のお子さんがいらっしゃいますか。(○は 1 つだけ) n=1, 237

28.5 いる

70.0 いない ⇒ 問33へ

1.5 無回答

▶(問32で「いる」と回答した方に)

問32－1 子育てが地域の人に(もしくは社会で)支えられていると感じていますか。(○は 1 つだけ)

n=353

19.0 強く感じている

59.5 どちらかといえば、そう感じている

15.0 どちらかといえば、支えられていないと感じている

4.8 支えられていないと感じている

1.7 無回答

▶(問32で「いる」と回答した方に)

問32－2 地域の子育て支援サービス・施設が利用しやすいと感じていますか。(○は 1 つだけ)

n=353

17.3 利用しやすいと感じている

21.8 どちらかといえば、利用しにくいと感じている

49.9 どちらかといえば、利用しやすいと感じている

7.1 利用しにくいと感じている

4.0 無回答

【多文化共生について】

問33 地域に外国人が増えていくことについて、どのように感じますか。(○はいくつでも) n=1, 237

26.2 外国人・外国語に触れる機会が増え、知見が広がる

27.5 外国の文化を知る機会が増える

16.1 外国人の友人・知人が増える

30.6 外国に興味・関心を持つきっかけになる

15.7 人口が増えてまちに活気が出る

18.4 異文化交流から新しいアイデアが生まれる

11.7 高度な知識や技術を持つ人材が増えることによって社会インフラが維持できる

31.7 日本語が通じない人が増える

57.8 生活するルールや習慣の違いからトラブルが起きる

35.2 多言語対応など外国人のための整備が必要になる

39.6 治安が悪くなる

39.8 漠然とした不安がある

3.3 その他(具体的に

)

0.9 無回答

【運動・スポーツについて】

問34 あなたは、この1年間に運動やスポーツ(体操や散歩〈散策、ペットの散歩など〉を含む)をどれくらいの頻度でしましたか(学校の授業、職業として行ったものを除く)。(○は1つだけ)

n=1,237

- | | |
|---------------|--------------------|
| 29.0 週に3回以上 | 4.0 3か月に1～2回程度 |
| 28.6 週に1～2回程度 | 3.2 年に1～3回程度 |
| 17.2 月に1～3回程度 | 17.4 運動やスポーツをしていない |
| | 0.6 無回答 |

問35 あなたの、過去6か月、現在、そしてこれから先のスポーツ・運動実施状況や考え方について、最もあてはまるものはどれですか。(○は1つだけ)

n=1,237

- | |
|--|
| 17.3 現在、スポーツ・運動を行っていない。また、これから先も、するつもりはない |
| 20.3 現在、スポーツ・運動を行っていない。しかし、近い将来(6か月以内)に始めようと思っている |
| 21.0 現在、スポーツ・運動を行っている。しかし、定期的(週に2回以上)ではない |
| 6.3 現在、定期的(週に2回以上)にスポーツ・運動を行っている。しかし、始めてから6か月未満である |
| 34.3 現在、定期的(週に2回以上)にスポーツ・運動を行っている。また、6か月以上継続している |
| 0.8 無回答 |

問36 あなたは、この1年間に、以下のようなスポーツ・運動の指導・審判やイベントへの協力など、スポーツ・運動に関するボランティア活動を行いましたか。(○はいくつでも)

n=1,237

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1.8 スポーツ・運動の指導 | 5.1 子どものスポーツへの協力 |
| 1.5 スポーツ大会等の審判 | 0.2 障害者のスポーツへの協力 |
| 1.8 スポーツイベント等の運営協力 | 0.2 その他の活動(具体的に) |
| 2.8 団体・クラブの運営や世話 | 90.5 行っていない |
| | 0.9 無回答 |

【生涯学習について】

「生涯学習」とは、人々が生涯のいつでもどこでも自由に行う学習活動のことで、学校教育や社会教育センター等における社会教育などの学習機会に限らず、自分から進んで行う学習やスポーツ、文化活動趣味、ボランティア活動などにおけるさまざまな学習活動のことをいいます。

問37 あなたは、この1年くらいの間に、生涯学習をしたことがありますか。(○はいくつでも)

n=1, 237

- | | |
|------|--|
| 28.4 | 趣味的なもの(音楽、美術、華道、舞踊、書道、レクリエーション活動など) |
| 19.8 | 教養的なもの(文学、歴史、科学、語学など) |
| 7.8 | 社会問題に関するもの(社会・時事、国際、環境など) |
| 11.7 | 健康に関すること(健康法、医学、栄養など) |
| 23.5 | 運動・スポーツ(ジョギング、水泳、球技など) |
| 10.9 | 家庭生活に役立つ技能(料理、洋裁、和裁、編み物など) |
| 6.7 | 育児・教育(家庭教育、幼児教育、教育問題など) |
| 8.4 | 就職や転職のために必要な知識・技能(就職や転職に係る知識の習得や資格の取得など) |
| 17.6 | 職業において必要な知識・技能(仕事に係る知識の習得や資格の取得など) |
| 6.4 | 情報通信分野の知識・技能(プログラムの使い方、ホームページの作り方など) |
| 2.2 | ボランティア活動のために必要な知識・技能 |
| 3.8 | 自然体験や生活体験などの体験活動 |
| 0.8 | その他(具体的に) |
| 37.5 | したことはない ⇒ 問38へ |
| 0.9 | 無回答 |

※問37で「趣味的なもの」「教養的なもの」「社会問題に関するもの」「健康に関すること」「運動・スポーツ」「家庭生活に役立つ技能」「育児・教育」「就職や転職のために必要な知識・技能」「職業において必要な知識・技能」「情報通信分野の知識・技能」「ボランティア活動のために必要な知識・技能」「自然体験や生活体験などの体験活動」「その他」のうち1つでも○をした方に)

問37-1 あなたは、生涯学習を通じて身につけた知識・技能や経験を、どのように生かしていますか。(○はいくつでも)

n=762

- | | |
|------|---|
| 63.5 | 自分の人生がより豊かになっている |
| 37.4 | 家庭・日常の生活に生かしている |
| 45.7 | 自分の健康を維持・増進している |
| 30.4 | 仕事や就職の上で生かしている(仕事で役立つスキルや資格を身につけた、給与面で優遇を受けた、就職活動に役立ったなど) |
| 7.2 | 地域や社会での活動に生かしている(学習、スポーツ、文化活動などの指導やボランティア活動など) |
| 1.2 | その他(具体的に) |
| 3.7 | 生かしていない |
| 0.3 | 無回答 |

問38 あなたは、過去1年間に文化・芸術鑑賞したことがありますか(オンライン配信を含めた音楽や演劇、映画などを鑑賞すること)。(〇はいくつでも) n=1,237

- 61.2 文学、音楽、美術、写真、演劇、舞踊など

67.3 映画、漫画、アニメーション及びコンピュータ等を利用した芸術など

8.0 雅楽、能楽、文楽、歌舞伎など伝統芸能

14.3 落語、漫才、歌唱など芸能

6.8 茶道、華道、書道、囲碁、将棋、その他生活に関する文化

16.1 地域で行われるお祭りなどの行事

14.6 特にしていない ⇒ 問39へ

0.8 無回答

→(問38で「文学、音楽、美術、写真、演劇、舞踊など」「映画、漫画、アニメーション及びコンピュータ等を利用した芸術など」「雅楽、能楽、文楽、歌舞伎など伝統芸能」「落語、漫才、歌唱など芸能」「茶道、華道、書道、囲碁、将棋、その他生活に関する文化」「地域で行われるお祭りなどの行事」のうち1つでも〇をした方に)

問38-1 1か月に文化・芸術鑑賞するだいたいの回数を、杉並区内(自宅での鑑賞を含む)、区外それぞれについてご記入ください。(ない場合は「〇」(ゼロ)とご記入ください)

n=1,047

1か月あたり	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上	鑑賞者の平均
杉並区内	76.8	8.9	3.1	1.5	2.0	7.7	3.29回
杉並区外	67.4	22.3	5.4	2.3	0.5	2.0	1.37回

問39 あなたは、仕事と生活の調和が図られていると感じていますか。(〇は1つだけ) n=1,237

- | | |
|-------------------|----------------|
| 16.1 感じる | 13.9 感じない |
| 42.1 どちらかといえば感じる | 7.4 その他(具体的に) |
| 18.8 どちらかといえば感じない | 1.7 無回答 |

【杉並区の情報について】

問40 区は、保険・年金・税・教育など、個人に関わるお知らせについては、個別に通知しているほか、広報紙やホームページ、X、LINE、YouTubeなどを活用して、区政や地域の情報を提供しています。あなたが必要とする情報は伝わっていますか。(〇は1つだけ) n=1,237

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 2.8 十分に伝わっている | 19.7 伝わらないことが多い |
| 19.6 おおむね伝わっている | 8.1 まったく伝わっていない |
| 35.0 必要なことは伝わっている | 14.3 わからない |
| | 0.4 無回答 |

問41 杉並区の広報媒体等の利用状況について伺います。

区では、1日と15日に「広報すぎなみ」を発行しています。また、ホームページやLINE、Xなどのインターネットを活用した情報配信を行っています。さらに、広報番組を制作しケーブルテレビ・ユーチューブでの配信も行っています。あなたは、これらの広報媒体を利用していますか。以下について、それぞれ最も近い番号1つに○をつけてください。

n=1,237

	よく利用 している	たまに利用 している	利用した ことがある	利用した ことがない	わからない	無回答
① 広報すぎなみ	15.4	23.2	26.6	29.2	5.0	0.6
② ホームページ	2.7	21.4	36.3	32.3	5.1	2.2
③ 広報番組(J:COM ケーブルテレビ)	1.3	2.5	9.8	76.6	7.4	2.3
④ ユーチューブ (杉並区公式チャンネル)	0.3	1.4	4.4	83.7	7.4	2.7
⑤ フェイスブック (広報課)	0.2	0.7	1.4	86.9	8.1	2.7
⑥ X(地震・水防等)	1.5	4.5	10.1	74.1	7.3	2.5
⑦ X(広報課)イベント 情報等	1.1	2.3	5.5	80.4	8.1	2.6
⑧ LINE (杉並区公式LINE)	5.6	5.9	5.7	73.7	7.0	2.2
⑨ メールニュース	1.3	1.5	4.3	81.1	9.4	2.4
⑩ 犯罪・防犯情報メール	5.4	4.2	13.4	66.5	8.1	2.3

【区役所のデジタル化について】

問42 区では、各種申請手続きのオンライン対応、税・保険料や手数料等のキャッシュレス決済導入、LINE等のSNSを活用した情報発信など、デジタル技術を活用した区民サービスの向上に取り組んでいます。あなたは区のデジタル化の取組によって生活が便利になったと感じていますか。

(○は1つだけ)

n=1,237

12.4 感じている	18.5 感じていない
31.9 どちらかといえば感じている	21.7 わからない
15.0 どちらかといえば感じていない	0.4 無回答

問43 あなたは、区のデジタル化の取組の中で、どのようなことを期待しますか。(○は1つだけ)

n=1,237

49.3 オンライン手続きの充実	5.0 オープンデータ(誰もが自由に入手し、使用・再配布できるデータ)の拡充
9.1 キャッシュレス決済の推進	
7.5 デジタルデバイド(情報格差)解消に向けた対策の強化	1.6 その他(具体的に)
	26.6 特になし
	0.9 無回答

【その他の区政について】

問44 下記(17～18ページ)にあげた施策や取組の中で、杉並区が力を入れていると評価できるものを3つ以内で選び、下の回答欄に番号を記入してください。 n=1, 237

上位3項目

- ① 16.2 強くしなやかな防災・減災まちづくり
- ② 15.0 地域の魅力あふれる多心型まちづくり
- ③ 14.9 地域の防災対応力の強化

問45 下記(17～18ページ)にあげた施策や取組の中で、杉並区が力の入れ方が不十分だと思うものを3つ以内で選び、下の回答欄に番号を記入してください。 n=1, 237

上位3項目

- ① 14.0 誰にとっても移動しやすい地域交通環境の整備
- ② 12.0 犯罪が起こりにくい、犯罪を生まないまちづくり
- ③ 8.8 強くしなやかな防災・減災まちづくり

問46 下記(17～18ページ)にあげた施策や取組の中で、杉並区が今後特に力を入れるべきだと思うものを3つ以内で選び、下の回答欄に番号を記入してください。 n=1, 237

上位3項目

- ① 22.2 犯罪が起こりにくい、犯罪を生まないまちづくり
- ② 17.5 強くしなやかな防災・減災まちづくり
- ③ 13.3 地域の防災対応力の強化

◎区の主な施策や取組

n=1, 237

施策や取組	施策や事業に関連するキーワード	問44	問45	問46
1 強くしなやかな防災・減災まちづくり	耐震化、不燃化、橋梁補強、水害対策、狭あい道路、無電柱化	16.2	8.8	17.5
2 地域の防災対応力の強化	災害時の拠点、備蓄物資、自治体間連携、災害情報の収集・発信、災害時要配慮者	14.9	6.3	13.3
3 犯罪が起こりにくい、犯罪を生まないまちづくり	防犯パトロール・防犯カメラ、防犯自主団体、消費者被害	14.3	12.0	22.2
4 地域の魅力あふれる多心型まちづくり	荻窪駅周辺、阿佐ヶ谷駅・西荻窪駅等周辺、地区計画、まちづくり活動	15.0	5.4	6.0
5 人々の暮らしを支える都市基盤の整備	まちづくり基本方針、鉄道連続立体交差化、都市計画道路、生活道路、都市基盤情報	7.0	7.9	9.1
6 誰にとっても移動しやすい地域交通環境の整備	次世代型交通、自転車安全利用、自転車放置防止、交通安全、街路灯	9.0	14.0	10.9
7 暮らしやすい住環境の形成	景観、ユニバーサルデザイン、居住支援、公営住宅、空家、水とみどりのネットワークの形成	11.4	6.9	8.6
8 にぎわいと活力を生み出す地域産業の振興	中小企業経営・創業、就労支援、商店街活性化、観光情報発信、アニメ活用による誘客、都市農業	6.5	6.3	5.5
9 質の高い環境を将来につなぐ気候変動対策の推進	創エネルギー、省エネルギー、環境学習、区施設の省エネ、気候変動対策	1.1	4.3	4.1
10 快適で暮らしやすい資源循環型社会の実現	ごみ排出抑制、資源の有効活用、環境美化活動、ごみ排出マナー	8.6	5.7	5.4
11 グリーンインフラを活用した都市環境の形成	保護樹木・屋敷林、緑化、みどりの普及啓発、生物多様性、水辺環境、公園整備・改修	11.3	6.3	6.4
12 いきいきと住み続けることができる健康づくり	食育活動・介護予防・フレイル予防、生活習慣病予防、がん対策、心の健康	3.7	3.2	3.5

13	地域医療体制の充実	救急医療、災害時医療、在宅医療、感染症対策、障害者の地域医療	4.4	6.8	10.8
14	地域の支え合いと安心して暮らせる体制づくり	支え合いの仕組み、高齢者の地域包括ケア、障害者の地域生活、生活困窮者自立支援、男女共同、動物との共生	2.5	4.1	5.9
15	高齢者とその家族が安心して暮らせる生活の確保と社会参加の支援	認知症予防、地域の見守り、家族介護者支援、生きがい活動、介護サービス	4.4	5.7	12.1
16	障害者の社会参加と地域生活の支援	重度障害者通所施設、就労支援、社会参加支援、高齢障害者の支援、差別解消	1.1	1.9	1.9
17	子どもの権利を尊重し育ちを支える環境の整備・充実	児童相談所、子育て家庭の相談、ひとり親家庭、子どもの貧困、ヤングケアラー、子どもの権利擁護	4.1	2.8	3.0
18	子どもの居場所づくりと育成支援の充実	小学生の居場所、中・高校生の居場所、次世代育成基金	7.9	6.9	8.6
19	安心して子どもを産み育てられる環境の充実	出産・子育て相談、乳幼児親子の居場所、子育てを地域で支える仕組み	9.1	4.9	9.1
20	働きながら安心して子育てできる環境の整備・充実	保育施設、保育の質向上、障害児・病児保育、学童クラブ	9.1	5.8	10.9
21	障害児支援の充実と医療的ケア児の支援体制の整備	未就学児の療育、放課後等の居場所、医療的ケア児の支援	1.0	1.4	1.5
22	学び続ける力を育む学校教育の推進	学び続ける力の育成、ICT活用、就学前教育、教員の働き方改革、部活動の充実、地域との連携	1.4	3.2	2.6
23	多様なニーズに応じたきめ細かな教育の推進	特別支援教育、教育相談、済美養護学校・特別支援学級	1.0	1.4	1.9
24	身近に活用できる教育環境の整備・充実	学校施設の有効活用、新しい学校づくり推進基本方針、小中学校の増改築・長寿命化、図書館	1.9	2.3	2.7
25	生涯にわたる学びの支援	社会教育士、成人学習支援、地域と学校の協働	1.1	2.3	2.7
26	多様な地域活動への支援	町会・自治会・NPO活動支援、地域活動を担う人材の育成・支援、地域活動拠点	1.5	1.6	1.4
27	多様な文化・芸術の振興と多文化交流の推進	芸術会館・公会堂、文化・芸術振興審議会、国際・国内交流、平和事業	4.5	2.2	2.7
28	次世代への歴史・文化の継承	歴史・文化に親しむ機会創出、歴史・文化情報の発信	1.5	2.3	1.5
29	誰もがスポーツに親しむことができる環境づくり	スポーツ・運動に親しむ機会、障害者スポーツ、体育施設整備	4.3	6.2	4.3
30	区政経営改革の推進に関する取組	業務の効率化と区民サービスの向上、持続可能な財政運営、対話協調型の区政、自治・分権、施設マネジメント	1.9	3.3	2.7
31	協働の推進に関する取組	公民連携プラットフォーム(「すぎなみプラス」・「すぎなみボイス」)、多様な主体との連携	—	0.7	0.2
32	デジタル化の推進に関する取組	デジタル技術を活用した区民サービスの向上、行政内部のデジタル化による効率化	4.7	5.8	8.8
33	その他		1.6	3.5	2.2
34	特になし		12.3	17.2	7.5
	無回答		11.6	12.6	8.6

問 47 あなたは、杉並区が行っている事業やサービスについて、どの程度満足していますか。
(最も近い意見 1 つに○)

n=1, 237

4.6 とても満足している	13.5 やや不満である
75.0 まあ満足している	2.8 不満である
	4.0 無回答

【基本事項】

F 1 あなたの性別をお答えください。(○は 1 つだけ)

n=1, 237

38.6 男性	58.9 女性	1.0 どちらとは言えない
		1.5 無回答

F 2 あなたの年齢をお答えください。(○は 1 つだけ)

n=1, 237

0.9 10代	20.8 40代	7.5 65歳以上70歳未満
9.4 20代	17.8 50代	7.4 70歳以上75歳未満
14.1 30代	9.3 60歳以上65歳未満	11.2 75歳以上
		1.6 無回答

F 3 あなたのご職業は次のどれですか。(○は 1 つだけ)

n=1, 237

10.0 自営業・事業主	14.7 労務職・サービス職	12.9 無職
2.0 自由業	17.1 主婦・主夫	3.7 その他(具体的に)
36.0 事務職・技術職	1.9 学生	1.7 無回答

F 4 あなたのお住まいは、どの地域にあたりますか。(○は 1 つだけ)

n=1, 237

地 域 名	住居表示の町名
8.6 井草地域	井草、上井草、下井草
11.9 西荻地域	上荻、松庵、善福寺、西荻北、西荻南
19.6 荻窪地域	天沼、今川、荻窪、清水、本天沼、南荻窪、桃井
12.0 阿佐谷地域	阿佐谷北、阿佐谷南、成田西、成田東
14.7 高円寺地域	梅里、高円寺北、高円寺南、堀ノ内、松ノ木、和田
20.1 高井戸地域	上高井戸、久我山、下高井戸、高井戸西、高井戸東、浜田山、宮前
11.2 方南・和泉地域	和泉、永福、大宮、方南
1.9 無回答	

F 5 あなたのお住まいは、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

n=1,237

44.3 一戸建て・持ち家	1.9 賃貸の公団・公社・公営住宅
2.9 一戸建て・借家	1.6 社宅・公務員宿舎・家族寮
14.6 分譲マンション(公団・公社含む)	0.9 同居・間借り・住み込み・独身寮
31.4 民間賃貸アパート・マンション	0.5 その他(具体的に)
	1.9 無回答

F 6 現在、一緒に住んでいるご家族はあなたを含めて何人ですか。(○は1つだけ)

n=1,237

21.5 1人	22.3 3人	7.5 5人以上
29.7 2人	17.4 4人	1.6 無回答

F 7 あなたのお宅の家族構成は、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

n=1,237

20.4 ひとり暮らし	5.6 親と子ども夫婦(二世世代家族)
25.5 夫婦のみまたはパートナー同士のみ (一世世代家族)	3.6 親と子どもと孫(三世世代家族)
	1.7 その他(具体的に)
41.4 親と未婚の子ども(核家族)	1.9 無回答

F 8 現在、あなたご自身は、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

n=1,237

単身者(独身)である	10.9 18～39歳 11.0 40～64歳 5.4 65歳以上
配偶者またはパートナーがいて 子どもがいない	5.7 18～39歳 6.1 40～64歳 4.9 65歳以上
子どもがいる (同居・別居を問わない)	7.3 一番上の子どもが小学校入学前 13.4 一番上の子どもが小・中学生 8.6 一番上の子どもが高校・大学生 9.5 あなたが64歳以下で一番上の子どもが社会人 15.1 あなたが65歳以上で一番上の子どもが社会人 2.0 無回答

Ⅲ. 調 査 結 果 の 分 析

1. 定住性と生活環境について

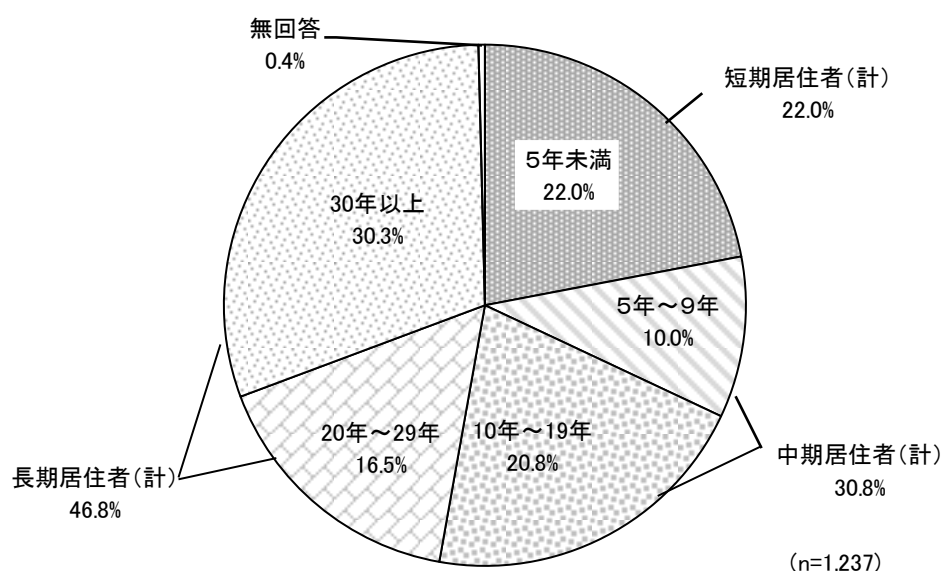
-
- (1) 居住年数
 - (2) 定住意向
 - (3) 住み続けたい理由
 - (4) 転出したい理由
 - (5) 住みやすさ
 - (6) 生活環境の評価
 - (7) 魅力を感じる地域
 - (8) 魅力を感じる理由
-

(1) 居住年数

問1 あなたは、杉並区に住んで何年になりますか。(○は1つだけ)

全体では、「5年未満」の『短期居住者(計)』22.0%が2割を超え、「5年～9年」10.0%と「10年～19年」20.8%を合わせた『中期居住者(計)』30.8%が3割に達し、「20年～29年」16.5%と「30年以上」30.3%を合わせた『長期居住者(計)』46.8%が5割弱となっている。

問1 居住年数



過去の調査と比較すると、令和5年度以降『短期居住者(計)』は微増傾向にあり、今年度は22.0%と過去最高となっている。一方、『長期居住者(計)』は令和6年度以降、微減傾向にあり今年度は46.8%と5割を下回った。

問1 居住年数【過年度比較】

5年未満 5年～9年 10年～19年 長期居住者(計) 無回答						%		短期居住者(計)	中期居住者(計)	長期居住者(計)
令和8年度	22.0	10.0	20.8	46.8	0.4	22.0	30.8	46.8		
令和7年度	17.7	11.3	20.3	50.0	0.7	17.7	31.6	50.0		
令和6年度	17.3	10.3	16.9	53.8	1.6	17.3	27.3	53.8		
令和5年度	16.4	12.5	22.0	48.6	0.5	16.4	34.5	48.6		
令和4年度	2.4	5.7	30.3	61.5	0.1	2.4	36.0	61.5		
令和3年度	16.7	11.2	20.3	51.3	0.6	16.7	31.4	51.3		
令和2年度	19.0	11.5	21.4	47.2	0.9	19.0	32.9	47.2		
令和元年度	20.4	11.0	21.0	47.1	0.5	20.4	32.0	47.1		
平成30年度	20.2	12.1	22.7	44.5	0.5	20.2	34.8	44.5		
平成29年度	19.3	12.2	17.9	50.4	0.2	19.3	30.1	50.4		
平成28年度	20.2	11.3	19.7	47.5	1.3	20.2	31.0	47.5		

性別でみると、男性では『中期居住者(計)』が33.1%と女性29.4%よりやや高く、女性では『短期居住者(計)』が24.0%と男性19.2%よりやや高い。

性・年代では、男女とも30代以下の若年層は『短期居住者(計)』が5割程度以上を占め、特に女性10・20代では7割を超えている。逆に年代があがると『長期居住者(計)』が高くなり、男性70歳以上では8割弱、女性70歳以上では9割弱に達している。

居住地域でみると、高円寺地域と方南・和泉地域では『短期居住者(計)』がほぼ3割と他の地域に比べて高く、西荻地域と阿佐谷地域では『長期居住者(計)』が5割を超えている。

問1 居住年数【性・年代・居住地域別】

		(n)	■ 5年未満 □ 5年～9年 □ 10年～19年 □ 20年～29年 □ 30年以上 □ 無回答					%	短期 居住者 (計)	中期 居住者 (計)	長期 居住者 (計)	
全 体		(1,237)	22.0	10.0	20.8	16.5	30.3	0.4	22.0	30.8	46.8	
性・ 年代	男性	(478)	19.2	10.3	22.8	15.3	32.2	0.2	19.2	33.1	47.5	
	女性	(728)	24.0	10.2	19.2	17.4	28.7	0.4	24.0	29.4	46.2	
	男性10・20代	(59)	54.2		6.8	27.1	10.2	1.7	54.2	33.9	11.9	
	男性30代	(49)	51.0		26.5	6.1	4.1	12.2	51.0	32.7	16.3	
	男性40代	(95)	15.8	17.9	37.9	7.4	21.1	15.8	55.8	28.4		
	男性50代	(86)	9.3	9.3	25.6	20.9	34.9	9.3	34.9	55.8		
	男性60代	(87)	10.3	4.6	17.2	25.3	42.5	10.3	21.8	67.8		
	男性70歳以上	(102)	2.9	2.9	16.7	17.6	58.8	1.0	2.9	19.6	76.5	
	女性10・20代	(68)	70.6		2.9	10.3	14.7	1.5	70.6	13.2	14.7	
	女性30代	(122)	49.2		23.0	12.3	4.9	9.8	0.8	49.2	35.2	14.8
	女性40代	(157)	20.4	18.5	38.9	8.9	13.4	20.4	57.3	22.3		
	女性50代	(133)	12.8	4.5	24.1	38.3	19.5	0.8	12.8	28.6	57.9	
	女性60代	(120)	12.5	3.3	14.2	21.7	48.3	12.5	17.5	70.0		
	女性70歳以上	(128)	2.3	3.9	6.3	15.6	71.9	2.3	10.2	87.5		
居 住 地 域	井草地域	(106)	25.5	10.4	20.8	17.0	25.5	0.9	25.5	31.1	42.5	
	西荻地域	(147)	16.3	8.8	21.8	19.7	33.3	16.3	30.6	53.1		
	荻窪地域	(243)	16.0	11.9	24.3	18.5	28.8	0.4	16.0	36.2	47.3	
	阿佐谷地域	(148)	19.6	7.4	17.6	17.6	37.8	19.6	25.0	55.4		
	高円寺地域	(182)	29.1	11.5	17.6	12.6	29.1	29.1	29.1	41.8		
	高井戸地域	(249)	22.9	7.6	22.5	15.7	30.5	0.8	22.9	30.1	46.2	
	方南・和泉地域	(139)	28.8	13.7	19.4	15.1	23.0	28.8	33.1	38.1		

ライフステージでみると、独身期と家族形成期の若年層では「5年未満」の『短期居住者(計)』が5割を超えている。家族成長前期では『中期居住者(計)』が6割近く、家族成長後期では『長期居住者(計)』が5割近くに達し、家族成熟期、老齢期になると『長期居住者(計)』が7割を超えている。

問1 居住年数【ライフステージ別】

		■ 5年未満 □ 5年～9年 ▨ 10年～19年 □ 20年～29年 □ 30年以上 □ 無回答						%		短期 居住者 (計)	中期 居住者 (計)	長期 居住者 (計)
(n)												
全 体		(1,237)	22.0	10.0	20.8	16.5	30.3	0.4	22.0	30.8	46.8	
ラ イ フ ス テ ー ジ	独身期	(135)	52.6		9.6	18.5	11.1	7.4	0.7	52.6	28.1	18.5
	家族形成期	(160)	57.5		21.3	9.4	4.4	6.9	0.6	57.5	30.6	11.3
	家族成長前期	(166)	20.5	19.3	39.2	8.4	12.7		20.5	58.4	21.1	
	家族成長後期	(107)	9.3	7.5	34.6	27.1	20.6		0.9	9.3	42.1	47.7
	家族成熟期	(117)	9.4	2.6	17.1	31.6	39.3		9.4	19.7	70.9	
	老齢期	(315)	5.4	3.5	11.1	18.4	61.3		0.3	5.4	14.6	79.7
	その他	(212)	16.5	10.8	26.4	18.9	27.4		16.5	37.3	46.2	

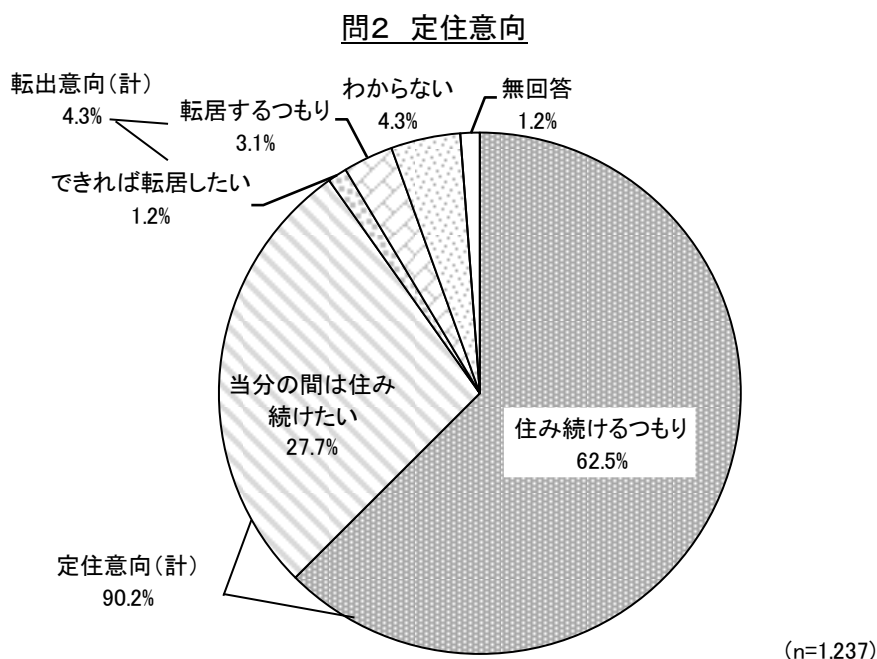
※ライフステージの分類は以下のとおりである。

- A. 独身期……………40 歳未満の独身者
- B. 家族形成期……………40 歳未満の子どものない夫婦またはパートナー同士
または一番上の子どもが入学前の人
- C. 家族成長前期……………一番上の子どもが小・中学生の人
- D. 家族成長後期……………一番上の子どもが高校・大学生の人
- E. 家族成熟期……………本人が 64 歳以下で、一番上の子どもが社会人の人
- F. 老齢期……………本人が 65 歳以上で、一番上の子どもが社会人の人
または 65 歳以上の独身者、65 歳以上の子どものない
夫婦またはパートナー同士
- G. その他……………40 歳以上 64 歳以下の独身者

(2) 定住意向

問2 これからも引き続いて、杉並区にお住まいになりますか。(〇は1つだけ)

全体では、「住み続けるつもり」62.5%が最も高く、これに「当分の間は住み続けたい」27.7%を合わせた『定住意向(計)』90.2%は9割に達している。一方、「できれば転居したい」1.2%と「転居するつもり」3.1%を合わせた『転出意向(計)』4.3%は非常に低い。



過去の調査と比較すると、『定住意向(計)』は平成28年度調査以降、約85%~90%程度と高い水準を維持し、今年度は90.2%と令和4年度に並んで9割を超えた。

問2 定住意向【過年度比較】

	住み続けるつもり	当分の間は住み続けたい	転居するつもり	できれば転居したい	わからない	無回答	定住意向(計)	転出意向(計)
	%							
令和8年度	62.5	27.7	4.3	1.2	4.3		90.2	4.3
令和7年度	60.0	29.2	4.8	1.5	4.6		89.1	4.8
令和6年度	56.8	29.7	5.8	2.4	5.3		86.5	5.8
令和5年度	57.9	29.9	6.2	1.1	4.9		87.8	6.2
令和4年度	61.5	28.6	3.7	1.1	5.0		90.2	3.7
令和3年度	59.5	27.4	5.2	2.0	5.9		86.9	5.2
令和2年度	57.2	29.8	5.2	2.1	5.7		87.0	5.2
令和元年度	56.6	31.0	4.4	1.0	7.0		87.6	4.4
平成30年度	55.7	29.3	5.4	1.7	7.9		85.0	5.4
平成29年度	57.5	28.1	5.6	0.7	8.1		85.6	5.6
平成28年度	58.9	26.0	5.8	2.5	6.8		84.9	5.8

性別でみると、男女とも「住み続けるつもり」は6割を超え、『定住意向(計)』もほぼ9割と大きな違いはない。

性・年代では、男女とも30代以下の若年層は「住み続けるつもり」が5割にとどかず、特に女性10・20代では35.3%と4割を下回っている。男女とも70歳以上では「住み続けるつもり」が7割半ば～8割強と高くなっている。

居住地域でみると、阿佐谷地域では「住み続けるつもり」が70.3%と唯一、7割に達している。方南・和泉地域では「住み続けるつもり」が51.8%と最も低く、高円寺地域も59.9%と6割に達していない。

問2 定住意向【性・年代・居住地域別】

		(n)	■ 住み続けるつもり ▨ できれば転居したい □ わからない □ 当分の間は住み続けたい □ 転居するつもり □ 無回答						%	定住意向 (計)	転出意向 (計)
全 体		(1,237)	62.5 27.7 1.2 4.3 3.1 1.2						90.2	4.3	
性・年代	男性	(478)	62.3 28.5 0.8 3.8 3.1 1.5						90.8	4.0	
	女性	(728)	62.4 27.5 1.5 4.7 3.0 1.0						89.8	4.5	
	男性10・20代	(59)	42.4 42.4 1.7 8.5 5.1 1.2						84.7	10.2	
	男性30代	(49)	42.9 36.7 2.0 10.2 6.1 2.0						79.6	12.2	
	男性40代	(95)	68.4 29.5 1.1 1.1 1.1 1.1						97.9	1.1	
	男性50代	(86)	66.3 27.9 3.5 1.1 1.1 2.3						94.2	-	
	男性60代	(87)	60.9 29.9 1.1 1.1 1.1 6.9						90.8	2.3	
	男性70歳以上	(102)	75.5 14.7 1.0 2.9 2.9 2.9						90.2	3.9	
	女性10・20代	(68)	35.3 52.9 1.5 5.9 2.9 1.5						88.2	4.4	
	女性30代	(122)	47.5 37.7 2.5 7.4 4.1 0.8						85.2	9.8	
	女性40代	(157)	63.1 29.9 1.9 3.8 3.0 1.9						93.0	3.2	
	女性50代	(133)	63.2 27.8 4.5 3.8 3.8 0.8						91.0	3.8	
	女性60代	(120)	69.2 16.7 2.5 8.3 2.5 0.8						85.8	5.0	
	女性70歳以上	(128)	82.8 10.9 0.8 2.3 0.8 2.3						93.8	1.6	
居住地域	井草地域	(106)	64.2 26.4 0.9 3.8 2.8 1.9						90.6	3.8	
	西荻地域	(147)	63.3 25.9 2.0 4.1 3.4 1.4						89.1	5.4	
	荻窪地域	(243)	64.2 25.1 1.6 4.5 2.9 1.6						89.3	4.5	
	阿佐谷地域	(148)	70.3 23.0 0.7 6.1 1.1 1.1						93.2	0.7	
	高円寺地域	(182)	59.9 31.3 1.1 3.8 3.3 0.5						91.2	4.4	
	高井戸地域	(249)	61.4 26.9 1.2 4.0 4.4 2.0						88.4	5.2	
	方南・和泉地域	(139)	51.8 38.8 0.7 5.0 1.1 3.6						90.6	5.8	

居住年数でみると、5年未満では「住み続けるつもり」40.1%はほぼ4割にとどまるが、居住年数が長くなるほど「住み続けるつもり」は高くなり30年以上では80.3%と8割を超えている。

ライフステージでみると、家族成長後期と老齢期で「住み続けるつもり」は8割弱と高くなっている。

問2 定住意向【居住年数・ライフステージ別】

		(n)	■ 住み続けるつもり □ 当分の間は住み続けたい ▨ できれば転居したい □ 転居するつもり □ わからない □ 無回答					%	定住意向 (計)	転出意向 (計)
全 体		(1,237)	62.5	27.7	1.2	4.3	3.1	1.2	90.2	4.3
居 住 年 数	5年未満	(272)	40.1	46.7	2.6	7.0	3.3	0.4	86.8	5.9
	5年～9年	(124)	47.6	37.1	0.8	10.5	4.0		84.7	11.3
	10年～19年	(257)	63.8	30.7	0.4		2.3	0.8	94.6	2.7
	20年～29年	(204)	68.6	22.5	1.5	4.4	2.0	1.0	91.2	3.4
	30年以上	(375)	80.3	12.0	0.8	4.0	1.6	1.3	92.3	2.4
ラ イ フ ス テ ー ジ	独身期	(135)	39.3	45.2	1.5	7.4	5.9	0.7	84.4	8.9
	家族形成期	(160)	46.9	36.3	2.5	7.5	5.0	1.9	83.1	10.0
	家族成長前期	(166)	68.7	27.1	1.2		0.6	0.6	95.8	1.8
	家族成長後期	(107)	76.6	15.9	0.9	3.7	0.9	1.9	92.5	1.9
	家族成熟期	(117)	67.5	23.9	0.9	7.7			91.5	0.9
	老 齢 期	(315)	77.1	15.2	1.3		1.9	1.9	92.4	3.2
	その他	(212)	50.9	38.7	0.9	3.3	5.7	0.5	89.6	4.2

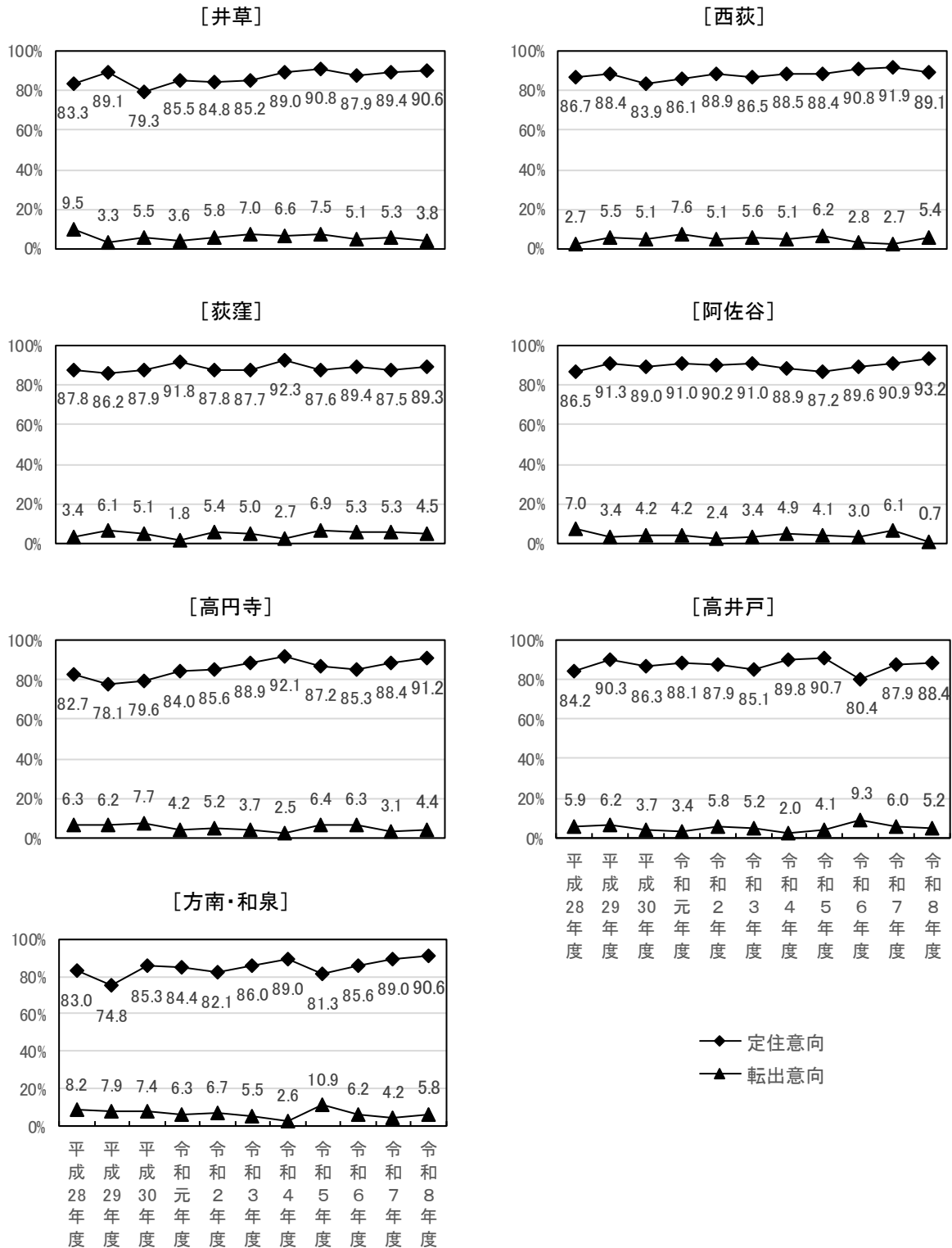
※ライフステージの分類は以下のとおりである。

- A 独身期……………40歳未満の独身者
- B 家族形成期……………40歳未満の子どものない夫婦またはパートナー同士
または一番上の子どもが入学前の人
- C 家族成長前期……………一番上の子どもが小・中学生の人
- D 家族成長後期……………一番上の子どもが高校・大学生の人
- E 家族成熟期……………本人が64歳以下で、一番上の子どもが社会人の人
- F 老 齢 期……………本人が65歳以上で、一番上の子どもが社会人の人
または65歳以上の独身者、65歳以上の子どものない
夫婦またはパートナー同士
- G その他……………40歳以上64歳以下の独身者

過去の調査と比較すると、『定住意向(計)』は前年より、西荻地域以外のすべての地域で微増している。西荻地域は89.1%で前年より2.8ポイントの微減となった。

阿佐谷地域は、『定住意向(計)』93.2%が前年より2.3ポイントアップし、今年度は最も高くなった。一方、『転出意向(計)』0.7%は前年より5.4ポイントダウンし、1%を下回った。

問2 定住意向【居住地域別推移】



(3) 住み続けたい理由

(問2で「住み続けるつもり」「当分の間は住み続けたい」と回答の方に)

問2-1 その主な理由は何ですか。(○は2つまで)

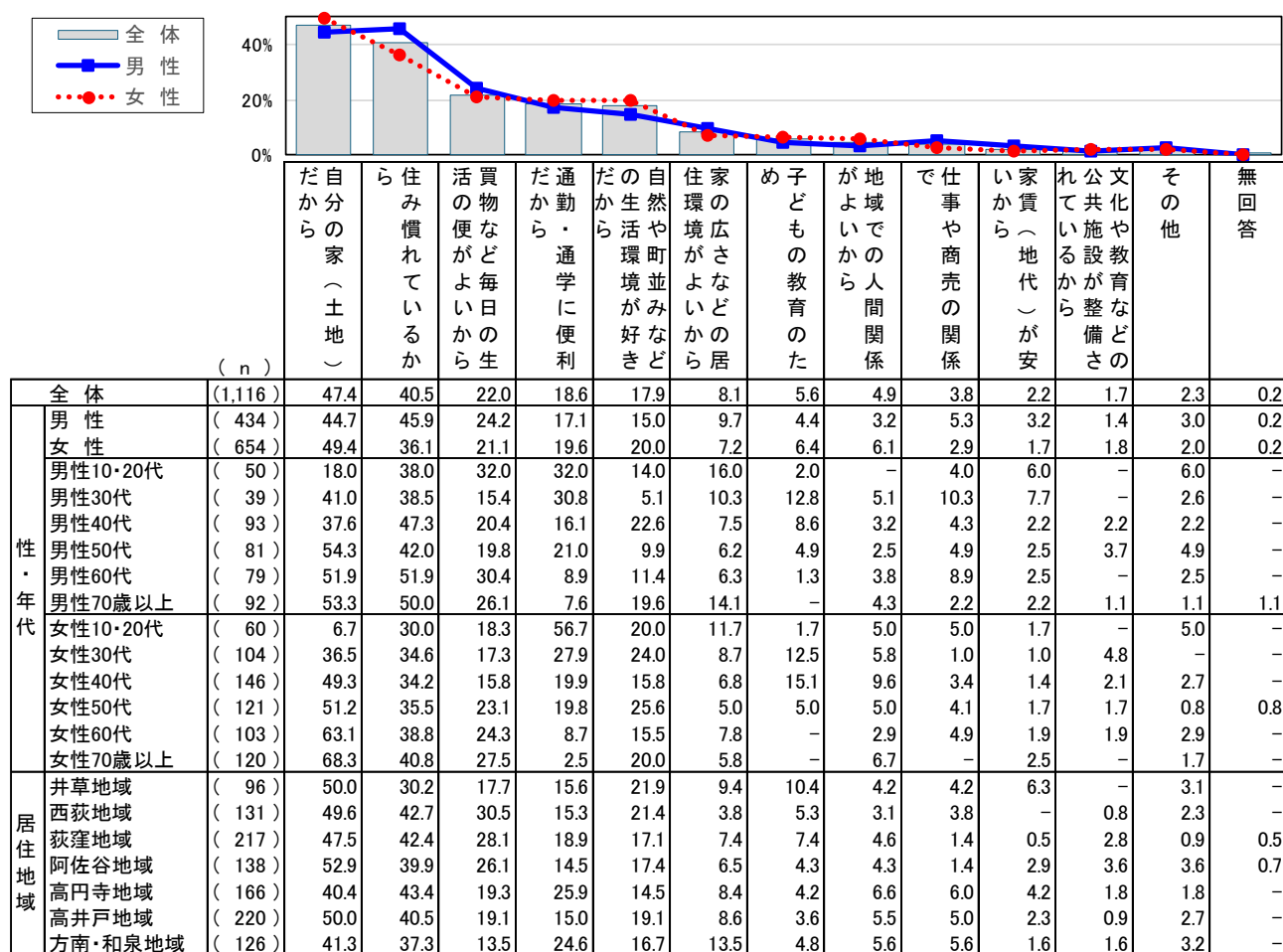
全体では、「自分の家(土地)だから」47.4%が最も高く、次いで「住み慣れているから」40.5%、「買物など毎日の生活の便がよいから」22.0%、「通勤・通学に便利だから」18.6%、「自然や町並みなどの生活環境が好きだから」17.9%までが上位5項目となる。

上位5項目を性別でみると、男性の「住み慣れているから」45.9%は女性 36.1%より高い。

性・年代では男女とも年代があがるほど「自分の家(土地)だから」「住み慣れているから」は高くなり、特に「自分の家(土地)だから」は男女とも50代以降では5割を超える。逆に「通勤・通学に便利だから」は年代が若い方が高くなっており、特に女性10・20代は56.7%と6割近くになっている。

居住地域でみると、西荻地域、荻窪地域、阿佐谷地域で「買物など毎日の生活の便がよいから」が3割程度、高円寺地域と方南・和泉地域で「通勤・通学に便利だから」が2割半ば程度と、他地域より高くなっている。

問2-1 住み続けたい理由【性・年代・居住地域別】

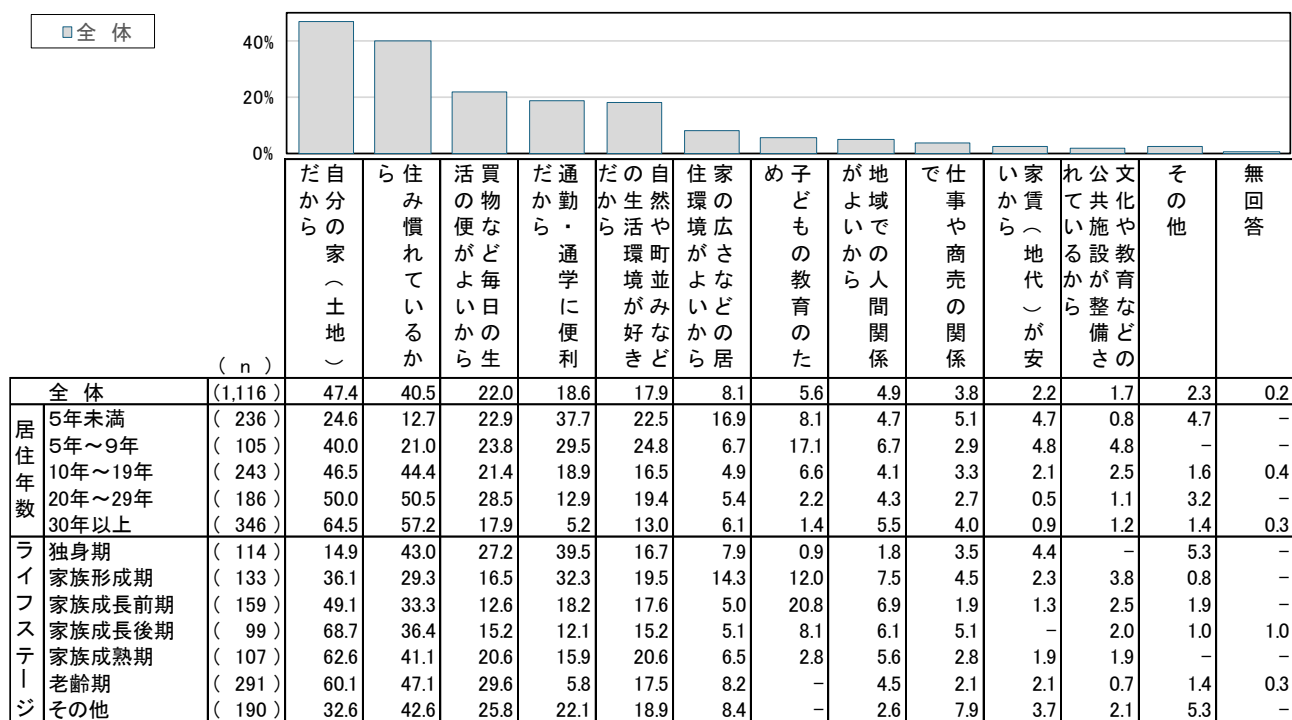


※全体の高い順

居住年数では、居住年数が長いほど「自分の家(土地)だから」「住み慣れているから」が高くなり、30年以上では6割前後に達している。逆に居住年数が短いほど「通勤・通学に便利だから」は高くなる。

ライフステージでみると、家族成長後期、家族成熟期、老齢期では「自分の家(土地)だから」が6割を超えている。独身期と家族形成期では「通勤・通学に便利だから」が3割を超え、他に比べて高い。

問2-1 住み続けたい理由【居住年数・ライフステージ別】



※全体の高い順

※ライフステージの分類は以下のとおりである。

- A. 独身期……………40歳未満の独身者
- B. 家族形成期……………40歳未満の子どもがいない夫婦またはパートナー同士
または一番上の子どもが入学前の人
- C. 家族成長前期……………一番上の子どもが小・中学生の人
- D. 家族成長後期……………一番上の子どもが高校・大学生の人
- E. 家族成熟期……………本人が64歳以下で、一番上の子どもが社会人の人
- F. 老齢期……………本人が65歳以上で、一番上の子どもが社会人の人
または65歳以上の独身者、65歳以上の子どもがいない
夫婦またはパートナー同士
- G. その他……………40歳以上64歳以下の独身者

（４） 転出したい理由

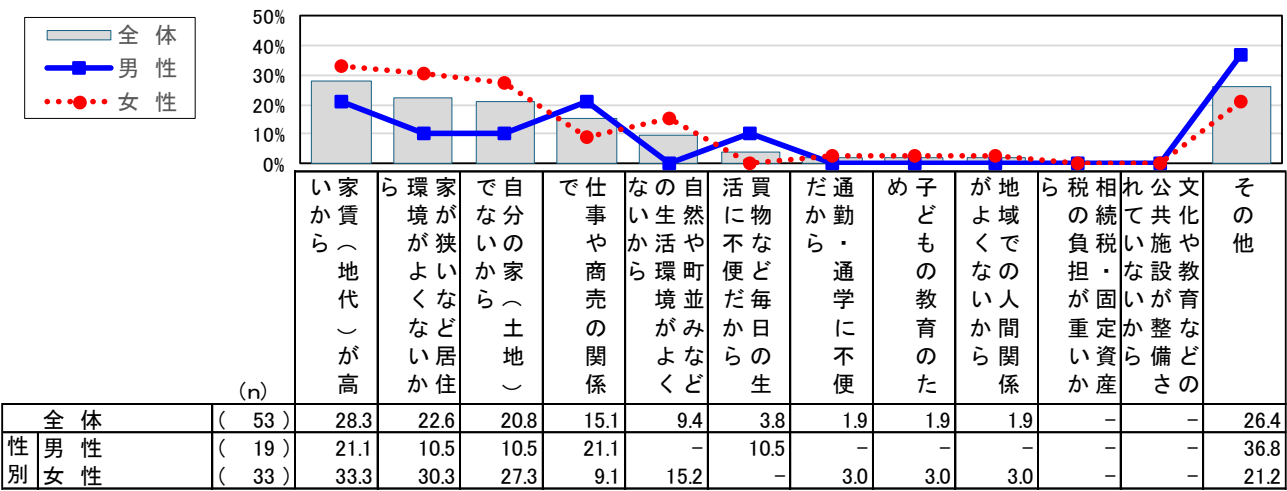
（問2で「できれば転居したい」「転居するつもり」と回答の方に）

問2－2 その主な理由は何ですか。（○は2つまで）

全体では「家賃(地代)が高いから」28.3%が最も高く、次いで「その他」26.4%、「家が狭いなど居住環境がよくないから」22.6%、「自分の家(土地)でないから」20.8%、「仕事や商売の関係で」15.1%の順になっている。

「その他」の具体的内容としては、「田舎にUターンを考えています」「実家の相続のため」「子どもの近くへ」「独立のため」などがあげられている。

問2－2 転出したい理由

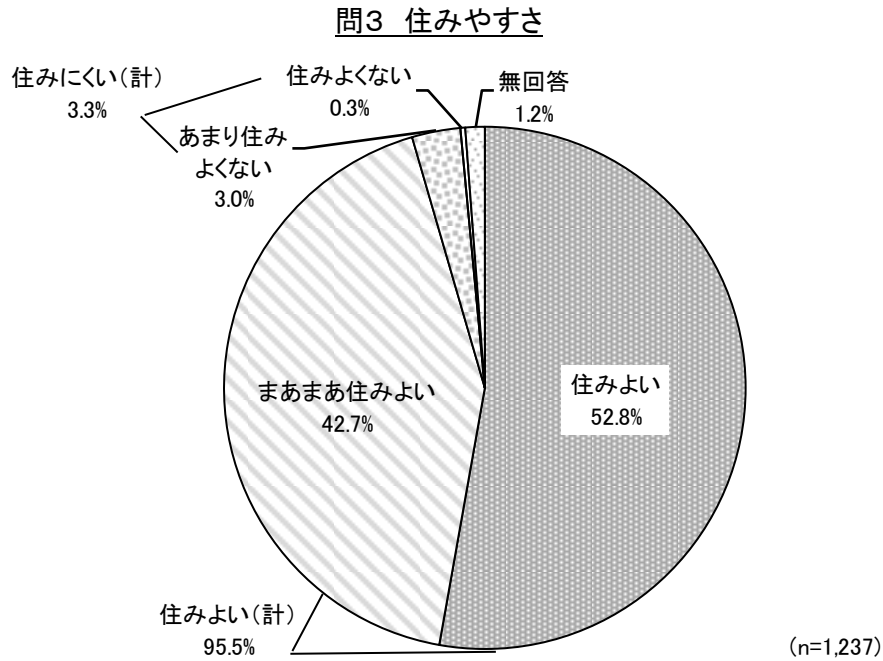


※全体の高い順/性別以外の分析軸は、すべて回答者数が少ないために表示しない

(5) 住みやすさ

問3 現在の杉並区は「住みよいまち」だと思いますか。(○は1つだけ)

全体では、「住みよい」52.8%が5割を超え、これに「まあまあ住みよい」42.7%を合わせた『住みよい(計)』95.5%は9割半ばに達している。一方、「あまり住みよくない」3.0%と「住みよくない」0.3%を合わせた『住みにくい(計)』3.3%は非常に低い。



過去の調査と比較すると、今年度の「住みよい」52.8%は令和2年度以来2回目の5割を超え、『住みよい(計)』95.5%は9割半ば程度と平成28年度以降、高い水準を維持している。

問3 住みやすさ【過年度比較】

	■ 住みよい □ まあまあ 住みよい □ 住みにくい (計) □ 無回答				%	住みよい (計)	住みにく い(計)
令和8年度	52.8 42.7 3.3				1.2	95.5	3.3
令和7年度	48.9 46.5 2.6				2.0	95.4	2.6
令和6年度	49.1 45.9 2.9				2.1	95.0	2.9
令和5年度	47.2 48.7 2.8				1.3	95.9	2.8
令和4年度	46.1 50.1 2.9				0.9	96.2	2.9
令和3年度	48.2 48.1 2.5				1.2	96.3	2.5
令和2年度	50.5 45.4 2.2				1.9	95.9	2.2
令和元年度	48.7 47.4 2.5				1.4	96.1	2.5
平成30年度	48.3 47.4 2.6				1.7	95.7	2.6
平成29年度	46.9 49.5 2.6				1.0	96.4	2.6
平成28年度	47.6 47.4 2.3				2.7	95.0	2.3

性別でみると、男女とも「住みよい」は5割を超え、『住みよい(計)』は9割半ばとほぼ同程度となっている。

性・年代では、女性30～40代で『住みよい(計)』はほぼ100%に達している。一方、女性60代は「住みよい」40.8%が最も低く、『住みよい(計)』87.5%は唯一、9割を下回っている。

居住地域でみると、各地域とも『住みよい(計)』は9割半ば程度で大きな違いはない。

問3 住みやすさ【性・年代・居住地域別】

		(n)	■ 住みよい □ まあまあ □ あまり □ 住みよい □ 無回答 よい　　住みよい　　住みよくない　　よくない				%	住み よい (計)	住み にくい (計)	
全 体		(1,237)	52.8		42.7	3.0	0.3	1.2	95.5	3.3
性 別 ・ 年 代	男性	(478)	55.0		40.8	2.9	0.6	0.6	95.8	3.6
	女性	(728)	51.6		43.7	3.0	0.1	1.5	95.3	3.2
	男性10・20代	(59)	55.9		40.7	1.7	1.7	1.7	96.6	3.4
	男性30代	(49)	46.9		46.9	6.1	6.1	93.9	6.1	
	男性40代	(95)	53.7		43.2	3.2	3.2	96.8	3.2	
	男性50代	(86)	55.8		40.7	1.2	2.3	96.5	3.5	
	男性60代	(87)	59.8		39.1	1.1	1.1	98.9	1.1	
	男性70歳以上	(102)	54.9		37.3	4.9	2.9	92.2	4.9	
	女性10・20代	(68)	47.1		47.1	4.4	1.5	94.1	4.4	
	女性30代	(122)	55.7		43.4	0.8	0.8	99.2	—	
	女性40代	(157)	55.4		44.6	100.0	—	—	—	
	女性50代	(133)	54.1		40.6	4.5	0.8	94.7	4.5	
	女性60代	(120)	40.8		46.7	7.5	5.0	87.5	7.5	
	女性70歳以上	(128)	53.1		41.4	3.1	0.8	1.6	94.5	3.9
居 住 地 域	井草地域	(106)	50.0		44.3	3.8	0.9	0.9	94.3	4.7
	西荻地域	(147)	59.2		38.1	2.0	0.7	97.3	2.0	
	荻窪地域	(243)	56.8		39.9	2.1	1.2	96.7	2.1	
	阿佐谷地域	(148)	52.0		42.6	2.0	1.1	3.4	94.6	2.0
	高円寺地域	(182)	47.8		45.6	4.9	0.5	93.4	6.0	
	高井戸地域	(249)	52.2		43.4	3.2	1.2	95.6	3.2	
	方南・和泉地域	(139)	50.4		45.3	3.6	0.7	95.7	4.3	

居住年数にかかわらず、『住みよい(計)』は9割半ば程度で大きな違いはない。

問3 住みやすさ【居住年数・ライフステージ別】

		(n)	■ 住みよい □ まあまあ住みよい ■ あまり住みよくない □ 住みよくない □ 無回答				%	住みよい (計)	住みにくい (計)
全 体		(1,237)	52.8	42.7	3.0	0.3	1.2	95.5	3.3
居住年数	5年未満	(272)	49.6	47.1	2.6	0.4	0.4	96.7	2.9
	5年～9年	(124)	56.5	39.5	4.0	0.0	0.4	96.0	4.0
	10年～19年	(257)	52.5	44.4	2.7	0.0	0.4	96.9	3.1
	20年～29年	(204)	54.9	41.7	1.5	0.5	1.5	96.6	2.0
	30年以上	(375)	53.6	40.5	4.0	0.3	1.6	94.1	4.3

(6) 生活環境の評価

問4 自宅周辺の生活環境についての評価をおたずねします。以下について、それぞれ1つだけに○をつけてください。

各項目の比較を簡単にするため、下式のように4段階評価に点数を与えて、各項目の評価を算出した。

$$\text{評価点} = \frac{\text{「良い」の回答数} \times 1 \text{点} + \text{「まあ良い」} \times 2 \text{点} + \text{「あまり良くない」} \times 3 \text{点} + \text{「悪い」} \times 4 \text{点}}{\text{回答者数}}$$

* この算出法では、「平均評価点」は、1.00点～4.00点の間に分布し、2.50点の中間点を中間値とし、1.00点に近いほど評価は良く、逆に4.00点に近いほど評価は悪いということを表した。

【交通の便】が評価点 1.49、「良い」57.0%、『良い(計)』93.9%で最も評価が高く、2番目は【買物の便】が評価点 1.59、「良い」51.3%、『良い(計)』90.3%となっている。次いで評価点では【みどりの豊かさ】が 1.68 で続く。【みどりの豊かさ】は『良い(計)』は 88.5%と9割を下回っているが「良い」が 43.2%と3番目に高く、評価点も高くなっている。

逆に評価が低いのは【騒音や排気ガス】【建物のこみ具合・日当たり】【日常や災害時の安全性】【交通の安全性】で評価点が2点台、「良い」が2割強、『良い(計)』は7割台にとどまっている。

問4 生活環境の評価

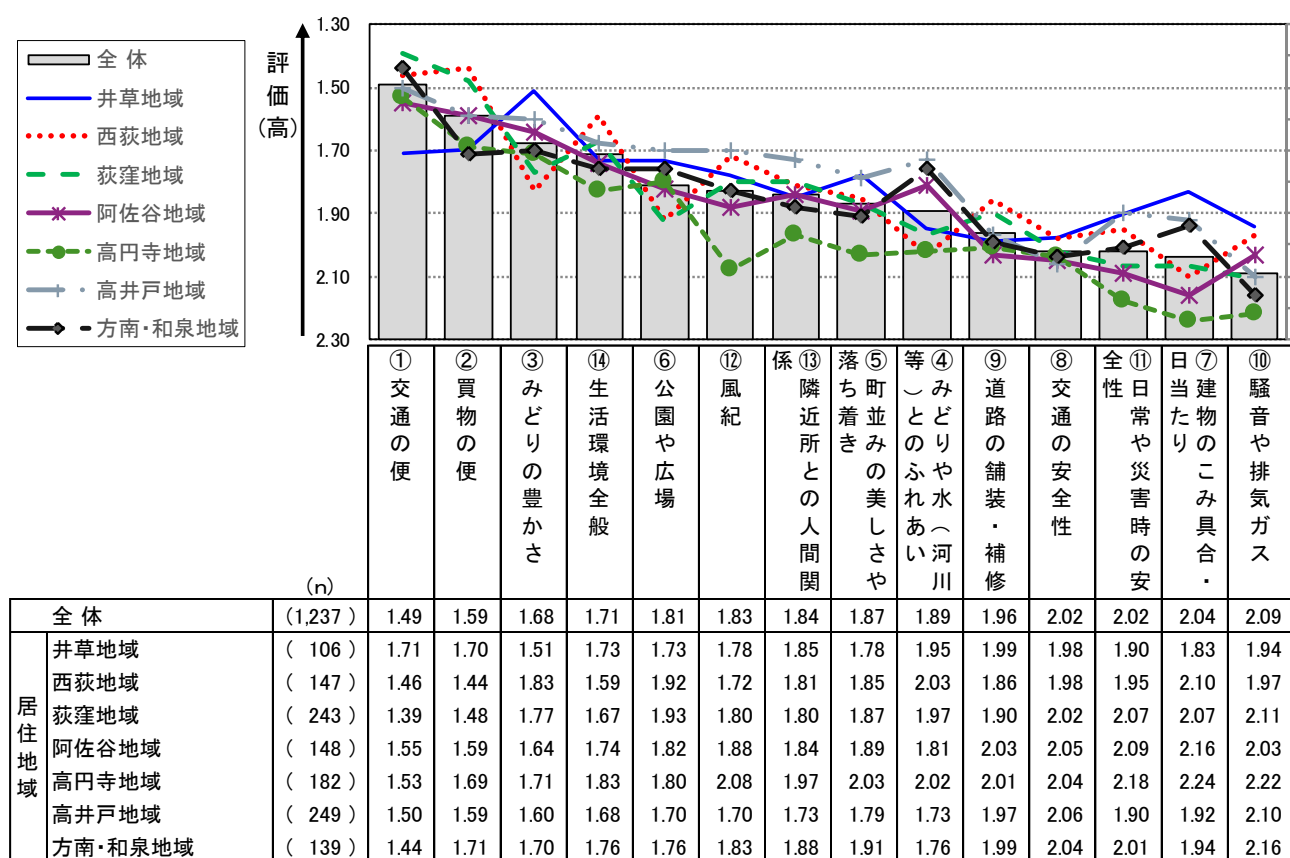
		■ 良い □ まあ良い □ あまり良くない □ 悪い □ 無回答						良い (計)	悪い (計)	評価点
(n=1,237)		%								
① 交通の便		57.0	36.9	4.9	0.9	0.3	93.9	5.7	1.49	
② 買物の便		51.3	39.0	8.1	1.1	0.5	90.3	9.2	1.59	
③ みどりの豊かさ		43.2	45.3	8.6	1.7	1.1	88.5	10.3	1.68	
⑭ 生活環境全般		32.6	63.1	3.2	0.9	0.6	95.6	3.7	1.71	
⑥ 公園や広場		36.1	48.4	12.3	2.6	0.6	84.6	14.9	1.81	
⑫ 風紀		28.3	61.7	7.6	1.8	0.6	90.0	9.4	1.83	
⑬ 隣近所との人間関係		26.6	63.6	7.8	1.4	0.6	90.2	9.1	1.84	
⑤ 町並みの美しさや落ち着き		28.9	56.0	13.3	1.5	0.3	84.9	14.8	1.87	
④ みどりや水(河川等)とのふれあい		33.0	47.3	16.4	2.7	0.6	80.3	19.1	1.89	
⑨ 道路の舗装・補修		24.3	57.6	14.8	2.8	0.5	81.9	17.6	1.96	
⑧ 交通の安全性		24.0	52.1	20.3	3.1	0.6	76.1	23.4	2.02	
⑪ 日常や災害時の安全性		20.3	59.4	16.2	3.0	1.1	79.7	19.2	2.02	
⑦ 建物のこみ具合・日当たり		24.3	51.3	19.5	4.6	0.4	75.5	24.1	2.04	
⑩ 騒音や排気ガス		22.0	51.7	20.9	5.0	0.4	73.6	25.9	2.09	

※全体の評価の高い順(評価点が1に近い順)

居住地域でみると、【交通の便】は荻窪地域の評価点 1.39 が最も 1 に近く、評価が高い。次いで方南・和泉地域、西荻地域の評価が高い。【買物の便】は西荻地域と荻窪地域の評価が高い。西荻地域は【生活環境全般】も最も評価が高く、【風紀】も高井戸地域に次いで評価が高い。

逆に井草地域は【交通の便】【買物の便】の評価が低く、【みどりの豊かさ】【建物のこみ具合・日当たり】の評価が最も高い。

問4 生活環境の評価点【居住地域別】



※全体の評価の高い順(評価点が1に近い順)

(7) 魅力を感じる地域

問5 あなたは、杉並区のどの地域に最も魅力を感じますか。(○は1つだけ)

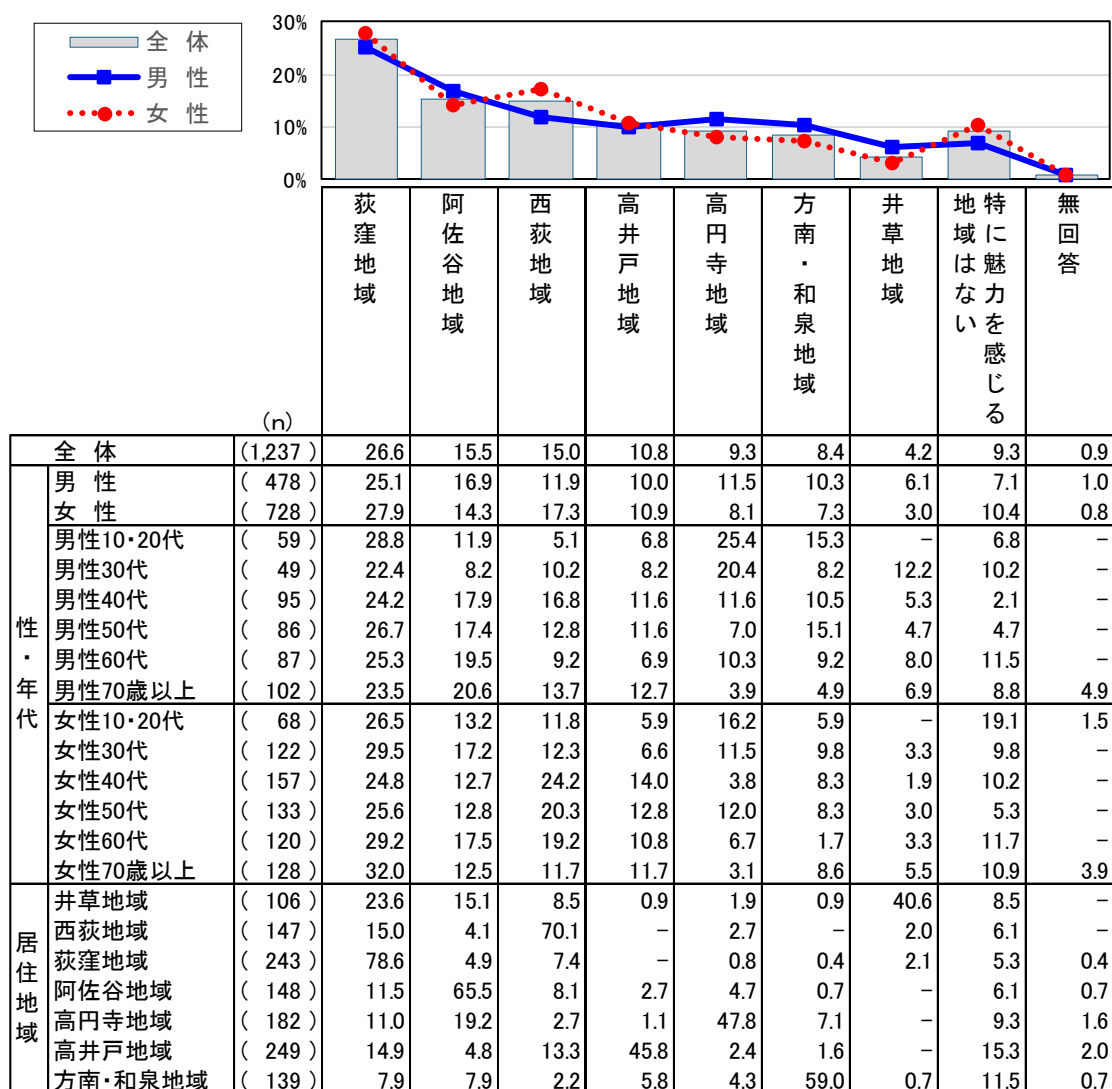
全体では、「荻窪地域」26.6%が最も高く、「阿佐谷地域」15.5%、「西荻地域」15.0%と続く。

性別でみると、女性の「西荻地域」17.3%は男性 11.9%より高く、「荻窪地域」27.9%に次いで2番目となっている。

性・年代では、男女とも全年代で「荻窪地域」が最も高くなっている。「阿佐谷地域」は男性の年齢が高い方が高い傾向があり、「高円寺地域」は男性 30 代以下、女性 10・20 代の若年層で高くなっている。

居住地域でみると、すべての地域で自分が居住している地域が高くなっている。特に西荻地域、荻窪地域では自分の居住地域を魅力的とする率が7割を超えている。

問5 魅力を感じる地域



※全体の高い順

(8) 魅力を感じる理由

(問5で「井草地域」「西荻地域」「荻窪地域」「阿佐谷地域」「高円寺地域」「高井戸地域」「方南・和泉地域」と回答の方に)

問5-1【地域選択理由】その理由を1つ選ぶとしたらどれですか。(〇は1つだけ)

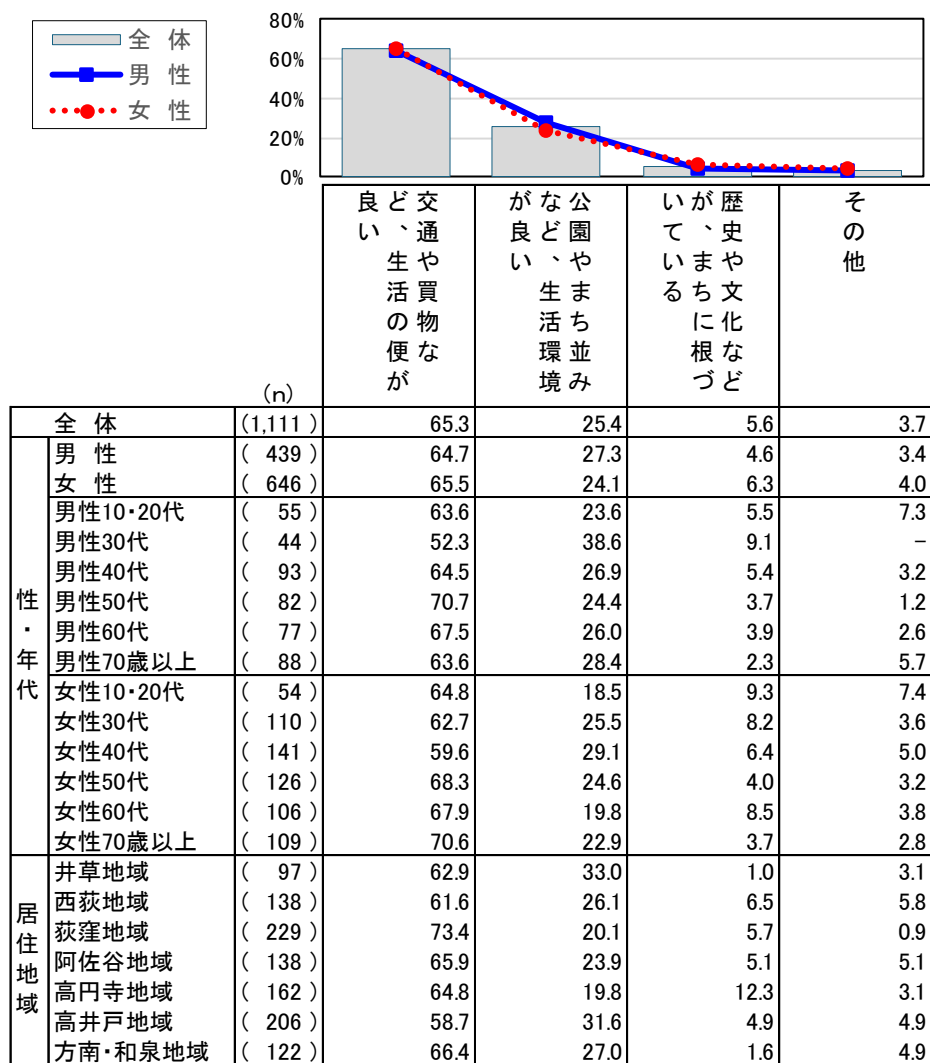
全体では「交通や買物など、生活の便が良い」65.3%が最も高く、「公園やまち並みなど、生活環境が良い」25.4%、「歴史や文化などが、まちに根づいている」5.6%となっている。

性別でみると、男女に大きな違いはない。

性・年代では、男性 50 代と女性 70 歳以上では「交通や買物など、生活の便が良い」が 7 割を超えている。男性 30 代では「公園やまち並みなど、生活環境が良い」38.6%が他年代に比べて高くなっている。

居住地域でみると、荻窪地域では「交通や買物など、生活の便が良い」73.4%が 7 割を超えている。井草地域と高井戸地域では「公園やまち並みなど、生活環境が良い」が 3 割を超え、他地域に比べて高くなっている。

問5-1 魅力を感じる理由



※全体の高い順

2. 地域防災について

(1) 家庭での防災対策の実施状況

(1) 家庭での防災対策の実施状況

問6 現在、あなたの家庭で行っている防災対策は何ですか。(〇はいくつでも)

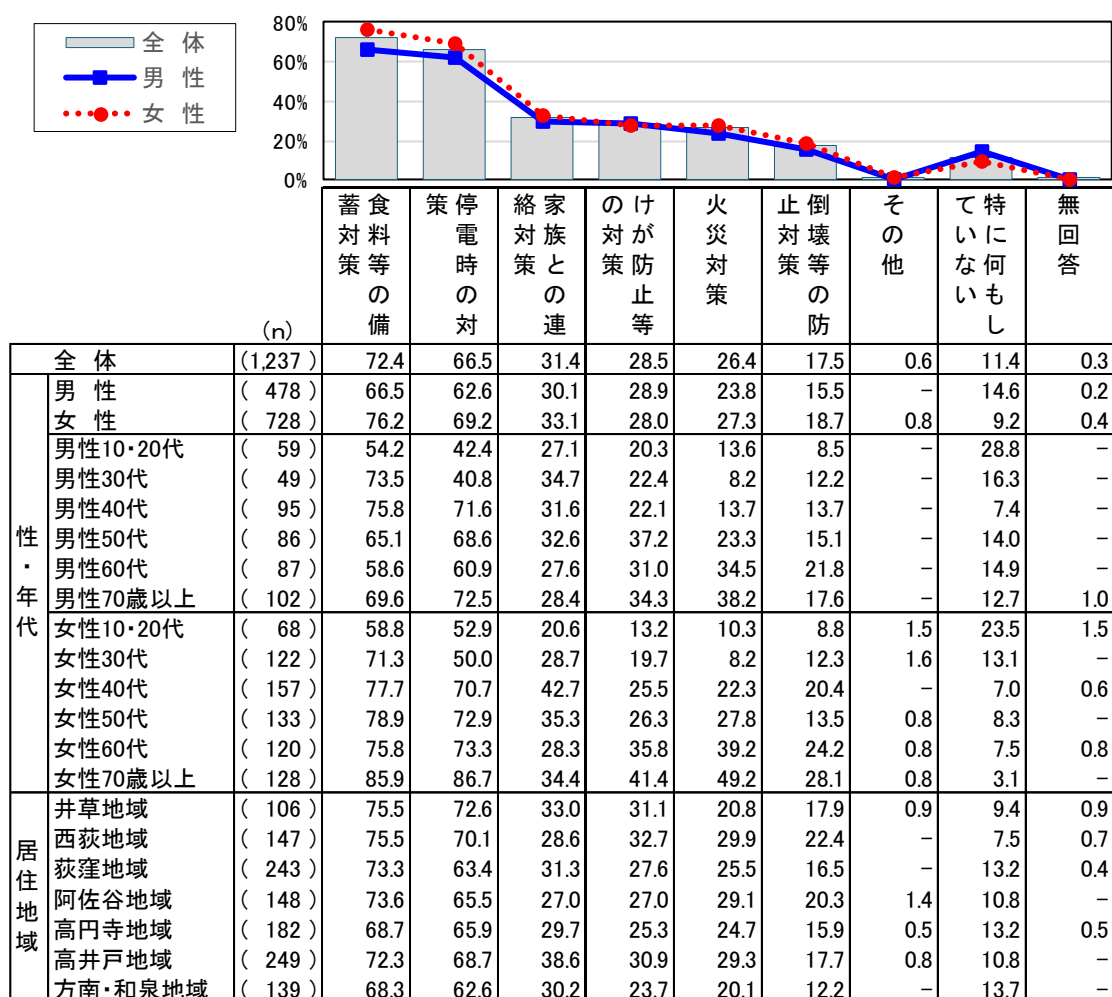
全体では、「食料等の備蓄対策」72.4%、「停電時の対策」66.5%の2項目が高くなっている。

性別でみると、「食料等の備蓄対策」は女性 76.2%、男性 66.5%、「停電時の対策」は女性 69.2%、男性 62.6%と、女性の方が男性より高くなっている。

性・年代では、「食料等の備蓄対策」は男女とも10・20代は6割を下回るが、男性30～40代、女性30代以降では7割を超え、特に女性70歳以上85.9%では8割半ばに達している。「停電時の対策」も同様の傾向で、男女とも30代以下は4割～5割強にとどまるが、40代以降は6割を超え、特に女性70歳以上86.7%では9割弱に達している。

居住地域でみると、高井戸地域で「家族との連絡対策」38.6%が他地域よりやや高い程度で大きな違いはない。

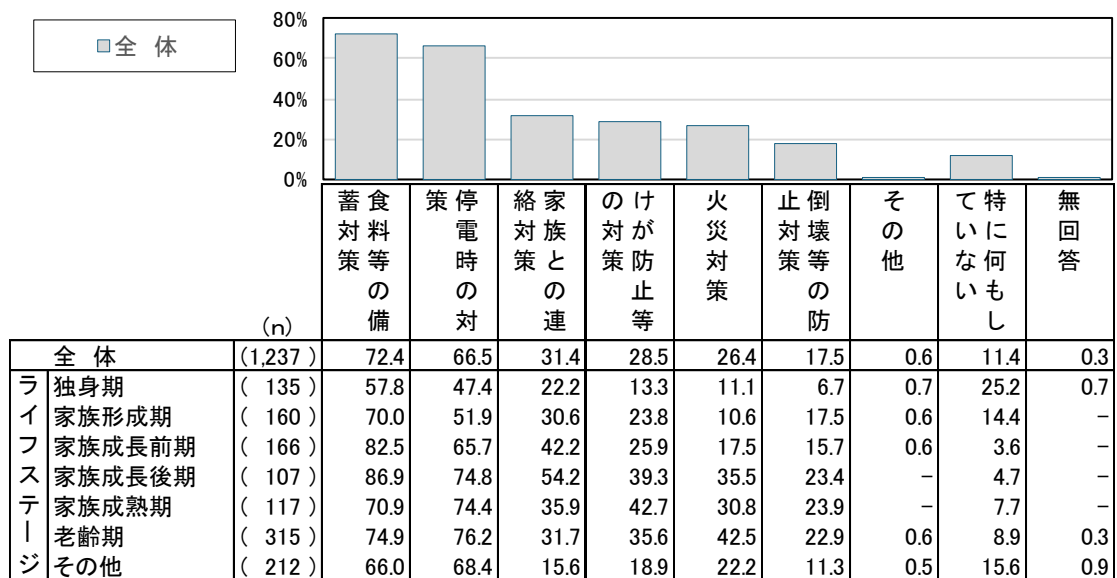
問6 家庭での防災対策の実施状況【性・年代・居住地域別】



※全体の高い順

ライフステージでみると、独身期では「特に何もしていない」25.2%が他に比べて高い。
 家族成長前期と家族成長後期では「食料等の備蓄対策」が8割を超え、「家族との連絡対策」も4割を超え、他に比べて高い。家族成長後期、家族成熟期、老齢期になると「停電時の対策」が7割を超え、「けが防止等の対策」が4割前後、「火災対策」が3～4割強と他に比べて高い。

問6 家庭での防災対策の実施状況【ライフステージ別】



※全体の高い順

※ライフステージの分類は以下のとおりである。

- A. 独身期……………40歳未満の独身者
- B. 家族形成期……………40歳未満の子どものない夫婦またはパートナー同士
または一番上の子どもが入学前の人
- C. 家族成長前期……………一番上の子どもが小・中学生の人
- D. 家族成長後期……………一番上の子どもが高校・大学生の人
- E. 家族成熟期……………本人が64歳以下で、一番上の子どもが社会人の人
- F. 老 齢 期……………本人が65歳以上で、一番上の子どもが社会人の人
または65歳以上の独身者、65歳以上の子どものない
夫婦またはパートナー同士
- G. その他……………40歳以上64歳以下の独身者

3. 狭あい道路拡幅整備について

(1) 「狭あい道路拡幅整備事業」に関する取組の認知度

(1) 「狭あい道路拡幅整備事業」に関する取組の認知度

問7 杉並区では、道幅4m未満の狭い道路(狭あい道路)を拡幅する事業「狭あい道路拡幅整備事業」を区民の皆様とともに進めています。あなたは、狭あい道路に関する次の取組をご存知ですか。(〇はいくつでも)

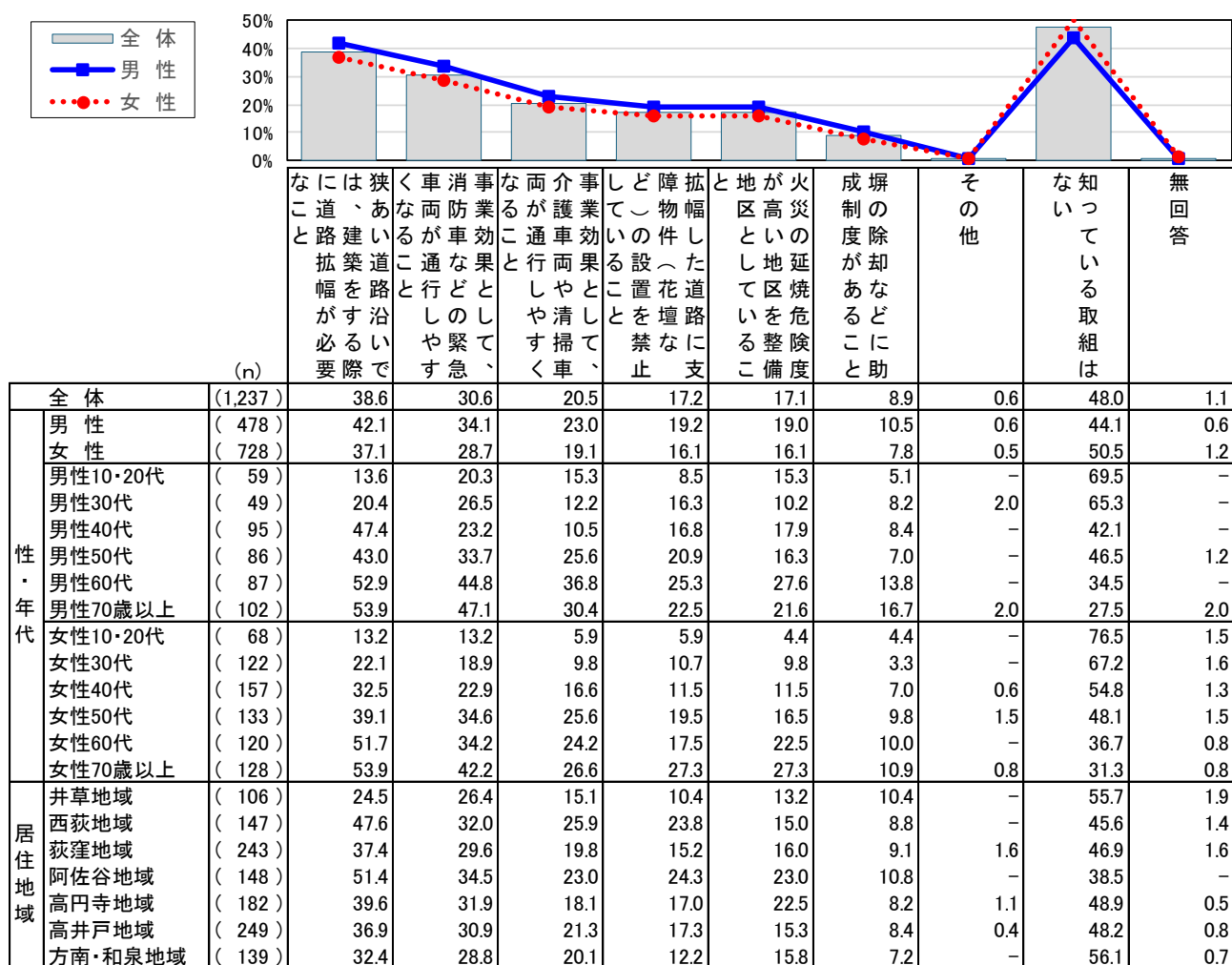
全体では、「狭あい道路沿いでは、建築をする際に道路拡幅が必要なこと」38.6%が最も高く、「事業効果として、消防車などの緊急車両が通行しやすくなること」30.6%、「事業効果として、介護車両や清掃車両が通行しやすくなること」20.5%、「拡幅した道路に支障物件(花壇など)の設置を禁止していること」17.2%、「火災の延焼危険度が高い地区を整備地区としていること」17.1%と続く。

性別でみると、それほど大きな差ではないが、男性の方が女性より全項目で認知率がやや高く、結果として「知っている取組はない」44.1%が女性 50.5%よりやや低くなっている。

性・年代では、男女とも若いほど「知っている取組はない」が高く、特に女性 10・20代 76.5%では8割弱に達している。

居住地域でみると、阿佐谷地域で「狭あい道路沿いでは、建築をする際に道路拡幅が必要なこと」51.4%が5割を超えている。

問7 「狭あい道路拡幅整備事業」に関する取組の認知度【性・年代・居住地域別】



※全体の高い順

4. 駅周辺の満足度について

-
- (1) 普段利用する駅
 - (2) 普段利用する駅までの交通手段
 - (3) 普段利用する駅周辺の満足度
 - (4) 普段利用する駅周辺で満足に感じていること
 - (5) 普段利用する駅周辺で不満に感じていること
-

(1) 普段利用する駅

問8 あなたが普段利用する駅はどこですか。(○は1つだけ)

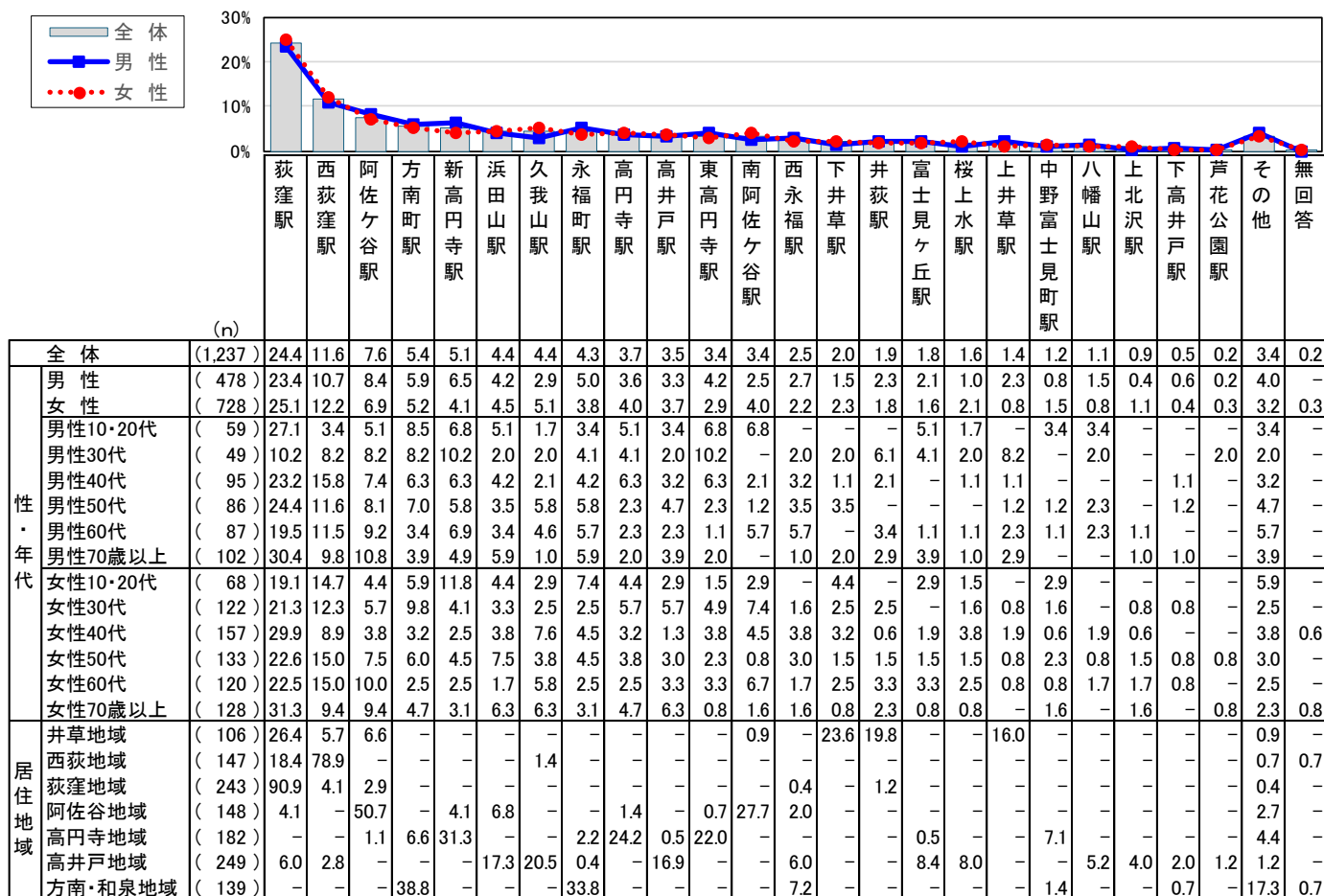
全体では、「荻窪駅」24.4%が最も高く、次いで「西荻窪駅」11.6%、「阿佐ヶ谷駅」7.6%、「方南町駅」5.4%、「新高円寺駅」5.1%と続く。

性別でみると、男女で大きな違いはみられない。

性・年代では、男女とも70歳以上で「荻窪駅」が3割を超えている。「西荻窪駅」は男性10・20代で低く、「新高円寺駅」は男性30代と女性10・20代で1割を超えている。

居住地域でみると、地域ごとに利用駅は違いがあり、西荻地域は「西荻窪駅」が78.9%、荻窪地域は「荻窪駅」が90.9%と大部分を占め、阿佐谷地域は「阿佐ヶ谷駅」が50.7%と過半数を占める。

問8 普段利用する駅【性・年代・居住地域別】



※全体の高い順

(2) 普段利用する駅までの交通手段

問9 あなたは、普段利用する駅まで、主にどの交通手段を利用していますか。(〇は1つだけ)

全体では、「徒歩」76.1%が大部分で、次いで「自転車」13.4%、「バス(すぎ丸を除く)」8.8%と続く。

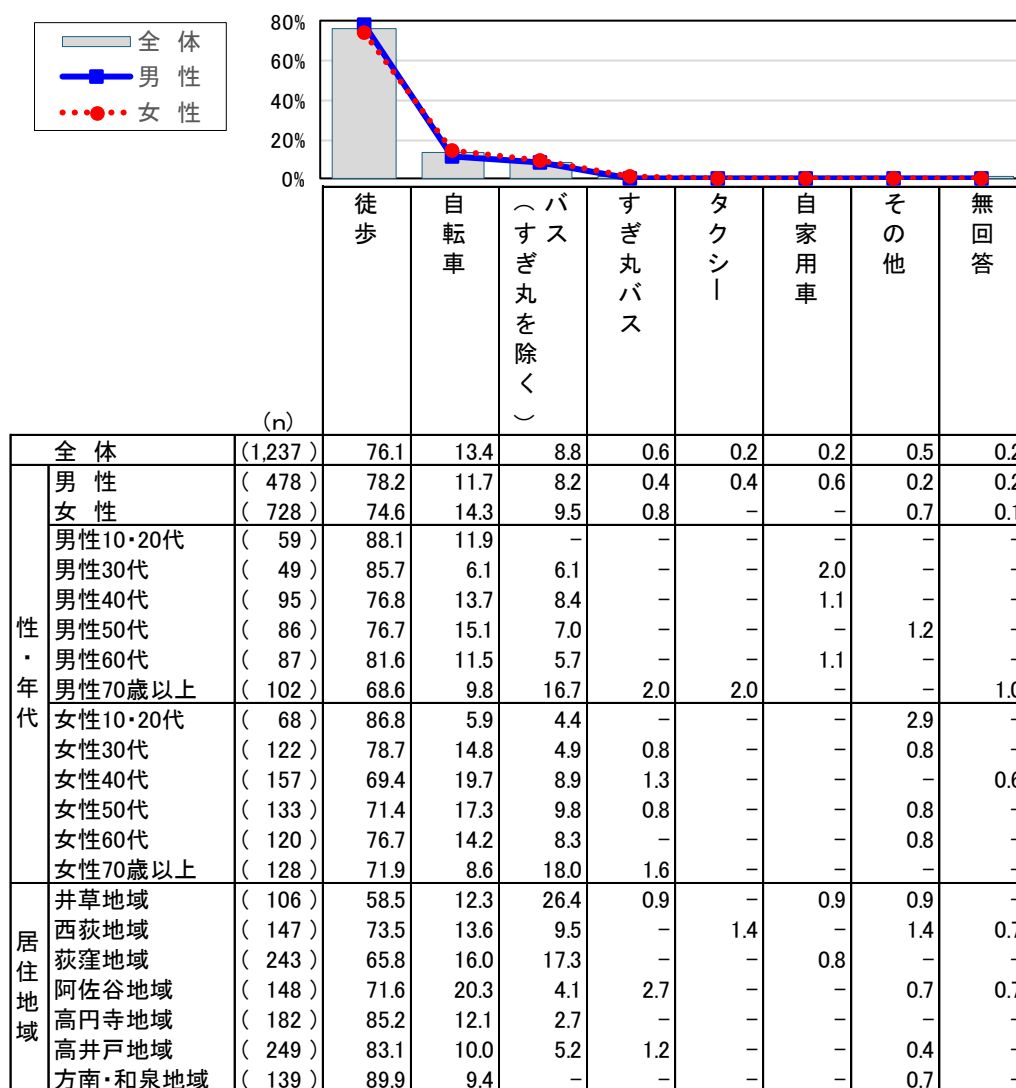
性別でみると、男性の「徒歩」78.2%は女性 74.6%よりやや高く、「自転車」11.7%が女性 14.3%よりやや低い。

性・年代では、男性 30 代以下、男性 60 代、女性 10・20 代は「徒歩」が 8 割を超えている。女性 40～50 代は「自転車」が 2 割弱で他年代より高く、男女とも 70 歳以上は「バス(すぎ丸を除く)」も 2 割弱で他年代より高くなっている。

居住地域でみると、井草地域は「徒歩」58.5%が 6 割を下回り、「バス(すぎ丸を除く)」26.4%が他地域より高くなっている。荻

窪地域も「徒歩」65.8%が 6 割半ばと低めで「バス(すぎ丸を除く)」17.3%が井草地域に次いで高い。阿佐谷地域は「自転車」20.3%が他地域より高くなっている。

問9 普段利用する駅までの交通手段【性・年代・居住地域別】

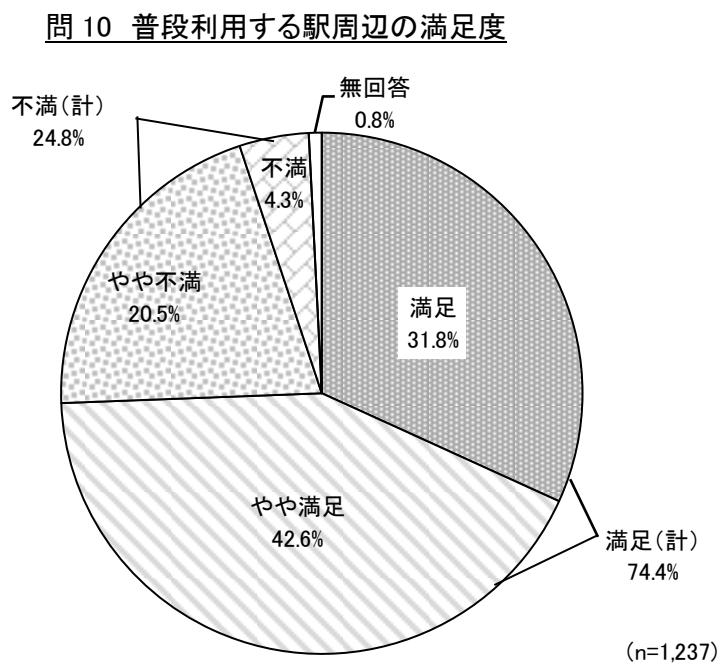


※全体の高い順

(3) 普段利用する駅周辺の満足度

問10 あなたが普段利用する駅周辺について、どの程度満足していますか。(最も近い意見1つに○)

全体では、「満足」31.8%が3割を超え、これに最も高い「やや満足」42.6%を合わせた『満足(計)』74.4%は7割を超えている。一方、「やや不満」20.5%と「不満」4.3%を合わせた『不満(計)』24.8%は3割を下回る。



性別でみると、男性の『満足(計)』78.7%は女性71.8%より高くなっている。

性・年代では、男性30代以下と50代で『満足(計)』は8割を超えている。女性の中では70歳以上78.1%が最も高い。

居住地域でみると、『満足(計)』は西荻地域と荻窪地域で8割前後と高くなっている。一方、『不満(計)』は井草地域と高井戸地域で3割を超えている。

問 10 普段利用する駅周辺の満足度【性・年代・居住地域別】

		(n)	■ 満足 □ やや満足 ▨ やや不満 □ 不満 □ 無回答					%	満足 (計)	不満 (計)
全 体		(1,237)	31.8 42.6 20.5 4.3					0.8	74.4	24.8
性・年代	男性	(478)	32.8 45.8 15.9 5.0					0.4	78.7	20.9
	女性	(728)	31.2 40.7 23.4 3.8					1.0	71.8	27.2
	男性10・20代	(59)	37.3 44.1 10.2 8.5						81.4	18.6
	男性30代	(49)	26.5 57.1 12.2 4.1						83.7	16.3
	男性40代	(95)	31.6 44.2 20.0 4.2						75.8	24.2
	男性50代	(86)	40.7 45.3 10.5					3.5	86.0	14.0
	男性60代	(87)	26.4 50.6 17.2 4.6					1.1	77.0	21.8
	男性70歳以上	(102)	33.3 39.2 20.6 5.9					1.0	72.5	26.5
	女性10・20代	(68)	38.2 35.3 22.1 4.4						73.5	26.5
	女性30代	(122)	32.0 38.5 28.7 0.8						70.5	29.5
	女性40代	(157)	28.7 40.8 24.8 4.5					1.3	69.4	29.3
	女性50代	(133)	30.8 41.4 20.3 6.8					0.8	72.2	27.1
	女性60代	(120)	27.5 40.8 25.8 4.2					1.7	68.3	30.0
	女性70歳以上	(128)	33.6 44.5 18.0 2.3					1.6	78.1	20.3
	居住地域	井草地域	(106)	23.6 38.7 28.3 9.4						62.3
西荻地域		(147)	39.5 40.1 17.0 2.7					0.7	79.6	19.7
荻窪地域		(243)	38.3 43.2 15.2 2.9					0.4	81.5	18.1
阿佐谷地域		(148)	34.5 42.6 18.9 2.7					1.4	77.0	21.6
高円寺地域		(182)	26.9 50.5 17.6 4.4					0.5	77.5	22.0
高井戸地域		(249)	24.9 41.8 26.9 5.6					0.8	66.7	32.5
方南・和泉地域		(139)	34.5 41.0 19.4 4.3					0.7	75.5	23.7

(4) 普段利用する駅周辺で満足に感じていること

(問10で「満足」「やや満足」と回答した方に)

問10-1 あなたが普段利用する駅周辺について、満足に感じていることは何ですか。(○は2つまで)

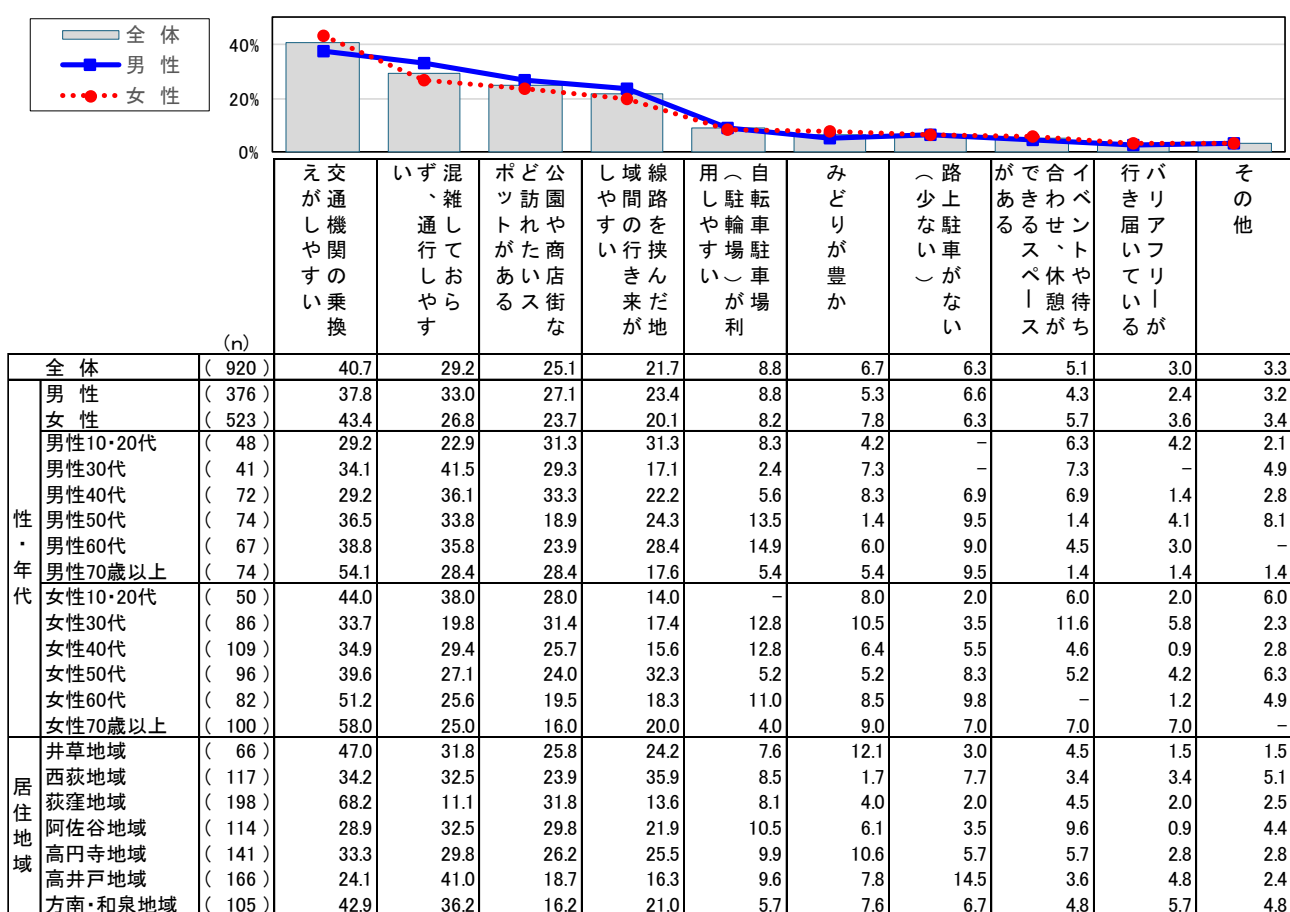
全体では「交通機関の乗換えがしやすい」40.7%が最も高く、「混雑しておらず、通行しやすい」29.2%、「公園や商店街など訪れたいスポットがある」25.1%、「線路を挟んだ地域間の行き来がしやすい」21.7%までが2割を超えている。

上位項目を性別でみると、女性は男性より「交通機関の乗換えがしやすい」が高く、逆に「混雑しておらず、通行しやすい」が低い。

性・年代では「交通機関の乗換えがしやすい」は男性70歳以上と女性60代以降で5割を超え、「混雑しておらず、通行しやすい」は男性30代で4割を超えている。「公園や商店街など訪れたいスポットがある」は男性40代以下と女性30代以下で3割前後と他より高くなっている。「線路を挟んだ地域間の行き来がしやすい」は、男性10・20代と女性50代で3割を超えている。

上位項目を居住地域でみると、「交通機関の乗換えがしやすい」は荻窪地域でほぼ7割と高い。「混雑しておらず、通行しやすい」は高井戸地域で4割を超え、「公園や商店街など訪れたいスポットがある」は荻窪地域と阿佐谷地域で3割前後と他より高くなっている。「線路を挟んだ地域間の行き来がしやすい」は、西荻地域で3割を超えている。

問 10-1 普段利用する駅周辺で満足に感じていること【性・年代・居住地域別】



※全体3%以上の項目の高い順

(5) 普段利用する駅周辺で不満に感じていること

(問10で「やや不満」「不満」と回答した方に)

問10-2 あなたが普段利用する駅周辺について、不満に感じていることは何ですか。(○は2つまで)

全体では「公園や商店街など訪れたいスポットがない(少ない)」31.3%が最も高く、「線路を挟んだ地域間の行き来がしづらい」25.1%、「自転車駐車場(駐輪場)が利用しづらい」22.8%、「混雑しており、通行しづらい」21.2%までが2割を超えている。

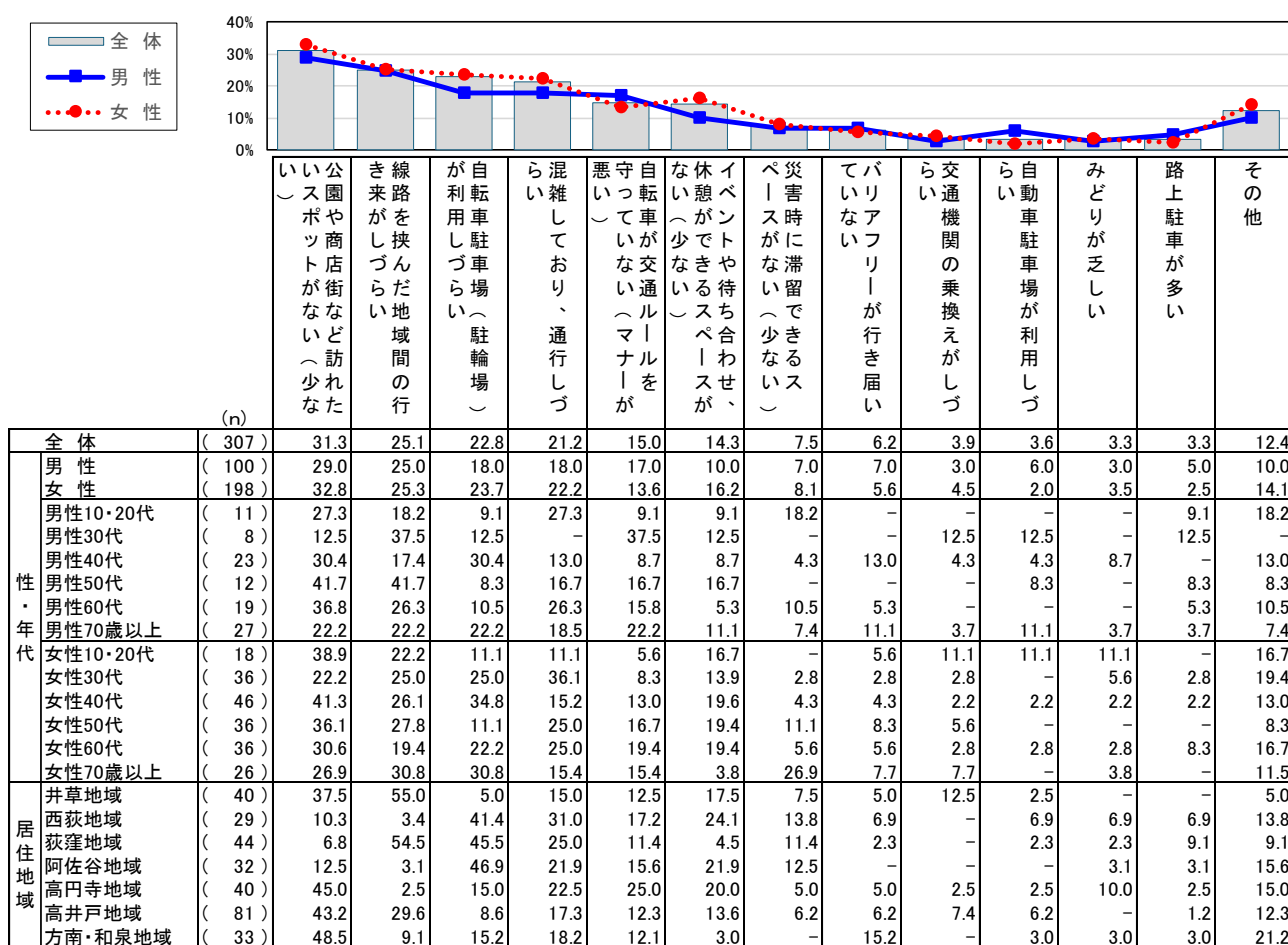
性別でみると、「自転車駐車場(駐輪場)が利用しづらい」で女性 23.7%、男性 18.0%、「イベントや待ち合わせ、休憩ができるスペースがない(少ない)」で女性 16.2%、男性 10.0%と女性の方が特に高い。

性・年代では、男性 50 代・女性 40 代で「公園や商店街など訪れたいスポットがない(少ない)」が4割を超えている。

上位項目を居住地域でみると、「線路を挟んだ地域間の行き来がしづらい」は井草地域と荻窪地域で5割半ばに達している。

「その他」の具体的回答としては「ポイ捨てが多く、汚い」「歩きタバコ、ポイ捨てが最近増えている」「道路が狭く、学生の通学と重なると更に歩きづらい」「小学生も通る道なのに車の通りが多くて危ない」「車道、歩道、幅が狭い」などがあげられている。

問 10-2 普段利用する駅周辺で不満に感じていること【性・年代・居住地域別】



※全体3%以上の項目の高い順

5. 商店街について

-
- (1) 商店街の魅力点
 - (2) 商店街のイベントへの参加状況
 - (3) 商店街の施設・設備の充実度
-

(1) 商店街の魅力点

問11 商店街について、どのような点を魅力に感じていますか。(〇はいくつでも)

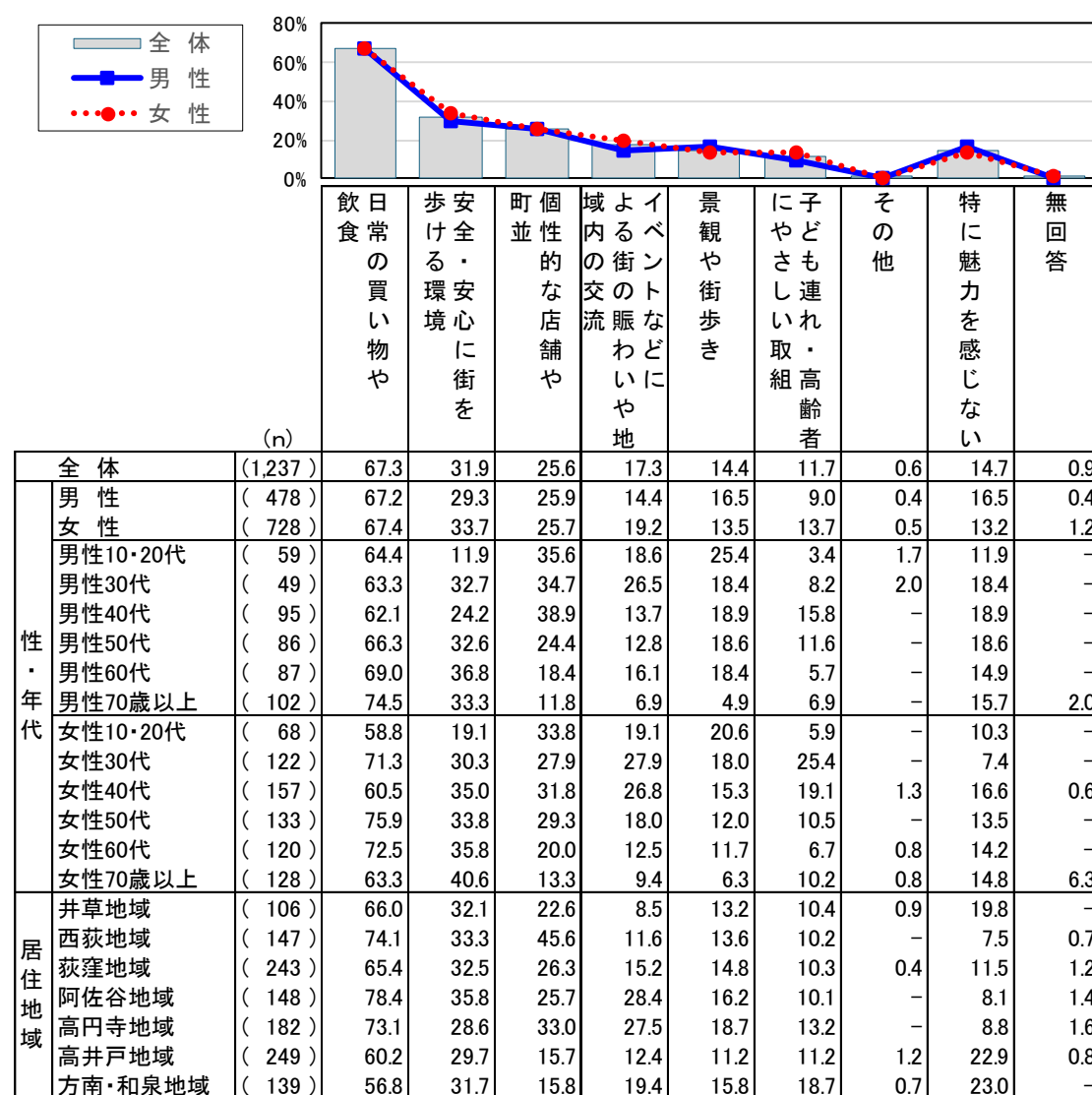
全体では、「日常の買い物や飲食」67.3%が最も高く、次いで「安全・安心に街を歩ける環境」31.9%、「個性的な店舗や町並」25.6%と続く。

性別でみると、男女で大きな違いはみられない。

性・年代では男女とも10・20代の若年層で「安全・安心に街を歩ける環境」が低くなっている。逆に「個性的な店舗や町並」「景観や街歩き」は男女とも若年層で高く、70歳以上で低くなっている。「イベントなどによる街の賑わいや地域内の交流」は男性30代、女性30～40代で他年代より高く、「子ども連れ・高齢者にやさしい取組」は男性40～50代、女性30～40代で他年代より高くなっている。

居住地域でみると、西荻地域は「個性的な店舗や町並」45.6%が4割を超え、阿佐谷地域と高円寺地域では「イベントなどによる街の賑わいや地域内の交流」が3割弱で他地域より高くなっている。方南・和泉地域では「日常の買い物や飲食」56.8%が他地域より低いが、「子ども連れ・高齢者にやさしい取組」18.7%は他地域より高くなっている。

問 11 商店街の魅力点【性・年代・居住地域別】



※全体の高い順

(2) 商店街のイベントへの参加状況

問12 過去1年間に、以下の商店街のイベントに参加したことがありますか。(〇はいくつでも)

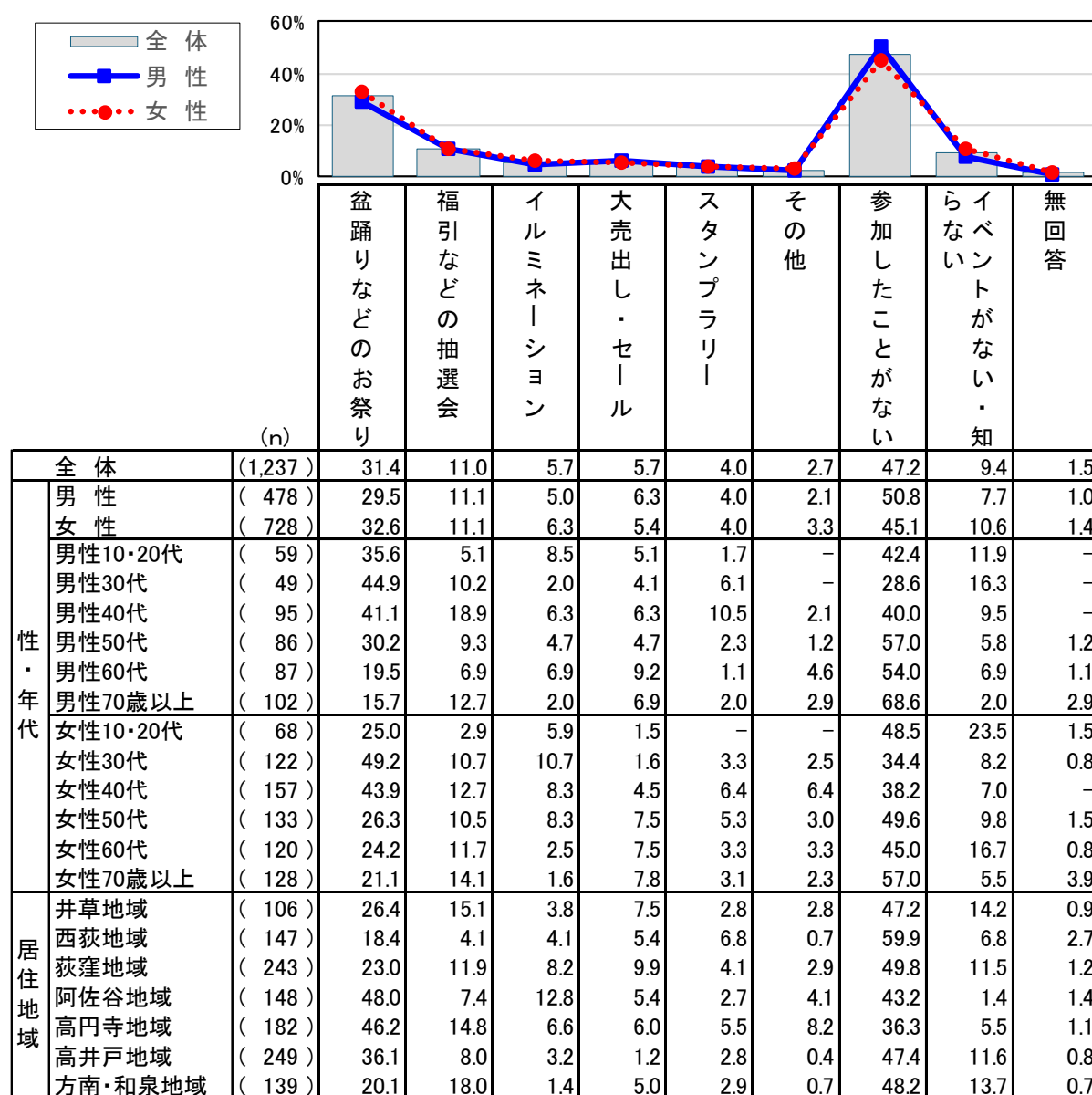
全体では、「参加したことがない」47.2%が半数弱に達している。これに「イベントがない・知らない」9.4%を加えたイベント非参加率は56.6%となり、何らかのイベントへの参加率は4割強となる。イベントでは「盆踊りなどのお祭り」31.4%が最も高く、次が「福引などの抽選会」11.0%となる。

性別でみると、男女で大きな違いはみられない。

性・年代では男女とも30～40代で「盆踊りなどのお祭り」が4割を超えている。男性40代では「福引などの抽選会」18.9%、「スタンプラリー」10.5%が他年代より高くなっている。

居住地域でみると、阿佐谷地域と高円寺地域では「盆踊りなどのお祭り」が5割弱と他地域より高くなっている。阿佐谷地域では「イルミネーション」12.8%も他地域より高くなっている。方南・和泉地域では「福引などの抽選会」18.0%が他地域より高くなっている。

問12 商店街のイベントへの参加状況【性・年代・居住地域別】



※全体の高い順

(3) 商店街の施設・設備の充実度

問13 商店街の施設・設備について、どのように感じていますか。(それぞれ最も近い意見1つに○)

商店街の設備では、【夜間照明】で「充実している」17.4%と「やや充実している」45.3%を合わせた『充実している(計)』62.7%は6割を超えている。一方、「あまり充実していない」「充実していない」を合わせた『充実していない(計)』では【アーケード】36.9%が最も高く、次いで【レンガ敷・カラー舗装など】25.4%となっている。

【アーケード】と【レンガ敷・カラー舗装など】では、『充実している(計)』は4割前後で差はないが、『充実していない(計)』は【アーケード】36.9%の方が【レンガ敷・カラー舗装など】25.4%より高い。

【防犯カメラ】は『充実している(計)』21.3%、『充実していない(計)』14.1%とも低く、「わからない」62.7%が6割を超えている。

問 13 商店街の施設・設備の充実度

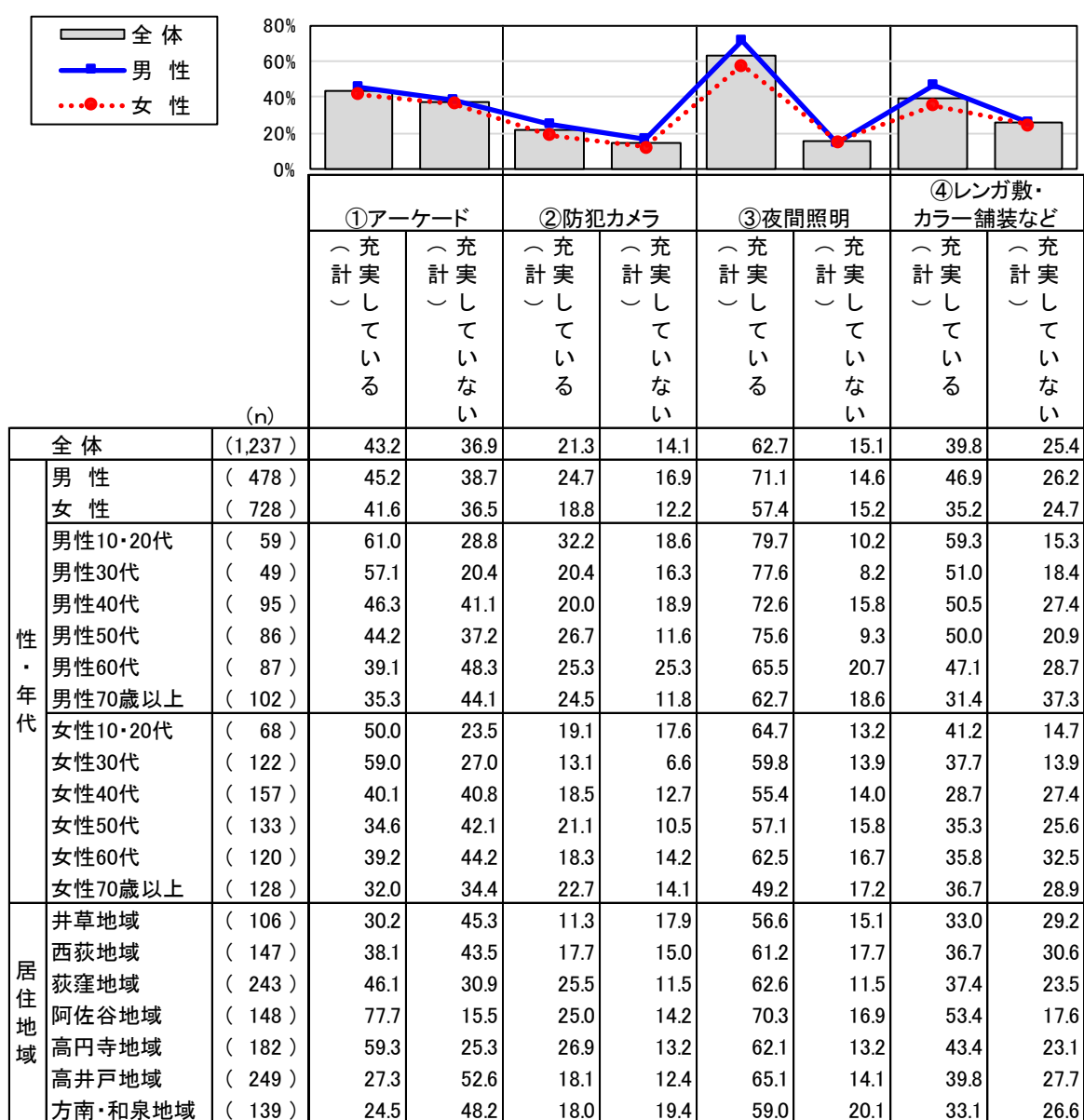
	(n=1,237)						%		
	■ 充実 して いる	□ やや充実 している	□ あまり 充実して いない	□ 充実 して いない	□ わから ない	□ 無回答		充実して いる (計)	充実して いない (計)
①アーケード	13.9	29.3	20.6	16.3	17.8			2.0 43.2	36.9
②防犯カメラ	5.0	16.2	10.5	3.6	62.7			2.0 21.3	14.1
③夜間照明	17.4	45.3	12.5	2.6	20.9			1.4 62.7	15.1
④レンガ敷・カラー舗装など	9.7	30.1	17.3	8.1	33.1			1.8 39.8	25.4

各設備の『充実している(計)』と『充実していない(計)』を性別でみると、全設備で男性の方が女性より『充実している(計)』が高くなっている。特に【夜間照明】は男性 71.1%の方が女性 57.4%より高くなっている。

性・年代では、【アーケード】は男女とも 30 代以下の若年層で『充実している(計)』は高く、年代があがると『充実している(計)』は低くなる。【夜間照明】は男女とも 70 歳以上で低い、特に女性 70 歳以上 49.2%では 5 割を下回っている。【レンガ敷・カラー舗装など】は男性 10・20 代で『充実している(計)』 59.3%がほぼ 6 割となっている。

居住地域でみると、阿佐谷地域では【アーケード】【夜間照明】とも『充実している(計)』が 7 割を超え各地域の中で最も高く、【レンガ敷・カラー舗装など】 53.4%も最も高くなっている。次いで高円寺地域の『充実している(計)』が全体的に高く、【アーケード】 59.3%、【レンガ敷・カラー舗装など】 43.4%は阿佐谷地域に次いで 2 番目、【防犯カメラ】 26.9%は最も高くなっている。

問 13 商店街の施設・設備の充実度【性・年代・居住地域別】



6. 農にふれあう機会について

(1) 農にふれあう機会の取組への参加状況

(1) 農にふれあう機会の取組への参加状況

問14 杉並区では、農にふれあう機会の提供を行っています。以下の取組について、あなたの参加状況を教えてください。(それぞれあてはまるものに○を1つ)

区が提供している農にふれあう機会では、【杉並産の野菜、果物や花の購入】の「取り組んだことがある」18.9%が最も高い。以下、【杉並産農産物を使ったレストランでの飲食】4.9%、【収穫体験への参加】4.5%、【区民農園や体験農園等で農作物を育てる】4.0%、【農業ボランティアの参加】0.5%と「取り組んだことがある」(参加率)は5%にとどかない。

「今後取り組みたい」では、【杉並産農産物を使ったレストランでの飲食】23.1%が最も高く、以下、【杉並産の野菜、果物や花の購入】19.6%、【区民農園や体験農園等で農作物を育てる】17.5%、【収穫体験への参加】17.1%までが2割弱となっており、【農業ボランティアの参加】も14.0%と、それぞれ今後参加率の向上が見込める。

問 14 農にふれあう機会の取組への参加状況

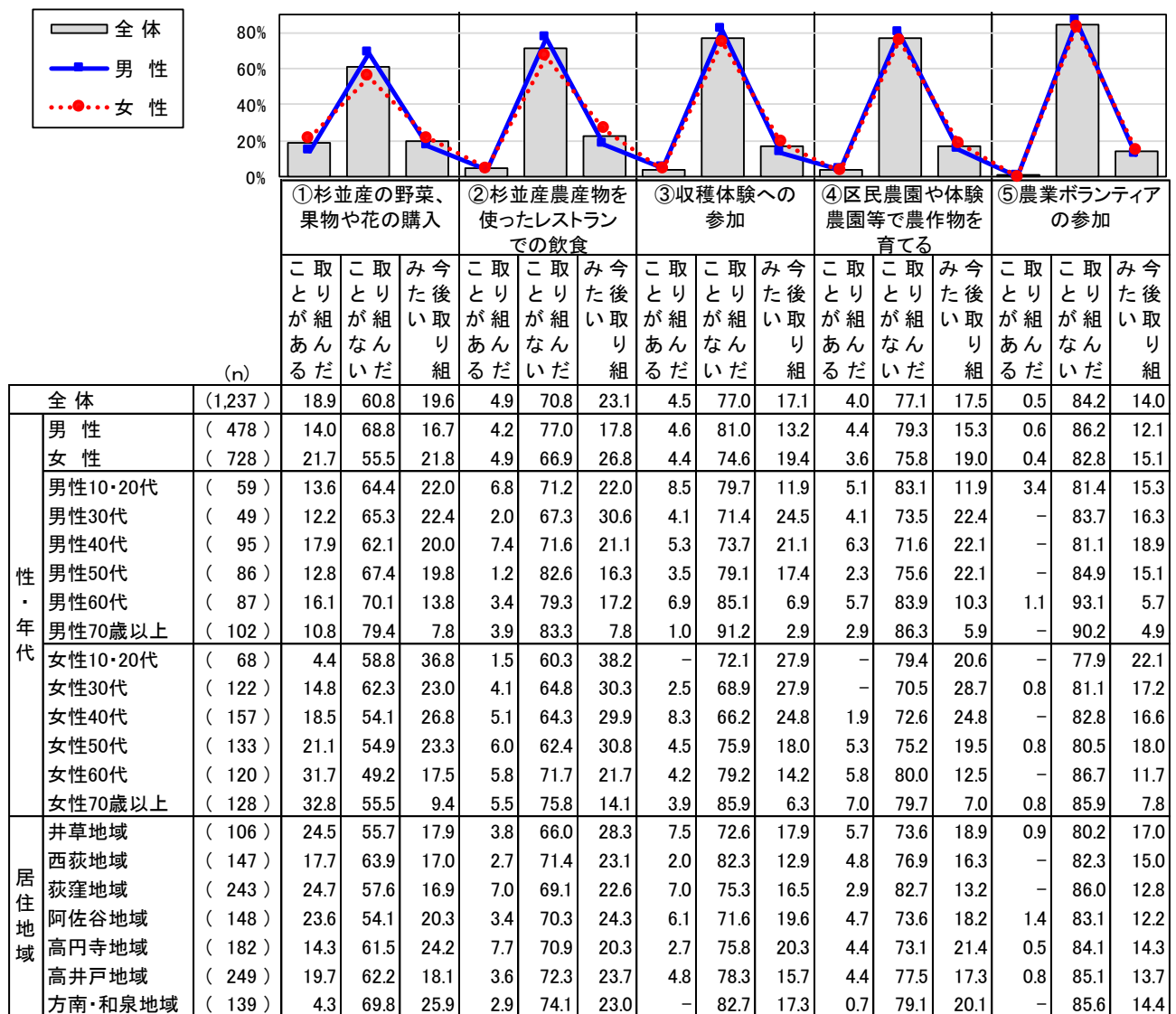
(n=1,237)		■ 取り組んだことがある □ 取り組んだことがない ▨ 今後取り組みたい □ 無回答			%
①杉並産の野菜、果物や花の購入	18.9	60.8	19.6		0.7
②杉並産農産物を使ったレストランでの飲食	4.9	70.8	23.1		1.2
③収穫体験への参加	4.5	77.0	17.1		1.5
④区民農園や体験農園等で農作物を育てる	4.0	77.1	17.5		1.4
⑤農業ボランティアの参加	0.5	84.2	14.0		1.4

性別でみると、【杉並産の野菜、果物や花の購入】は女性の方が「取り組んだことがある」「今後取り組みたい」とも2割を超え、男性の15%前後より高い。【杉並産農産物を使ったレストランでの飲食】【収穫体験への参加】【区民農園や体験農園等で農作物を育てる】【農業ボランティアの参加】とも「取り組んだことがある」は男女で差はないが、「今後取り組みたい」は女性の方が高い。特に【杉並産農産物を使ったレストランでの飲食】は女性では26.8%と3割弱になっている。

性・年代では、【杉並産の野菜、果物や花の購入】は、女性では年代があがると「取り組んだことがある」も高くなり、女性60代以降では3割を超えている。逆に「今後取り組みたい」は男性30代以降と女性では年代があがると低くなる傾向がある。

居住地域でみると、【杉並産の野菜、果物や花の購入】の「取り組んだことがある」は、井草地域、荻窪地域、阿佐谷地域で25%程度と高いのに対し、方南・和泉地域では4.3%と低い。

問 14 農にふれあう機会の取組への参加状況【性・年代・居住地域別】



7. 環境に配慮した行動について

(1) 環境に配慮した行動への取組

(1) 環境に配慮した行動への取組

問15 環境に配慮した行動への取組についておたずねします。あなたは、以下の取組を行っていますか。以下の取組について、それぞれあてはまるもの1つに○をつけてください。

環境に配慮した行動では、【できるだけ徒歩、自転車、公共交通機関を使って移動している】の「いつもしている」66.0%が最も高く、「おおむねしている」27.8%を合わせた『している(計)』93.9%は9割を超えている。次いで「いつもしている」が高いのは、【ごみの分別を徹底するなど、資源・リサイクル活動に取り組んでいる】55.6%、【マイバッグ持参や生ごみの水切りをするなど、ごみの減量に取り組んでいる】51.7%となっている。【ごみの分別を徹底するなど、資源・リサイクル活動に取り組んでいる】【マイバッグ持参や生ごみの水切りをするなど、ごみの減量に取り組んでいる】の『している(計)』も9割半ば程度と非常に高い。

一方、「あまりしていない」と「していない」を合わせた『していない(計)』が最も高いのは【省エネ性能の高い家電や再生品を購入するなど、環境に配慮した買物をしている】31.3%で3割を超えている。次いで【LED 照明など省エネ機器を使い、不要時は家電製品の電源を切っている】14.5%となっている。

問 15 環境に配慮した行動への取組

		■ いつも □ おおむね ■ あまり □ して □ 無回答 している している していない いない							している (計)	して いない (計)	
(n=1,237)		%									
①LED照明など省エネ機器を使い、 不要時は家電製品の電源を切っている	28.9 56.0 11.4 3.1								0.6	85.0	14.5
	15.0 53.0 26.5 4.8								0.8	67.9	31.3
③ごみの分別を徹底するなど、 資源・リサイクル活動に取り組んでいる	55.6 40.3 3.0 0.6								0.6	95.9	3.6
	51.7 42.1 5.2 0.6								0.4	93.9	5.7
⑤できるだけ徒歩、自転車、公共交通機関を 使って移動している	66.0 27.8 4.9 0.9								0.4	93.9	5.7

性別でみると、【ごみの減量に取り組んでいる】【公共交通機関を使って移動している】では、女性の方が男性より「いつもしている」は高い。

性・年代では、【省エネ機器を使い、不要時は電源を切る】は、男性 30 代以下で『していない(計)』が 2 割を超えて他年代より高い。

【環境に配慮した買物をしている】では、男女とも 70 歳以上で「おおむねしている」が 6 割前後と高い。

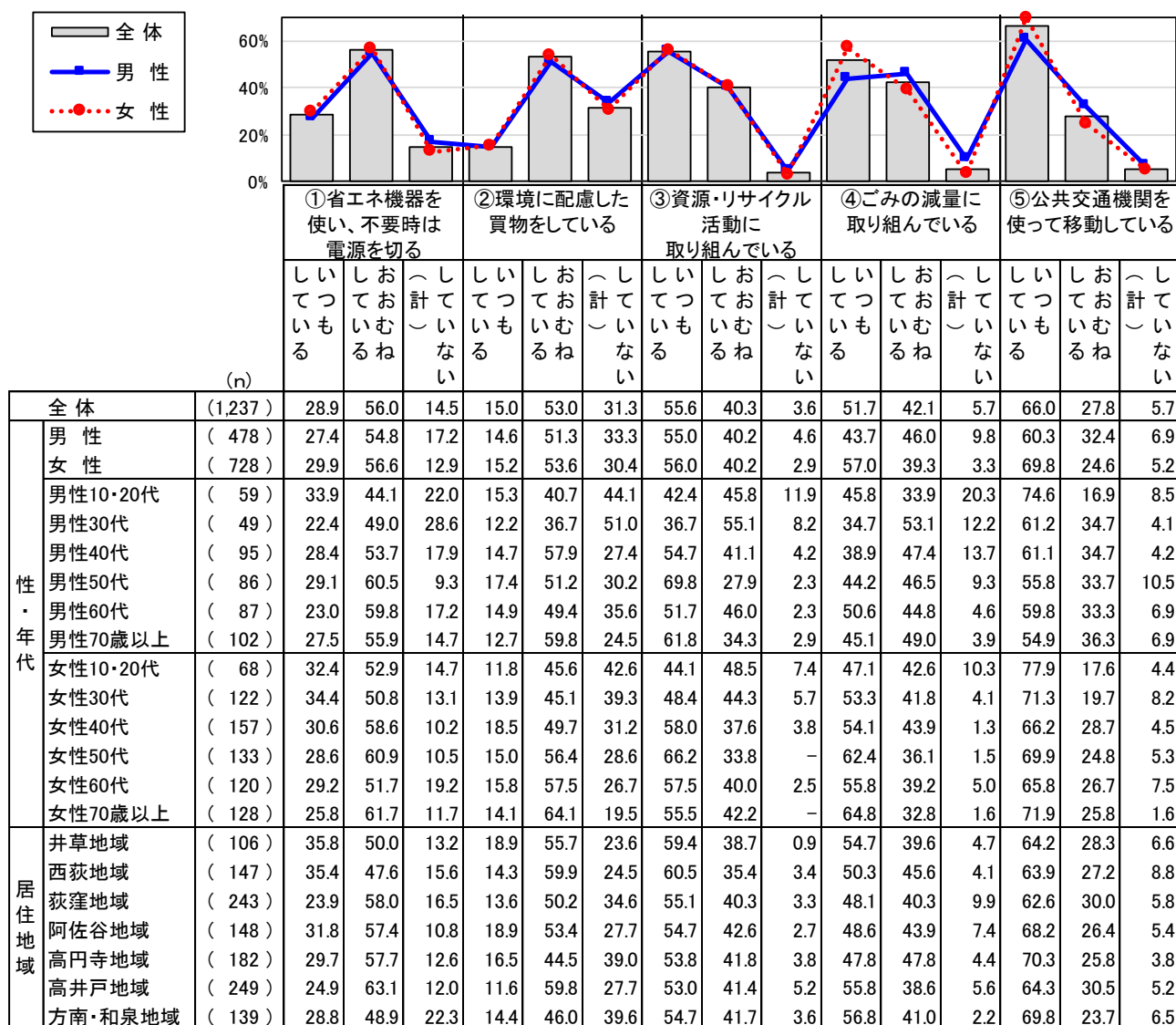
【資源・リサイクル活動に取り組んでいる】では、男女とも 50 代で「いつもしている」が 7 割弱に達している。

【ごみの減量に取り組んでいる】では、女性 50 代と 70 歳以上で「いつもしている」が 6 割を超えている。

【公共交通機関を使って移動している】では、男性 10・20 代、女性 30 代以下と女性 70 歳以上で「いつもしている」が 7 割を超えている。

居住地域でみると、【省エネ機器を使い、不要時は電源を切る】では方南・和泉地域の『していない(計)』22.3%が他地域より高く、【環境に配慮した買物をしている】では高円寺地域と方南・和泉地域の『していない(計)』がほぼ 4 割と他地域より高くなっている。

問 15 環境に配慮した行動への取組【性・年代・居住地域別】



8. グリーンインフラについて

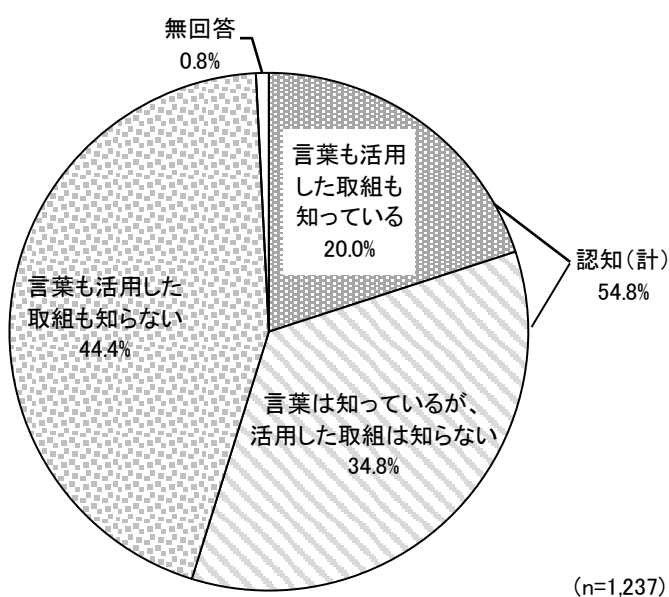
(1) グリーンインフラの認知度

(1) グリーンインフラの認知度

問16 近年、都市が抱える課題である都市型水害、ヒートアイランド現象、生物多様性の保全などに対応するため、自然の力を活用する「グリーンインフラ」が注目されています。あなたはグリーンインフラという言葉をご存知ですか。また、グリーンインフラを活用した取組について知っていますか。(グリーンインフラを活用した取組の例:木を植える、草花を大切に育てる、雨が浸み込む庭をつくる、など)(○は1つだけ)

全体では、「言葉も活用した取組も知らない」44.4%が最も高いが、「言葉も活用した取組も知っている」20.0%と「言葉は知っているが、活用した取組は知らない」34.8%を合わせた『認知(計)』54.8%は5割を超えている。

問 16 グリーンインフラの認知度



性別でみると、男性の『認知(計)』は57.5%で、女性52.9%よりやや高い。

性・年代では、男性40代と70歳以上、女性50代以降の『認知(計)』は6割を超えている。

居住地域でみると、西荻地域と荻窪地域では「言葉は知っているが、活用した取組は知らない」が4割を超え、『認知(計)』は6割前後に達している。

問 16 グリーンインフラの認知度【性・年代・居住地域別】

		(n)	言葉も活用 した取組も 知っている 言葉は知って いるが、活用した 取組は知らない 言葉も活用 した取組も 知らない 無回答			%	認知 (計)
全 体		(1,237)	20.0	34.8	44.4		0.8 54.8
性・ 年代	男性	(478)	20.7	36.8	41.6		0.8 57.5
	女性	(728)	19.4	33.5	46.4		0.7 52.9
	男性10・20代	(59)	25.4	28.8	45.8		54.2
	男性30代	(49)	10.2	36.7	53.1		46.9
	男性40代	(95)	23.2	37.9	38.9		61.1
	男性50代	(86)	23.3	33.7	41.9	1.2	57.0
	男性60代	(87)	19.5	31.0	49.4		50.5
	男性70歳以上	(102)	19.6	48.0	29.4	2.9	67.6
	女性10・20代	(68)	20.6	16.2	63.2		36.8
	女性30代	(122)	12.3	31.1	55.7	0.8	43.4
	女性40代	(157)	16.6	29.3	53.5	0.6	45.9
	女性50代	(133)	27.8	33.8	38.3		61.6
	女性60代	(120)	20.8	39.2	40.0		60.0
	女性70歳以上	(128)	18.8	44.5	34.4	2.3	63.3
居住 地域	井草地域	(106)	15.1	36.8	47.2	0.9	51.9
	西荻地域	(147)	19.7	40.8	39.5		60.5
	荻窪地域	(243)	17.3	41.6	39.1	2.1	58.9
	阿佐谷地域	(148)	22.3	31.1	46.6		53.4
	高円寺地域	(182)	20.3	29.7	49.5	0.5	50.0
	高井戸地域	(249)	24.9	30.1	44.6	0.4	55.0
	方南・和泉地域	(139)	17.3	35.3	46.8	0.7	52.6

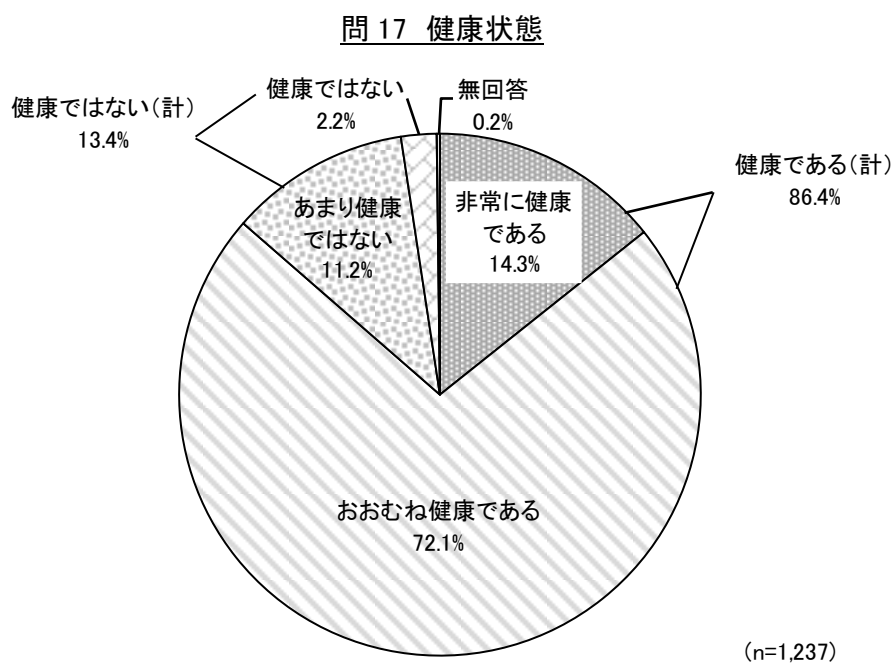
9. 健康と医療について

-
- (1) 健康状態
 - (2) かかりつけ医療機関の有無
 - (3) 救急医療体制への不安感
 - (4) 不安を感じている診療科目
 - (5) 自殺対策
-

(1) 健康状態

問17 あなたは、ご自身の健康状態をどのように感じていますか。(○は1つだけ)

全体では、「おおむね健康である」72.1%が7割を超え、これに「非常に健康である」14.3%を合わせた『健康である(計)』86.4%は8割半ばを超えている。一方、「あまり健康ではない」11.2%と「健康ではない」2.2%を合わせた『健康ではない(計)』13.4%は1割強にとどまる。



性別でみると、男女で大きな違いはみられない。

性・年代では、男女とも40代までは『健康である(計)』が9割を超えているが、以降は減少し、男性60代以降、女性70歳以上で7割台となる。「非常に健康である」は男性10・20代でほぼ4割と高く、女性の中では30代以下で2割台と高くなっている。

居住地域でみると、大きな違いはない。

問 17 健康状態【性・年代・居住地域別】

		(n)	■ 非常に健康である □ おおむね健康である ▨ あまり健康ではない □ 健康ではない □ 無回答				%	健康である (計)	健康ではない (計)
全 体		(1,237)	14.3	72.1	11.2	2.2	0.2	86.4	13.4
性・年代	男性	(478)	17.2	67.4	12.6	2.7	0.2	84.5	15.3
	女性	(728)	12.6	75.3	10.2	1.8	0.1	87.9	12.0
	男性10・20代	(59)	40.7	50.8	8.5			91.5	8.5
	男性30代	(49)	16.3	77.6	6.1			93.9	6.1
	男性40代	(95)	23.2	68.4	8.4			91.6	8.4
	男性50代	(86)	23.3	59.3	14.0		3.5	82.6	17.4
	男性60代	(87)	3.4	71.3	18.4	6.9		74.7	25.3
	男性70歳以上	(102)	4.9	74.5	15.7	3.9	1.0	79.4	19.6
	女性10・20代	(68)	22.1	69.1	5.9		2.9	91.2	8.8
	女性30代	(122)	29.5	66.4	3.3		0.8	95.9	4.1
	女性40代	(157)	13.4	78.3	7.0	0.6	0.6	91.7	7.6
	女性50代	(133)	8.3	78.2	11.3		2.3	86.5	13.5
女性60代	(120)	5.0	80.0	13.3		1.7	85.0	15.0	
女性70歳以上	(128)	2.3	75.8	18.8		3.1	78.1	21.9	
居住地域	井草地域	(106)	11.3	72.6	12.3	2.8	0.9	84.0	15.1
	西荻地域	(147)	11.6	76.2	12.2		1.2	87.8	12.2
	荻窪地域	(243)	16.0	74.9	7.4		0.4	90.9	8.6
	阿佐谷地域	(148)	13.5	70.3	11.5	4.7		83.8	16.2
	高円寺地域	(182)	14.3	68.7	13.2	3.8		83.0	17.0
	高井戸地域	(249)	14.9	73.1	10.8		1.2	88.0	12.0
	方南・和泉地域	(139)	17.3	66.2	14.4		2.2	83.5	16.5

職業でみると、年齢が高いと思われる無職では『健康である(計)』73.0%が他より低くなっている。逆に、回答者数が少なく参考程度となるが、年齢が若いと思われる学生は「非常に健康である」が6割を超えている。

問 17 健康状態【職業別】

		■ 非常に健康である □ おおむね健康である ■ あまり健康ではない □ 健康ではない □ 無回答							健康である (計)	健康ではない (計)	
		(n)						%			
全 体		(1,237)	14.3	72.1			11.2	2.2	0.2	86.4	13.4
職 業	自営業・事業主	(124)	16.9	66.1			13.7		3.2	83.1	16.9
	自由業	(25)	12.0	68.0			20.0			80.0	20.0
	事務職・技術職	(445)	19.3	71.2			8.1	1.1	0.2	90.6	9.2
	労務職・サービス	(182)	11.5	79.1			8.2		1.1	90.7	9.3
	主婦・主夫	(211)	9.5	77.7			11.4		1.4	87.2	12.8
	学生	(24)	62.5	25.0		12.5				87.5	12.5
	無職	(159)	4.4	68.6			18.9	7.5	0.6	73.0	26.4
	その他	(46)	4.3	78.3			17.4			82.6	17.4

(2) かかりつけ医療機関の有無

問18 あなたは、かかりつけ医療機関を決めていますか。(それぞれあてはまるもの1つに○)

かかりつけ医療機関の有無では、【かかりつけ歯科医】で「決めており、定期的に受診(利用)している」58.2%と「決めてはいるが、最近を受診(利用)していない」17.4%を合わせた『決めている(計)』は75.6%と7割半ばに達している。

【かかりつけ医】は「決めており、定期的に受診(利用)している」は47.6%、『決めている(計)』は65.8%で、【かかりつけ薬局】は「決めており、定期的に受診(利用)している」は42.4%、『決めている(計)』は53.7%となっている。

問 18 かかりつけ医療機関の有無

(n=1,237)		☒ 決めており、定期的に受診(利用)している ☐ 決めてはいるが、最近を受診(利用)していない ☐ 特に決めてはいない ☐ 必要がない ☐ 無回答				%		決めて いる (計)
①かかりつけ医		47.6	18.2	32.3	1.6	0.3	65.8	
②かかりつけ歯科医		58.2	17.4	21.9	1.9	0.6	75.6	
③かかりつけ薬局		42.4	11.2	43.6	2.1	0.6	53.7	

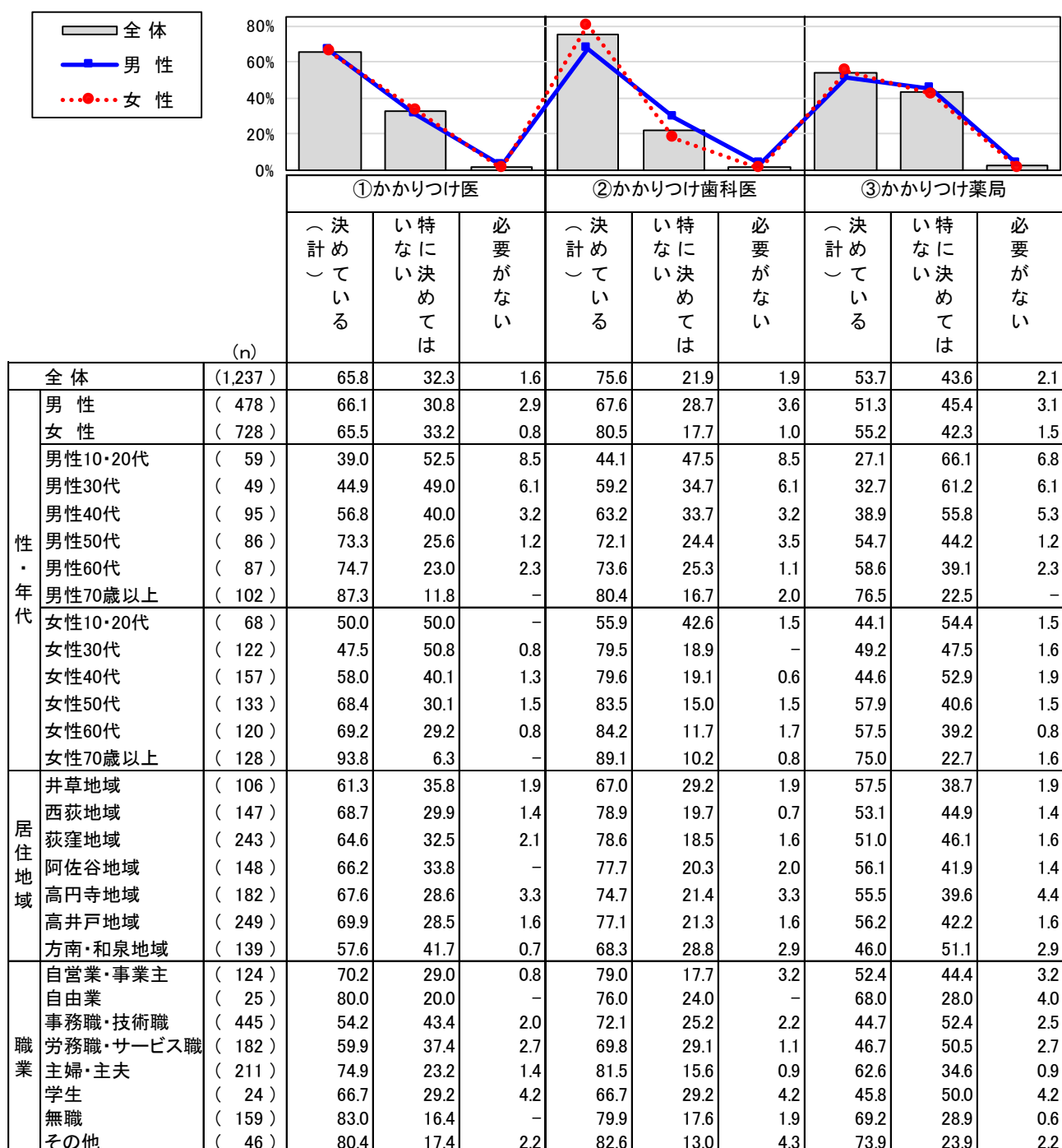
性別でみると、【かかりつけ歯科医】で女性の『決めている(計)』80.5%は男性67.6%より高くなっている。

性・年代では、どの医療機関でも男女とも年代があがると『決めている(計)』も高くなり、【かかりつけ医】【かかりつけ歯科医】は男性70歳以上で8割台、女性70歳以上では9割前後に達している。

居住地域でみると、井草地域と方南・和泉地域で【かかりつけ医】【かかりつけ歯科医】の『決めている(計)』が他地域より低くなっている。方南・和泉地域は【かかりつけ薬局】の『決めている(計)』も他地域より低い。

職業でみると、事務職・技術職と労務職・サービス職で『決めている(計)』は全体的に低くなっている。

問 18 かかりつけ医療機関の有無【性・年代・居住地域・職業別】

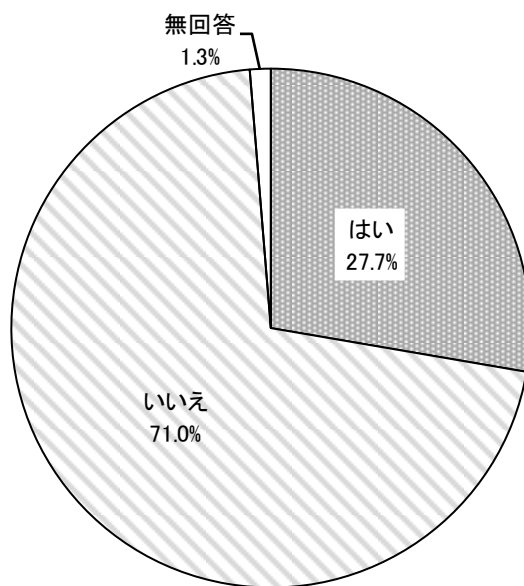


(3) 救急医療体制への不安感

問19 あなたは、杉並区の休日・夜間の医療体制(救急医療体制)について不安を感じていますか。
(○は1つだけ)

全体では、「はい」と答えた人は 27.7%で、杉並区の休日・夜間の医療体制(救急医療体制)について不安を感じている人は3割未満となる。

問 19 救急医療体制への不安感



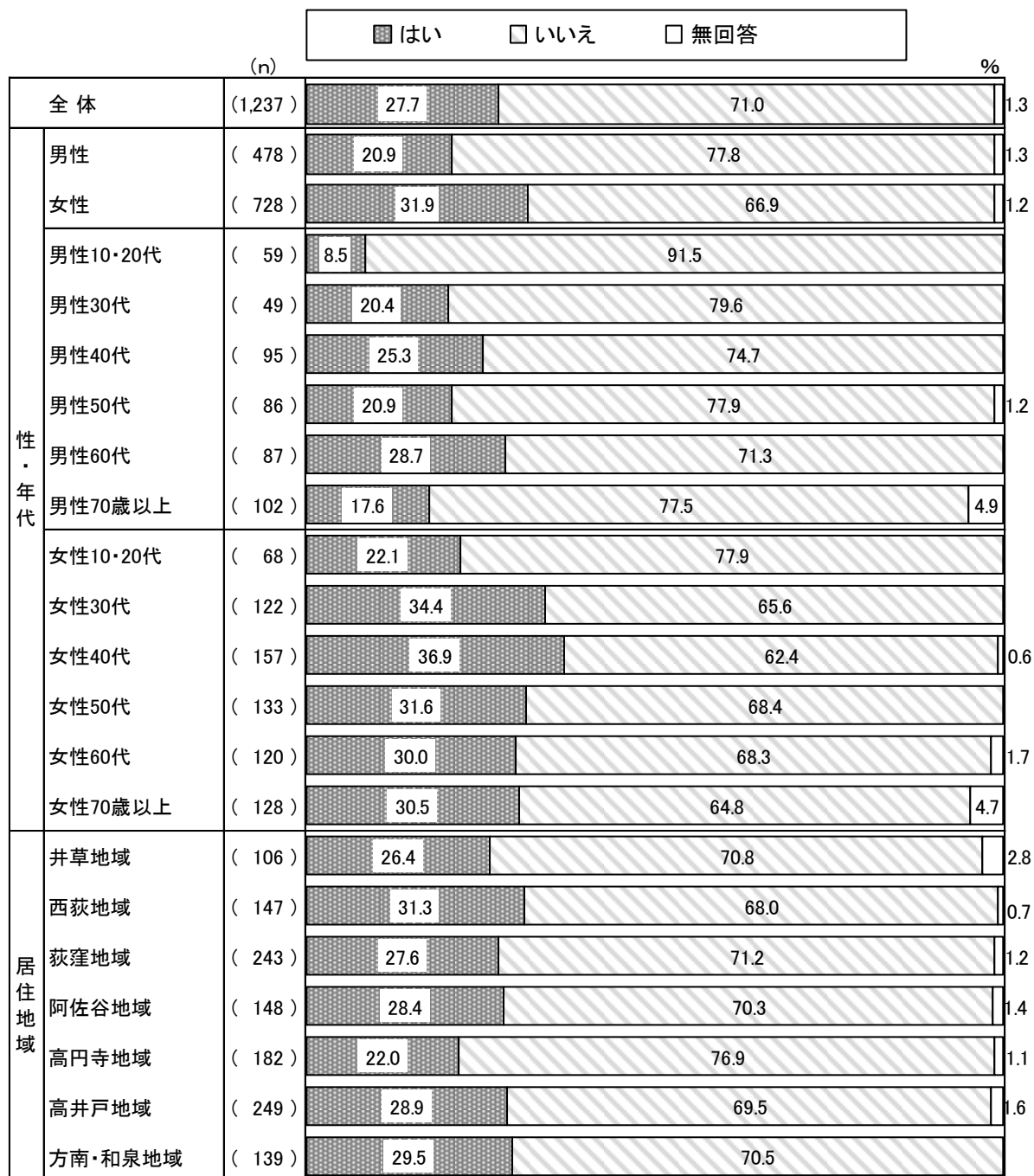
(n=1,237)

性別でみると、「はい」と答えた人は女性 31.9%の方が男性 20.9%より高い。

性・年代では、女性 30～40 代で「はい」と答えた人は 35%前後となっている。一方、男性 10・20 代では 8.5%と低い。女性 10・20 代も「はい」は 22.1%と女性の中では最も低い。

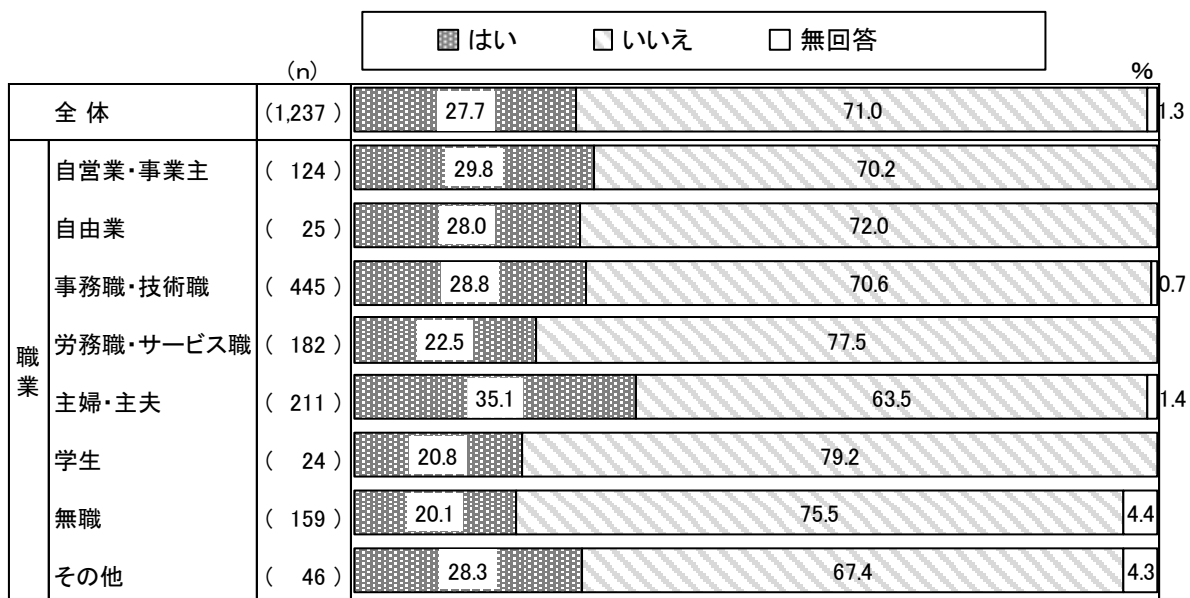
居住地域でみると、高円寺地域で「はい」は 22.0%と他地域より低くなっている。

問 19 救急医療体制への不安感【性・年代・居住地域別】



職業でみると、主婦・主夫で「はい」と答えた人は35.1%で最も高い。

問 19 救急医療体制への不安感【職業別】



(4) 不安を感じている診療科目

(問19で「はい」と回答した方に)

問19-1 どのような診療科目に不安を感じていますか。(〇はいくつでも)

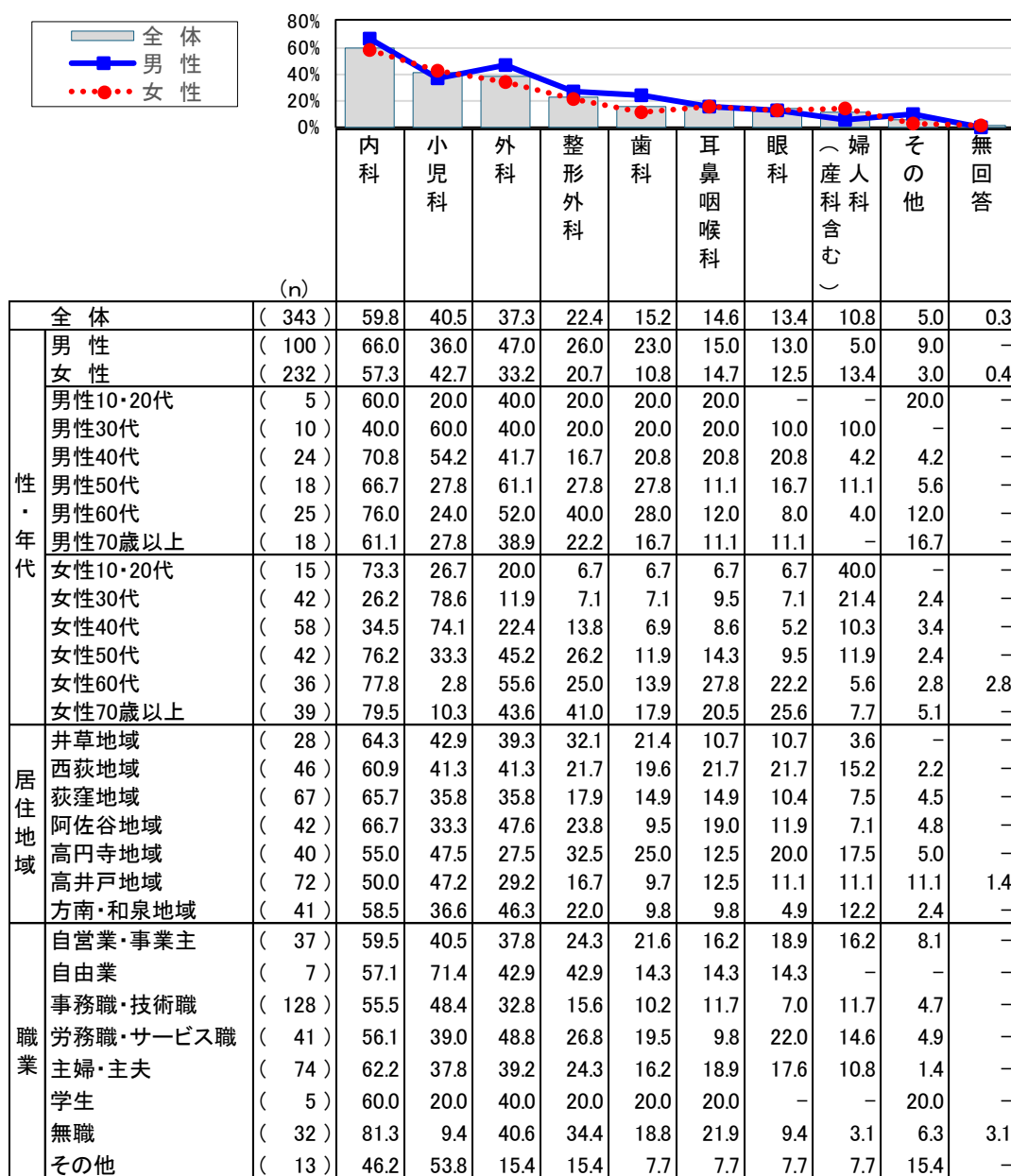
全体では、「内科」59.8%が最も高く、次いで「小児科」40.5%、「外科」37.3%と続く。

性別でみると、男性の方が女性より高いのは「内科」「外科」「整形外科」「歯科」で、女性の方が高いのは「小児科」「婦人科(産科含む)」となっている。

居住地域でみると、「内科」は井草地域(回答者数が少なく参考程度)、荻窪地域、阿佐谷地域で6割半ば前後、小児科は高円寺地域と高井戸地域で5割弱、「外科」は阿佐谷地域と方南・和泉地域で5割弱となっている。

職業でみると、年齢が高いと思われる無職で「内科」が8割を超えている。

問 19-1 不安を感じている診療科目【性・年代・居住地域・職業別】

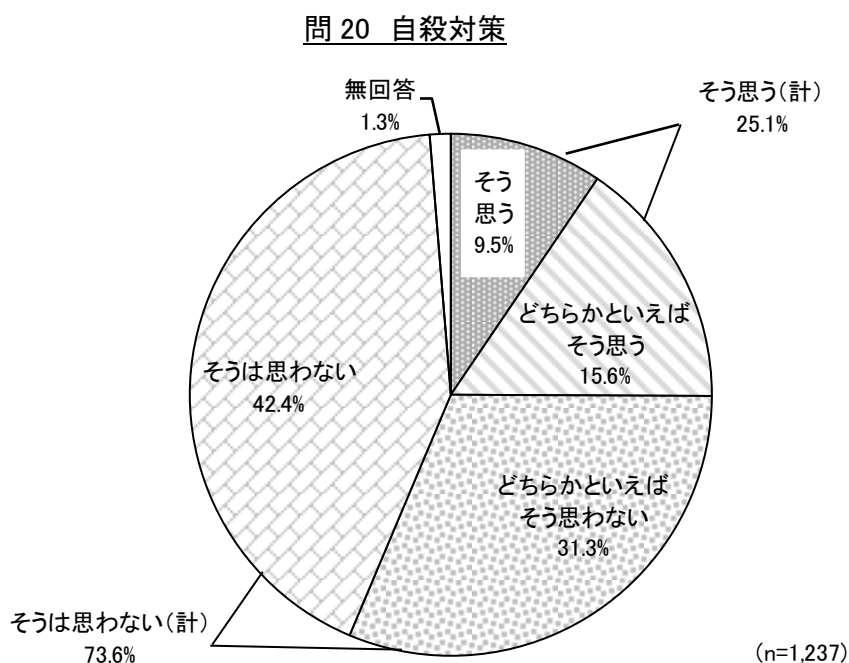


※全体の高い順

(5) 自殺対策

問20 自殺対策は自分自身に関係することだと思いますか。(○は1つだけ)

全体では、「そう思う」9.5%がほぼ1割、これに「どちらかといえばそう思う」15.6%を合わせた『そう思う(計)』25.1%は2割半ばにとどまっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」31.3%と「そうは思わない」42.4%を合わせた『そうは思わない(計)』73.6%は7割を超えている。



性別でみると、男女で大きな違いはみられない。

性・年代では、男女とも10・20代では「そう思う」が15%程度で他の年代より高くなっている。『そう思う(計)』は男性10・20代と50代、女性30代以下で3割を超え、特に女性10・20代では4割を超えている。

居住地域でみると、大きな違いはない。

問 20 自殺対策【性・年代・居住地域別】

		(n)	■ そう思う □ どちらかといえばそう思う □ どちらかといえはそう思わない □ そうは思わない □ 無回答				%	そう思う(計)	そうは思わない(計)
全 体		(1,237)	9.5	15.6	31.3	42.4		1.3 25.1	73.6
性・年代	男性	(478)	10.5	14.6	28.9	45.2		0.8 25.1	74.1
	女性	(728)	8.4	16.3	33.0	40.8		1.5 24.7	73.8
	男性10・20代	(59)	15.3	15.3	22.0	47.5		30.5	69.5
	男性30代	(49)	8.2	18.4	30.6	42.9		26.5	73.5
	男性40代	(95)	9.5	14.7	40.0	35.8		24.2	75.8
	男性50代	(86)	12.8	17.4	25.6	44.2		30.2	69.8
	男性60代	(87)	5.7	16.1	34.5	41.4		2.3 21.8	75.9
	男性70歳以上	(102)	11.8	8.8	19.6	57.8		2.0 20.6	77.5
	女性10・20代	(68)	16.2	26.5	32.4	23.5		1.5 42.6	55.9
	女性30代	(122)	10.7	23.8	31.1	33.6		0.8 34.4	64.8
	女性40代	(157)	8.3	15.9	33.8	42.0		24.2	75.8
	女性50代	(133)	7.5	14.3	38.3	39.8		21.8	78.2
	女性60代	(120)	4.2	8.3	33.3	53.3		0.8 12.5	86.7
	女性70歳以上	(128)	7.0	14.1	28.1	44.5	6.3	21.1	72.7
居住地域	井草地域	(106)	7.5	21.7	28.3	40.6		1.9 29.2	68.9
	西荻地域	(147)	5.4	18.4	30.6	43.5		2.0 23.8	74.1
	荻窪地域	(243)	14.0	12.3	30.5	42.4		0.8 26.3	72.8
	阿佐谷地域	(148)	10.8	10.1	35.8	42.6		0.7 20.9	78.4
	高円寺地域	(182)	9.3	17.0	31.3	41.2		1.1 26.4	72.5
	高井戸地域	(249)	7.6	16.5	31.7	42.6		1.6 24.1	74.3
	方南・和泉地域	(139)	7.9	17.3	30.9	43.2		0.7 25.2	74.1

職業でみると、回答者数が少なく参考程度となるが、自由業で「そう思う」が3割弱、『そう思う(計)』が4割となっている。

問 20 自殺対策【職業別】

		(n)	■ そう思う □ どちらかといえばそう思う ▨ どちらかといえはそう思わない □ そうは思わない □ 無回答				%	そう思う(計)		そうは思わない(計)	
全 体		(1,237)	9.5	15.6	31.3	42.4	1.3	25.1	73.6		
職 業	自営業・事業主	(124)	11.3	10.5	25.0	52.4	0.8	21.8	77.4		
	自由業	(25)	28.0		12.0	24.0	32.0	4.0	40.0	56.0	
	事務職・技術職	(445)	8.3	17.3	35.7	38.0	0.7	25.6	73.7		
	労務職・サービス職	(182)	8.8	20.9	36.3	34.1		29.7	70.3		
	主婦・主夫	(211)	6.2	15.2	26.5	50.2	1.9	21.3	76.8		
	学生	(24)	12.5	20.8	29.2	37.5		33.3	66.7		
	無職	(159)	8.8	12.6	27.0	48.4	3.1	21.4	75.5		
	その他	(46)	17.4	8.7	30.4	41.3	2.2	26.1	71.7		

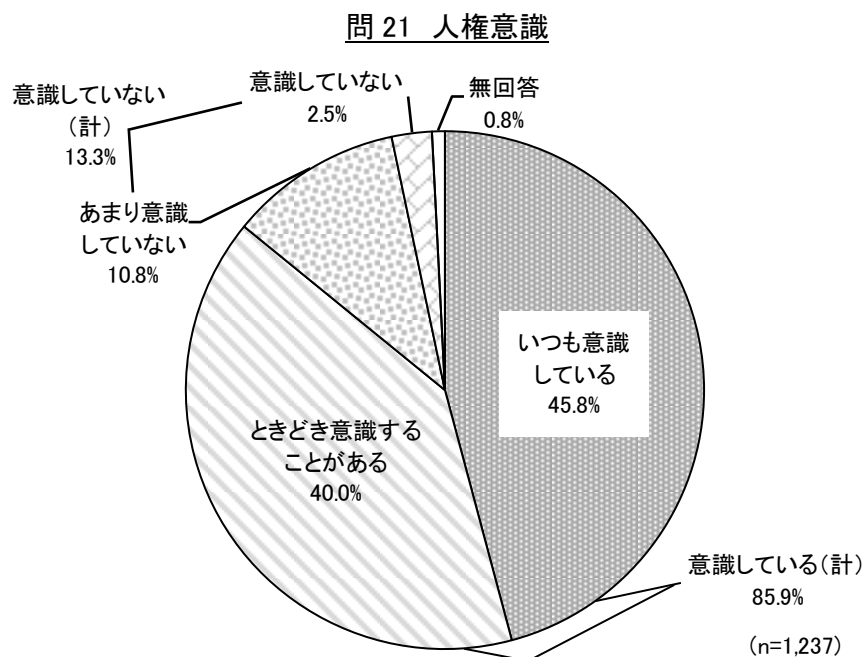
10. 人権について

(1) 人権意識

(1) 人権意識

問21 あなたは、普段生活する中で、他人の立場を尊重・理解するなど、人権を意識しながら生活していますか。(○は1つだけ)

全体では、「いつも意識している」45.8%が4割半ばに達し、これに「ときどき意識することがある」40.0%を合わせた『意識している(計)』85.9%は8割半ばに達している。一方、「あまり意識していない」10.8%と「意識していない」2.5%を合わせた『意識していない(計)』13.3%は1割台にとどまっている。



性別でみると、男女で大きな違いはみられない。

性・年代では、男女10・20代と女性30代以下で「いつも意識している」が3割台と低くなっている。女性50代では『意識している(計)』92.5%が9割を超えている。

居住地域でみると、井草地域は「いつも意識している」39.6%が他地域より低く、『意識している(計)』78.3%は8割を下回っている。西荻地域の「いつも意識している」53.7%は5割を超えている。

問 21 人権意識【性・年代・居住地域別】

		(n)	■ いつも意識している □ ときどき意識することがある □ あまり意識していない □ 意識していない □ 無回答					%		
									意識している(計)	意識していない(計)
全 体		(1,237)	45.8		40.0	10.8	2.5	0.8	85.9	13.3
性・年代	男性	(478)	46.9		37.0	12.3	3.1	0.6	83.9	15.5
	女性	(728)	45.2		42.0	9.8	2.2	0.8	87.2	12.0
	男性10・20代	(59)	33.9		45.8	10.2	10.2		79.7	20.3
	男性30代	(49)	46.9		40.8	8.2	4.1		87.8	12.2
	男性40代	(95)	45.3		38.9	14.7		1.1	84.2	15.8
	男性50代	(86)	52.3		33.7	10.5		3.5	86.0	14.0
	男性60代	(87)	54.0		32.2	11.5		2.3	86.2	13.8
	男性70歳以上	(102)	45.1		35.3	15.7	1.0	2.9	80.4	16.7
	女性10・20代	(68)	36.8		52.9	4.4	4.4	1.5	89.7	8.8
	女性30代	(122)	37.7		46.7	11.5	3.3	0.8	84.4	14.8
	女性40代	(157)	49.7		36.9	10.8		2.5	86.6	13.4
	女性50代	(133)	53.4		39.1	6.8		0.8	92.5	7.5
	女性60代	(120)	41.7		47.5	10.0		0.8	89.2	10.8
	女性70歳以上	(128)	46.1		35.9	12.5	2.3	3.1	82.0	14.8
居住地域	井草地域	(106)	39.6		38.7	14.2	4.7	2.8	78.3	18.9
	西荻地域	(147)	53.7		34.7	8.2	2.0	1.4	88.4	10.2
	荻窪地域	(243)	44.9		41.6	11.1	2.1	0.4	86.4	13.2
	阿佐谷地域	(148)	47.3		42.6	8.8		1.4	89.9	10.1
	高円寺地域	(182)	43.4		42.3	11.0	2.7	0.5	85.7	13.7
	高井戸地域	(249)	43.8		41.8	12.0	1.6	0.8	85.5	13.7
	方南・和泉地域	(139)	47.5		37.4	10.1	5.0		84.9	15.1

11. 性の多様性について

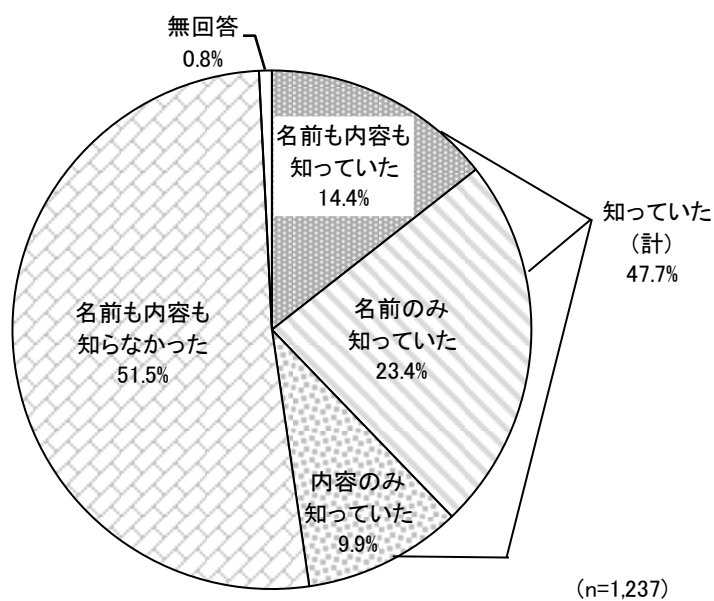
(1) 「性の多様性が尊重される地域社会を実現するための取組の推進に関する条例」の認知度

(1) 「性の多様性が尊重される地域社会を実現するための取組の推進に関する条例」の認知度

問22 あなたは、「性の多様性が尊重される地域社会を実現するための取組の推進に関する条例」について知っていますか。(○は1つだけ)

全体では、「名前も内容も知らなかった」51.5%が5割を超えている。「名前も内容も知っていた」14.4%、「名前のみ知っていた」23.4%、「内容のみ知っていた」9.9%を合わせた『知っていた(計)』47.7%は5割を下回っている。

問 22 「性の多様性が尊重される地域社会を実現するための取組の推進に関する条例」の認知度



性別でみると、女性の『知っていた(計)』51.8%は男性40.2%より高い。

性・年代では、男性70歳以上、女性10・20代と50代以降で『知っていた(計)』は5割を超えている。特に女性70歳以上64.9%では6割を超えている。

居住地域でみると、大きな違いはない。

問 22 「性の多様性が尊重される地域社会を実現するための取組の推進に関する条例」の認知度

		(n)	■ 名前も内容も知っていた □ 名前のみ知っていた □ 内容のみ知っていた □ 名前も内容も知らなかった □ 無回答					%	知っていた(計)
全 体		(1,237)	14.4	23.4	9.9	51.5			0.8 47.7
性・年代	男性	(478)	11.9	19.7	8.6	59.0			0.8 40.2
	女性	(728)	15.8	25.4	10.6	47.5			0.7 51.8
	男性10・20代	(59)	11.9	5.1	6.8	76.3			23.8
	男性30代	(49)	10.2	16.3	10.2	63.3			36.7
	男性40代	(95)	12.6	17.9	7.4	62.1			37.9
	男性50代	(86)	9.3	24.4	9.3	57.0			43.0
	男性60代	(87)	9.2	20.7	9.2	59.8			1.1 39.1
	男性70歳以上	(102)	16.7	26.5	8.8	45.1			2.9 52.0
	女性10・20代	(68)	17.6	26.5	5.9	48.5			1.5 50.0
	女性30代	(122)	9.8	15.6	8.2	65.6			0.8 33.6
	女性40代	(157)	15.9	22.3	9.6	52.2			47.8
	女性50代	(133)	15.8	23.3	15.8	45.1			54.9
	女性60代	(120)	14.2	30.8	14.2	40.8			59.2
	女性70歳以上	(128)	21.9	35.2	7.8	32.8			2.3 64.9
居住地域	井草地域	(106)	15.1	27.4	4.7	50.0			2.8 47.2
	西荻地域	(147)	13.6	25.2	11.6	48.3			1.4 50.4
	荻窪地域	(243)	14.4	25.9	5.8	53.1			0.8 46.1
	阿佐谷地域	(148)	14.2	19.6	11.5	54.7			45.3
	高円寺地域	(182)	15.9	19.8	11.0	53.3			46.7
	高井戸地域	(249)	13.7	22.9	12.9	49.8			0.8 49.5
	方南・和泉地域	(139)	13.7	22.3	10.1	54.0			46.1

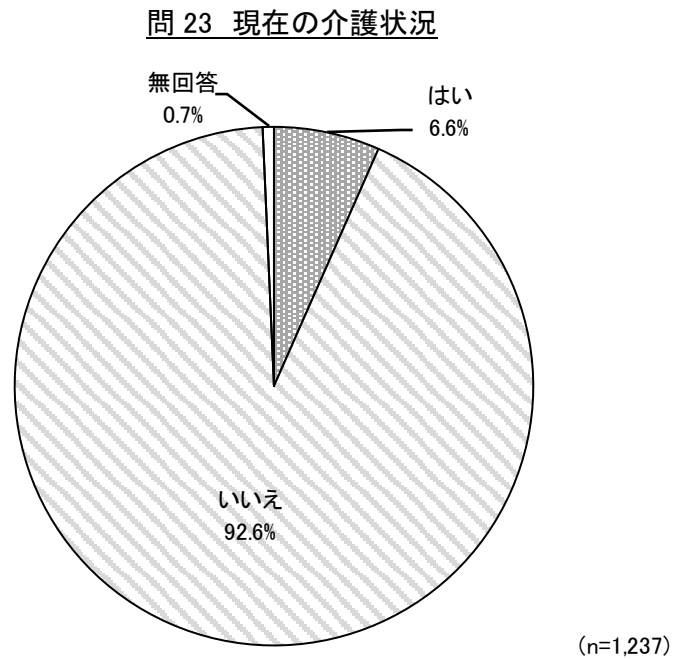
12. 高齢者在宅支援について

-
- (1) 現在の介護状況
 - (2) 今後の在宅介護の見通し
 - (3) 高齢者総合相談窓口 ケア24(地域包括支援センター)の認知度
 - (4) 高齢になっても安心して暮らせる体制
 - (5) 生きがいの有無
-

(1) 現在の介護状況

問23 現在、あなたは介護をしていますか。(○は1つだけ)

全体では、「はい」と答えた人は6.6%で、現在介護をしている人は1割未満にとどまる。

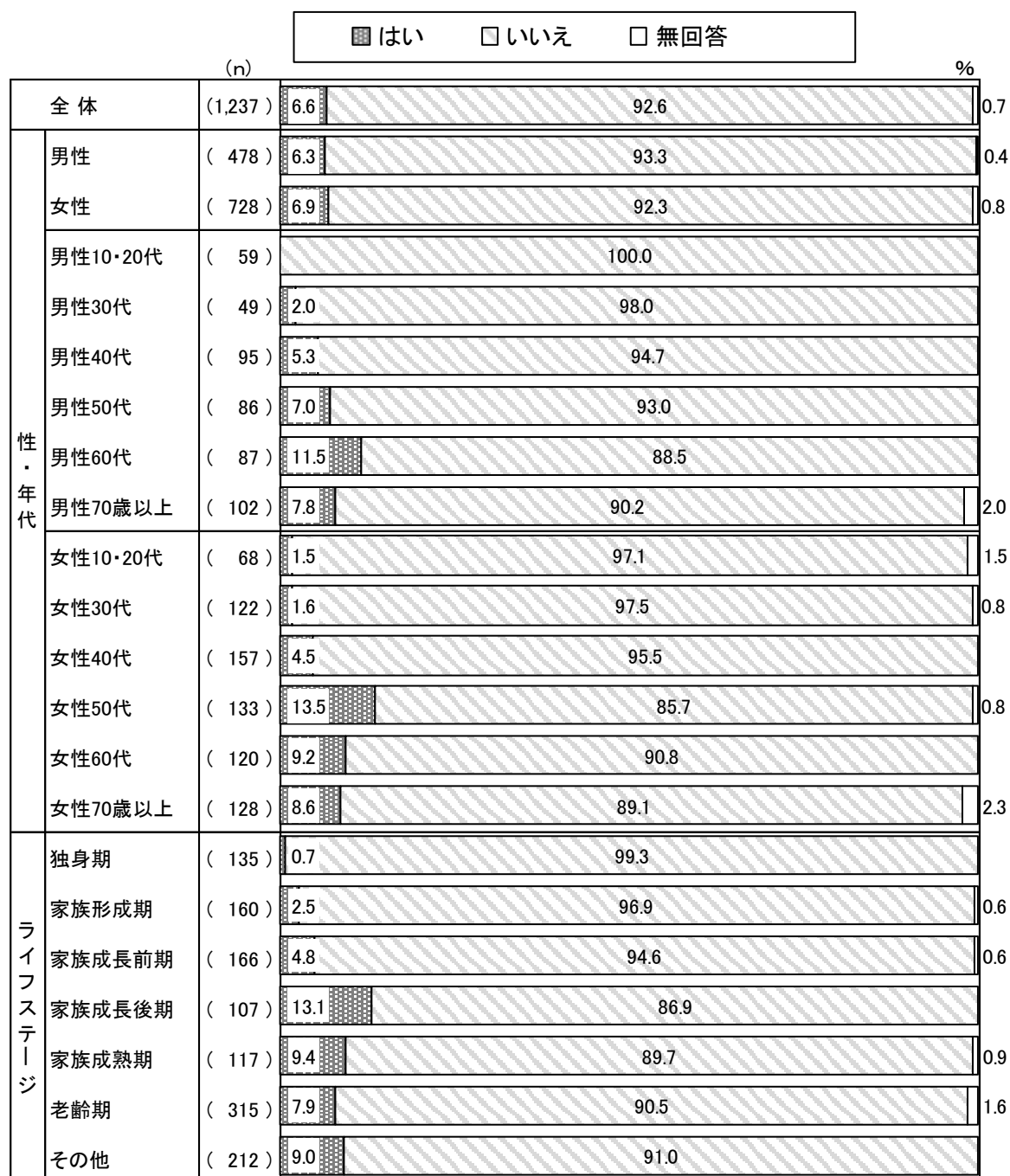


性別でみると、男女で大きな違いはみられない。

性・年代では、男性 60 代と女性 50 代で「はい」と答えた人は 1 割を超えている。

ライフステージでみると、家族成長後期で「はい」と答えた人は 13.1%と 1 割を超えている。

問 23 現在の介護状況【性・年代・ライフステージ別】



※ライフステージの分類は 8 頁「7. 報告書の見方 (9)」を参照。

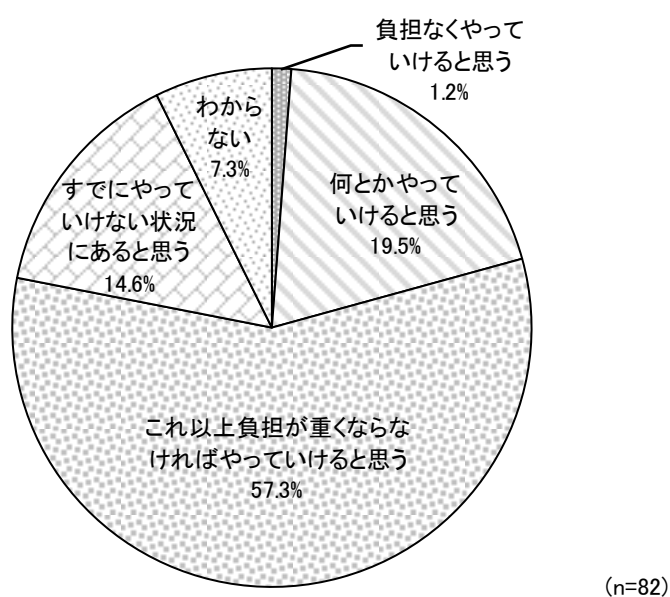
(2) 今後の在宅介護の見通し

(問23で「はい」と回答した方に)

問23-1 介護者のあなたが、身体的、精神的な負担を考慮して、これからも在宅での介護を続けていけると思いますか。(○は1つだけ)

全体では、「これ以上負担が重くならないでやっていけると思う」57.3%が最も高く、次いで「何とかやっていけると思う」19.5%となっている。

問 23-1 今後の在宅介護の見通し



性別でみると、男女で大きな違いはみられない。

問 23-1 今後の在宅介護の見通し【性別】

		(n)	■ 負担なくやっていけると思う ▨ 何とかやっていけると思う ▩ これ以上負担が重くならないでやっていけると思う □ すでにやっていけない状況にあると思う □ わからない					%
全 体		(82)	1.2	19.5	57.3	14.6	7.3	
性 別	男性	(30)	16.7	60.0	20.0	3.3		
	女性	(50)	2.0	22.0	56.0	12.0	8.0	

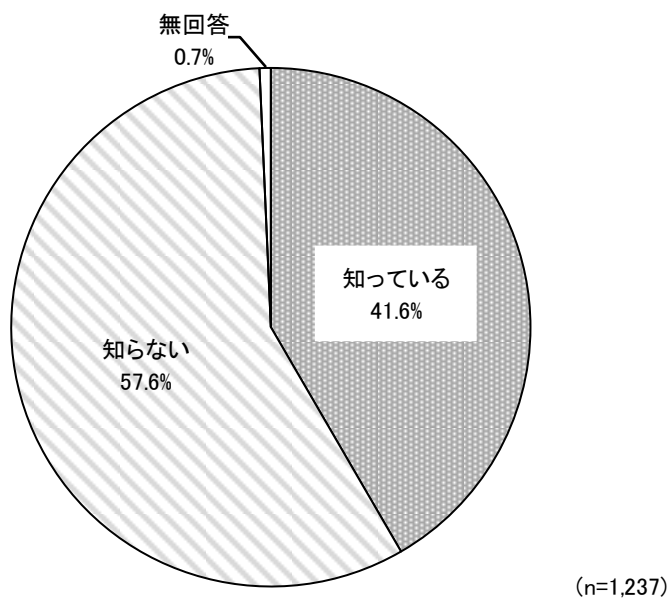
※性別以外の属性は回答者数が少ないため、記載していない

(3) 高齢者総合相談窓口 ケア 24(地域包括支援センター)の認知度

問24 高齢者の身近な相談窓口である「高齢者総合相談窓口 ケア24(地域包括支援センター)」をご存知ですか。(○は1つだけ)

全体では、「知っている」41.6%が4割を超えている。

問 24 高齢者総合相談窓口 ケア 24(地域包括支援センター)の認知度

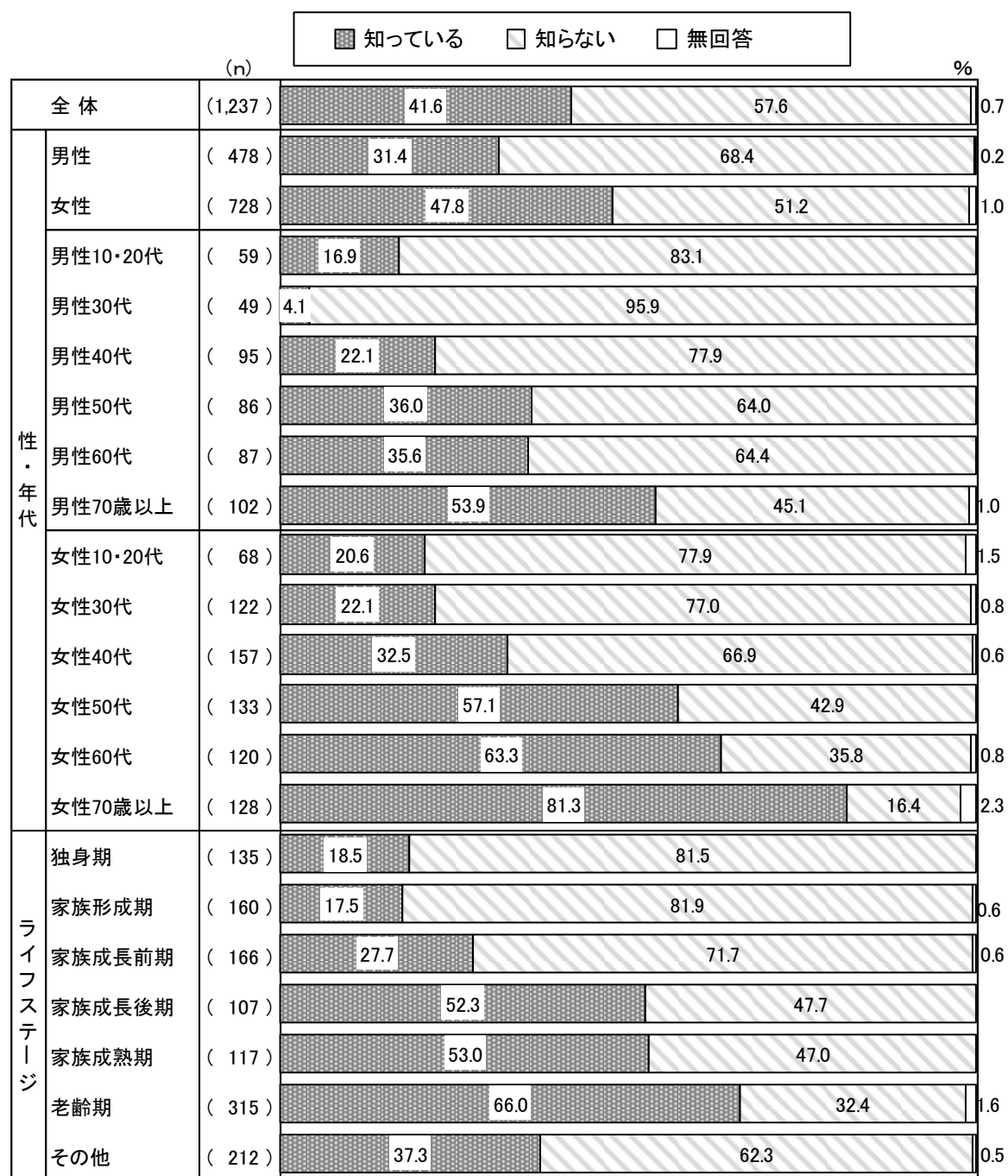


性別でみると、女性の「知っている」47.8%は男性 31.4%より高い。

性・年代では、男性 30 代以降と女性では年代があがると「知っている」も高くなり、男性 70 歳以上、女性 50 代以降で 5 割を超え、女性 70 歳以上 81.3%では 8 割を超えている。

ライフステージでみると、家族成長後期と成熟期で「知っている」は 5 割を超え、老齢期 66.0%では 7 割弱に達している。

問 24 高齢者総合相談窓口 ケア 24(地域包括支援センター)の認知度【性・年代・ライフステージ別】



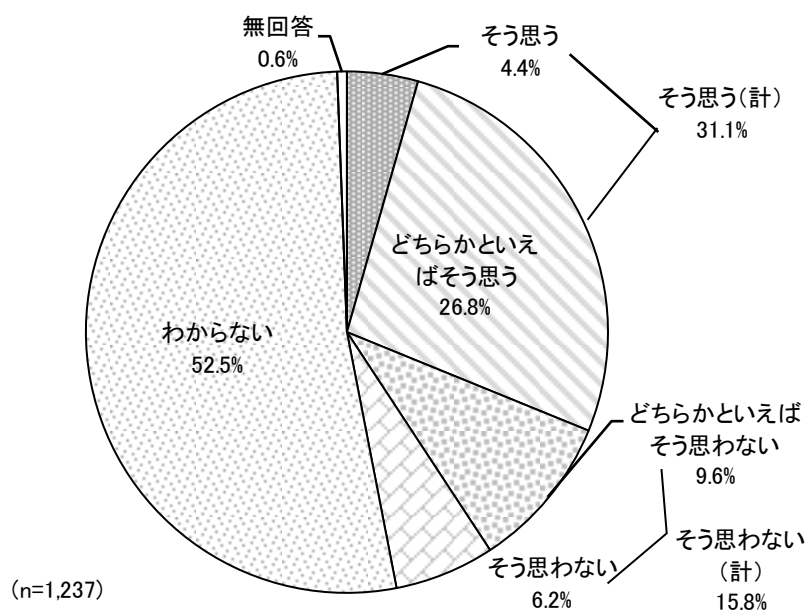
※ライフステージの分類は 8 頁「7. 報告書の見方 (9)」を参照。

(4) 高齢になっても安心して暮らせる体制

問25 杉並区では、地域で支えあい、サービスや医療を受けながら、高齢になっても安心して暮らせる体制を整えるよう取り組んでいます。あなたは、この体制が整っていると思いますか。
(○は1つだけ)

全体では、「わからない」52.5%が5割を超えている。「そう思う」4.4%と「どちらかといえばそう思う」26.8%を合わせた『そう思う(計)』31.1%は3割程度となっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」9.6%と「そう思わない」6.2%を合わせた『そう思わない(計)』15.8%は1割台にとどまっている。

問 25 高齢になっても安心して暮らせる体制



性別でみると、男女で大きな違いはみられない。

性・年代では、男女とも70歳以上で『そう思う(計)』が4割を超えている。

ライフステージでみると高齢期で『そう思う(計)』42.9%が4割を超えている。

問 25 高齢になっても安心して暮らせる体制【性・年代・ライフステージ別】

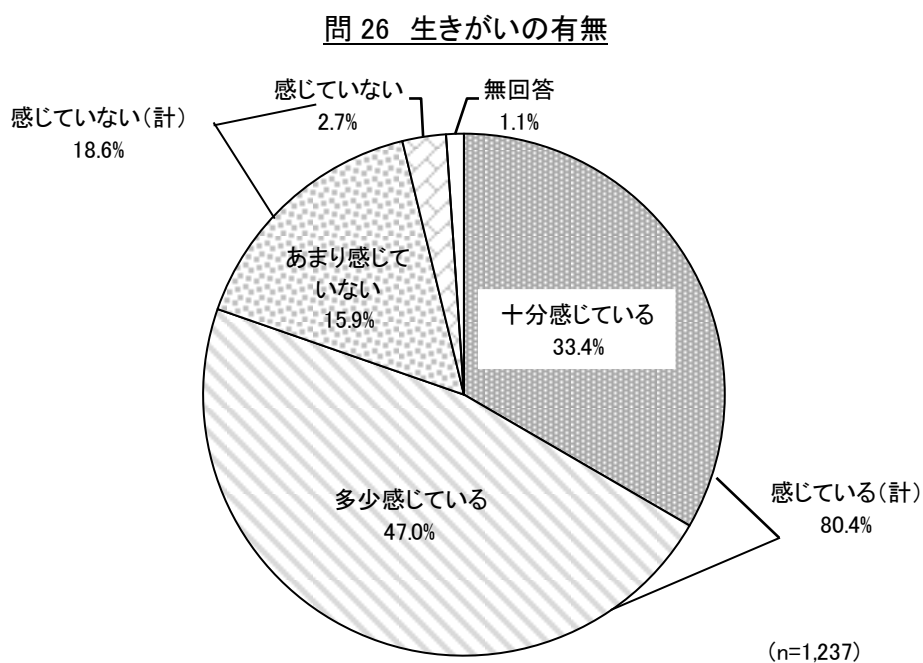
		(n)	■ そう思う □ どちらかといえばそう思う □ どちらかといえばそう □ そう □ わからない □ 無回答							%	そう 思う (計)	そう 思わない (計)
全 体		(1,237)	4.4	26.8	9.6	6.2	52.5			0.6	31.1	15.8
性・ 年 代	男性	(478)	5.6	27.2	11.9	4.6	50.4			0.2	32.8	16.5
	女性	(728)	3.6	26.5	8.1	7.3	54.0			0.5	30.1	15.4
	男性10・20代	(59)	11.9	25.4	6.8	3.4	52.5				37.3	10.2
	男性30代	(49)	4.1	28.6	4.1	2.0	61.2				32.7	6.1
	男性40代	(95)	3.2	22.1	16.8	4.2	53.7				25.3	21.1
	男性50代	(86)	4.7	23.3	16.3	1.2	54.7				27.9	17.4
	男性60代	(87)	2.3	29.9	11.5	8.0	48.3				32.2	19.5
	男性70歳以上	(102)	8.8	33.3	10.8	6.9	39.2			1.0	42.2	17.6
	女性10・20代	(68)	4.4	23.5	1.5	4.4	64.7			1.5	27.9	5.9
	女性30代	(122)	3.3	19.7	4.1	4.9	67.2			0.8	23.0	9.0
	女性40代	(157)	1.3	20.4	5.1	7.0	66.2				21.7	12.1
	女性50代	(133)	3.0	25.6	12.0	5.3	54.1				28.6	17.3
	女性60代	(120)	1.7	30.0	12.5	10.8	45.0				31.7	23.3
	女性70歳以上	(128)	8.6	39.8	10.9	10.2	28.9			1.6	48.4	21.1
ラ イ フ ス テ ー ジ	独身期	(135)	8.1	23.7	4.4	3.7	60.0				31.9	8.1
	家族形成期	(160)	3.8	22.5	5.0	4.4	63.8			0.6	26.3	9.4
	家族成長前期	(166)	0.6	24.1	9.0	4.8	60.8			0.6	24.7	13.9
	家族成長後期	(107)	1.9	20.6	14.0	5.6	57.9				22.4	19.6
	家族成熟期	(117)	3.4	28.2	11.1	6.8	50.4				31.6	17.9
	高齢期	(315)	7.0	35.9	10.5	9.5	36.2			1.0	42.9	20.0
	その他	(212)	3.3	23.1	12.3	5.7	55.7				26.4	17.9

※ライフステージの分類は8頁「7. 報告書の見方 (9)」を参照。

(5) 生きがいの有無

問26 あなたは、いま生きがいを感じていますか。(○は1つだけ)

全体では、「十分感じている」が 33.4%、これに「多少感じている」47.0%を合わせた『感じている(計)』80.4%は 8 割に達している。一方、「あまり感じていない」15.9%と「感じていない」2.7%を合わせた『感じていない(計)』18.6%は 2 割未満となっている。



性別でみると、男女で大きな違いはみられない。

性・年代では、男女とも30代で『感じている(計)』は9割を超えている。

ライフステージでみると、家族形成期で『感じている(計)』93.1%は9割を超えている。

問 26 生きがいの有無【性・年代・ライフステージ別】

		(n)	■ 十分 □ 多少 □ あまり □ 感じて □ 無回答 感じて 感じて 感じて いない					%	感じて いる (計)	感じて いない (計)
全 体		(1,237)	33.4 47.0 15.9 2.7	1.1	80.4	18.6				
性・年代	男性	(478)	36.8 44.8 16.1 1.9	0.4	81.6	18.0				
	女性	(728)	31.3 48.5 16.1 3.0	1.1	79.8	19.1				
	男性10・20代	(59)	42.4 39.0 11.9 6.8		81.4	18.6				
	男性30代	(49)	44.9 46.9 8.2		91.8	8.2				
	男性40代	(95)	37.9 47.4 14.7		85.3	14.7				
	男性50代	(86)	38.4 41.9 19.8		80.2	19.8				
	男性60代	(87)	24.1 47.1 25.3	3.4	71.3	28.7				
	男性70歳以上	(102)	38.2 45.1 12.7 2.0	2.0	83.3	14.7				
	女性10・20代	(68)	32.4 39.7 23.5 2.9	1.5	72.1	26.5				
	女性30代	(122)	43.4 49.2 4.1	0.8	92.6	6.6				
ライフ ス テ ー ジ	女性40代	(157)	39.5 43.3 15.9	1.3	82.8	17.2				
	女性50代	(133)	27.1 54.9 15.0	3.0	82.0	18.0				
	女性60代	(120)	20.0 55.0 18.3 5.0	1.7	75.0	23.3				
	女性70歳以上	(128)	24.2 46.1 22.7 3.9	3.1	70.3	26.6				
	独身期	(135)	32.6 44.4 17.8 5.2		77.0	23.0				
	家族形成期	(160)	52.5 40.6 5.0	0.6	93.1	6.3				
	家族成長前期	(166)	41.6 42.8 13.9 1.2	0.6	84.3	15.1				
	家族成長後期	(107)	28.0 56.1 15.0	0.9	84.1	15.9				
	家族成熟期	(117)	32.5 54.7 11.1 0.9	0.9	87.2	12.0				
	老齡期	(315)	26.3 46.7 21.0 4.1	1.9	73.0	25.1				
その他	(212)	25.5 48.6 22.2 3.3	0.5	74.1	25.5					

※ライフステージの分類は8頁「7. 報告書の見方 (9)」を参照。

13. 障害差別の解消について

-
- (1)「障害者差別解消法」や合理的配慮の認知度
 - (2)障害のある方への声かけ
-

(1) 「障害者差別解消法」や合理的配慮の認知度

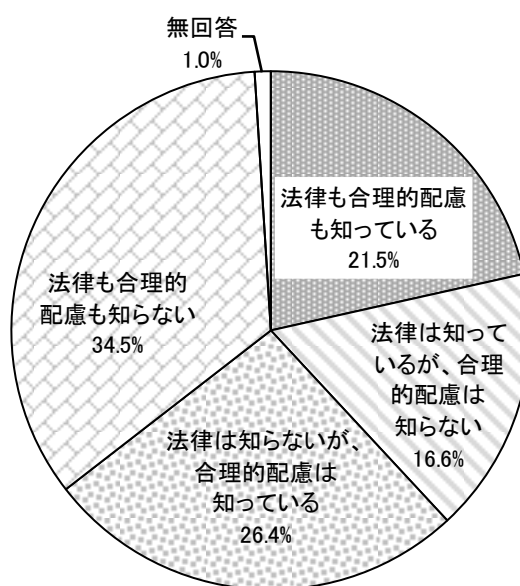
平成28年4月から「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」いわゆる「障害者差別解消法」が施行されています。この法律では、障害のある人もない人も、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現を目指し、障害を理由とした不当な差別的取扱いを禁止し、合理的配慮の提供を求めています。

問27 あなたは、この法律や合理的配慮について、知っていますか。(○は1つだけ)

全体では、「法律も合理的配慮も知らない」34.5%が最も高く、「法律は知らないが、合理的配慮は知っている」26.4%、「法律も合理的配慮も知っている」21.5%、「法律は知っているが、合理的配慮は知らない」16.6%の順となっている。

「法律も合理的配慮も知っている」21.5%と「法律は知っているが、合理的配慮は知らない」16.6%を合わせた『法律は知っている(計)』38.1%は4割弱で、「法律も合理的配慮も知っている」21.5%と「法律は知らないが、合理的配慮は知っている」26.4%を合わせた『合理的配慮は知っている(計)』47.9%は5割弱となっている。

問 27 「障害者差別解消法」や合理的配慮の認知度



(n=1,237)

性別でみると、男女で大きな違いはみられない。

性・年代では、男性 50 代、女性 10・20 代、女性 50 代で「法律も合理的配慮も知っている」は 2 割半ばを超え、男性 30 代では「法律も合理的配慮も知らない」51.0%が 5 割を超えている。

問 27 「障害者差別解消法」や合理的配慮の認知度【性・年代別】

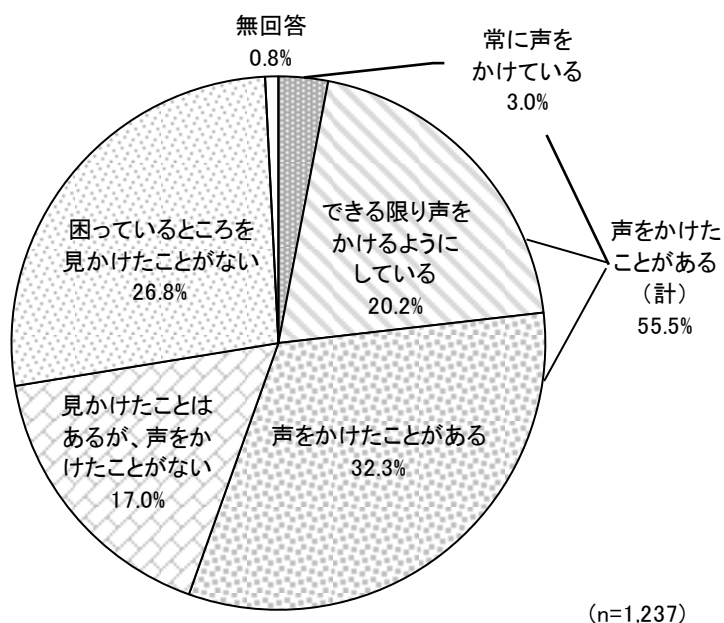


(2) 障害のある方への声かけ

問28 まちで障害のある方が困っているところを見かけた際に、あなたは声をかけたことがありますか。(○は1つだけ)

全体では、「常に声をかけている」が3.0%、これに「できる限り声をかけるようにしている」20.2%と「声をかけたことがある」32.3%を合わせた『声をかけたことがある(計)』55.5%は5割半ばに達している。一方、「見かけたことはあるが、声をかけたことがない」は17.0%、「困っているところを見かけたことがない」は26.8%となっている。

問 28 障害のある方への声かけ



性別でみると、男女で大きな違いはみられない。

性・年代では、男女とも30代以下で『声をかけたことがある(計)』が4割前後と低くなっている。男性では40代以降は5～6割台で大きな変化はないが、女性は年代があがるほど高くなり、女性70歳以上74.2%は7割を超える。「できる限り声をかけるようにしている」も男性70歳以上28.4%、女性70歳以上27.3%と高齢層で高い。

一方、「困っているところを見かけたことがない」は女性30代以下の若年層で4割前後と高く、男女とも70歳以上では1割台と低い。また「見かけたことはあるが、声をかけたことがない」は男性10・20代32.2%が最も高くなっている。

問 28 障害のある方への声かけ【性・年代別】

		☒常に声をかけている ☐できる限り声をかけるようにしている ☒声をかけたことがある ☐見かけたことはあるが、声をかけたことがない ☐困っているところを見かけたことがない ☐無回答						声をかけたことがある(計)		
		(n)	%							
全 体		(1,237)	3.0	20.2	32.3	17.0	26.8	0.8	55.5	
性・年代	男性	(478)	3.3	18.2	33.1	19.0	25.7	0.6	54.6	
	女性	(728)	2.6	22.0	31.0	15.8	27.9	0.7	55.6	
	男性10・20代	(59)	3.4	15.3	23.7	32.2	25.4		42.4	
	男性30代	(49)	2.0	14.3	28.6	24.5	30.6		44.9	
	男性40代	(95)	3.2	16.8	40.0	15.8	24.2		60.0	
	男性50代	(86)	5.8	12.8	37.2	15.1	29.1		55.8	
	男性60代	(87)	3.4	17.2	33.3	17.2	28.7		54.0	
	男性70歳以上	(102)	2.0	28.4	30.4	16.7	19.6	2.9	60.8	
	女性10・20代	(68)	2.9	14.7	22.1	17.6	41.2	1.5	39.7	
	女性30代	(122)		14.8	27.9	18.0	38.5	0.8	42.6	
女性40代	(157)	1.9	24.2	24.2	15.3	34.4		50.3		
女性50代	(133)	3.0	23.3	30.8	20.3	22.6		57.1		
女性60代	(120)	1.7	23.3	38.3	15.0	20.8	0.8	63.3		
女性70歳以上	(128)	6.3	27.3	40.6	9.4	14.8	1.6	74.2		

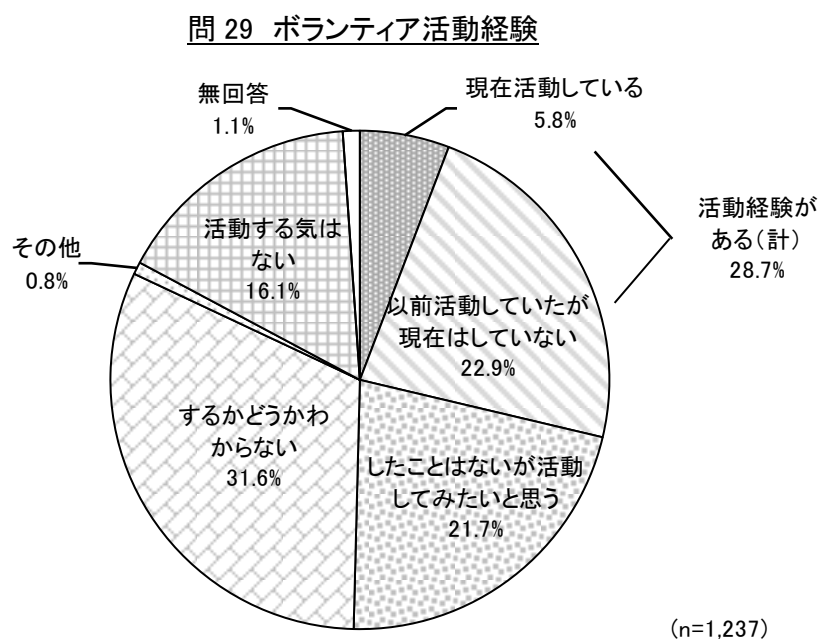
14. 地域活動について

-
- (1) ボランティア活動経験
 - (2) 地域活動・社会活動参加状況
-

(1) ボランティア活動経験

問29 あなたは、ボランティア活動をしたことがありますか。(○は1つだけ)

全体では、「するかどうかわからない」31.6%が3割強で最も高く、「現在活動している」5.8%とこれに「以前活動していたが現在はしていない」22.9%を合わせた『活動経験がある(計)』28.7%も3割近くで同程度となっている。一方、「活動する気はない」は16.1%となっている。



性別でみると、女性の『活動経験がある(計)』は31.5%で男性の25.3%より高い。

性・年代では、男性10・20代の『活動経験がある(計)』42.4%は4割を超えている。

女性10・20代、女性70歳以上でも『活動経験がある(計)』は3割台後半と高くなっている。

居住地域でみると、阿佐谷地域で『活動経験がある(計)』34.5%は最も高くなっている。

問 29 ボランティア活動経験【性・年代・居住地域別】

		(n)	■ 現在活動している ▨ 以前活動していたが現在はしていない □ したことはないが活動してみたいと思う ▨ するかどうかわからない □ 活動する気はない □ その他 □ 無回答							%	活動経験がある (計)	
全 体		(1,237)	5.8	22.9	21.7	31.6	16.1	0.8	1.1	28.7		
性・年代	男性	(478)	5.6	19.7	19.2	30.8	23.4	0.4	0.8	25.3		
	女性	(728)	5.8	25.7	23.2	32.0	11.1	1.1	1.1	31.5		
	男性10・20代	(59)	1.7	40.7	10.2	11.9	35.6			42.4		
	男性30代	(49)		26.5	14.3	28.6	30.6			26.5		
	男性40代	(95)	6.3	15.8	22.1	32.6	23.2			22.1		
	男性50代	(86)	9.3	17.4	18.6	38.4	15.1		1.2	26.7		
	男性60代	(87)	5.7	17.2	26.4	27.6	19.5	1.1	2.3	23.0		
	男性70歳以上	(102)	6.9	11.8	18.6	37.3	23.5		2.0	18.6		
	女性10・20代	(68)	1.5	33.8	23.5	29.4	11.8			35.3		
	女性30代	(122)	2.5	27.0	20.5	36.9	12.3		0.8	29.5		
居住地域	女性40代	(157)	6.4	20.4	22.3	38.2	10.8	1.3	0.6	26.8		
	女性50代	(133)	5.3	26.3	33.8	24.8	7.5		2.3	31.6		
	女性60代	(120)	9.2	22.5	25.0	32.5	9.2		1.7	31.7		
	女性70歳以上	(128)	7.8	28.9	14.1	28.1	15.6	2.3	3.1	36.7		
	井草地域	(106)	3.8	22.6	20.8	30.2	17.9	0.9	3.8	26.4		
	西荻地域	(147)	5.4	23.8	21.8	32.7	16.3			29.3		
	荻窪地域	(243)	6.6	21.0	20.2	30.9	18.9	1.6	0.8	27.6		
	阿佐谷地域	(148)	6.8	27.7	21.6	27.7	13.5	1.4	1.4	34.5		
	高円寺地域	(182)	8.2	23.6	19.8	31.9	15.9		0.5	31.9		
	高井戸地域	(249)	4.0	21.7	22.1	35.7	14.5	0.8	1.2	25.7		
方南・和泉地域	(139)	3.6	25.2	25.2	29.5	15.8		0.7	28.8			

職業でみると、回答者数が少なく参考程度となるが、学生で『活動経験がある(計)』は5割を超えている。

問 29 ボランティア活動経験【職業別】

		■ 現在活動している ■ 以前活動していたが現在はしていない □ したことはないが活動してみたいと思う ■ するかどうかわからない □ 活動する気はない □ その他 □ 無回答												活動経験がある(計)	
		(n)											%		
全 体		(1,237)	5.8	22.9	21.7	31.6	16.1	0.8	1.1	28.7					
職 業	自営業・事業主	(124)	8.1	31.5	19.4	25.0	14.5	0.8	0.8	39.5					
	自由業	(25)	12.0	16.0	20.0	24.0	20.0	4.0	4.0	28.0					
	事務職・技術職	(445)	5.2	21.6	23.4	32.1	16.2	1.1	0.4	26.7					
	労務職・サービス	(182)	4.9	22.0	23.1	33.0	15.4	0.5	1.1	26.9					
	主婦・主夫	(211)	5.7	24.2	19.9	34.6	13.3	0.9	1.4	29.9					
	学生	(24)	4.2	50.0	16.7	12.5	16.7		54.2						
	無職	(159)	5.0	18.9	15.1	34.6	24.5		1.9	23.9					
	その他	(46)	4.3	23.9	37.0	30.4	4.3	28.3							

(2) 地域活動・社会活動参加状況

問30 あなたが参加している地域活動、社会活動はありますか。(〇はいくつでも)

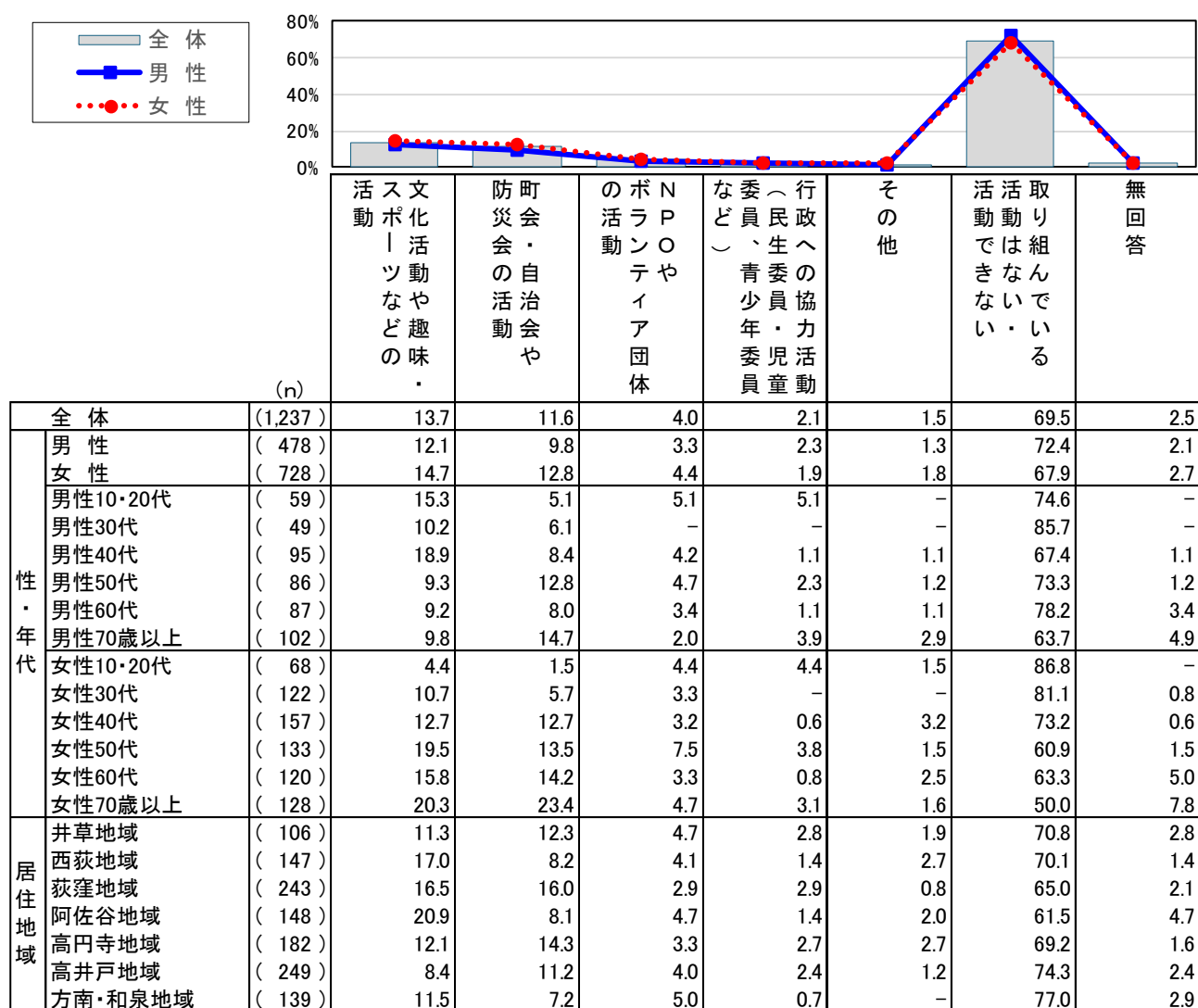
全体では、「取り組んでいる活動はない・活動できない」69.5%はほぼ7割で、何らかの活動への参加率は3割程度となる。具体的には「文化活動や趣味・スポーツなどの活動」13.7%、「町会・自治会や防災会の活動」11.5%が1割を超えている。

性別でみると、女性の方が男性より「文化活動や趣味・スポーツなどの活動」「町会・自治会や防災会の活動」が高く、「取り組んでいる活動はない・活動できない」67.9%は男性72.4%より低くなっている。

性・年代では、男性30代と女性30代以下で「取り組んでいる活動はない・活動できない」は8割を超え、参加率は低い。女性では年代があがると「取り組んでいる活動はない・活動できない」は低くなり、「文化活動や趣味・スポーツなどの活動」「町会・自治会や防災会の活動」が高くなる。

居住地域でみると、方南・和泉地域で「取り組んでいる活動はない・活動できない」77.0%は8割弱に達している。

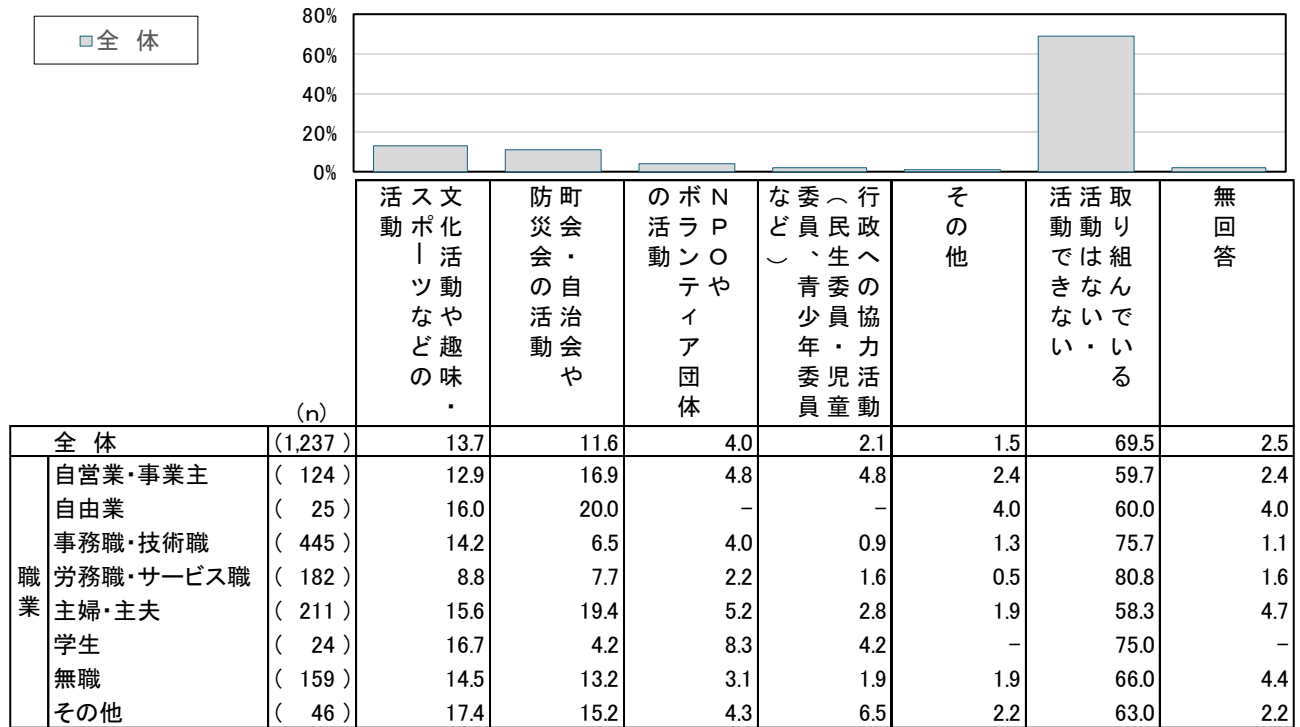
問30 地域活動・社会活動参加状況【性・年代・居住地域別】



※全体の高い順

職業でみると、労務職・サービス職で「取り組んでいる活動はない・活動できない」80.8%が8割に達している。事務職・技術職と、回答者数が少なく参考程度となるが学生でも「取り組んでいる活動はない・活動できない」は7割台半ばと高くなっている。

問 30 地域活動・社会活動参加状況【職業別】



※全体の高い順

15. 子どもの権利・子育て支援について

-
- (1)「子どもの権利条約」と「杉並区子どもの権利に関する条例」の認知度
 - (2)子どもの権利の認知度
 - (3)18歳未満の子どもの有無
 - (4)地域の子育て支援についての意識
 - (5)地域の子育て支援サービス等の利用しやすさ
-

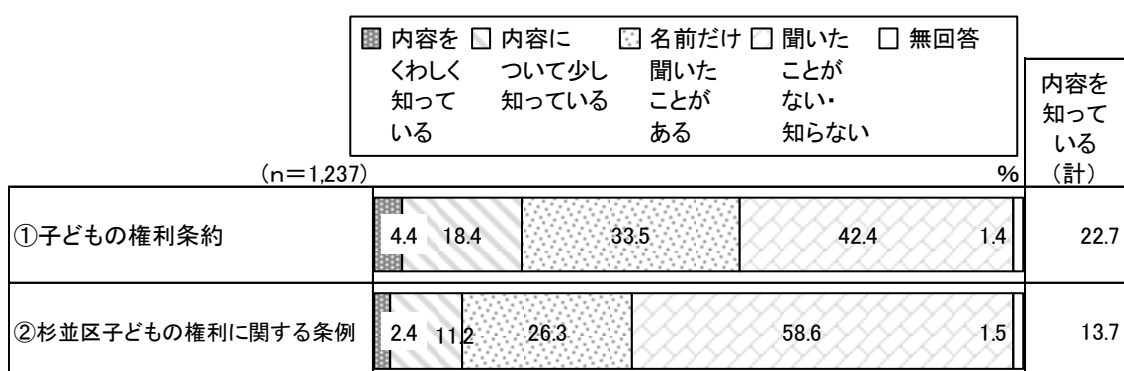
(1) 「子どもの権利条約」と「杉並区子どもの権利に関する条例」の認知度

問31 あなたは、「子どもの権利条約」と「杉並区子どもの権利に関する条例」を知っていますか。(それぞれあてはまる番号1つに○)

全体では、【子どもの権利条約】について「内容をくわしく知っている」4.4%と「内容について少し知っている」18.4%を合わせた『内容を知っている(計)』22.7%は2割強にとどまっている。

【杉並区子どもの権利に関する条例】では『内容を知っている(計)』13.7%はさらに低く、「聞いたことがない・知らない」58.6%が6割近くを占めている。

問 31 「子どもの権利条約」と「杉並区子どもの権利に関する条例」の認知度

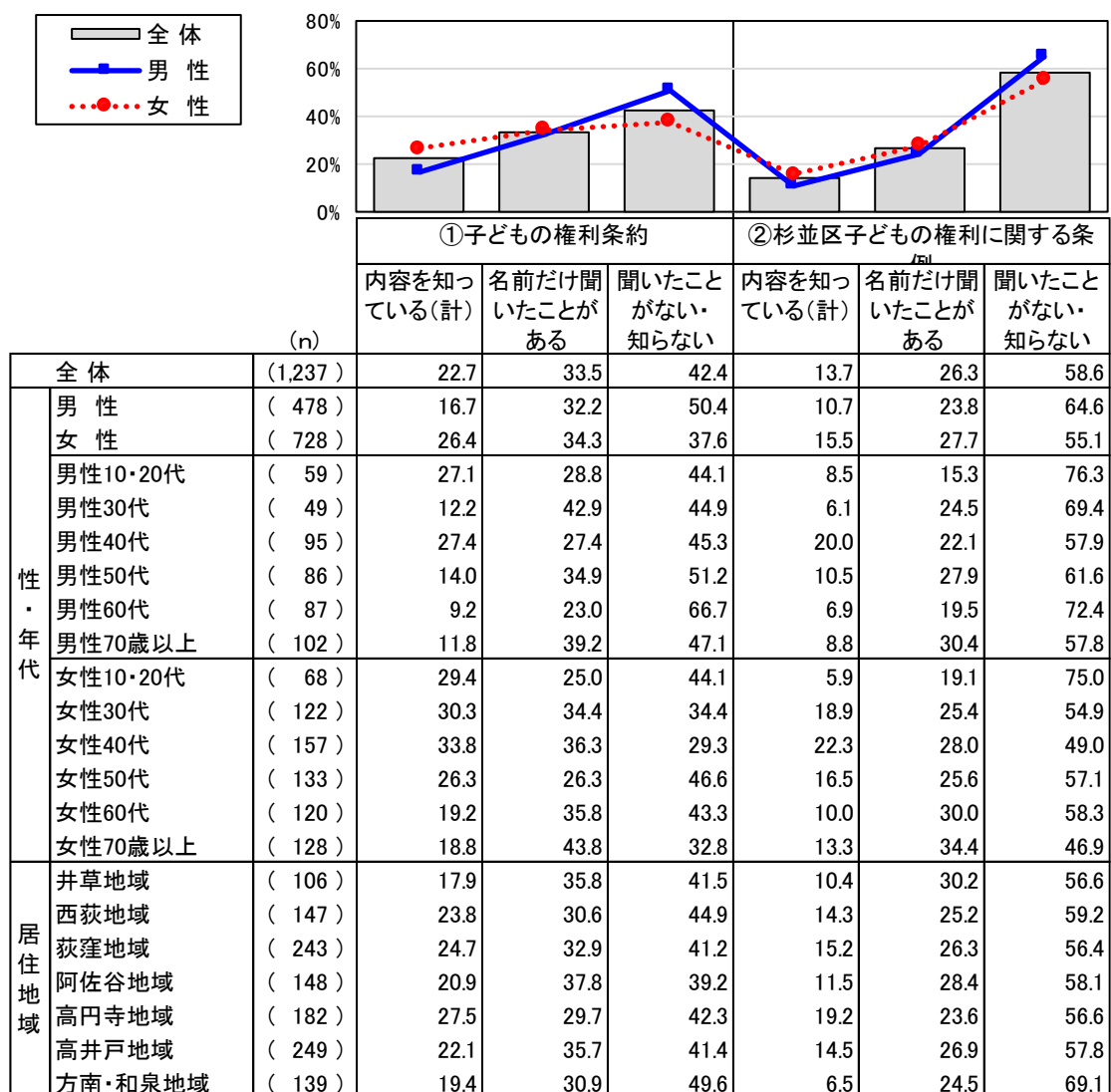


性別でみると、【子どもの権利条約】の『内容を知っている(計)』は女性 26.4%の方が、男性 16.7%より高い。【杉並区子どもの権利に関する条例】でも女性 15.5%、男性 10.7%と、女性の方が高くなっている。

性・年代では、【子どもの権利条約】の『内容を知っている(計)』は女性 40 代 33.8%が最も高く、次いで女性 30 代 30.3%、女性 10・20 代 29.4%となっている。一方、男性 60 代は 9.2%で最も低い。【杉並区子どもの権利に関する条例】でも女性 40 代 22.3%が最も高く、男性 40 代 20.0%が続いている。

居住地域でみると、【子どもの権利条約】の『内容を知っている(計)』は高円寺地域 27.5%が最も高く、井草地域 17.9%が最も低い。【杉並区子どもの権利に関する条例】でも高円寺地域 19.2%が最も高く、方南・和泉地域 6.5%が最も低くなっている。

問 31 「子どもの権利条約」と「杉並区子どもの権利に関する条例」の認知度【性・年代・居住地域別】



(2) 子どもの権利の認知度

問31-1 あなたは、以下の子どもの権利について知っていますか。
(それぞれあてはまる番号1つに○)

全体では、どの項目も「内容をくわしく知っている」は1割にとどかず、これに「内容について少し知っている」を合わせた『内容を知っている(計)』も2割台後半にとどまっている。

「聞いたことがない・知らない」は【子どもに関することについて、大人はその子どもにとって最も良いことを優先する】41.2%と【子どもは自分に関することについて、自由に意見を表すことができ、大人はそれを尊重する】38.2%で4割前後と高くなっている。

問 31-1 子どもの権利の認知度

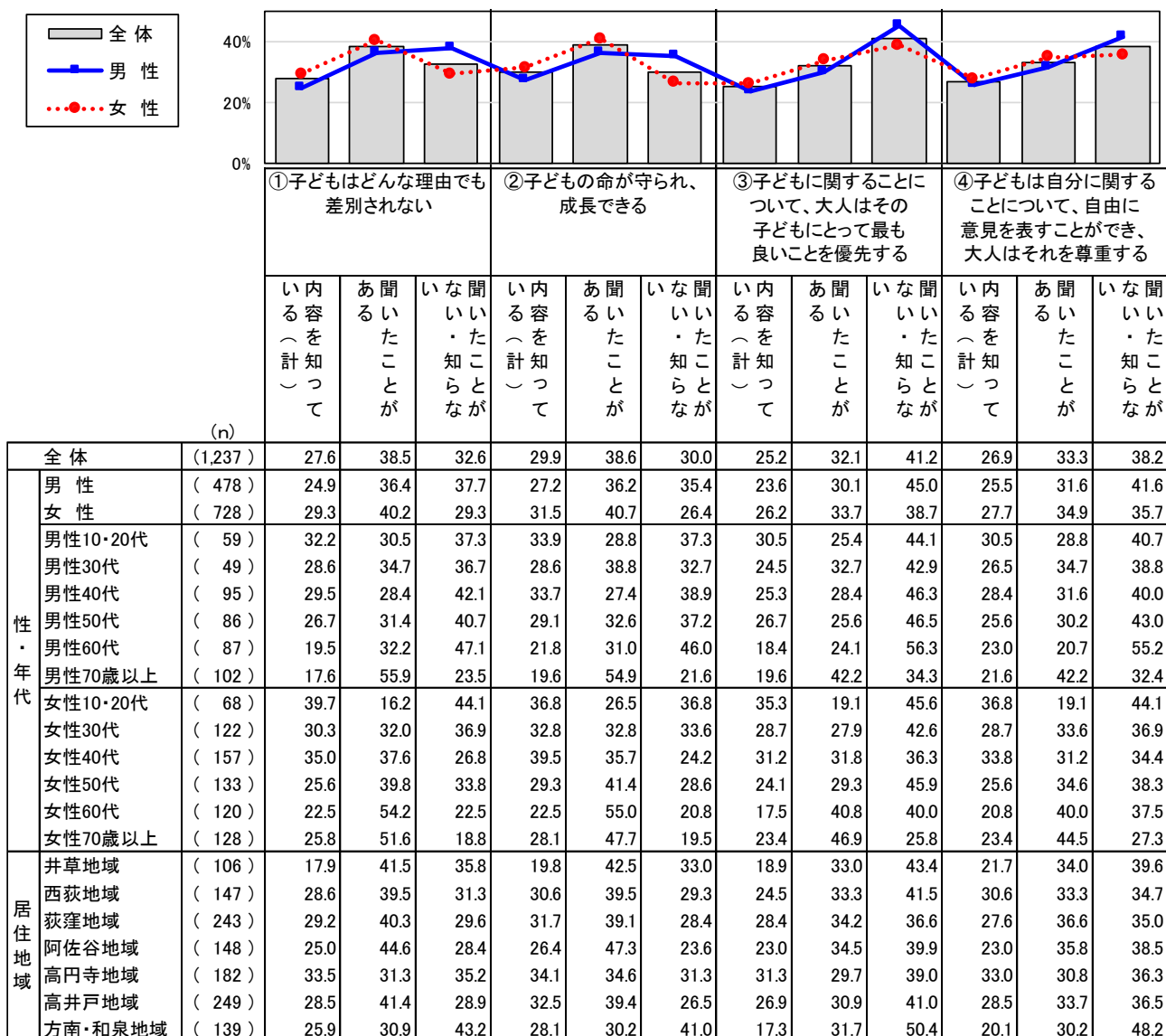
	■ 内容をくわしく知っている □ 内容について少し知っている ▨ 名前だけ聞いたことがある □ 聞いたことがない・知らない □ 無回答				内容を知っている(計)	
	(n=1,237)				%	
①子どもはどんな理由でも差別されない	8.3	19.3	38.5	32.6	1.3	27.6
②子どもの命が守られ、成長できる	8.8	21.1	38.6	30.0	1.5	29.9
③子どもに関することについて、大人はその子どもにとって最も良いことを優先する	7.2	18.0	32.1	41.2	1.5	25.2
④子どもは自分に関することについて、自由に意見を表すことができ、大人はそれを尊重する	8.1	18.8	33.3	38.2	1.6	26.9

性別でみると、女性の『内容を知っている(計)』はどの項目も3割前後で男性の2割半ば程度をすべての項目で上回っている。

性・年代では、女性10・20代はすべての項目で『内容を知っている(計)』が3割台後半と高くなっている。女性40代も【子どもの命が守られ、成長できる】39.5%は高くなっている。一方、男性70歳以上はすべての項目で『内容を知っている(計)』が2割前後と低くなっている。女性60代も【子どもに関することについて、大人はその子どもにとって最も良いことを優先する】17.5%は低くなっている。

居住地域でみると、『内容を知っている(計)』は高円寺地域が4項目すべてで3割を超え、最も高くなっている。一方、井草地域は全項目とも2割前後と低い。方南・和泉地域も全体的に低めで、特に【子どもに関することについて、大人はその子どもにとって最も良いことを優先する】17.3%、【子どもは自分に関することについて、自由に意見を表すことができ、大人はそれを尊重する】20.1%では、最も低くなっている。

問 31-1 子どもの権利の認知度【性・年代・居住地域別】

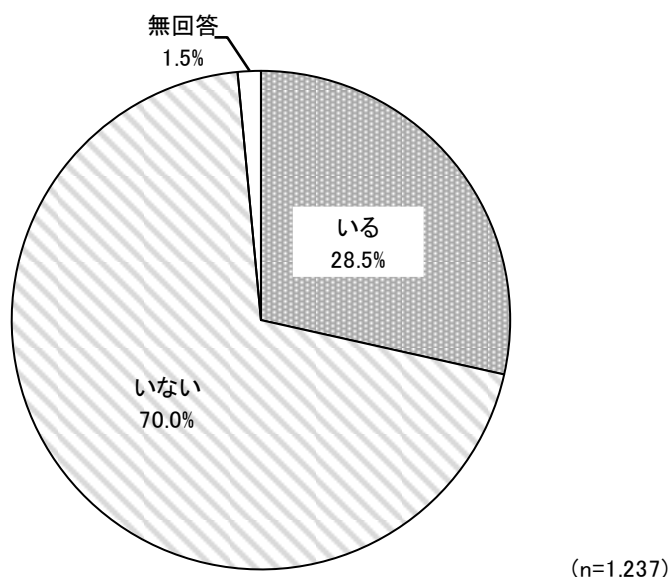


(3) 18歳未満の子どもの有無

問32 あなたには、18歳未満のお子さんがいらっしゃいますか。(○は1つだけ)

全体では、18歳未満の子どもが「いる」28.5%は3割弱にとどまり、「いない」70.0%がちょうど7割を占めている。

問 32 18歳未満の子どもの有無



居住地域でみると、18歳未満の子どもが「いる」は井草地域 34.9%が最も高く、次いで高井戸地域 34.1%、高円寺地域 30.8%までが3割を超えている。阿佐谷地域 20.9%が最も低くなっている。

問 32 18歳未満の子どもの有無【居住地域別】

		(n)	いる いない 無回答			%
全 体		(1,237)	28.5	70.0	1.5	
居住地域	井草地域	(106)	34.9	61.3	3.8	
	西荻地域	(147)	23.8	74.8	1.4	
	荻窪地域	(243)	27.2	71.6	1.2	
	阿佐谷地域	(148)	20.9	77.0	2.0	
	高円寺地域	(182)	30.8	69.2		
	高井戸地域	(249)	34.1	64.7	1.2	
	方南・和泉地域	(139)	27.3	71.2	1.4	

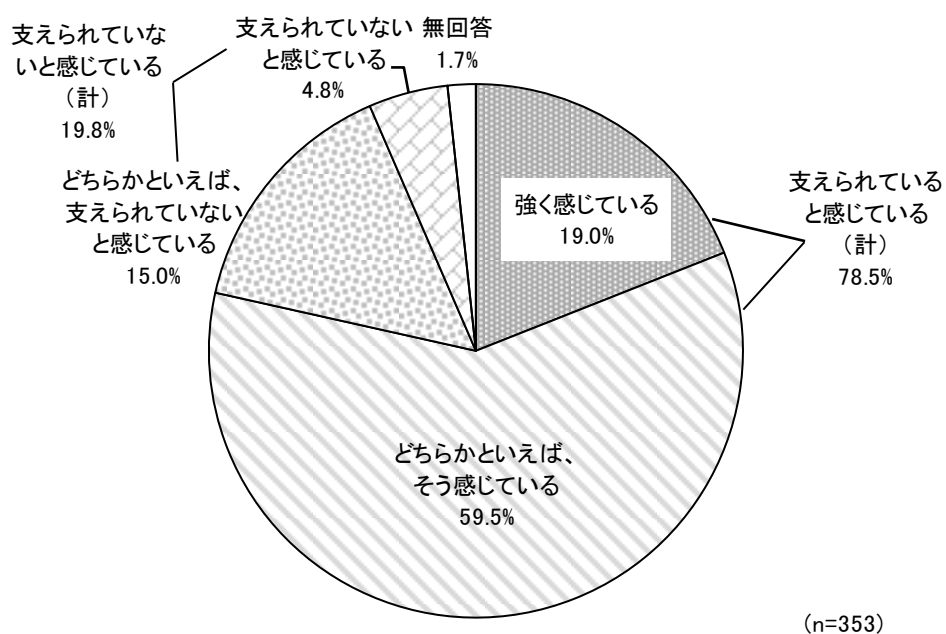
(4) 地域の子育て支援についての意識

(問32で「いる」と回答した方に)

問32-1 子育てが地域の人に(もしくは社会で)支えられていると感じていますか。(○は1つだけ)

全体では、「強く感じている」19.0%と「どちらかといえば、そう感じている」59.5%を合わせた『支えられていると感じている(計)』78.5%は8割近くに達している。一方、「どちらかといえば、支えられていないと感じている」15.0%と「支えられていないと感じている」4.8%を合わせた『支えられていないと感じている(計)』19.8%はほぼ2割となっている。

問 32-1 地域の子育て支援についての意識



性別でみると、男女で大きな違いはみられない。

性・年代では、女性 30～40 代の『支えられていると感じている(計)』は 8 割を超えている。

居住地域でみると、高井戸地域の『支えられていると感じている(計)』88.2%が最も高く、次いで荻窪地域 80.3%となっている。西荻地域 62.9%が最も低くなっている。

有職・無職でみると、有職者の「強く感じている」20.3%が無職者 14.9%より高いため、『支えられていると感じている(計)』も有職者 79.7%の方が無職者 74.7%よりやや高くなっている。

問 32－1 地域の子育て支援についての意識【性・年代・居住地域別】

		(n)	■ 強く感じている □ どちらかといえば、そう感じている □ どちらかといえば、支えられていないと感じている □ 支えられていないと感じている □ 無回答					%	支えられていると感じている(計)	支えられていないと感じている(計)
全 体		(353)	19.0	59.5	15.0	4.8		1.7	78.5	19.8
性・年代	男性	(120)	18.3	60.0	15.0	4.2		2.5	78.3	19.2
	女性	(225)	19.1	60.0	15.1	4.4		1.3	79.1	19.6
	男性10・20代	(1)	100.0					100.0		－
	男性30代	(20)	25.0	60.0	5.0	10.0		85.0	15.0	
	男性40代	(59)	13.6	64.4	16.9	5.1		78.0	22.0	
	男性50代	(30)	23.3	53.3	16.7	6.7		76.7	16.7	
	男性60代	(8)	12.5	62.5	12.5	12.5		75.0	12.5	
	男性70歳以上	(2)	50.0	50.0				50.0	50.0	
	女性10・20代	(5)	40.0	20.0	20.0	20.0		60.0	40.0	
	女性30代	(72)	12.5	68.1	13.9	2.8		2.8	80.6	16.7
	女性40代	(115)	21.7	59.1	14.8	3.5		0.9	80.9	18.3
	女性50代	(31)	22.6	48.4	19.4	9.7		71.0	29.0	
	女性60代	(1)	100.0					100.0		－
	女性70歳以上	(1)	100.0					100.0		－
居住地域	井草地域	(37)	8.1	70.3	16.2	5.4		78.4	21.6	
	西荻地域	(35)	14.3	48.6	22.9	8.6	5.7	62.9	31.4	
	荻窪地域	(66)	21.2	59.1	12.1	6.1		1.5	80.3	18.2
	阿佐谷地域	(31)	12.9	64.5	19.4	3.2		77.4	19.4	
	高円寺地域	(56)	25.0	51.8	14.3	8.9		76.8	23.2	
	高井戸地域	(85)	18.8	69.4	10.6			1.2	88.2	11.8
	方南・和泉地域	(38)	21.1	52.6	18.4	2.6	5.3	73.7	21.1	
職業有無	有職者	(266)	20.3	59.4	14.7	3.8		1.9	79.7	18.4
	無職者	(87)	14.9	59.8	16.1	8.0		1.1	74.7	24.1

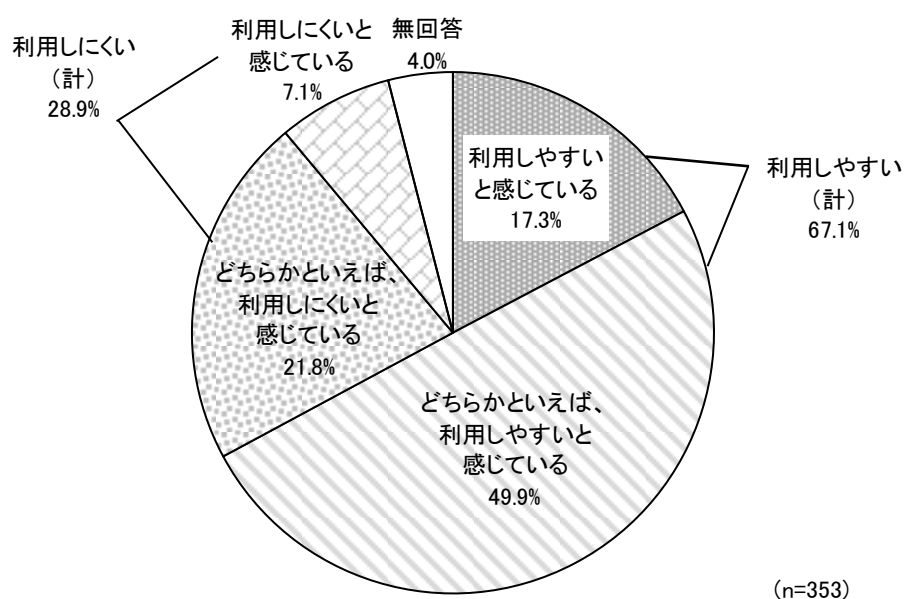
(5) 地域の子育て支援サービス等の利用しやすさ

(問32で「いる」と回答した方に)

問32-2 地域の子育て支援サービス・施設が利用しやすいと感じていますか。(○は1つだけ)

全体では、「利用しやすいと感じている」17.3%と「どちらかといえば、利用しやすいと感じている」49.9%を合わせた『利用しやすい(計)』67.1%は7割近くとなっている。一方、「どちらかといえば、利用しにくいと感じている」21.8%と「利用しにくいと感じている」7.1%を合わせた『利用しにくい(計)』28.9%は3割弱となっている。

問 32-2 地域の子育て支援サービス等の利用しやすさ



性別でみると、男女で大きな違いはみられない。

性・年代では、男性 50 代の『利用しやすい(計)』73.3%が最も高く、女性 50 代 58.1%が最も低くなっている。

居住地域でみると、井草地域の『利用しやすい(計)』78.4%が最も高く、次いで阿佐谷地域 71.0%、高円寺地域 69.6%となっている。荻窪地域 59.1%が最も低くなっている。

有職・無職でみると、有職者の「利用しやすい」19.2%が無職者 11.5%より高いため、『利用しやすい(計)』も有職者 68.8%の方が無職者 62.1%より高くなっている。

問 32-2 地域の子育て支援サービス等の利用しやすいさ【性・年代・居住地域・職業の有無別】

		(n)	■ 利用しやすいと感じている □ どちらかといえは利用しやすいと感じている □ どちらかといえは利用しにくいと感じている □ 利用しにくいと感じている □ 無回答					%	利用しやすい(計)	利用しにくい(計)
全 体		(353)	17.3	49.9	21.8	7.1	4.0		67.1	28.9
性・年代	男性	(120)	17.5	50.0	24.2	5.8		2.5	67.5	30.0
	女性	(225)	17.3	48.9	21.3	7.6	4.9		66.2	28.9
	男性10・20代	(1)		100.0					100.0	-
	男性30代	(20)	45.0	45.0		10.0			90.0	10.0
	男性40代	(59)	15.3	45.8	30.5	3.4	5.1		61.0	33.9
	男性50代	(30)	10.0	63.3	20.0	6.7			73.3	26.7
	男性60代	(8)		37.5	50.0	12.5			37.5	62.5
	男性70歳以上	(2)		50.0	50.0				50.0	50.0
	女性10・20代	(5)		60.0	20.0	20.0			60.0	40.0
	女性30代	(72)	20.8	44.4	25.0	2.8	6.9		65.3	27.8
	女性40代	(115)	17.4	51.3	18.3	9.6	3.5		68.7	27.8
	女性50代	(31)	12.9	45.2	25.8	9.7	6.5		58.1	35.5
	女性60代	(1)		100.0					100.0	-
	女性70歳以上	(1)		100.0					100.0	-
居住地域	井草地域	(37)	13.5	64.9	16.2	5.4			78.4	21.6
	西荻地域	(35)	20.0	42.9	28.6	2.9	5.7		62.9	31.4
	荻窪地域	(66)	19.7	39.4	25.8	9.1	6.1		59.1	34.8
	阿佐谷地域	(31)	16.1	54.8	22.6	3.2	3.2		71.0	25.8
	高円寺地域	(56)	17.9	51.8	12.5	10.7	7.1		69.6	23.2
	高井戸地域	(85)	14.1	54.1	23.5	5.9		2.4	68.2	29.4
	方南・和泉地域	(38)	18.4	44.7	26.3	7.9		2.6	63.2	34.2
職業有無	有職者	(266)	19.2	49.6	22.2	6.4		2.6	68.8	28.6
	無職者	(87)	11.5	50.6	20.7	9.2	8.0		62.1	29.9

16. 多文化共生について

(1) 地域に外国人が増えていくことに対する意識

(1) 地域に外国人が増えていくことに対する意識

問33 地域に外国人が増えていくことについて、どのように感じますか。(〇はいくつでも)

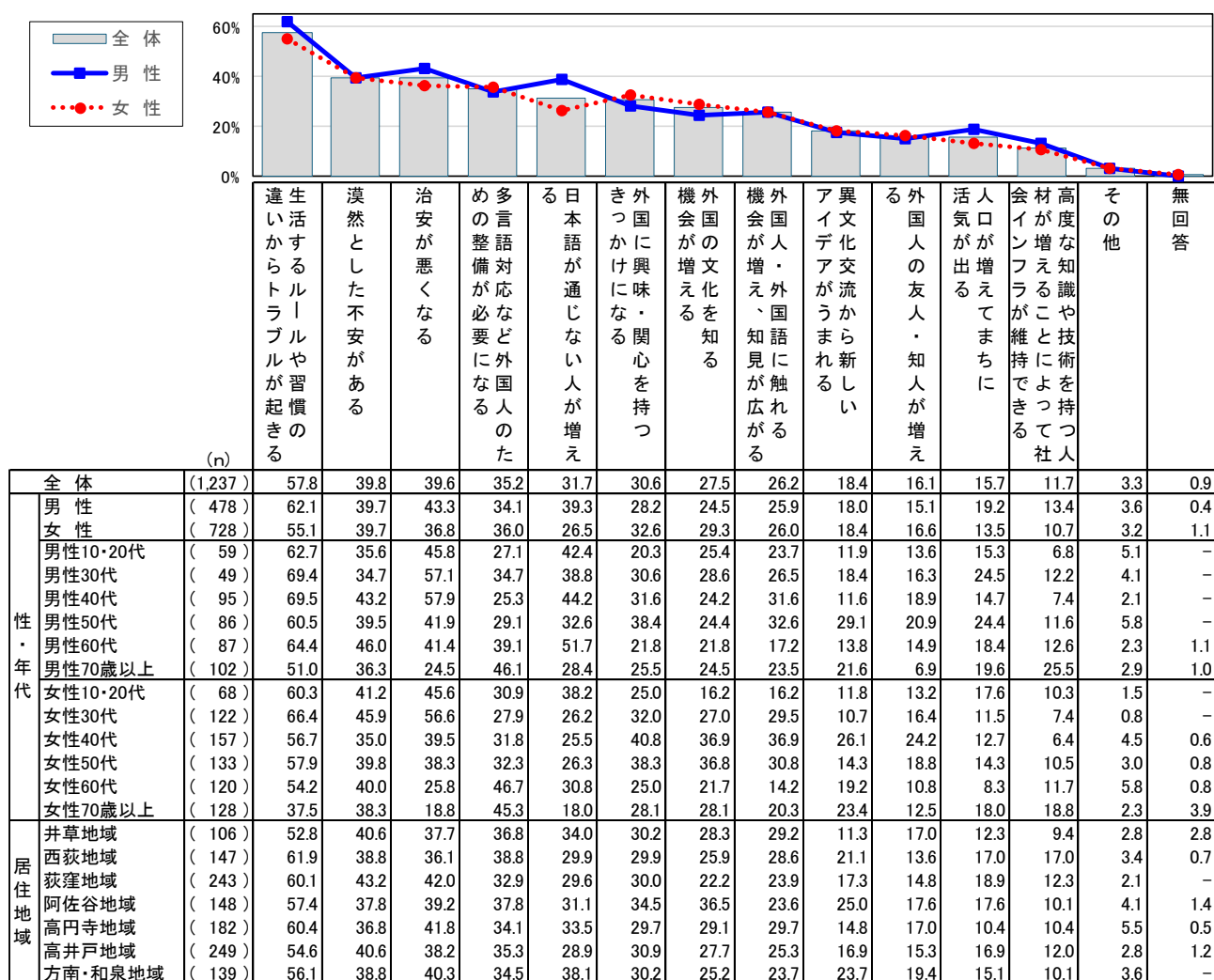
全体では、「生活するルールや習慣の違いからトラブルが起きる」57.8%が最も高く、次いで「漠然とした不安がある」39.8%、「治安が悪くなる」39.6%と、ネガティブな項目が上位を占めている。

性別でみると、「生活するルールや習慣の違いからトラブルが起きる」は男性 62.1%、女性 55.1%、「治安が悪くなる」は男性 43.3%、女性 36.8%、「日本語が通じない人が増える」は男性 39.3%、女性 26.5%と男性の方が高くなっている。逆に女性の方が高いのは「外国に興味・関心を持つきっかけになる」で男性 28.2%、女性 32.6%、「外国の文化を知る機会が増える」で男性 24.5%、女性 29.3%である。

性・年代では、「生活するルールや習慣の違いからトラブルが起きる」は男性 30～40代でほぼ7割と高く、女性 70歳以上 37.5%が最も低い。「治安が悪くなる」も男性 30～40代で6割弱と高く、男女 70歳以上では2割前後と低くなっている。

居住地域でみると、西荻地域、荻窪地域、高円寺地域では「生活するルールや習慣の違いからトラブルが起きる」が6割を超えている。

問 33 地域に外国人が増えていくことに対する意識【性・年代・居住地域別】



※全体の高い順

17. 運動・スポーツについて

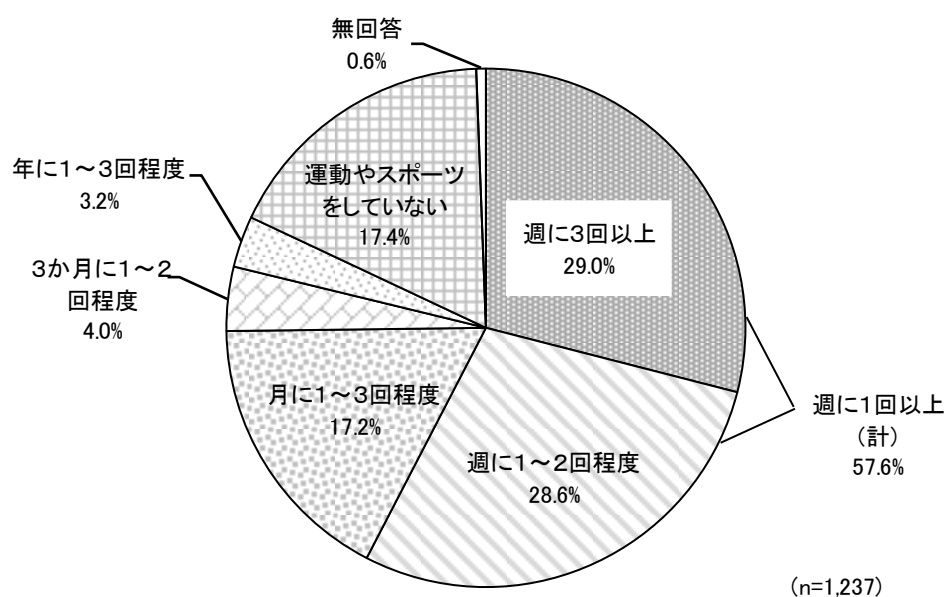
-
- (1) この1年間の運動やスポーツの実施状況
 - (2) スポーツ・運動の実施状況や考え方
 - (3) スポーツ・運動に関するボランティア活動の実施状況
-

(1) この1年間の運動やスポーツの実施状況

問34 あなたは、この1年間に運動やスポーツ(体操や散歩(散策)、ペットの散歩など)を含むをどれくらいの頻度でしたか(学校の授業、職業として行ったものを除く)。(○は1つだけ)

全体では、「週に3回以上」29.0%と「週に1～2回程度」28.6%を合わせた『週に1回以上(計)』57.6%は、6割近くとなっている。一方、「運動やスポーツをしていない」は17.4%となっている。

問 34 この1年間の運動やスポーツの実施状況



性別でみると、男性の『週に1回以上(計)』61.9%の方が女性54.5%より高く、逆に「運動やスポーツをしていない」は女性19.1%、男性14.6%と女性の方が高いことから、男性の方が女性より運動やスポーツを実施していると言える。

性・年代では、「週に3回以上」は男性70歳以上47.1%が最も高く、次いで男性50代36.0%、女性70歳以上35.9%となっている。一方、女性10・20代は20.6%で最も低く、「運動やスポーツをしていない」も26.5%と最も高い。

職業でみると、「週に3回以上」は無職43.4%、自営業・事業主41.9%、主婦・主夫35.5%で高く、事務職・技術職、労務職・サービス職では2割程度にとどまっている。

問 34 この1年間の運動やスポーツの実施状況【性・年代・職業別】

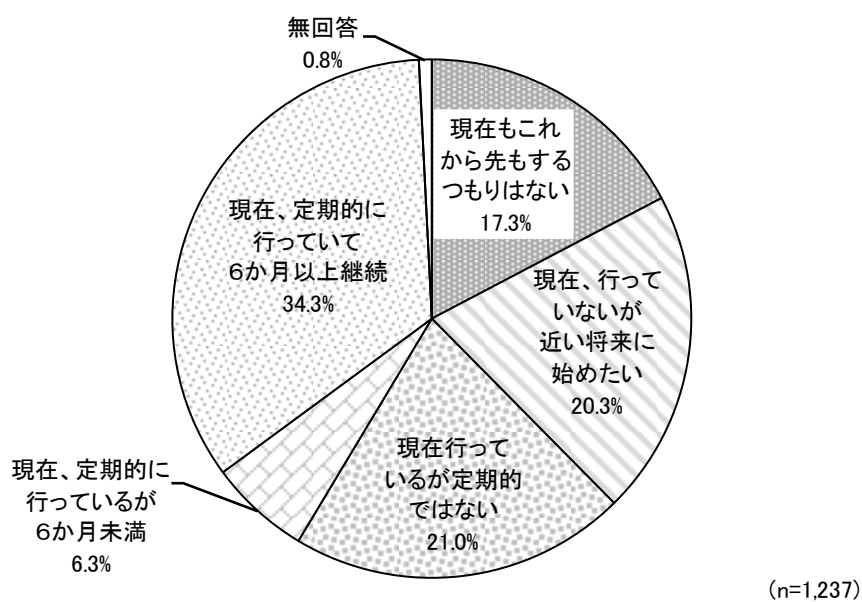
		■ 週に3回以上 ▨ 週に1～2回程度 □ 月に1～3回程度 ▨ 3か月に1～2回程度 □ 年に1～3回程度 □ 運動やスポーツをしていない □ 無回答							%	
(n)									週に1回以上(計)	
性・年代	全 体	(1,237)	29.0	28.6	17.2	4.0	3.2	17.4	0.6	57.6
	男性	(478)	30.5	31.4	15.7	3.8	3.3	14.6	0.6	61.9
	女性	(728)	28.0	26.5	18.4	4.4	3.0	19.1	0.5	54.5
	男性10・20代	(59)	22.0	33.9	15.3	6.8	3.4	18.6		55.9
	男性30代	(49)	24.5	28.6	20.4	4.1	6.1	16.3		53.1
	男性40代	(95)	21.1	38.9	21.1	7.4	2.1	9.5		60.0
	男性50代	(86)	36.0	33.7	16.3	2.3	5.8	5.8		69.7
	男性60代	(87)	25.3	33.3	12.6	2.3	2.3	23.0	1.1	58.6
	男性70歳以上	(102)	47.1	20.6	10.8	1.0	2.0	16.7	2.0	67.7
	女性10・20代	(68)	20.6	20.6	17.6	8.8	5.9	26.5		41.2
	女性30代	(122)	23.8	28.7	23.8	5.7	2.5	14.8	0.8	52.5
	女性40代	(157)	26.8	24.8	23.6	5.1	1.9	17.8		51.6
	女性50代	(133)	28.6	30.1	17.3	1.5	3.8	18.0	0.8	58.7
	女性60代	(120)	29.2	27.5	15.8	7.5	4.2	15.8		56.7
	女性70歳以上	(128)	35.9	25.0	10.9	1.6		25.0	1.6	60.9
職 業	自営業・事業主	(124)	41.9	21.8	18.5	2.4	0.8	14.5		63.7
	自由業	(25)	28.0	32.0	20.0			20.0		60.0
	事務職・技術職	(445)	20.2	33.9	19.8	5.8	3.6	16.2	0.4	54.1
	労務職・サービス職	(182)	20.3	30.8	17.6	6.0	4.9	20.3		51.1
	主婦・主夫	(211)	35.5	22.3	19.0	1.4	3.8	17.5	0.5	57.8
	学生	(24)	29.2	33.3	8.3	4.2	4.2	20.8		62.5
	無職	(159)	43.4	25.8	6.9	2.5	0.6	18.9	1.9	69.2
	その他	(46)	32.6	19.6	23.9	4.3	4.3	13.0	2.2	52.2

(2) スポーツ・運動の実施状況や考え方

問35 あなたの、過去6か月、現在、そしてこれから先のスポーツ・運動実施状況や考え方について、最もあてはまるものはどれですか。(○は1つだけ)

全体では、「現在、定期的に行っていて6か月以上継続」34.3%が最も高く、次いで「現在行っているが定期的ではない」21.0%、「現在、行っていないが近い将来に始めたい」20.3%の順となっている。「現在もこれから先もするつもりはない」は17.3%となっている。

問 35 スポーツ・運動の実施状況や考え方



性別でみると、「現在、定期的に行っていて6か月以上継続」は男性 38.9%、女性 30.8%で男性の方が高くなっている。一方、「現在、行っていないが近い将来に始めたい」は女性 23.8%、男性 15.9%と女性の方が高くなっている。

性・年代では、女性は年代があがるほど「現在、定期的に行っていて6か月以上継続」も高くなり、女性 70 歳以上では4割を超える。男性も女性ほど顕著ではないが同様の傾向があり、男性 70 歳以上では5割ちょうどとなる。また男女とも 30 代では「現在、行っていないが近い将来に始めたい」が3割を超えている。

職業でみると、「現在、定期的に行っていて6か月以上継続」は無職 48.4%で高く、事務職・技術職と労務職・サービス職で3割弱と低くなっている。

問 35 スポーツ・運動の実施状況や考え方【性・年代・職業別】

		■ 現在もこれから先もするつもりはない □ 現在、行っていないが近い将来に始めたい □ 現在行っているが定期的ではない □ 現在、定期的に行っているが6か月未満 □ 現在、定期的に行っていて6か月以上継続 □ 無回答							
		(n)							%
性・年代	全 体	(1,237)	17.3	20.3	21.0	6.3	34.3		0.8
	男性	(478)	16.3	15.9	22.4	5.6	38.9		0.8
	女性	(728)	17.9	23.8	20.1	6.7	30.8		0.8
	男性10・20代	(59)	25.4	13.6	20.3	8.5	32.2		
	男性30代	(49)	18.4	30.6	18.4	8.2	24.5		
	男性40代	(95)	11.6	17.9	23.2	7.4	40.0		
	男性50代	(86)	8.1	16.3	29.1	4.7	40.7		1.2
	男性60代	(87)	21.8	16.1	20.7	4.6	35.6		1.1
	男性70歳以上	(102)	16.7	7.8	20.6	2.9	50.0		2.0
	女性10・20代	(68)	23.5	27.9	19.1	10.3	19.1		
	女性30代	(122)	13.9	34.4	18.9	10.7	21.3		0.8
	女性40代	(157)	17.8	23.6	24.8	7.0	26.8		
	女性50代	(133)	14.3	25.6	18.8	9.0	31.6		0.8
	女性60代	(120)	15.0	23.3	23.3	0.8	36.7		0.8
	女性70歳以上	(128)	25.0	10.2	14.1	3.9	44.5		2.3
職業	自営業・事業主	(124)	12.1	20.2	16.9	8.9	40.3		1.6
	自由業	(25)	28.0	12.0	12.0	8.0	40.0		
	事務職・技術職	(445)	15.1	27.0	22.0	8.1	27.4		0.4
	労務職・サービス職	(182)	15.9	23.6	26.9	6.6	26.9		
	主婦・主夫	(211)	21.8	17.5	17.5	3.8	38.4		0.9
	学生	(24)	29.2	4.2	25.0	4.2	37.5		
	無職	(159)	20.8	6.9	17.6	4.4	48.4		1.9
	その他	(46)	10.9	21.7	28.3	2.2	34.8		2.2

(3) スポーツ・運動に関するボランティア活動の実施状況

問36 あなたは、この1年間に、以下のようなスポーツ・運動の指導・審判やイベントへの協力など、スポーツ・運動に関するボランティア活動を行いましたか。(〇はいくつでも)

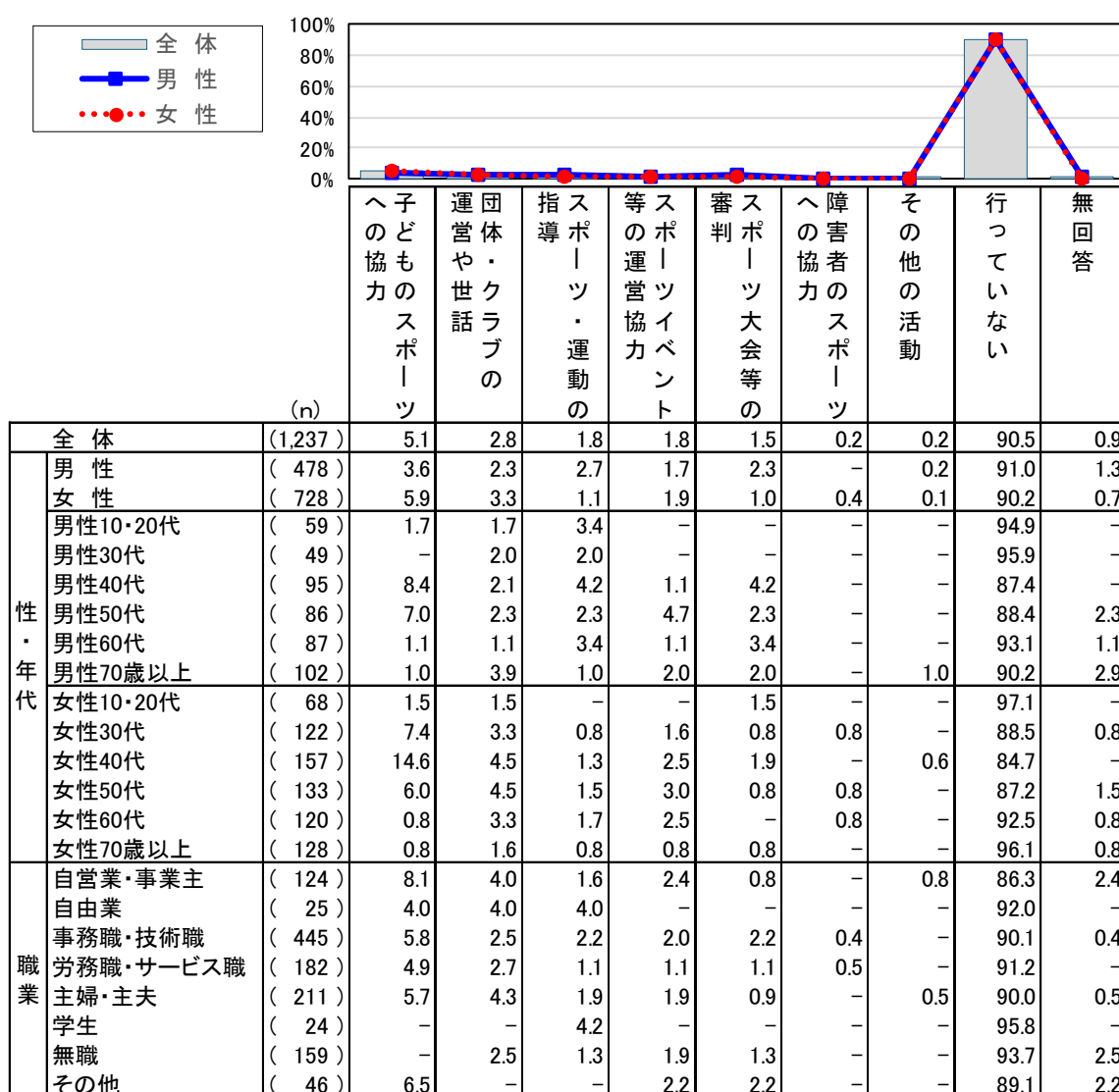
全体では、「行っていない」90.5%が9割を超えている。行った活動では「子どものスポーツへの協力」5.1%が最も高く、次いで「団体・クラブの運営や世話」2.8%となっているが、いずれも1割に満たない。

性別でみると、男女で大きな違いはない。

性・年代では、男女とも40代で「子どものスポーツへの協力」が高くなっており、特に女性40代では14.6%と1割半ばとなっている。

職業でみると、自営業・事業主で「子どものスポーツへの協力」8.1%が最も高く、「行っていない」86.3%が他職業より低くなっている。

問 36 スポーツ・運動に関するボランティア活動の実施状況【性・年代・職業別】



※全体の高い順

18. 生涯学習について

-
- (1) この1年間の生涯学習の実施状況
 - (2) 生涯学習を通じて身につけた知識・技能や経験の活用
 - (3) 文化・芸術鑑賞の有無
 - (4) 文化・芸術鑑賞の頻度
 - (5) 仕事と生活の調和に対する意識
-

(1) この1年間の生涯学習の実施状況

問37 あなたは、この1年くらいの間に、生涯学習をしたことがありますか。(〇はいくつでも)

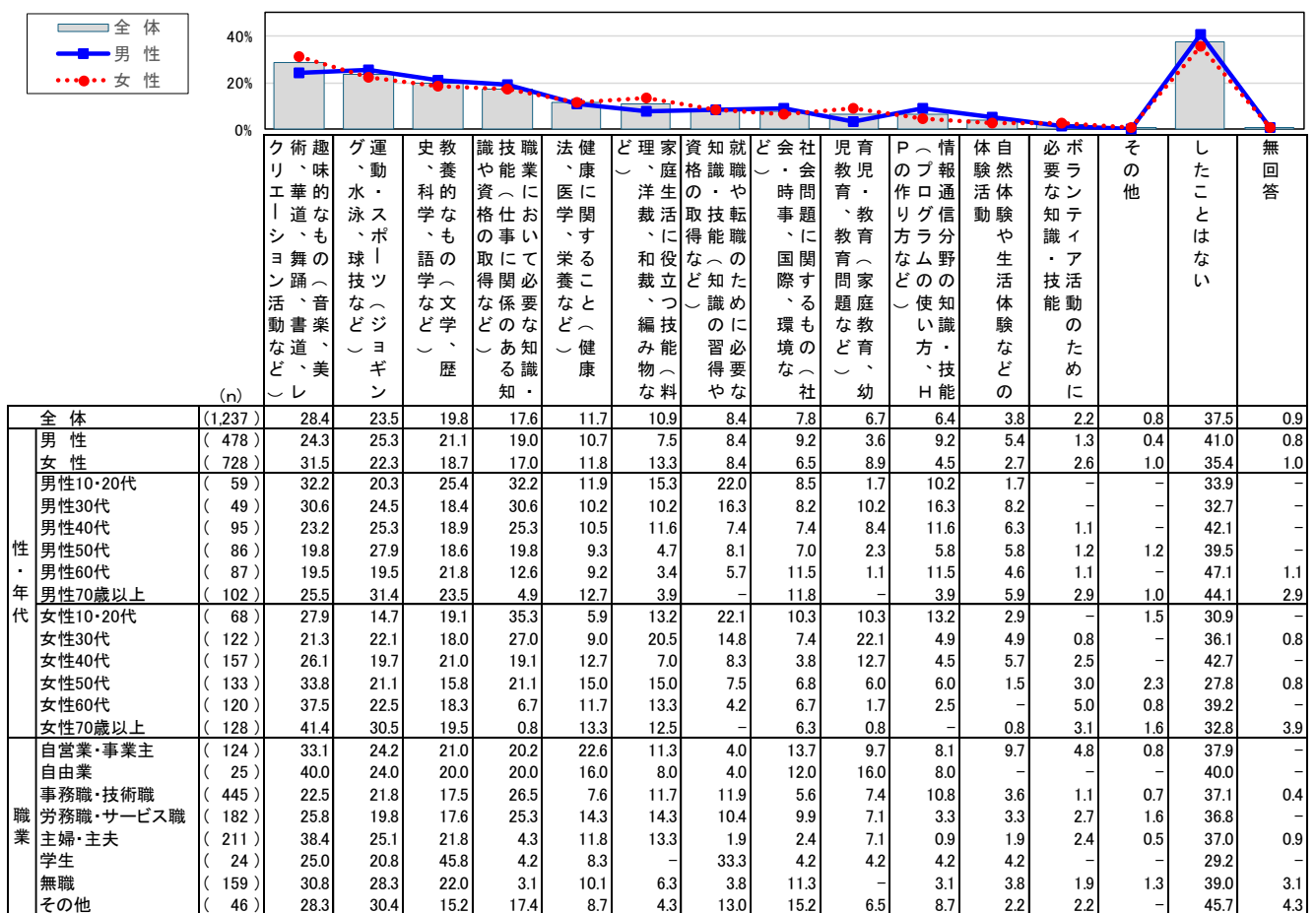
全体では、「したことはない」が 37.5%で、何らかの生涯学習をした人は6割を超えている。学習内容では「趣味的なもの」28.4%が最も高く、次いで「運動・スポーツ」23.5%、「教養的なもの」19.8%、「職業において必要な知識・技能」17.6%の順となっている。

性別でみると、「趣味的なもの」は女性 31.5%、男性 24.3%、「家庭生活に役立つ技能」は女性 13.3%、男性 7.5%と、いずれも女性の方が高い。一方、「したことはない」は男性 41.0%、女性 35.4%と男性の方が高くなっている。

性・年代では、「趣味的なもの」は女性 60代以降で4割前後と女性高齢層で高い。一方、「職業において必要な知識・技能」は男性 30代以下と女性 10・20代では3割を超え、「就職や転職のために必要な知識・技能」も男女とも 10・20代で2割を超えており、若年層で高くなっている。

職業でみると、「趣味的なもの」は主婦・主夫 38.4%と回答者数が少なく参考程度となるが自由業で高くなっている。「職業において必要な知識・技能」は事務職・技術職 26.5%、労務職・サービス職 25.3%で高い一方、主婦・主夫 4.3%、無職 3.1%では低く、大きな差がみられる。

問 37 この1年間の生涯学習の実施状況



※全体の高い順

(2) 生涯学習を通じて身につけた知識・技能や経験の活用

(問37でこの1年くらいの間にいずれかの生涯学習をしたと回答した方に)

問37-1 あなたは、生涯学習を通じて身につけた知識・技能や経験を、どのように生かしていますか。(〇はいくつでも)

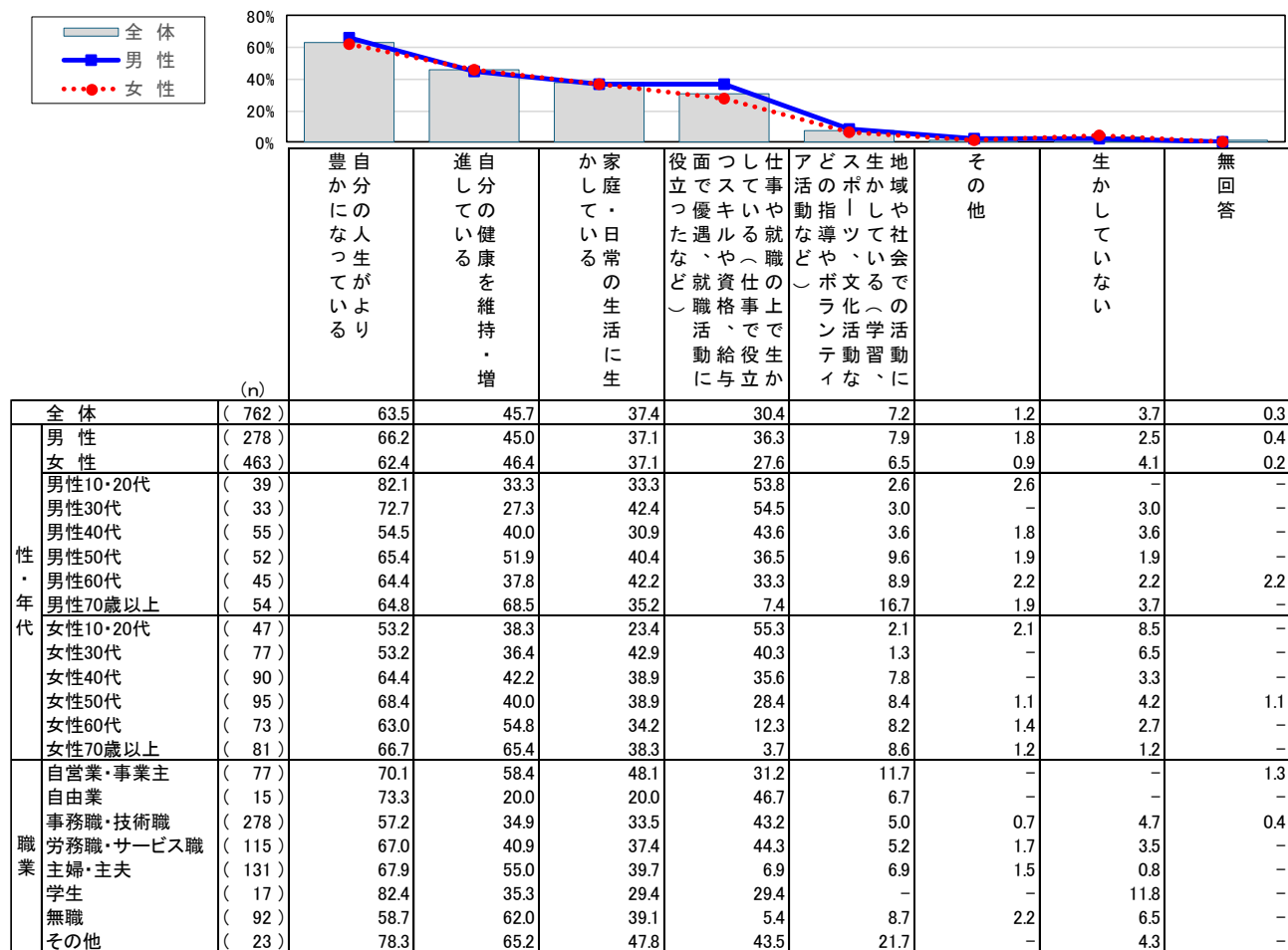
全体では、「自分の人生がより豊かになっている」63.5%が最も高く、次いで「自分の健康を維持・増進している」45.7%、「家庭・日常の生活に生かしている」37.4%、「仕事や就職の上で生かしている」30.4%の順となっている。

性別でみると、「仕事や就職の上で生かしている」は男性 36.3%、女性 27.6%で男性の方が高い。

性・年代では、男性 30 代以下で「自分の人生がより豊かになっている」が 7 割を超え、「仕事や就職の上で生かしている」は 5 割を超えている。特に 10・20 代の「自分の人生がより豊かになっている」82.1%は 8 割を超えている。「仕事や就職の上で生かしている」は男女とも年代が若い方が高く、女性 10・20 代でも 55.3%と 5 割を超えている。逆に「自分の健康を維持・増進している」は男性 70 歳以上で 68.5%、女性 70 歳以上で 65.4%と高齢層で高くなっている。

職業でみると、「仕事や就職の上で生かしている」は労務職・サービス職 44.3%、事務職・技術職 43.2%で高く、主婦・主夫 6.9%、無職 5.4%で低い。「自分の健康を維持・増進している」は無職 62.0%、自営業・事業主 58.4%、主婦・主夫 55.0%で高くなっている。

問 37-1 生涯学習を通じて身につけた知識・技能や経験の活用



※全体の高い順

(3) 文化・芸術鑑賞の有無

問38 あなたは、過去1年間に文化・芸術鑑賞したことがありますか(オンライン配信を含めた音楽や演劇、映画などを鑑賞すること)。(〇はいくつでも)

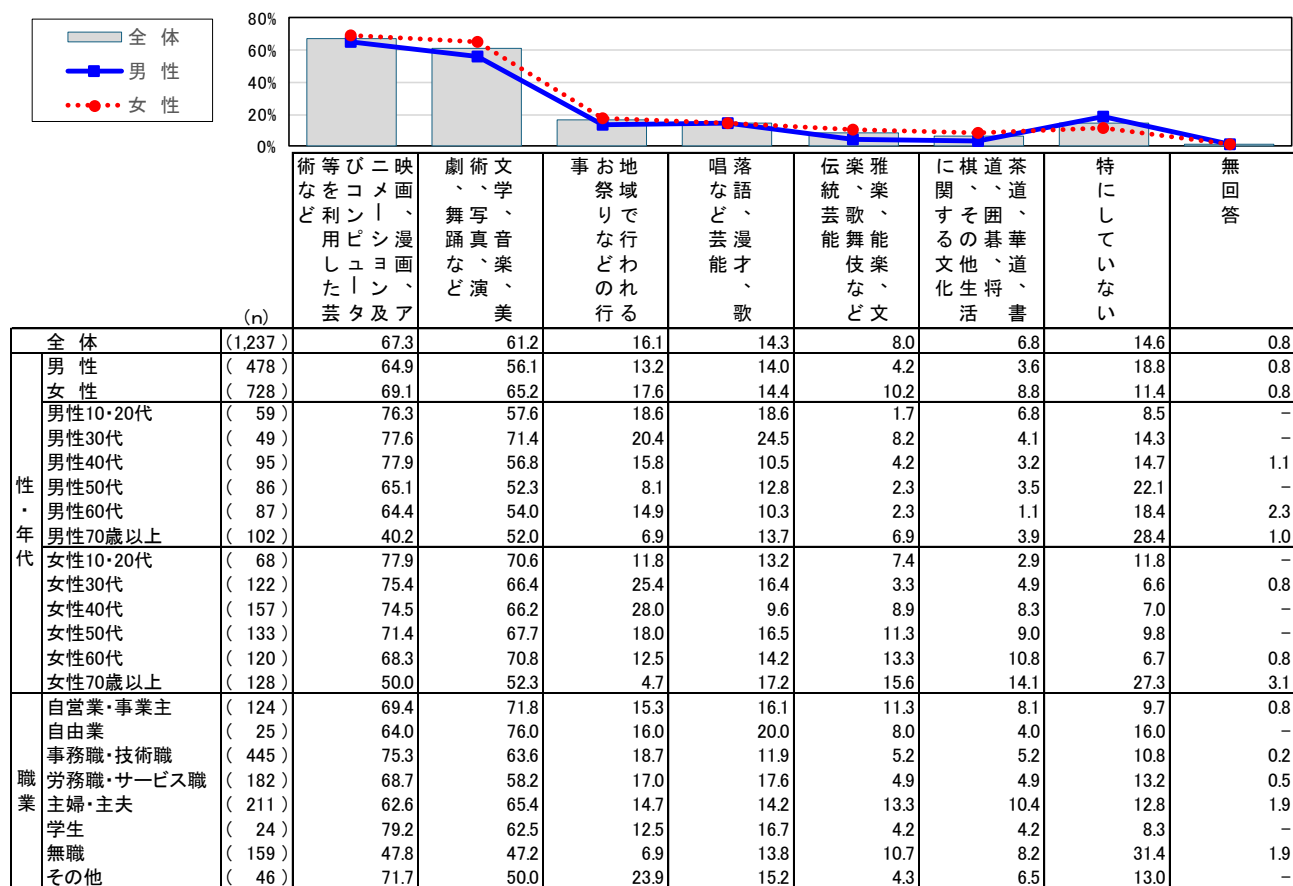
全体では、「映画、漫画、アニメーション及びコンピュータ等を利用した芸術など」67.3%が最も高く、次いで「文学、音楽、美術、写真、演劇、舞踊など」が61.2%と、この2項目が突出している。以下、「地域で行われるお祭りなどの行事」16.1%、「落語、漫才、歌唱など芸能」14.3%と続く。

性別でみると、全項目で女性の方が男性より高く、「映画、漫画、アニメーション及びコンピュータ等を利用した芸術など」「文学、音楽、美術、写真、演劇、舞踊など」は女性では6割台後半となっている。

性・年代では、「映画、漫画、アニメーション及びコンピュータ等を利用した芸術など」は男性40代以下、女性50代以下では7割を超えるが、男女とも70歳以上では4～5割程度と低くなっている。男女とも70歳以上は「特にしていない」が3割弱と他年代より高くなっている。「地域で行われるお祭りなどの行事」は女性30～40代では2割台後半と高くなっている。

職業でみると、事務職・技術職の「映画、漫画、アニメーション及びコンピュータ等を利用した芸術など」75.3%は7割を超えている。回答者数が少なく参考程度となるが、学生の「映画、漫画、アニメーション及びコンピュータ等を利用した芸術など」もほぼ8割で高くなっている。無職では「特にしていない」31.4%が3割を超えている。

問 38 文化・芸術鑑賞の有無



※全体の高い順

(4) 文化・芸術鑑賞の頻度

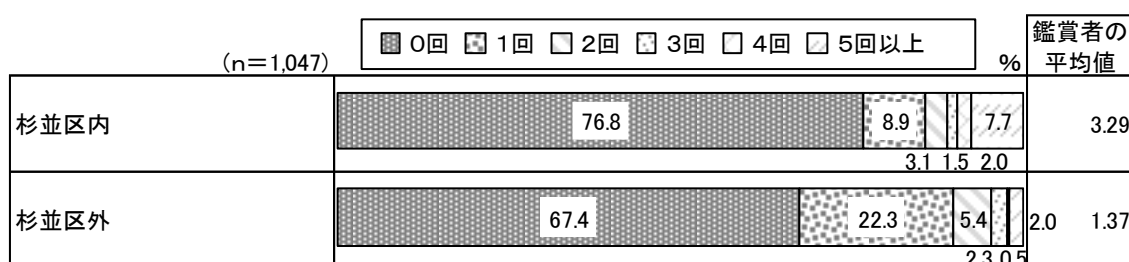
(問38で「文学、音楽、美術、写真、演劇、舞踊など」「映画、漫画、アニメーション及びコンピュータ等を利用した芸術など」「雅楽、能楽、文楽、歌舞伎など伝統芸能」「落語、漫才、歌唱など芸能」「茶道、華道、書道、囲碁、将棋、その他生活に関する文化」「地域で行われるお祭りなどの行事」のうち、1つでも○をした方に)

問38－1 1か月に文化・芸術鑑賞するだいたいの回数を、杉並区内(自宅での鑑賞を含む)、区外それぞれについてご記入ください。(ない場合は「0」(ゼロ)とご記入ください)

【杉並区内】では、「0回」76.8%が8割弱に達している。次いで鑑賞頻度が低い層の「1回」8.9%、鑑賞頻度が高い層の「5回以上」7.7%と続き、「2～4回」の中間層は少なく、鑑賞者は両極端になっていると言える。鑑賞者の平均は3.29回である。

【杉並区外】では、「0回」67.4%が7割弱に達し、次いで「1回」22.3%が続く。【杉並区内】に比べて、「0回」が低く、「1回」が高いため、鑑賞者の平均は1.37回と【杉並区内】の3.29回を下回っている。

問 38－1 文化・芸術鑑賞の頻度



【杉並区内】を性別でみると、「0回」は男性 75.8%、女性 77.3%でほぼ同水準だが、「5回以上」は男性 11.5%、女性 5.6%と男性の方が高く、鑑賞者の平均も男性 4.58 回、女性 2.67 回と男性の方が多い。

性・年代では、男性 40 代以下と女性 50 代以下は「0回」が 8 割を超えている。男女 70 歳以上の高齢層では「0回」が 5 割台と他年代より低くなっている。鑑賞者の平均では、男性 30 代が 6.64 回で最も多く、男性 60 代と女性 10・20 代が 5 回を超えている。

職業でみると、事務職・技術職の「0回」83.6%が 8 割を超えている。回答者数が少なく参考程度となるが、学生の「0回」は 9 割に達している。

問 38-1 文化・芸術鑑賞の頻度【杉並区内】

		(n)	0回 1回 2回 3回 4回 5回以上						鑑賞者の 平均値
			%						
性・年代	全 体	(1,047)	76.8	8.9	3.1	1.5	2.0	7.7	3.29
	男性	(384)	75.8	7.8	2.3	1.6	2.3	11.5	4.58
	女性	(639)	77.3	9.4	3.6	1.9	2.2	5.6	2.67
	男性10・20代	(54)	88.9	3.7	3.7	3.7			1.71
	男性30代	(42)	90.5	2.4	7.1				6.64
	男性40代	(80)	86.3	8.8	3.8	1.3			4.35
	男性50代	(67)	77.6	6.0	3.0	13.4			4.04
	男性60代	(69)	62.3	8.7	2.9	2.9	21.7		5.86
	男性70歳以上	(72)	56.9	15.3	2.8	2.8	5.6	16.7	4.35
	女性10・20代	(60)	86.7	1.7	1.7	8.3			5.32
	女性30代	(113)	85.0	5.3	5.3	1.8			1.76
	女性40代	(146)	82.9	6.8	2.7	4.8			2.15
	女性50代	(120)	83.3	6.7	4.2	4.2			1.72
	女性60代	(111)	71.2	15.3	2.7	3.6	1.8		5.4 1.85
	女性70歳以上	(89)	51.7	20.2	4.5	4.5	6.7	12.4	4.34
職 業	自営業・事業主	(111)	73.9	9.9	3.6	9.9			4.35
	自由業	(21)	61.9	9.5	4.8	4.8	19.0		5.82
	事務職・技術職	(396)	83.6	6.8	2.5	0.8	1.0		5.3 2.80
	労務職・サービス職	(157)	76.4	8.9	3.2	7.6			2.99
	主婦・主夫	(180)	70.6	12.2	4.4	4.4	6.1		2.57
	学生	(22)	90.9	4.5	4.5				4.43
	無職	(106)	70.8	7.5	3.8	2.8	14.2		4.71
	その他	(40)	67.5	10.0	7.5	15.0			4.12

【杉並区外】を性別でみると、「0回」は男性 73.7%、女性 64.2%と男性の方が高いが、鑑賞者の平均鑑賞回数は男性 1.63 回、女性 1.24 回と男性の方が多い。

性・年代では、男性 10・20 代、男性 40 代で「0回」は 8 割を超えているが、男性 40 代鑑賞者の平均鑑賞回数は 4.17 回と多くなっている。逆に女性 60 代以降では「0回」は 5 割程度と他年代より低い鑑賞者の平均値は 1 回台とそれほど多くない。

職業でみると、事務職・技術職と労務職・サービス職の「0回」が 7 割を超えている。回答者数が少なく参考程度となるが、学生の「0回」も 7 割を超えている。鑑賞者の平均値では、自営業・事業主の 2.42 回が最も多い。

問 38-1 文化・芸術鑑賞の頻度【杉並区外】

		(n)	0回 1回 2回 3回 4回 5回以上						鑑賞者の 平均値	
			%							
全 体		(1,047)	67.4	22.3	5.4	2.3	0.5	2.0	1.37	
性・年代	男性	(384)	73.7	18.8	3.1	1.8	0.3	1.8	1.63	
	女性	(639)	64.2	24.6	6.4	2.5	0.3	2.0	1.24	
	男性10・20代	(54)	83.3	13.0	1.9			1.9	0.86	
	男性30代	(42)	78.6	19.0				2.4	1.64	
	男性40代	(80)	83.8	11.3	2.5			2.5	4.17	
	男性50代	(67)	71.6	16.4	7.5	1.5		3.0	1.50	
	男性60代	(69)	65.2	23.2	2.9	2.9	2.9	2.9	1.69	
	男性70歳以上	(72)	62.5	29.2	5.6	1.4		1.4	0.84	
	女性10・20代	(60)	66.7	23.3	3.3	5.0		1.7	1.24	
	女性30代	(113)	75.2	18.6				2.7	1.97	
	女性40代	(146)	69.2	26.0	3.4	0.7		0.7	0.90	
	女性50代	(120)	70.0	16.7	9.2	1.7		2.5	1.24	
	女性60代	(111)	50.5	30.6	9.0	5.4	4.5	1.30		
	女性70歳以上	(89)	49.4	33.7	11.2	4.5		1.1	1.11	
職 業	自営業・事業主	(111)	65.8	17.1	9.9	1.8	0.9	2.42		
	自由業	(21)	61.9	14.3	19.0	4.8		1.56		
	事務職・技術職	(396)	73.7	19.7	3.3	1.3		1.3	1.50	
	労務職・サービス職	(157)	70.7	22.3	2.5	1.3	0.6	2.5	1.17	
	主婦・主夫	(180)	60.0	29.4	6.1	3.3		1.1	0.96	
	学生	(22)	72.7	13.6	9.1	4.5		1.43		
	無職	(106)	62.3	26.4	6.6	2.8		1.9	1.13	
	その他	(40)	55.0	27.5	5.0	5.0	2.5	5.0	1.54	

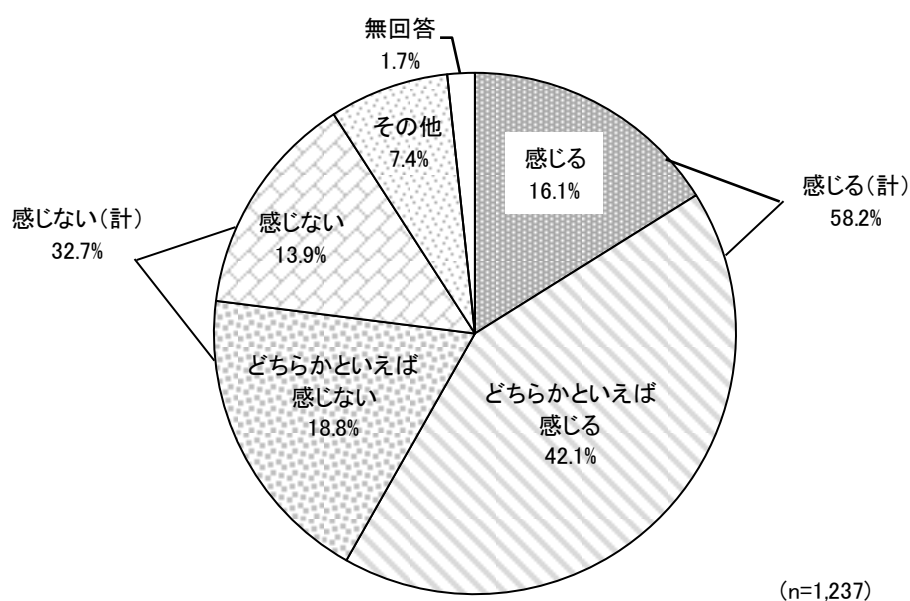
(5) 仕事と生活の調和に対する意識

問39 あなたは、仕事と生活の調和が図られていると感じていますか。(○は1つだけ)

全体では、「感じる」16.1%と「どちらかといえば感じる」42.1%を合わせた『感じる(計)』58.2%は6割近くとなっている。一方、「どちらかといえば感じない」18.8%と「感じない」13.9%を合わせた『感じない(計)』32.7%は3割程度となっている。

「その他」の具体的内容としては、「仕事をしていない」「無職」「定年退職」など『仕事をしていないこと』がほとんどである。

問 39 仕事と生活の調和に対する意識



性別でみると、男女で大きな違いはみられない。

性・年代では、男性10・20代と女性50代の『感じる(計)』が7割を超えている。

職業でみると、自営業・事業主の『感じる(計)』75.0%が最も高く、次いでその他71.7%、事務職・技術職66.1%、労務職・サービス職62.6%となっている。

問 39 仕事と生活の調和に対する意識【性・年代・職業別】

		■ 感じる ■ どちらか といえ 感じる ■ どちらか といえ 感じない ■ 感じない ■ その他 ■ 無回答								感じる (計)		感じない (計)	
		(n)							%				
全 体		(1,237)	16.1		42.1		18.8	13.9	7.4	1.7	58.2	32.7	
性・ 年代	男性	(478)	18.6		41.6		18.2	13.0	7.5	1.0	60.3	31.2	
	女性	(728)	14.4		42.7		19.4	14.0	7.4	2.1	57.1	33.4	
	男性10・20代	(59)	30.5		44.1		11.9	8.5	5.1		74.6	20.3	
	男性30代	(49)	14.3		51.0		22.4		12.2		65.3	34.7	
	男性40代	(95)	18.9		49.5		18.9	10.5		2.1	68.4	29.5	
	男性50代	(86)	24.4		40.7		24.4	9.3		1.2	65.1	33.7	
	男性60代	(87)	10.3		39.1		23.0	16.1	10.3	1.1	49.4	39.1	
	男性70歳以上	(102)	15.7		31.4	9.8	18.6	22.5		2.0	47.1	28.4	
	女性10・20代	(68)	13.2		51.5		13.2	17.6	4.4		64.7	30.9	
	女性30代	(122)	15.6		45.1		23.0	12.3	3.3	0.8	60.7	35.2	
	女性40代	(157)	19.7		36.3		28.7	12.7		2.5	56.1	41.4	
	女性50代	(133)	14.3		57.1		19.5	7.5		1.5	71.4	27.1	
	女性60代	(120)	12.5		40.8		15.0	17.5	13.3	0.8	53.3	32.5	
	女性70歳以上	(128)	9.4		30.5	11.7	18.8	19.5	10.2		39.8	30.5	
職 業	自営業・事業主	(124)	22.6		52.4		13.7	8.9		0.8	75.0	22.6	
	自由業	(25)	16.0		44.0		28.0	12.0			60.0	40.0	
	事務職・技術職	(445)	15.3		50.8		22.7	10.1	0.7	0.4	66.1	32.8	
	労務職・サービス職	(182)	17.0		45.6		24.7	11.5		0.5	62.6	36.3	
	主婦・主夫	(211)	12.8		33.2	18.5	15.6	16.6	3.3		46.0	34.1	
	学生	(24)	41.7		25.0	12.5	4.2	16.7			66.7	16.7	
	無職	(159)	8.2	20.1	8.2	29.6	28.9	5.0		28.3	37.7		
	その他	(46)	28.3		43.5		13.0	13.0		2.2	71.7	26.1	

19. 区の情報について

(1) 区情報の伝達度

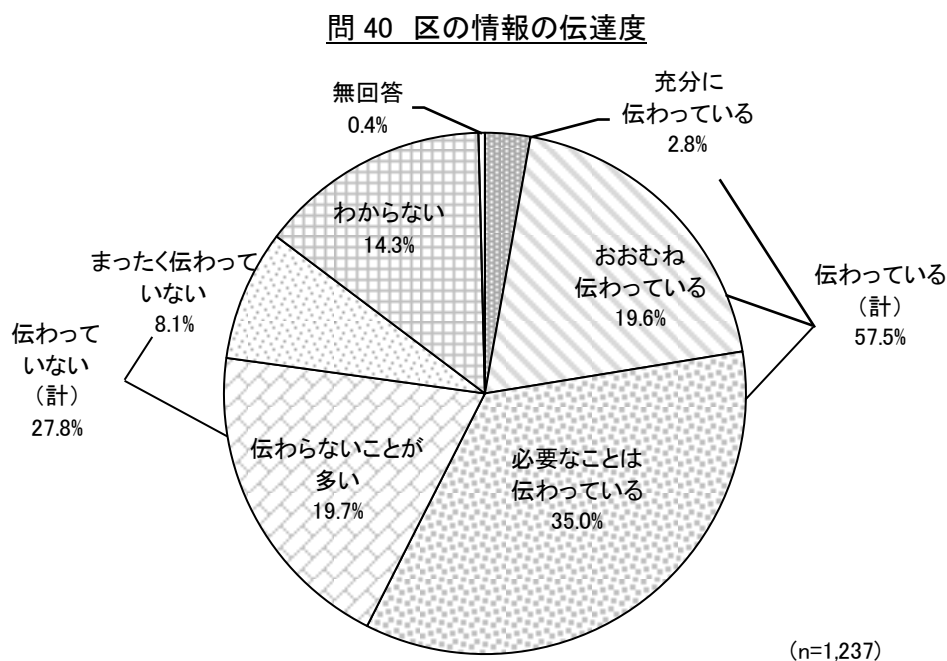
(2) 区の広報媒体等の利用状況

(1) 区の情報の伝達度

問40 区は、保険・年金・税・教育など、個人に関わるお知らせについては、個別に通知しているほか、広報紙やホームページ、X、LINE、ユーチューブなどを活用して、区政や地域の情報を提供しています。あなたが必要とする情報は伝わっていますか。(〇は1つだけ)

全体では、「必要なことは伝わっている」35.0%が最も高く、これに「おおむね伝わっている」19.6%と「十分に伝わっている」2.8%を合わせた『伝わっている(計)』57.5%は6割弱となっている。

一方、「伝わらないことが多い」19.7%と「まったく伝わっていない」8.1%を合わせた『伝わっていない(計)』27.8%は3割弱にとどまっている。



性別でみると、女性の『伝わっている(計)』60.4%の方が男性53.3%より高い。

性・年代では、男女とも70歳以上の『伝わっている(計)』は8割弱に達している。一方、男性30～40代では『伝わっていない(計)』が4割を超え、他の年代より高くなっている。

職業でみると、無職とその他の『伝わっている(計)』は7割を超え、主婦・主夫は6割を超えている。

問 40 区の情報の伝達度【性・年代・職業別】

		☐ 十分に伝わっている ☐ おおむね伝わっている ☐ 必要なことは伝わっている ☐ 伝わらないことが多い ☐ まったく伝わっていない ☐ わからない ☐ 無回答							%		伝わっていない(計)
(n)									%		伝わっていない(計)
性・年代	全 体	(1,237)	2.8	19.6	35.0	19.7	8.1	14.3	0.4	57.5	27.8
	男性	(478)	3.6	18.0	31.8	20.5	9.0	16.7	0.4	53.3	29.5
	女性	(728)	2.2	20.7	37.5	19.1	7.4	12.6	0.4	60.4	26.5
	男性10・20代	(59)	3.4	11.9	33.9	8.5	15.3	27.1		49.2	23.7
	男性30代	(49)	4.1	6.1	28.6	32.7	10.2	18.4		38.8	42.9
	男性40代	(95)	2.1	9.5	30.5	25.3	17.9	13.7	1.1	42.1	43.2
	男性50代	(86)	5.8	15.1	31.4	25.6	5.8	16.3		52.3	31.4
	男性60代	(87)	2.3	19.5	28.7	24.1	4.6	19.5	1.1	50.6	28.7
	男性70歳以上	(102)	3.9	36.3	36.3	9.8	2.9	10.8		76.5	12.7
	女性10・20代	(68)	20.6	27.9	14.7	13.2	23.5		48.5	27.9	
	女性30代	(122)	3.3	18.0	30.3	18.0	10.7	18.9	0.8	51.6	28.7
	女性40代	(157)	2.5	18.5	35.0	20.4	10.2	13.4		56.1	30.6
	女性50代	(133)	1.5	18.8	35.3	24.8	6.8	12.8		55.6	31.6
	女性60代	(120)	1.7	20.0	45.0	23.3	3.3	6.7	66.7	26.7	
	女性70歳以上	(128)	3.1	28.9	47.7	10.9	2.3	5.5	1.6	79.7	13.3
職 業	自営業・事業主	(124)	7.3	13.7	34.7	21.0	9.7	12.9	0.8	55.6	30.6
	自由業	(25)	32.0	24.0	28.0	4.0	12.0		56.0	32.0	
	事務職・技術職	(445)	1.6	15.5	33.7	22.5	11.5	15.1	0.2	50.8	33.9
	労務職・サービス職	(182)	3.3	17.0	26.9	26.4	6.6	19.2	0.5	47.3	33.0
	主婦・主夫	(211)	1.9	17.5	46.4	15.6	5.2	12.8	0.5	65.9	20.9
	学生	(24)	4.2	12.5	37.5	4.2	20.8	20.8		54.2	25.0
	無職	(159)	3.1	35.8	35.2	10.7	3.8	11.3	74.2	14.5	
	その他	(46)	4.3	39.1	32.6	13.0	4.3	4.3	2.2	76.1	17.4

居住年数でみると、30年以上の『伝わっている(計)』65.6%が最も高くなっている。一方、『伝わっていない(計)』は30年以上22.9%が最も低く、それ以外は3割前後となっている。

ライフステージでみると、老齢期の『伝わっている(計)』75.3%が最も高くなっている。一方、『伝わっていない(計)』は老齢期15.2%が最も低く、家族成長前期とその他は3割台半ば、それ以外は3割前後となっている。

問 40 区の情報の伝達度【居住年数・ライフステージ別】

		(n)	☒ 十分に伝わっている ☒ おおむね伝わっている ☐ 必要なことは伝わっている ☐ 伝わらないことが多い ☐ まったく伝わっていない ☐ わからない ☐ 無回答						%	伝わっている(計)	伝わっていない(計)
全 体		(1,237)	2.8	19.6	35.0	19.7	8.1	14.3	0.4	57.5	27.8
居住年数	5年未満	(272)	3.3	17.3	29.4	19.1	10.7	20.2		50.0	29.8
	5年～9年	(124)	1.6	20.2	29.8	20.2	12.1	16.1		51.6	32.3
	10年～19年	(257)	1.6	16.3	38.5	18.7	9.7	14.4	0.8	56.4	28.4
	20年～29年	(204)	2.5	20.1	34.8	27.0	3.4	11.8	0.5	57.4	30.4
	30年以上	(375)	4.0	23.2	38.4	16.8	6.1	10.9	0.5	65.6	22.9
ライフステージ	独身期	(135)	3.0	14.8	26.7	11.9	17.0	26.7		44.5	28.9
	家族形成期	(160)	3.1	16.9	32.5	20.6	10.6	16.3		52.5	31.3
	家族成長前期	(166)	2.4	15.1	34.9	25.9	9.0	12.0	0.6	52.4	34.9
	家族成長後期	(107)	1.9	12.1	45.8	22.4	7.5	9.3	0.9	59.8	29.9
	家族成熟期	(117)	3.4	17.9	34.2	24.8	5.1	14.5		55.5	29.9
	老齢期	(315)	3.5	30.5	41.3	12.4	2.9	8.9	0.6	75.3	15.2
	その他	(212)	1.9	17.9	28.3	24.5	10.4	16.5	0.5	48.1	34.9

※ライフステージの分類は以下のとおりである。

- A. 独身期……………40歳未満の独身者
- B. 家族形成期……………40歳未満の子どもがいない夫婦またはパートナー同士または一番上の子どもが入学前の人
- C. 家族成長前期……………一番上の子どもが小・中学生の人
- D. 家族成長後期……………一番上の子どもが高校・大学生の人
- E. 家族成熟期……………本人が64歳以下で、一番上の子どもが社会人の人
- F. 老齢期……………本人が65歳以上で、一番上の子どもが社会人の人または65歳以上の独身者、65歳以上の子どもがいない夫婦またはパートナー同士
- G. その他……………40歳以上64歳以下の独身者

(2) 区の広報媒体等の利用状況

問41 杉並区の広報媒体等の利用状況について伺います。

区では、1日と15日に「広報すぎなみ」を発行しています。また、ホームページやLINE、Xなどのインターネットを活用した情報配信を行っています。さらに、広報番組を制作しケーブルテレビ・ユーチューブでの配信も行っています。あなたは、これらの広報媒体を利用していますか。以下について、それぞれ最も近い番号1つに○をつけてください。

全体では、『利用したことがある(計)』は【広報すぎなみ】65.2%が最も高く、次の【ホームページ】60.5%までが突出している。以下、【犯罪・防犯情報メール】23.0%、【LINE(杉並区公式LINE)】17.1%、【X(地震・水防等)】16.1%と続き、【フェイスブック(広報課)】2.3%が最も低い。

問 41 区の広報媒体等の利用状況

		よく利用している たまに利用している 利用したことがある 利用したことがない わからない 無回答						利用したことがある(計)	
(n=1,237)		%							
①広報すぎなみ		15.4	23.2	26.6	29.2	5.0	0.6	65.2	
②ホームページ		2.7	21.4	36.3	32.3	5.1	2.2	60.5	
⑩犯罪・防犯情報メール		5.4	4.2	13.4	66.5	8.1	2.3	23.0	
⑧LINE(杉並区公式LINE)		5.6	5.9	5.7	73.7	7.0	2.2	17.1	
⑥X(地震・水防等)		1.5	4.5	10.1	74.1	7.3	2.5	16.1	
③広報番組(J:COMケーブルテレビ)		1.3	2.5	9.8	76.6	7.4	2.3	13.6	
⑦X(広報課)イベント情報等	1.1	2.3	5.5	80.4	8.1		2.6	8.9	
⑨メールニュース	1.3	1.5	4.3	81.1	9.4		2.4	7.1	
④ユーチューブ(杉並区公式チャンネル)	0.3	1.4	4.4	83.7	7.4		2.7	6.1	
⑤フェイスブック(広報課)	0.2	1.4	86.9	8.1			2.7	2.3	

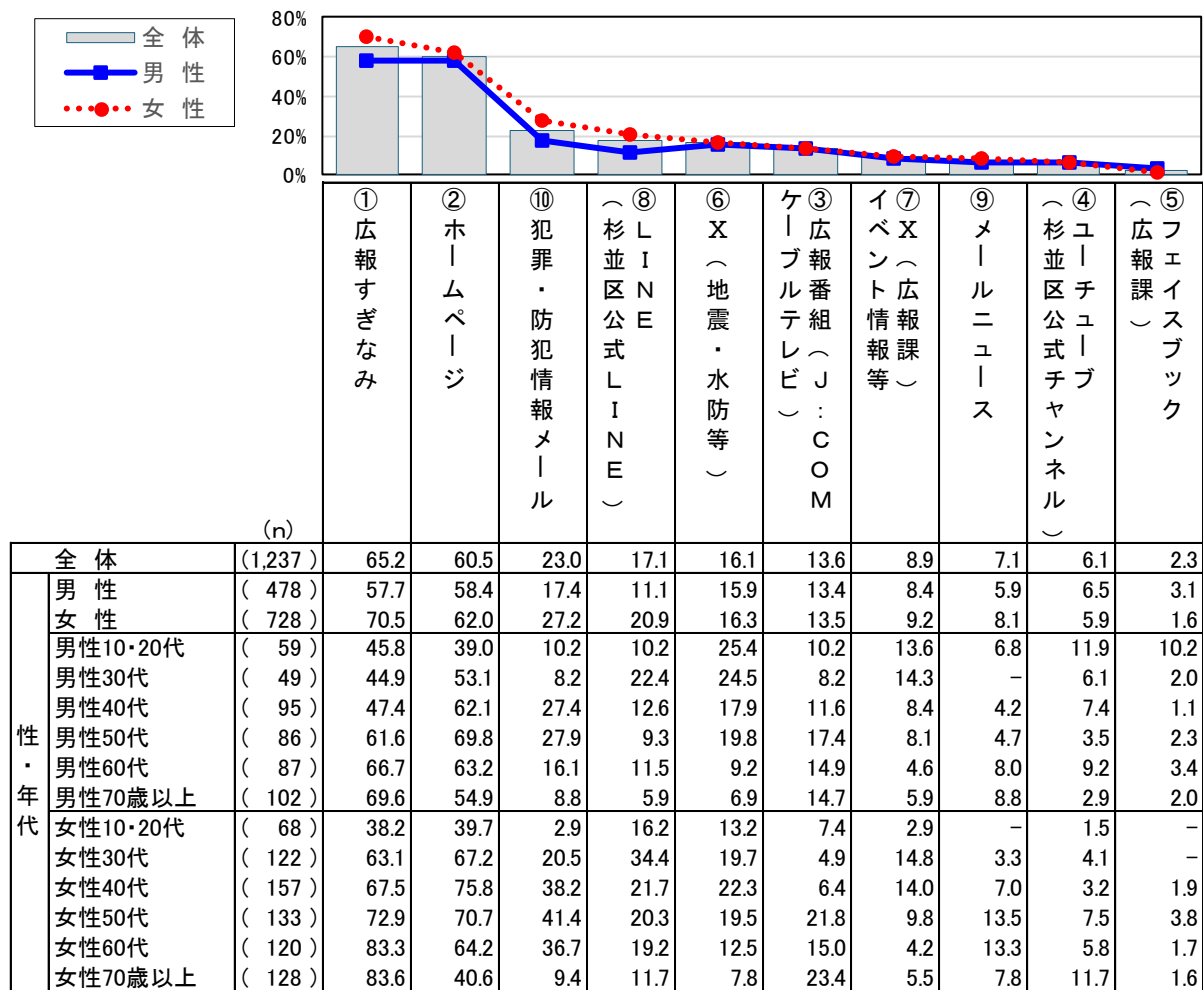
0.7

※利用したことがある(計)の高い順

『利用したことがある(計)』を性別でみると、【広報すぎなみ】は女性 70.5%、男性 57.7%で女性の方が高い。【犯罪・防犯情報メール】も女性 27.2%、男性 17.4%、【LINE(杉並区公式 LINE)】も女性 20.9%、男性 11.1%と、女性の方が高い。

性・年代では、【広報すぎなみ】は女性 60 代以降で 8 割を超え、男性 50 代以降でも 6 割以上と高齢層で高くなっている。【ホームページ】は女性 40～50 代で 7 割を超えている。【LINE(杉並区公式 LINE)】は女性 30 代 34.4%が最も高く、男性の中でも 30 代 22.4%が最も高くなっている。

問 41 区の広報媒体等の利用状況【性・年代別】



※利用したことがある(計)／全体の高い順

20. 区役所のデジタル化について

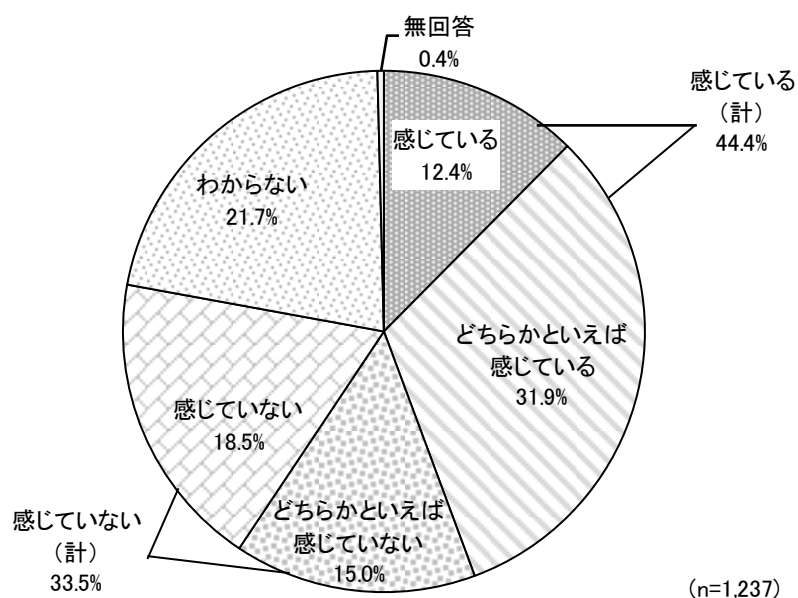
-
- (1) 区のデジタル化の取組によって生活が便利になったと感じているか
 - (2) 区のデジタル化の取組の中で期待すること
 - (3) 区のデジタル化の取組の中で具体的に取組んでほしい場面やサービス
-

(1) 区のデジタル化の取組によって生活が便利になったと感じているか

問42 区では、各種申請手続のオンライン対応、税・保険料や手数料等のキャッシュレス決済導入、LINE等のSNSを活用した情報発信など、デジタル技術を活用した区民サービスの向上に取り組んでいます。あなたは区のデジタル化の取組によって生活が便利になったと感じていますか。
(○は1つだけ)

全体では、「感じている」12.4%と「どちらかといえば感じている」31.9%を合わせた『感じている(計)』44.4%は4割を超えている。一方、「どちらかといえば感じていない」15.0%と「感じていない」18.5%を合わせた『感じていない(計)』は33.5%で、『感じている(計)』44.4%の方が高い。

問 42 区のデジタル化の取組によって生活が便利になったと感じているか



性別でみると、男女で大きな違いはみられない。

性・年代では、男性10・20代と女性30代以下で「感じている」が2割半ば程度、男性30代も2割程度と、若年層で高くなっている。『感じている(計)』でも、男性10・20代、女性30代の若年層で6割を超えている。一方、男女とも70歳以上の高齢層では『感じている(計)』は2割台と低くなっている。

問 42 区のデジタル化の取組によって生活が便利になったと感じているか【性・年代別】

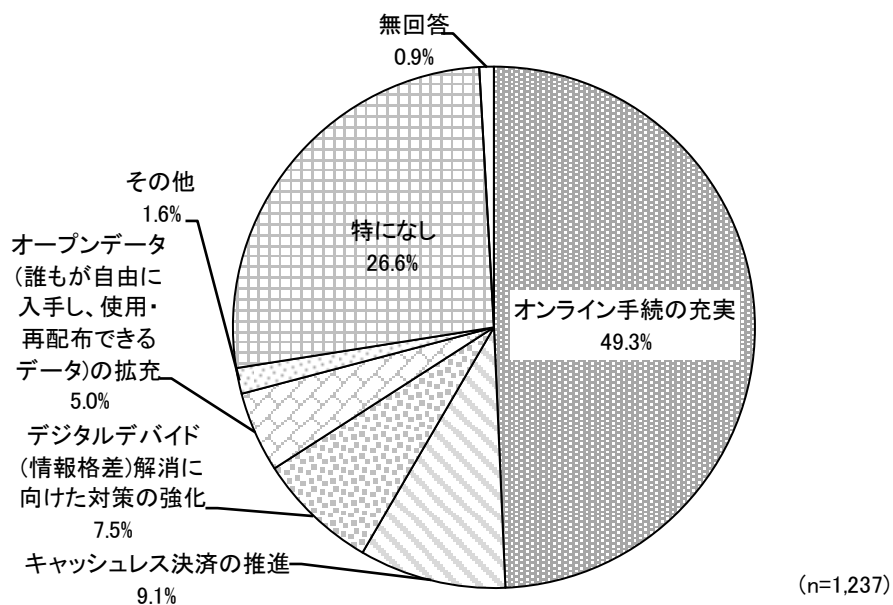
			■ 感じて いる □ どちらか といえ ば 感じて いる □ どちらか といえ ば 感じて いない □ 感じて いない □ わから ない □ 無回答								
(n)								%	感じて いる (計)	感じて いない (計)	
全 体			(1,237)	12.4	31.9	15.0	18.5	21.7	0.4	44.4	33.5
性・年代	男性	(478)	11.9	31.0	16.3	18.6	22.0	0.2	42.9	34.9	
	女性	(728)	13.3	32.8	14.3	17.7	21.4	0.4	46.2	32.0	
	男性10・20代	(59)	25.4	42.4	13.6	18.6	67.8	13.6			
	男性30代	(49)	18.4	36.7	8.2	18.4	18.4	55.1	26.5		
	男性40代	(95)	11.6	31.6	22.1	18.9	15.8	43.2	41.1		
	男性50代	(86)	9.3	30.2	23.3	17.4	19.8	39.5	40.7		
	男性60代	(87)	9.2	32.2	17.2	20.7	19.5	1.1	41.4	37.9	
	男性70歳以上	(102)	5.9	20.6	17.6	20.6	35.3	26.5	38.2		
	女性10・20代	(68)	25.0	26.5	8.8	13.2	26.5	51.5	22.1		
	女性30代	(122)	27.0	38.5	11.5	9.8	12.3	0.8	65.6	21.3	
	女性40代	(157)	14.6	43.3	10.8	14.6	16.6	58.0	25.5		
	女性50代	(133)	10.5	36.8	13.5	18.8	20.3	47.4	32.3		
	女性60代	(120)	5.8	28.3	19.2	22.5	23.3	0.8	34.2	41.7	
	女性70歳以上	(128)	2.3	18.0	20.3	25.8	32.8	0.8	20.3	46.1	

(2) 区のデジタル化の取組の中で期待すること

問43 あなたは、区のデジタル化の取組の中で、どのようなことを期待しますか。(〇は1つだけ)

全体では、「オンライン手続の充実」49.3%が最も高く、約半数を占めている。次いで「キャッシュレス決済の推進」9.1%、「デジタルデバインド解消に向けた対策の強化」7.5%となっている。「特になし」26.6%は3割弱である。

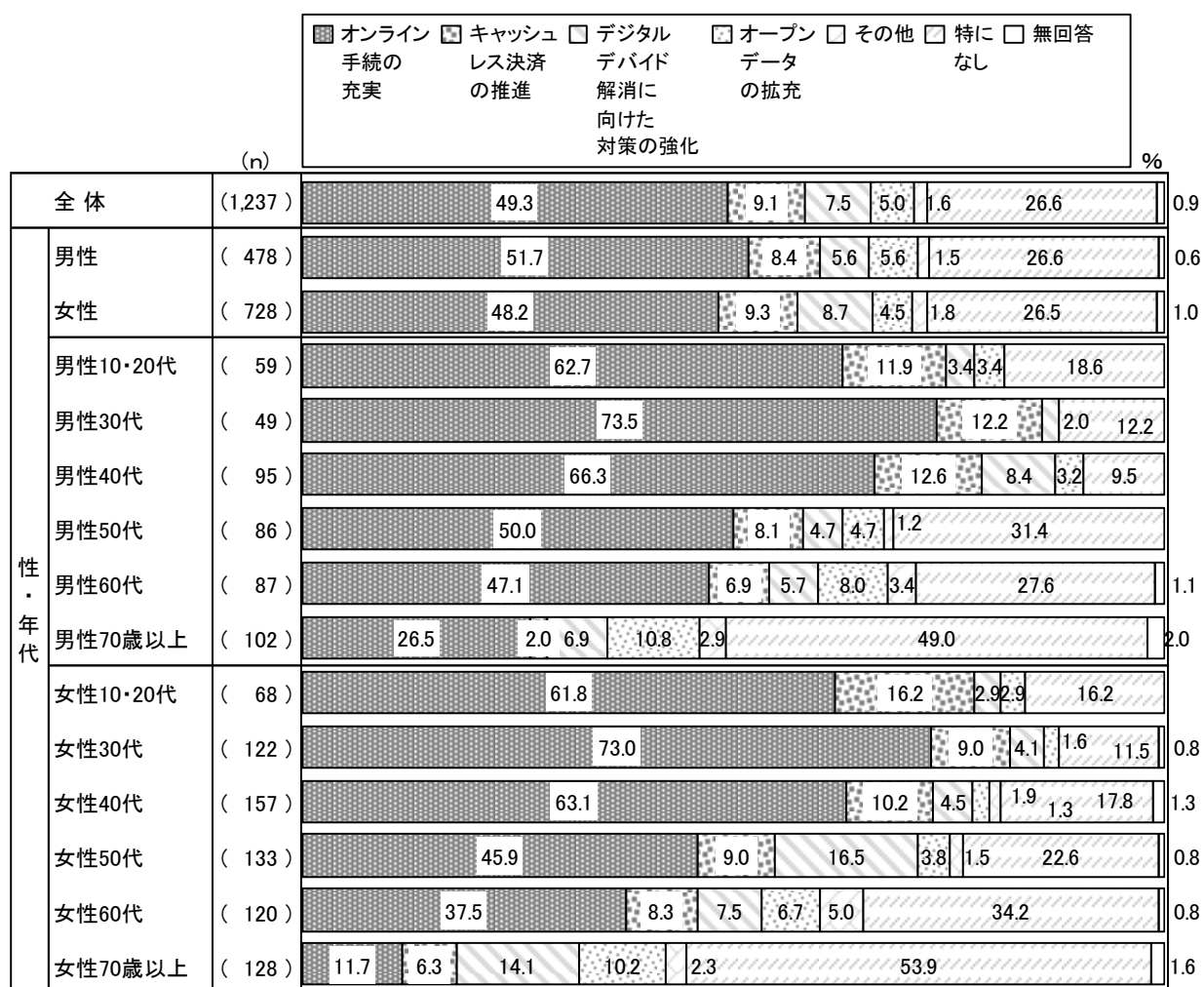
問 43 区のデジタル化の取組の中で期待すること



性別でみると、男女で大きな違いはみられない。

性・年代では、男女とも若年層の方が「オンライン手続の充実」は高く、特に男女とも30代では7割を超えている。一方、男女とも高齢層では「オンライン手続の充実」が低くなるかわりに、「特になし」が増え、男女とも70歳以上では5割前後に達している。

問 43 区のデジタル化の取組の中で期待すること【性・年代別】



(3) 区のデジタル化の取組の中で具体的に取組んでほしい場面やサービス

(問43で「オンライン手続の充実」「キャッシュレス決済の推進」「デジタルデバйд(情報格差)解消に向けた対策の強化」「オープンデータ(誰もが自由に入手し、使用・再配布できるデータ)の拡充」「その他」のうち1つでも〇をした方に)

問43－1 具体的に取組んでほしい場面やサービス等があれば記入してください。(自由回答)

区のデジタル化の取組の中で具体的に取組んで場面やサービスを自由に回答してもらった結果、897人中、197人から回答を得た。※「特になし」「わからない」などを除く

問43の回答：1. オンライン手続の充実

- ・ オンラインで選挙など。
- ・ 平日しかできない手続きをオンラインでできるようにしてほしいです。
- ・ 他区に劣らないサービスの維持。
- ・ 戸籍謄本や住民票、投票。
- ・ オンラインでできると助かります。
- ・ 全手続きのオンライン化、オンラインでの相談システム。
- ・ マイナンバーカードの活用。申請主義を減らす。特に給付金などは、自動的に進めてほしい。
- ・ 区役所手続き全般。
- ・ マイナンバーカードの更新作業がオンラインでできるとありがたいと思った。まあ無理だと思うけど。
- ・ 対面手続きが必要な業務でも事前に登録手続きができること。
- ・ 書類の取得、申請をコンビニで行いたい。
- ・ 医療券やマイナンバーの更新。
- ・ 申請手続きのオンライン化とユーザーインターフェース改善。
- ・ 各種手続きなどを役所にわざわざ行かなくてもいいようにしてほしい。
- ・ マイナンバーの手続き。
- ・ 飼い犬の狂犬病接種済票の手続などをオンライン化して欲しい。
- ・ 児童通所受給者証の申請をオンラインにしてほしい。受給者証も紙ではなく電子交付にしてほしい。
- ・ 区役所などに行かずに様々な手続きができるようになって欲しい。
- ・ 在宅医療を受けている人などはマイナカードのロック解除は自宅でも出来るようになるといい。
- ・ 可能な限り多くのサービスのオンライン化。シンガポール政府を参考にしてほしい。
- ・ データ速度。タイムラグをなくしてほしい。
- ・ オンライン手続きの確実性。
- ・ 役所で行う手続き全てオンライン化してほしい。育児と仕事しながら役所の開所時間に出向くこと自体が負担。
- ・ どうしても窓口に行く必要がある場合、オンライン予約待ち時間の必要ない仕組みを作してほしい。
- ・ 住民票やマイナンバーカードの申請。
- ・ 役所で手続きが必要になるもの全般。平日は働いていて役所等に行けないので。
- ・ 住民票の取り寄せ、マイナンバーカードの更新など。
- ・ 区役所での手続きの予約、繁忙期の待ち時間が長い。

- ・全てがオンラインで済むと良い。
- ・諸々の相談に対する 24 時間対応窓口(スムーズなやり取りができるよう AI 等を活用して)。
- ・原則オンラインにしつつ、年配の方等オンライン利用が難しい人も手続きしやすい形を整えてほしい。
- ・この調査用紙もネットでできる方が多いと思うので、ハガキ 1 枚で送付した方が用紙の削減につながると思う。
- ・年齢関係なくわかりやすいサービス。
- ・国民健康保険のオンライン手続き等。
- ・平日日中に区役所に行って行う手続き全般について(土日夜間でも手続き可能に)。
- ・役所待たされずスムーズに手続きできる環境を構築して欲しい。
- ・公的手続きを平日にお休みを取らなくていいようにオンライン手続きや照会が充実するといい。
- ・マイナンバーの申請の簡易化。
- ・各種手続きが全てオンラインで完結できるようにする。
- ・行政手続のデジタル化、チャットでの簡単な相談。区立学校開放の施設の予約や抽選申込をデジタル化してほしい。
- ・戸籍謄本をもっと手軽に居住区で受け取りたい。
- ・住民票などのオンライン取得。
- ・学校や保育園手続きの手書き書類が多すぎる。就労証明書の統一や管轄を跨いだ書類共有。
- ・マイナンバーカードを持っていなくてもオンライン手続きや行政の書類発行に不便のないようにしてほしい。
- ・各種申請のオンライン化。
- ・簡素で誰でも理解し手続き出来る様にして欲しい。
- ・学童の手続きや支払いも、オンラインでできるようにしてほしい。
- ・子どもが生まれたときの戸籍に入れる手続きやその後の児童手当、マイナンバーなどの手続き。
- ・AI 導入による手続きに関する 24 時間対応のオンライン問合せ窓口の設置と、手続きの WEB チャンネルの拡充。
- ・窓口でしか実施できない手続きについて、オンライン手続きの導入を推進してほしい。
- ・現在、区役所等に出向いて行わなければならない手続きがオンライン化されると助かります。
- ・戸籍謄本等の入手についてはいちいち出張所にでかけずともスマホで受け取りができるようにして下さい。
- ・病児保育のネット予約、保育園や学校に提出する書類を職場→区へ直接ネットで提出する仕組み。
- ・もっと使いやすくしてほしい。
- ・コンビニで住民票などを発行できる。
- ・本アンケートの案内などあらゆる郵便物を廃止し、デジタルで受け取れるようにして欲しい。
- ・区役所に行かなくても手続きできる。
- ・いろいろな手続を 365 日 24 時間オンラインでできるようにしてほしい。
- ・相続関係手続を一括してオンラインで手続きできるようにしてほしい。
- ・各種手続き、税の申告、申請などがスマートフォンでできるようになってほしい。
- ・オンライン手続きの充実、言葉そのままです。
- ・マイナンバー関連、住民票、運転免許の手続き。

- ・役所宛のオンライン申請の為に紙の住民票等を役所に取りに行かなければならない点の是正。
- ・区役所での手続きが簡易、時間が短縮されるようになること。
- ・子育て世帯なので色々な申請がオンラインで完結してくれると嬉しいです。
- ・平日に役所に行かなくて良いようになってほしい。
- ・公的補助や支援のオンライン受付。
- ・保育園、幼稚園の手続きをもっと自宅で出来るようにして欲しい。
- ・行政手続きで窓口に行かなくても良いようにしてほしい。
- ・オンライン手続き。
- ・マイナンバーカード更新のオンライン化。
- ・いろいろな年齢別の区からのキャンペーン情報。
- ・マイナンバーデジタル、オンラインで。
- ・本人確認のための書類を受け取りに行かなくても良くなってほしい。オンラインで本人確認を済ませ、送付してほしい(マイナンバーなど)。
- ・行政手続きのすべて。
- ・必要な情報にすぐにたどりつけるように。なかなかたどりつけない。
- ・区営住宅などの応募の取組みをわかりやすくしてほしい。
- ・予約システムの充実。SDG s 系。
- ・個人商店でも、キャッシュレス決済を出来るようにしてほしい。
- ・助成金関係。
- ・コンビニ設置の専用端末を基点とした手続き(印鑑証書などの入手)を各個人の PC/印刷装置レベルに広げてほしい。
- ・コンポスト補助金申請。
- ・マイナンバーのオンライン更新。
- ・住民票など、実際に役所に足を運ばなければいけないもの全て、オンライン申請できるようにしてもらいたい。
- ・母子手帳の受け取り手続き。
- ・杉並区に限っての事ではないが、マイナンバーカードの更新等が一部オンラインで、受け取りは区役所等へ行く必要があるので、完全にオンライン上で済めば良いと思う。
- ・学童申込みをオンライン化してほしい。
- ・住所変更時の各種手続き+ワンストップ化。
- ・学童や保育園等の申請をマイナンバー等紐づけし、提出書類を減らしてほしい。フリーランスの提出物が多い。
- ・諸手続きのための待ち時間の解消。
- ・災害時、避難場所の充実化。
- ・お得な情報はメールや LINE でもっと知らせてほしい。今は回覧板や HP を見にいかないとわからない。
- ・来庁の必要が減る。
- ・子どもに関する申請等全てオンラインで行いたい。
- ・全般的にやってほしい。
- ・わかりやすさ、サポート体制の充実。

- ・ 事前予約制にできないのでしょうか？窓口手続きが混み過ぎている（病院みたいに先にネットで番号だけ取得するなど）。
- ・ マイナンバーカード更新、受け取り自動化。
- ・ 高齢者にスマホ代金を支援する取り組みに反対。税金の使途は多くの人の利益になるものであるべき。
- ・ 区の防犯機器購入補助金申請書（紙ベース）に印鑑押印を求めているが、エビデンスは充分添付しており、まだ印鑑押印を必要とするのでしょうか。
- ・ 土日でもできることを増やしてほしい。
- ・ 役所でしか出来ない手続きが、一部でもオンラインでできるようになると便利だと思います。
- ・ 母子手帳を受け取る際の手続き等。
- ・ 住民税や年金に関する事など。
- ・ 助成金の申請。
- ・ コンビニでの手続き。
- ・ 開庁時間以外に行える手続きの拡充（マイナカードを利用する等により）。
- ・ 各種証明書の発行。
- ・ 各種更新手続き。
- ・ 区役所での手続き。
- ・ 住民票等の取り寄せ。
- ・ 平日昼間だけの手続きでは困る。オンラインでいつでも手続きできるようにしてほしい。
- ・ 選挙の投票。
- ・ マイナンバーカードでコンビニ手続きができるものの充実。
- ・ 行政のサービスのオンライン手続きがもっと便利になってほしいです。
- ・ オンラインでの申請手続きを利用することは現在は保育園や学童に関わるが多い。子育てに関してはオンラインで手続きできることが増えると嬉しい。平日に時間が取れることも難しい場合があるため。
- ・ チャットで問い合わせ対応（チャットボットではない）。
- ・ 区役所に行かずに手続きを終えたい。
- ・ 区役所で行う手続きのうち、時間がかかるものをオンラインで出来るようにしてほしい（何でも）。
- ・ 高齢者にもわかりやすい、取り掛かりやすい説明がほしい。
- ・ 申請等が全てオンラインで行えるとありがたいです。
- ・ 杉並区外からの転入をオンラインでできるようにしてほしい（23区から杉並区へ）。
- ・ 保育園に提出する変更届等もオンラインで手続きができれば、いいなと思っています。

問43の回答：2. キャッシュレス決済の推進(21件 ※「特になし」など除く)

- ・ 区内の諸々の購買場でキャッシュレス決済が普遍化すると嬉しいです。
- ・ キャッシュレス決済の種類の多様化。また店によってキャッシュレスと現金のポイント率が違う為、統一希望。
- ・ キャッシュレス決済非対応の店をなくしてほしい。
- ・ 殆どの生活の場でキャッシュレス決済が出来るようになってほしい。
- ・ 医療機関でのキャッシュレス化、事前予約。
- ・ コード決済。

- ・ 社会保険料。
- ・ 個人経営の歯科やクリニックなどは現金払いの所はキャッシュレス化して欲しい。
- ・ 家賃などの毎月の支払い。
- ・ キャッシュレス(公共的)。
- ・ 杉並区独自のキャッシュレス決済、世田谷や中野はやっている。
- ・ 店舗ごとにカードはOKでコード決済は使えないところもあるので、一律でこのサービスは使えるというものと安心して現金なくとも買い物ができる。
- ・ コード決済利用の普及率向上。
- ・ デジタル図書。
- ・ 西荻地区の小売店のほとんどがキャッシュレスに取り組んでいるとは全く思えない。区の手組みがどのような形でなされているのか全くわからない。
- ・ 年寄りにもわかりやすくしてほしい。
- ・ 役所の手続きをオンラインで完結してほしい。
- ・ コード決済キャッシュバック。
- ・ さざんかネットで区の施設への支払いを区民センターの受付でキャッシュレス決済できるようにしてほしい。区民プール等の支払いも。
- ・ 税金の支払いのタッチ決済。

問43の回答：3. デジタルデバインド(情報格差)解消に向けた対策の強化の推進

- ・ デジタルに不慣れな方への手厚い対応。
- ・ 回覧板。
- ・ こちらから積極的に情報を取りに行かないと必要な情報も手に入らない状況を解消してもらいたい。
- ・ デジタル化についていけない方への対応。
- ・ 広報すぎなみの全戸配布は助かっています。必要性の高い情報がある場合には、広報を全戸配布してほしいです。
- ・ デジタルが苦手な高齢者が、簡単に学べる場が、もう少しあればと思います。
- ・ デジタル移行は時代の流れかもしれませんが、デジタルに慣れてない世代の区民に対してのサポート、アナログとIT併用などの配慮をお願いしたい。
- ・ 最近、国政の発表が信頼できない。テレビ以外でも信用できる情報が広く伝わってほしい。
- ・ メールを利用した情報の提供。
- ・ デジタルが苦手なので、取り組みやすくしてほしい。
- ・ 印鑑不要、手続き状況をわかりやすく。マイナポータル利用時のログイン回数の削減。
- ・ スマホの使い方がわからない高齢者対応。
- ・ デジタル化によって高齢者、障害者など差別にならないようにしてほしい。
- ・ 紙での定期発信の継続。
- ・ 区のサービスの利用の仕方等がわからないことが多い。

- ・ インターネットの使い方がよくわからない。金銭の発生するものがあるかどうか知りたい。都、区で出すポイントの使い方がわからない。
- ・ 教育、文化の充実、「誰もが」を目指したものに。
- ・ どんな人でも普通の生活ができるようなサービス。
- ・ 利用マニュアルの配布。
- ・ 生活に役立つ情報を教えてほしい。医療控除、年金制度、介護申請等。
- ・ SNS では情報を取りに行かないとわからないため、広く情報を拡散するために何か考えてほしい。
- ・ スマホ、パソコンが使えない高齢者への情報提供が気になります。
- ・ 平日のプッシュ型支援。
- ・ 選挙時に街頭演説以外のデジタルでの情報提供を特定のデバイスやアプリに基づかない方法で行ってほしい。例えば駅のモニターで流すとか、商店街の中で情報を受け取れる場所があるとか。

問43の回答： 4. オープンデータ(誰もが自由に入手し使用・再配布できるデータ)の拡充

- ・ 杉並区で公認・支援している NPO のリストをなぜ公開しないのか？ 確定申告のとき、いつも悩む。
- ・ オープンデータの活用がソリューションの多様化につながると思うので、全方位で取り組んでほしい。
- ・ オープンデータを機械判読可能な形式で一箇所に集め、データベースクエリできるなど使いやすい形で公開。
- ・ 区行事の年間予定。
- ・ 必ず知っておくべき重要なニュースや告知を一目でわかるような形で HP に載せてほしい。
- ・ ホームページの構成の見直し(必要な情報が探しにくい)。情報アップデート頻度向上。
- ・ 情報格差に向けた対策。
- ・ 保険、年金、税、補助金。
- ・ 防災関係、河川の状況をわかりやすくアラート。

問43の回答： 5. その他

- ・ 媒体予算を拡散するのでなく、もっとある媒体に集中的に使用し、コンテンツ内容を充実して欲しい。
- ・ 国保請求が世帯主。各個人化を望む、個人情報遵守されていない。
- ・ 選挙においてマイナンバーカードを利用した本人認証と投票。
- ・ 出張所で手続きをした場合、私の場合マイナンバーカード更新手続きに 35 分かかった(何やら本庁に問い合わせていた)。手早くしてほしい。
- ・ Free wifi が住む場所によってアクセスに差が出るのは不公平。
- ・ まずセキュリティ対策を徹底してください。
- ・ 現金決済を残して欲しいです。
- ・ 調べたいことになかなかとり着けない。もっと簡単に利用できるようにしてほしい。
- ・ 利用しない権利も守ってほしい。マイナンバーカード制度反対。
- ・ 本アンケートの郵送、集計等のコスト低減を図るサービス。

21. その他の区政について

-
- (1) 区が力を入れていると評価できる施策や取組
 - (2) 力の入れ方が不十分だと思う施策や取組
 - (3) 今後特に力を入れるべきだと思う施策や取組
 - (4) 区の事業やサービスの満足度
-

(1) 区が力を入れていると評価できる施策や取組

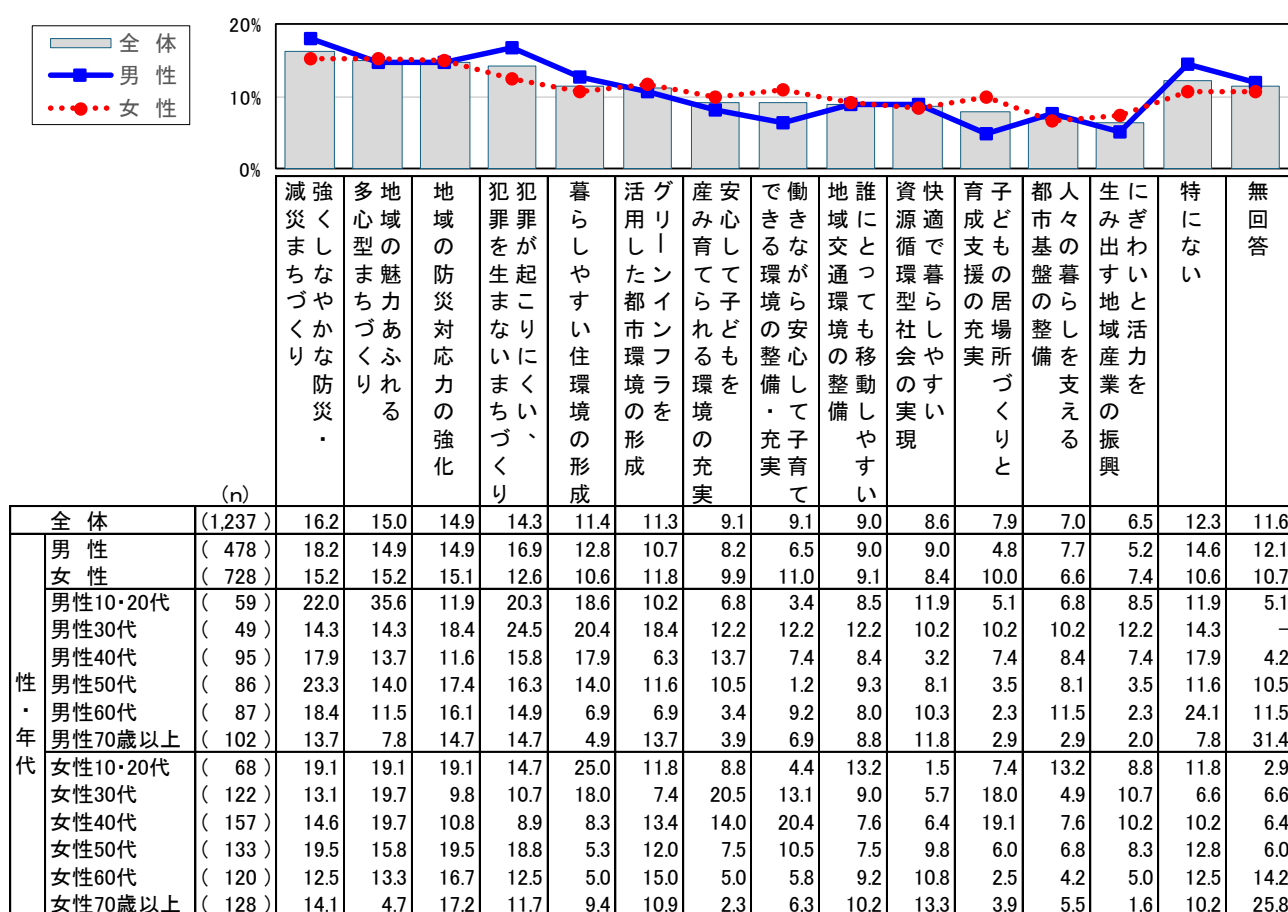
問44 下記にあげた施策や取組の中で、杉並区が力を入れていると評価できるものを3つ以内で選び、下の回答欄に番号を記入してください。

全体では、「強くしなやかな防災・減災まちづくり」16.2%が最も高く、次いで「地域の魅力あふれる多心型まちづくり」15.0%、「地域の防災対応力の強化」14.9%、「犯罪が起こりにくい、犯罪を生まないまちづくり」14.3%となっており、上位の項目でも2割に達していない。

性別でみると、男性の方が女性より「強くしなやかな防災・減災まちづくり」「犯罪が起こりにくい、犯罪を生まないまちづくり」がやや高くなっている。一方、女性は男性より「働きながら安心して子育てできる環境の整備・充実」「子どもの居場所づくりと育成支援の充実」が特に高くなっている。

性・年代では、男性10・20代は「地域の魅力あふれる多心型まちづくり」35.6%が高い。女性10・20代は「暮らしやすい住環境の形成」25.0%が他年代より高くなっている。子育て期である女性30～40代では、「安心して子どもを産み育てられる環境の充実」「働きながら安心して子育てできる環境の整備・充実」が他年代より高くなっている。

問44 区が力を入れていると評価できる施策や取組【性・年代別】

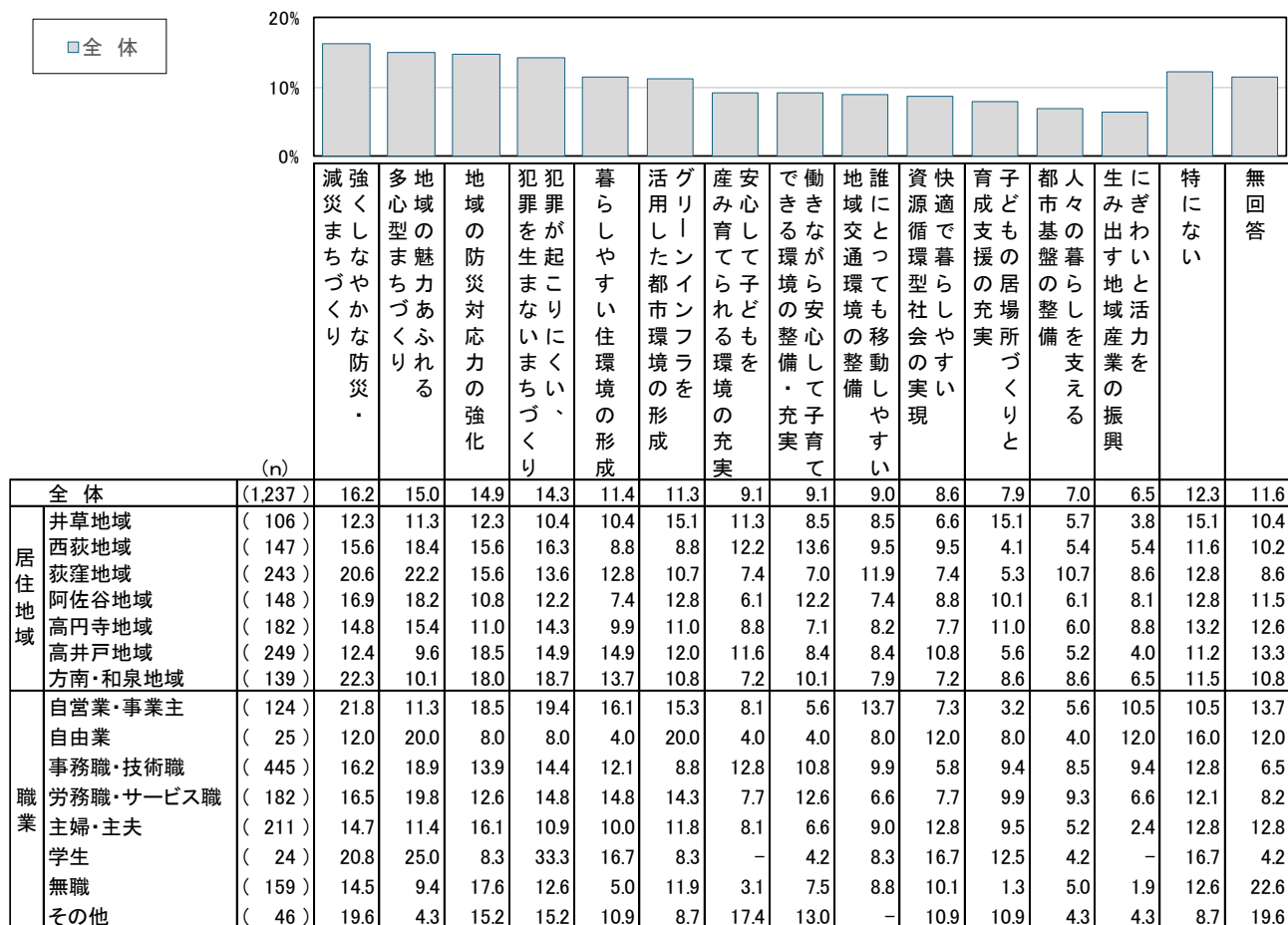


※全体5%以上の項目の高い順

居住地域でみると、西荻地域、荻窪地域、阿佐谷地域では「地域の魅力あふれる多心型まちづくり」が2割前後で他地域より高くなっている。荻窪地域、方南・和泉地域では「強くしなやかな防災・減災まちづくり」が2割を超え、他地域より高くなっている。

職業でみると、自営業・事業主では「強くしなやかな防災・減災まちづくり」「地域の防災対応力の強化」が2割前後で他の職業より高くなっている。

問 44 区が力を入れていると評価できる施策や取組【居住地域・職業別】



※全体5%以上の項目の高い順

(2) 力の入れ方が不十分だと思う施策や取組

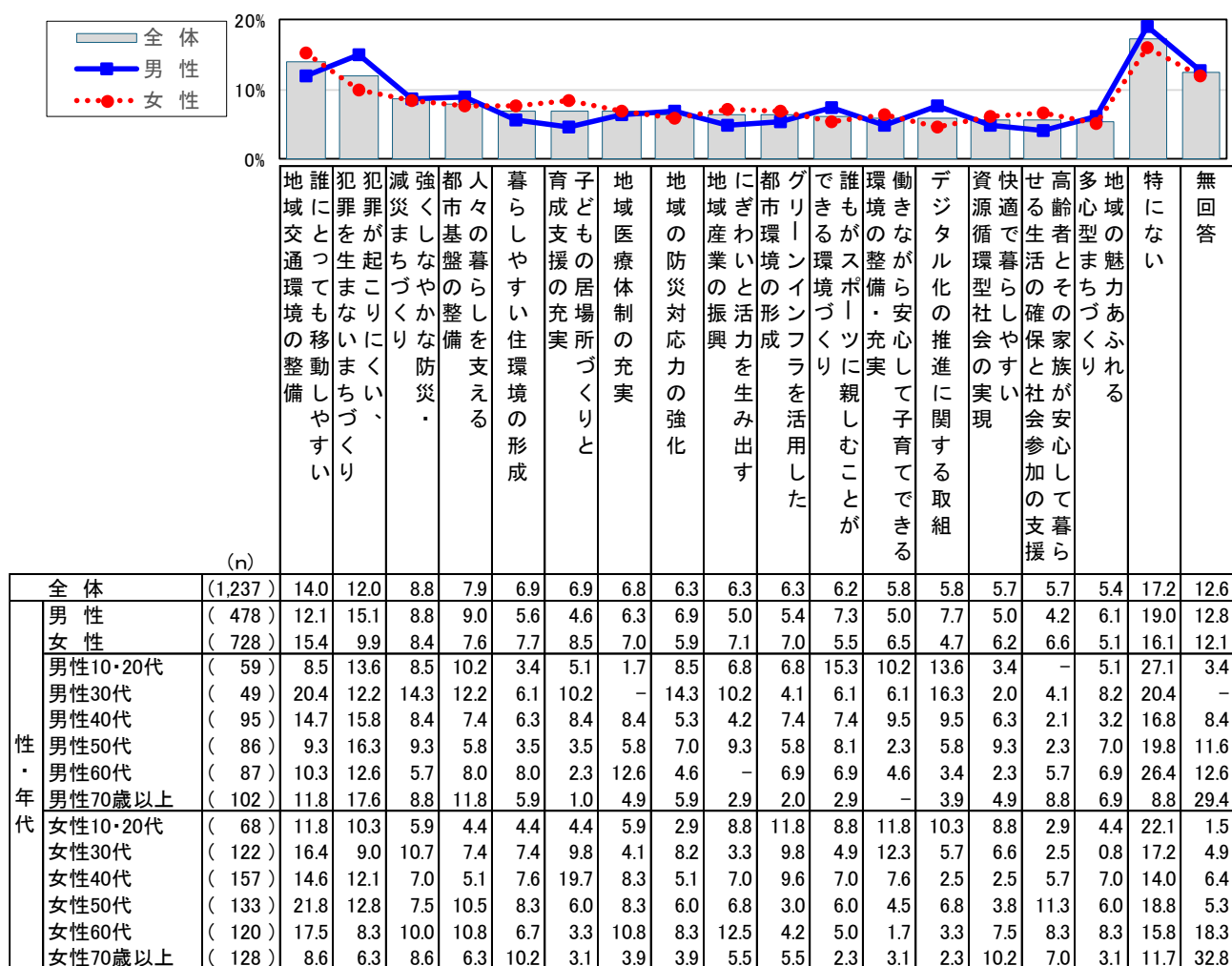
問45 下記にあげた施策や取組の中で、杉並区が力の入れ方が不十分だと思うものを3つ以内で選び、下の回答欄に番号を記入してください。

全体では、「特にない」17.2%が最も高い。施策・取組では「誰にとっても移動しやすい地域交通環境の整備」14.0%が最も高く、次いで「犯罪が起こりにくい、犯罪を生まないまちづくり」12.0%までが1割を超えている。

性別でみると、「犯罪が起こりにくい、犯罪を生まないまちづくり」は男性 15.1%の方が女性 9.9%より高く、逆に女性の方が男性より高いのは「誰にとっても移動しやすい地域交通環境の整備」「子どもの居場所づくりと育成支援の充実」である。

性・年代では、男性 30 代と女性 50 代は「誰にとっても移動しやすい地域交通環境の整備」が 2 割を超え、他年代より高くなっている。男性 30 代は「強くしなやかな防災・減災まちづくり」14.3%も他年代より高く、女性 40 代は「子どもの居場所づくりと育成支援の充実」19.7%が高くなっている。

問 45 力の入れ方が不十分だと思う施策や取組【性・年代別】

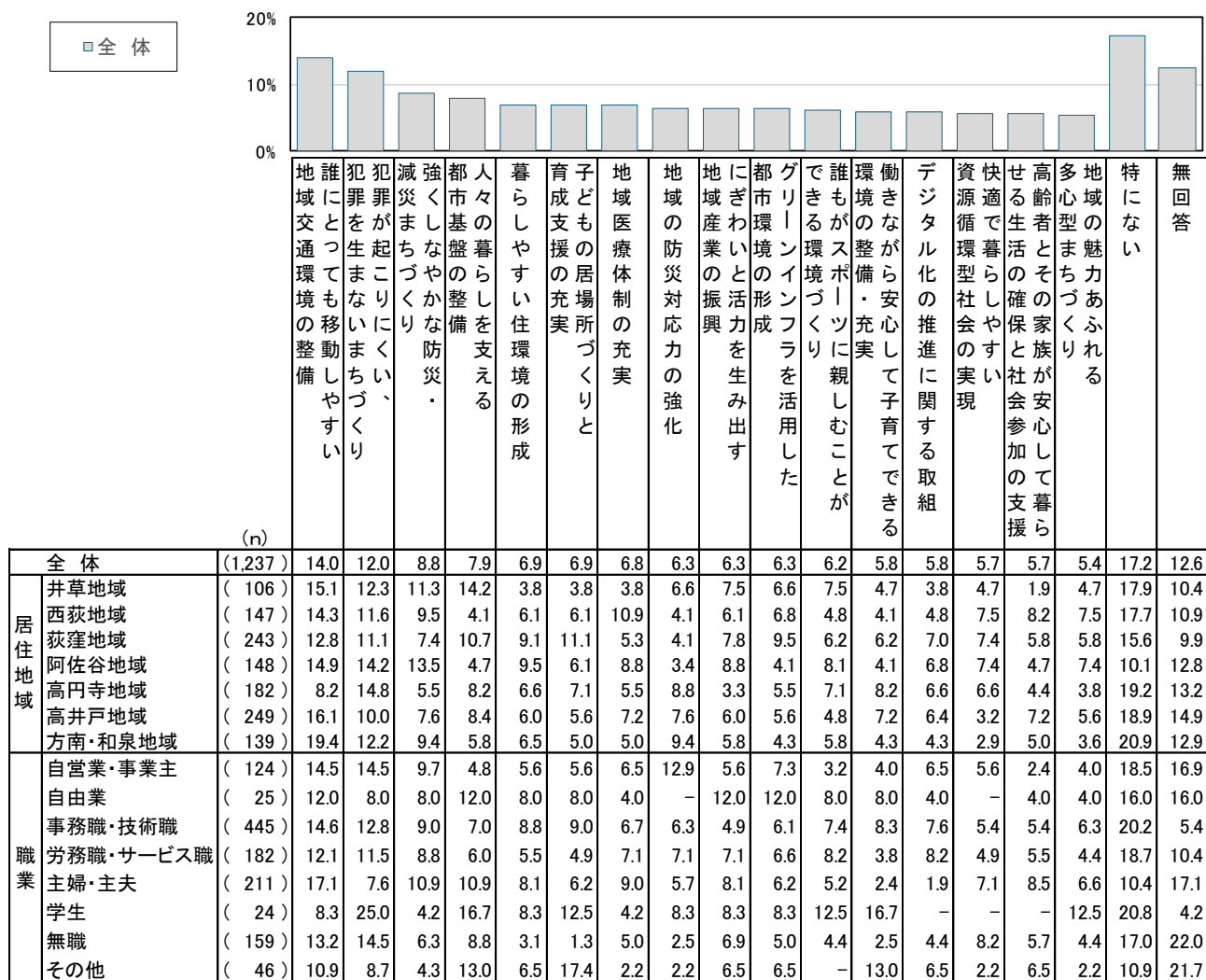


※全体5%以上の項目の高い順

居住地域でみると、方南・和泉地域では「誰にとっても移動しやすい地域交通環境の整備」19.4%が最も高くなっている。

職業でみると、主婦・主夫では「誰にとっても移動しやすい地域交通環境の整備」17.1%が高く、回答者数が少なく参考程度となるが、学生で「犯罪が起こりにくい、犯罪を生まないまちづくり」が高くなっている。

問 45 力の入れ方が不十分だと思う施策や取組【居住地域・職業別】



※全体5%以上の項目の高い順

(3) 今後特に力を入れるべきだと思う施策や取組

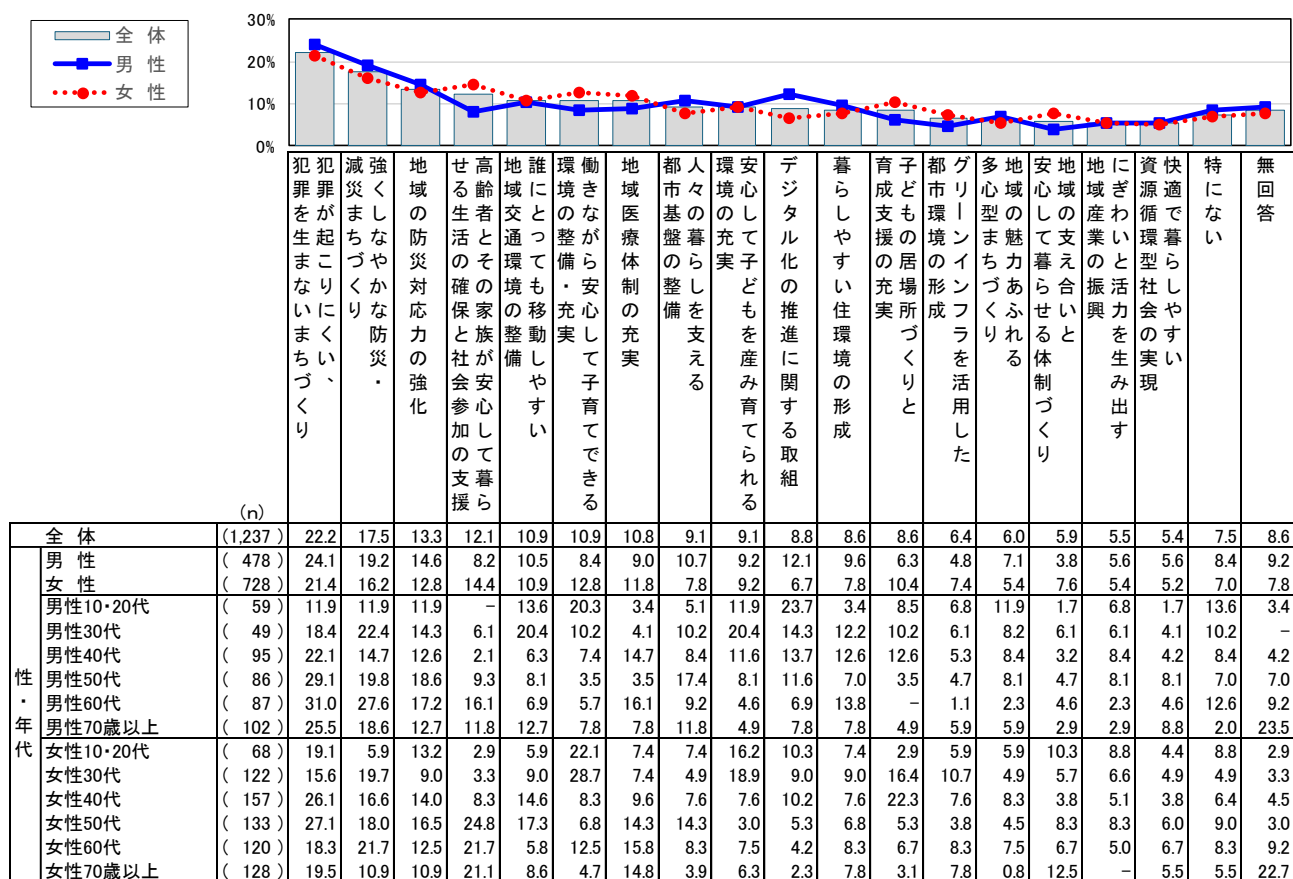
問46 下記にあげた施策や取組の中で、杉並区が今後特に力を入れるべきだと思うものを3つ以内で選び、下の回答欄に番号を記入してください。

全体では、「犯罪が起こりにくい、犯罪を生まないまちづくり」22.2%が最も高く、次いで「強くしなやかな防災・減災まちづくり」17.5%、「地域の防災対応力の強化」13.3%と防犯・防災関係がTOP3項目となっている。

性別でみると、男性の方が女性より「犯罪が起こりにくい、犯罪を生まないまちづくり」「強くしなやかな防災・減災まちづくり」「地域の防災対応力の強化」とTOP3の防犯・防災項目は、やや高くなっている。他に「デジタル化の推進に関する取組」も男性12.1%、女性6.7%と、男性の方が高い。一方、「高齢者とその家族が安心して暮らせる生活の確保と社会参加の支援」は男性8.2%、女性14.4%、「働きながら安心して子育てできる環境の整備・充実」は男性8.4%、女性12.8%と女性の方が高い。

性・年代では、男性50～60代で「犯罪が起こりにくい、犯罪を生まないまちづくり」が3割前後と高く、女性30代では「働きながら安心して子育てできる環境の整備・充実」28.7%、女性40代では「子どもの居場所づくりと育成支援の充実」22.3%が高く、女性50代以降では「高齢者とその家族が安心して暮らせる生活の確保と社会参加の支援」が2割を超える。

問46 今後特に力を入れるべきだと思う施策や取組【性・年代別】

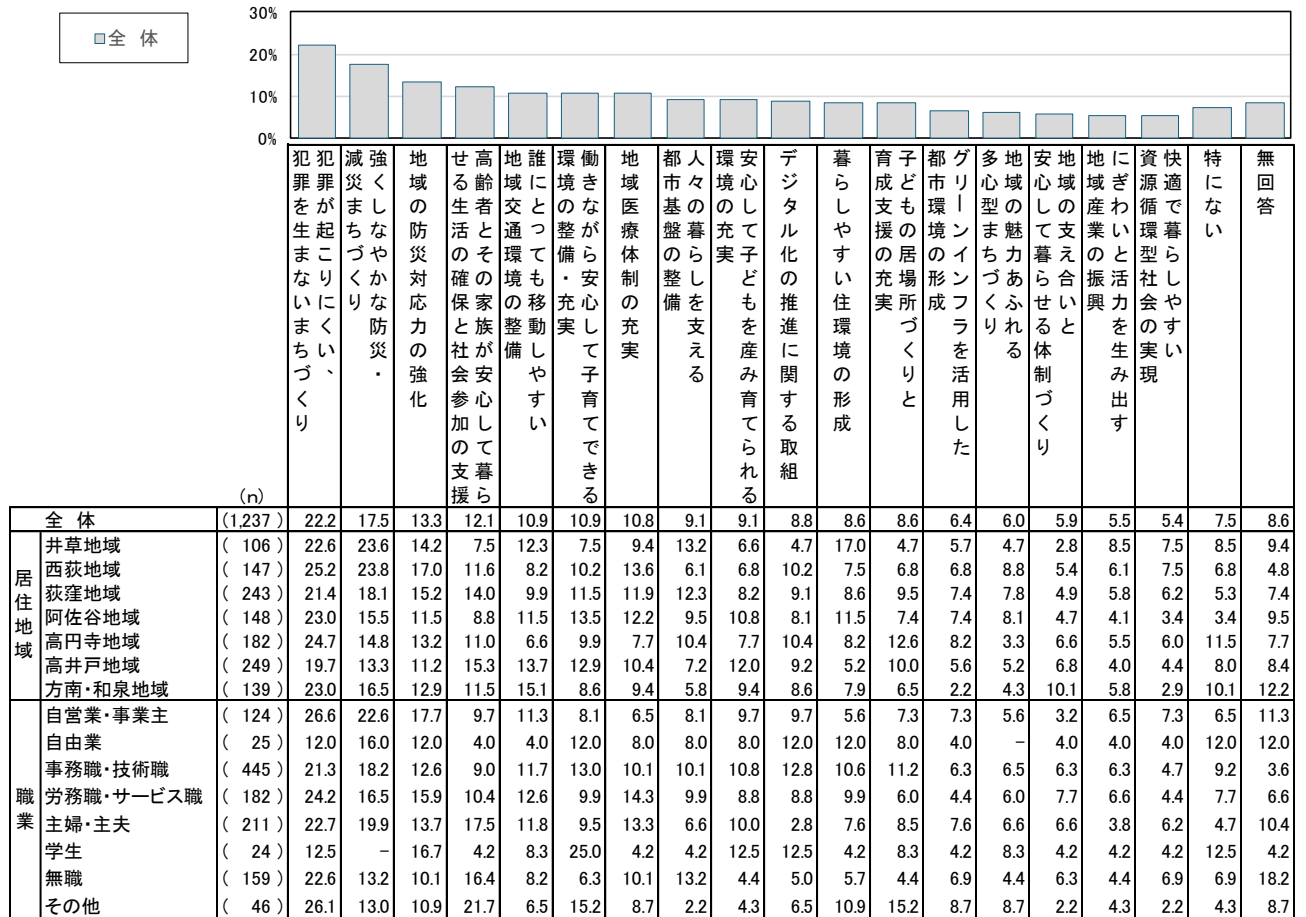


※全体5%以上の項目の高い順

居住地域でみると、井草地域と西荻地域では「強くしなやかな防災・減災まちづくり」が2割を超え、他地域より高くなっている。

職業でみると、自営業・事業主とその他では「犯罪が起こりにくい、犯罪を生まないまちづくり」が3割弱と他職業より高くなっている。主婦・主夫と無職、その他では「高齢者とその家族が安心して暮らせる生活の確保と社会参加の支援」が2割前後と他職業より高くなっている。

問 46 今後特に力を入れるべきだと思う施策や取組【居住地域・職業別】

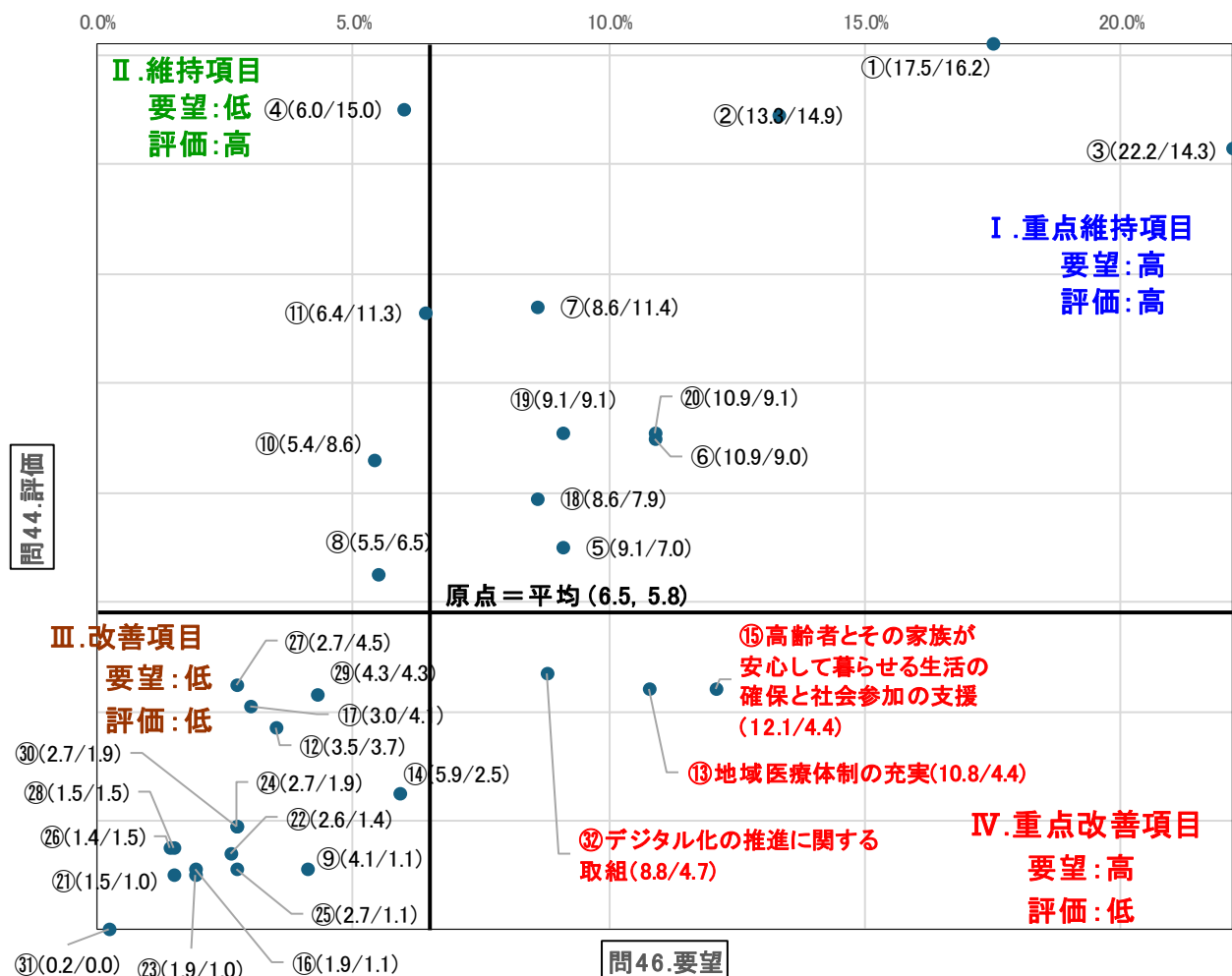


※全体5%以上の項目の高い順

『問 46. 今後特に力を入れるべきだと思うもの』と『問 44. 力を入れていると評価できるもの』を相関させた散布図を作成した。横軸が『問 46. 施策や取組の要望』で、縦軸が『問 44. 施策や取組の評価』と言える。原点(x 軸と y 軸の交点)はそれぞれの平均値とした。

このグラフでは、『施策や取組の要望』が高く、『施策や取組の評価』が低い第Ⅳ象限にある項目が今後の重点改善項目となる行政課題と考えられる。

問 46. 要望(今後特に力を入れるべきもの)×問 44. 評価(力を入れていると評価できるもの)散布図



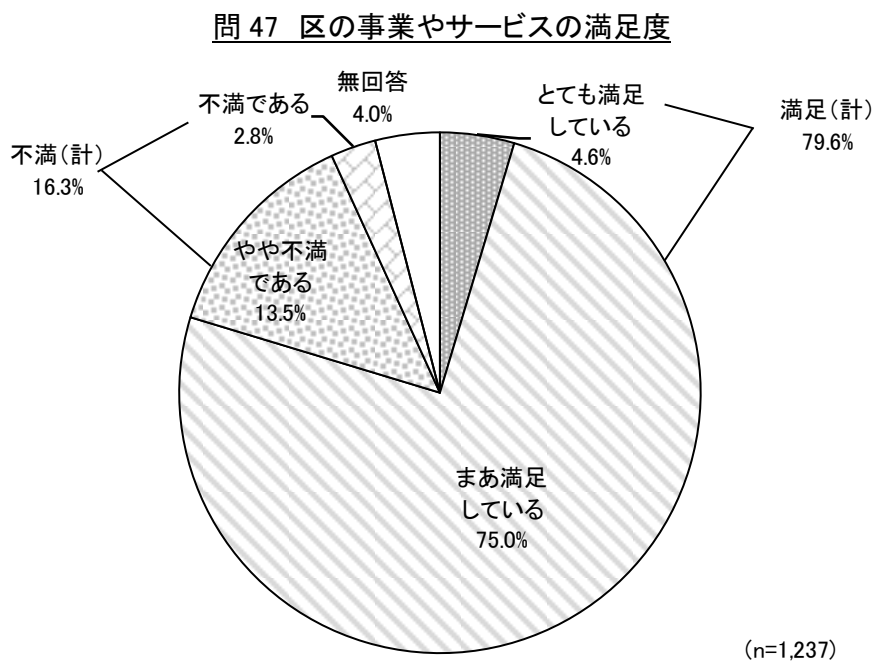
改善項目	⑭ 地域の支え合いと安心して暮らせる体制づくり	重点維持項目	③ 犯罪が起こりにくい、犯罪を生まないまちづくり
	⑲ 誰もがスポーツに親しむことができる環境づくり		① 強くしなやかな防災・減災まちづくり
	⑨ 質の高い環境を将来につなぐ気候変動対策の推進		② 地域の防災対応力の強化
	⑫ いきいきと住み続けることができる健康づくり		⑥ 誰にとっても移動しやすい地域交通環境の整備
	⑰ 子どもの権利を尊重し育ちを支える環境の整備・充実		⑳ 働きながら安心して子育てできる環境の整備・充実
	⑲ 身近に活用できる教育環境の整備・充実		⑤ 人々の暮らしを支える都市基盤の整備
	⑲ 生涯にわたる学びの支援		⑲ 安心して子どもを産み育てられる環境の充実
	⑲ 多様な文化・芸術の振興と多文化交流の推進		⑦ 暮らしやすい住環境の形成
	⑳ 区政経営改革の推進に関する取組		⑱ 子どもの居場所づくりと育成支援の充実
	㉒ 学び続ける力を育む学校教育の推進		⑪ グリーンインフラを活用した都市環境の形成
維持項目	⑱ 障害者の社会参加と地域生活の支援	維持項目	④ 地域の魅力あふれる多心型まちづくり
	㉓ 多様なニーズに応じたきめ細かな教育の推進		⑧ にぎわいと活力を生み出す地域産業の振興
	㉑ 障害児支援の充実と医療的ケア児の支援体制の整備		⑩ 快適で暮らしやすい資源循環型社会の実現
	㉒ 次世代への歴史・文化の継承		
	㉒ 多様な地域活動への支援		
	㉑ 協働の推進に関する取組		

※各象限内で問46.要望の高い順

(4) 区の事業やサービスの満足度

問47 あなたは、杉並区が行っている事業やサービスについて、どの程度満足していますか。
(最も近い意見1つに○)

全体では、「とても満足している」4.6%と「まあ満足している」75.0%を合わせた『満足(計)』79.6%はほぼ8割となっている。一方、「やや不満である」13.5%と「不満である」2.8%を合わせた『不満(計)』16.3%は1割台にとどまっている。



性別でみると、男女で大きな差はみられない。

性・年代では、男性 30 代の「とても満足している」16.3%が最も高く、『満足(計)』89.8%はほぼ9割に達している。一方、男女とも 60 代は『不満(計)』が2割を超えている。

居住地域でみると、西荻地域の『満足(計)』90.5%が最も高い。一方、高円寺地域は『満足(計)』74.7%が最も低く、『不満(計)』21.4%が最も高い。

問 47 区の事業やサービスの満足度【性・年代・居住地域別】

		(n)	■とても満足している □まあ満足している □やや不満である □不満である □無回答					%	満足 (計)	不満 (計)
全 体		(1,237)	4.6	75.0	13.5	2.8	4.0		79.6	16.3
性・ 年 代	男性	(478)	5.9	76.2	13.0	2.9		2.1	82.0	15.9
	女性	(728)	3.8	76.6	14.0	2.6		2.9	80.5	16.6
	男性10・20代	(59)	11.9	72.9	13.6			1.7	84.7	15.3
	男性30代	(49)	16.3	73.5	10.2				89.8	10.2
	男性40代	(95)	4.2	75.8	16.8	2.1		1.1	80.0	18.9
	男性50代	(86)	3.5	83.7	10.5			2.3	87.2	12.8
	男性60代	(87)	2.3	74.7	16.1	5.7		1.1	77.0	21.8
	男性70歳以上	(102)	3.9	74.5	9.8	3.9	7.8		78.4	13.7
	女性10・20代	(68)	7.4	77.9	13.2			1.5	85.3	14.7
	女性30代	(122)	8.2	79.5	10.7			1.6	87.7	12.3
	女性40代	(157)	2.5	79.6	13.4	3.8		0.6	82.2	17.2
	女性50代	(133)	3.8	79.7	14.3	1.5		0.8	83.5	15.8
	女性60代	(120)	0.8	71.7	19.2	4.2	4.2		72.5	23.3
	女性70歳以上	(128)	2.3	71.1	13.3	2.3	10.9		73.4	15.6
居 住 地 域	井草地域	(106)	1.9	81.1	11.3	0.9	4.7		83.0	12.3
	西荻地域	(147)	7.5	83.0	8.2	0.7		0.7	90.5	8.8
	荻窪地域	(243)	4.5	79.0	11.5	3.7		1.2	83.5	15.2
	阿佐谷地域	(148)	4.7	76.4	12.8	5.4		0.7	81.1	18.2
	高円寺地域	(182)	6.0	68.7	19.2	2.2	3.8		74.7	21.4
	高井戸地域	(249)	4.4	74.3	14.1	2.8	4.4		78.7	16.9
	方南・和泉地域	(139)	2.9	74.8	16.5	3.6		2.2	77.7	20.1

ライフステージでみると、家族形成期は「とても満足している」10.6%、『満足(計)』88.1%が最も高い。

職業でみると、大きな違いはない。

問 47 区の事業やサービスの満足度【職業・ライフステージ別】

		(n)	■とても満足している □まあ満足している □やや不満である □不満である □無回答					%	満足 (計)	不満 (計)
全 体		(1,237)	4.6	75.0	13.5	2.8		4.0	79.6	16.3
職 業	自営業・事業主	(124)	2.4	77.4	14.5	4.0		1.6	79.8	18.5
	自由業	(25)	8.0	76.0	12.0	4.0			84.0	16.0
	事務職・技術職	(445)	6.3	75.7	13.9	3.4		0.7	82.0	17.3
	労務職・サービス職	(182)	4.9	79.1	11.5	1.1		3.3	84.1	12.6
	主婦・主夫	(211)	2.4	74.9	16.1	3.3		3.3	77.3	19.4
	学生	(24)	8.3	79.2		12.5			87.5	12.5
	無職	(159)	3.8	74.2	13.2	1.9	6.9		78.0	15.1
	その他	(46)	4.3	80.4	6.5	4.3		4.3	84.8	10.9
ラ イ フ ス テ ー ジ	独身期	(135)	9.6	76.3	13.3			0.7	85.9	14.1
	家族形成期	(160)	10.6	77.5	9.4			2.5	88.1	11.9
	家族成長前期	(166)	3.6	75.3	18.1			3.0	78.9	21.1
	家族成長後期	(107)	4.7	81.3	12.1	0.9		0.9	86.0	13.1
	家族成熟期	(117)	2.6	78.6	13.7	3.4		1.7	81.2	17.1
	老齢期	(315)	2.9	73.3	14.0	3.2	6.7		76.2	17.1
	その他	(212)	1.9	76.9	14.2	4.7		2.4	78.8	18.9

IV. 杉並区に対する意見・要望【自由意見】

杉並区に対するご意見やご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

最後に区に対する意見・要望を自由に回答してもらったところ、410 人から約 560 件の回答を得、項目ごとに意見・要望を抜粋した。※「特になし」などを除く。

1. 都市基盤の整備

1. 土地利用、緑地・河川・自然環境の保全

- ・ 生物多様性の観点から、河川敷をコンクリートではなく植物が生えやすい素材で構築してほしいです。同時に樹木が生育する場所を増やしてほしい(治水にもつながると考えます)。公園などに適応された新しいルール(児童のボール遊びの解禁など)はとても良いと思います。生物多様性の追求や子供、次世代のための環境づくりに率先して取り組んでいただきたいです。
- ・ 善福寺川流域の治水工事、特に成田東のそののなんと遅れていることか、そして済美界限は多少の造作がなされましたが、なぜ河川沿いをもっと魅力ある場所にしないのでしょうか。ショックなのは善福寺川と神田川の合流点。上手くやればパリのセヌ川沿いのように風光明媚にできるのに本当に醜く放置。商業施設を誘致すれば幾らでも工事費は出るものをと。相続税対策の行方とは思いますが、杉並区の緑多い美しいお屋敷は、更地にされて緑など申し訳程度のマッチボックスの様な小さな分譲住宅に寸断されどんどん醜くなっている。
- ・ 井の頭道路、方南道路脇に設置されているグリーンゾーンいわゆる植栽ですが、背丈が高すぎてわき道から本道路へ入る際、両側からくる車が見えづらい。結果人身事故が起きている。グリーンを設置すればよいではなく、安全にもっと配慮すべき。植栽の高さを 1m 以内に。加えて落葉樹のため、秋から冬は葉っぱが道路上に散乱している。大変みっともない。
- ・ 杉並区の緑あふれるところが好きだが、最近生産緑地がどんどん宅地や高齢者向け介護施設や住宅になっていて自然面積が減っている。日差しも年々キツくなっており、街路樹が少なく、街の構造上、日陰が少ない西荻地域は小さい子供を連れて歩くには真冬を除いてとても辛く、徒歩で済むところ、公共交通機関を利用して隣駅に移動したりしているので、緑を減らさない施策を実施してほしい。
- ・ 善福寺川緑地の工事が長すぎる。短期集中で早く終わらせてほしい。
- ・ 街路樹が少なく、特に夏に安心して出歩ける場所が少ない。
- ・ 杉並区は緑が多く、比較的住みやすい地域だと思います。毎年楽しみにしている善福寺川沿いの桜並木は今年は桜が少なく残念でした。
- ・ 善福寺川の調整池計画について、ロケット公園は毎日子どもたちで賑わっているし、グリーンインフラとは真逆の計画である。都に中止を求めて他の案にしてほしい。善福寺川沿いでは常に工事が行われており、10 年以上ずっと続いているものをなんとかしてほしい。これ以上木を切らないでほしい。
- ・ 井草エリアは昔の地主さんが多く、広い土地、緑が多いのが魅力と感じています。農地指定されていますが、近年相続などでどんどん土地が売られて緑が減っています。区が介入して土地(緑)を維持してほしいと思います。
- ・ 年々各住宅の緑がなくなる(土地いっぱい家に建っている。庭がない。緑がない)。
- ・ 何年前までは、冬の晴天に尾崎橋から富士山頂が望めましたが、街路樹で見えなくなりました。低木にするなどで再び見えるようにしてほしい。
- ・ 区民農園を増やしてほしい。
- ・ 善福寺川の治水工事、頑張ってください。
- ・ 街路樹を保護していただきたい。

- ・ 希望としてですが、広い農地・畑の隣に住んでいます、作物が休んでいる時もあります。その時に強風があると畑の土が飛ぶ、踊る、舞い上がることが多くなります。住んでいないと経験できませんが、外壁、車の上に埃が当たり、汚れます。車は洗車が数回必要です。農家さんには感謝ですが、共存していくには、区政の現実理解と対応(対策)を実行して頂きたいです。

2. 公園の整備・管理

- ・ 公園が少ない。また、数少ないせっきくの公園にも、使われているところを一切見かけない。対象年齢が不明な遊具、手入れ不足な木々や遊具、近所への騒音ばかりを気にし、誰も使えないような公園がある。気持ちよく利用できる公園を増やして欲しい。
- ・ もっと公園や広場などを増やして、たくさんの人が避難できる場所を確保してほしいです。
- ・ 近くの児童館もとてめありがたく活用させていただいています。この辺は公園も多く、緑が充実しており、夜は静かなのも気に入っています。いつもありがとうございます。
- ・ 中央線各駅の北口側に緑が不足しています。古い団地や社宅をなくして公園にしてほしい。
- ・ 小さい子どもを安心して遊ばせられるよう公園を整備してほしい(木の下のため毛虫だらけのすべり台、砂場や手洗い場にお菓子の袋などのゴミが散乱している、おむつ替えできる清潔なトイレがある公園がほとんどない)。
- ・ 子供が周りを気にせず遊べる公園が少ない。ボールが使えなかったり、大騒ぎしたらいけなかったり、高齢者が占拠していたりする。簡単な手持ち花火もできない。子供へのルールを緩和すべきだと思う。
- ・ 公園で野球やサッカー、バスケ、バレー、テニスなどもっと気軽にだれでも利用できるようにしてほしい。
- ・ 緑のある広い公園やドッグランができると嬉しいです。
- ・ 和田堀公園や善福寺川などの整備を進め、子どもが利用できる公園が増えていると感じています。大きな公園を拠点として、駅まで繋ぐ緑陰のある街づくりを期待します。
- ・ 犬を飼っているので、犬が入れる公園を増やしてほしい。
- ・ 公園のトイレが古いところが目立ちます。防犯のためにも整備をお願いしたいです。公園の遊具を増やして欲しいです。
- ・ 無料で利用できるドッグランの有料化をお願いします。
- ・ 公園の遊具が他の区に比べて貧相で子どもがすぐに飽きてしまう。他の区の公園に遊びに行くことが多い。
- ・ 区立公園の犬立ち入り原則禁止を見直してほしい。飼い主の責任のもと、犬にも公園を楽しませてあげたい。
- ・ 玉川上水第2公園で桜の木の倒木がありました。樹齢も長くなっている桜の木も多いので、点検をこれからも続けて頂きたいです。危なくなった木は切ってくれているので大変ありがたいのですが、新しい苗木が植えられることもないので、桜の木が将来的に公園からなくなってしまうか心配です。玉川上水公園の美しい景観をぜひ残して頂きたいです。公園の敷石も割れてしまっている所もあるので、子供たちが安全に遊べる公園づくりをよろしくお願い致します。

3. 道路整備

- ・ 計画道路を慎重に進めるのはよいが、いつまでも定まらないせいで地権者は大変迷惑している。宙ぶらりんのせいでテナント付けができず大変な経済的損失を被っている。
- ・ 道路が狭く、日々の利用に危険を感じています。セットバックをしても段差があるままで道路が広がっていない場所が多く、電柱も移設されていないため車も通りづらそうです。4月からの自転車ルールの強化も踏まえ、道路状況の改善を強く求めます。

- 歩道がとても狭いので子供と歩くのが怖い時があります。将来的に広くなってくれとありがたいです。また、下井草駅も踏切をなくして地下化か高架化していただけると嬉しいです。
- 浜田山駅南口問題の早期解決を望みます。
- 住宅街道路のひび割れが目につく。
- 自転車が安全に走れる道路整備をしてほしい(歩道も車道も狭く危険な道路が多い)。
- 道路の整備、バリアフリーの徹底をしっかりと欲しい。自転車道路の幅確保、車道の凹凸、点字ブロックの位置。
- 道路が狭く、歩道が狭いところがあります。また電柱があることによって極端に狭くなっています。ぜひ無電柱化を進めてください。
- 西武新宿線沿線の交通インフラの改善について迅速に進められるように役所として注視して欲しい。
- 杉並区に住んで、緑も多いのに車道と歩道の道幅が狭い事に驚いた。その為、出来るだけ歩道に生い茂る緑が歩道にかからないようにしていただきたいです。よろしくお願いします。
- 自転車に対する規制が厳しいのは良いが通行しやすい環境が必要と感じている(自転車が通行しやすい環境づくり)。
- 青梅街道の横断歩道が少ない(歩道以外を横断する人が多発しているが横断せざるを得ない)。
- 歩道の美化徹底。住宅街の街灯整備。
- 環八の渋滞がひどい。迂回ルートなどを整備するべき。自転車が邪魔すぎる。歩行者、自転車、自動車の棲み分けを整備してほしい。街路樹の伐採をもっと頻度を増やしてほしい。銀杏並木から落ちる銀杏が臭すぎる。自転車やバイクに乗る身としても、歩行者としても、不愉快。他の木に変えてほしい。
- 西荻窪駅の北側の道路を広くする必要はないと思います。
- 狭い道路における下水マンホールのふたの老朽化対策(自宅の前のふたは老朽化が進んでおり、自動車が通る度、かなりの騒音を発するが、私道であり、その権利関係が複雑な為、修理等の対応が取れない。行政面から公道化を図る等の対策も必要ではないか?)。
- 道路標識の“とまれ”や“一時停止”、白線の表示が消えかかっている所が多数あります。早めにリニューアル対策を。
- 道が狭いところが多く、自転車と人とがぶつかりそうな場所が多い。武蔵野市のように、人、自転車、車のレーンを分けていただけるとありがたい。西荻窪駅前には車を停めるスペースがなく、車でお迎えするのが難しい。いずれも土地(スペース)がないから解消は難しそうです。
- 久我山駅前から牟礼までの人見街道が狭く、普段でもすれ違いが困難で、雨の日は特にひどく、人見街道にはみ出しとても危険です。事故も多く区議の方に言っても無駄でした。
- 信号の段差をなくしてほしい。信号が赤になるのが早い。
- 区だけの問題ではないが、社会インフラが老朽化し、場合によっては危険になってきていることの対策を進めてほしい。
- 阿佐ヶ谷地区は住宅密集や狭い道路が多いため、災害時の緊急車両の進入・通行に不安を感じています。道路拡張の推進や建築許可を厳しくして頂きたいと感じています。
- 自転車、車の交通量が多く、道が狭いため、歩道を歩く時、常に不安です。バス通りに広い歩道があれば、無理してバスを使う必要もなくなるのにと常々思います。
- 荻窪駅の南北を分断している状態の解消に向けて取り組んでいただきたいです。
- 安全第一なのはわかりますが、電車が通ってもないのに踏切が閉まっている時間が長すぎます。
- 中央道に入れる高井戸インターの早期実現。
- 今年の4月より自転車の新たなルールが出来ましたが、自転車道路の整備が整っていないと感じる。車道に自転車マークがあっても、車がかなり寄ってきて非常に自転車、自動車双方にとって良くない。

- ・区内全般の緑が他区と比較して多く住みやすい環境と感じていますが、只一つ長年住み続けて杉並区の汚点として荻窪駅中心の地区の道路事情が悪すぎることで、JR 線との市街地開発を是非行ってほしい。時間とお金がかかるのはわかりますが、そこを良くすれば区の発展に結びつくこと間違いなしです。

4. 交通機関の整備・充実(鉄道・バス)

- ・阿佐谷、高円寺駅に休日にも中央線快速が止まるようになってほしいです。
- ・区役所他主要行政地域である阿佐ヶ谷への移動交通手段の整備をしてください。杉並区は南北間移動の公共交通手段が不十分で、永福和泉地域からのアクセス悪い。
- ・杉並区は区内南北の移動は自転車がないと難しく感じます。中央線でバス移動も分断されてしまうので、スムーズに移動できる手段があるとありがたいです。
- ・役所方面に直接行かれる交通手段、バスなどが無い。
- ・すぎ丸が混んでいるので増やしませんか？
- ・公共交通の不便さをどうにかしてほしい。戸建て住宅が密集しているところには、すぐにバス等で駅に出られるよう配慮してほしい。区の施策に入れているのであれば、他区のように区のバスであるすぎ丸のルートをもっと増やす等工夫してもらいたい。
- ・永福町ー高円寺のバス区間を、すぎ丸にしてほしい。バスの本数も増やしてほしい。特に高円寺行きのバスの本数。
- ・阿佐谷北口にもすぎ丸みたいなのがあったといいです。
- ・西武新宿線沿線の踏切付近の混雑。徒歩者の危険、公共交通(バス)の遅れによる不便、渋滞による排気などの環境問題、ガソリン高の影響など。
- ・グリーンスローモビリティの運航をやめていただきたい。狭い道路で通行の邪魔になり、車がすれ違えないケースがある。また、運行ルートは駅から徒歩圏内で、運行する意味がわからない。
- ・浜田山駅の改札口を南側にも設置して欲しい。
- ・高円寺阿波踊りの際の駅の混雑をなんとかして欲しい。当日は臨時で中央線も使えるようになれば良いと思う。
- ・①杉並公会堂の前辺りにバス停を作ってほしいです。雨の日に保育園まで子ども達連れて徒歩通園が大変だからです。四面道駅の次が荻窪駅なのが距離がありすぎです。②北と南をすぐに渡れるようにしてほしいです。
- ・荻窪駅の改札口辺りをもう少し広く拡張してほしいです。いつも人が多く混雑しています。
- ・交通の便が良いので助かっています。静かで住みやすいと思います。
- ・区営乗合タクシーにお世話になっています。子どもとの遠出でも乗合タクシーがある安心感で苦にならなくなりました(バスだと混雑時にベビーカーを畳んだりと周りの方に迷惑をかけてしまっている気がして)。これからも利用させていただきます。

5. 駐輪場・駐車場の整備

- ・買い物に行くときの自転車置き場が少ない。
- ・西荻窪駅周辺の公共価格で利用できる駐輪場の少なさを解消していただきたいです。
- ・駐輪場が平日は混んでいて、停められないことがある。人口に対し、駐輪場が少ないと思う。特にマンションが増え続けているので、早めの対処を希望する。
- ・駅周辺の駐輪設備が整っていない。利用者増加にもかかわらず、駐輪台数が増えていないので、土地の確保をしてほしい。
- ・高井戸駅の区民センターの駐輪場を一般の人にも停めさせてほしい。東の方の駐輪場がない。

2. 環境基盤の整備

1. 住宅の整備・充実・環境改善など

- ・近所に豪邸があり、落ち葉や枝、虫の被害がすごくて困っています。木が大きすぎて電線にかかっているのも気になります。
- ・住環境。地価が高く、収入から買える家が狭いので、結果子供の数が抑えられてしまっている。狭い家の密集は防災、地球環境上も問題。法律上狭い家が可能であるから仕方がないが、より良い住環境を推進すればメリットが得られるようにすべき。
- ・私見ですが我々老人で一人暮らし貧困ですと生活に一番負担がかかるのは住宅、都営は競争率が高く入居出来ない。理想は杉並区営住宅などが有り入居条件は厳格でも可、を作って頂きたいです！
- ・今後も高層マンション建設などは規制してほしい。駅前開発によってその街の個性をなくさないようにしてほしい。民泊などによって治安が悪くならないようにしてほしい。どんどん戸建てがマンションになっていき、人口が増えてます。災害が起こった時に震災救援所は人が入りきらず機能しないのではないかと不安です。
- ・難しいかとは思いますが、生活保護の手前段階で居住支援つまり家賃補助のような制度設計があり、なおかつ利用しやすいければ、自分も含めて本当に助かる人が少なくないはずです。
- ・土地を細かくし過ぎないように最低でも 25 坪以上と行政で決めて欲しい。細かい家ばかりになり火事の際延焼が広がり非常に危ない。
- ・家を新築する時、道路のセットバック完了しなければ新築させないようにすべき。そうしなければ狭あい道路はなくなりません。縁石だけが残り道路は狭いまです。
- ・近隣で空家が多くなってきている。我が家のまわり 3 軒とも空家で火災や盗難等危険。現在は地域でお互いにチェックし合っているが。死亡して 2〜3 年経過すると相続人が不明なのか、空家の庭木が伸びてきて困っている。杉並区で木を切ってほしい。よろしくお願いいたします。
- ・杉並区にはないが、環七沿い方南町付近の黄色い建物の電子看板が、周辺環境との調和を欠いているように感じます。
- ・井荻駅、環八跨線橋サミット側の壁のところが割れたり、崩れたりしているのを見かけた(2、3 年前からだ)。車が通るのに支障がないのか気になっている。まだ大丈夫なのか。
- ・夏の暑さ対策(個人レベル、行政レベルの対策強化)。
- ・暮らしやすい住環境の形成に力を入れてほしい。家賃が高くなると他の区へ引越しを考えなくてはならない。高齢者が住み続けることが難しいと感じる。
- ・杉並区が大好きで、できれば暮らし続けたいですが、地価の上昇で将来子供たちが近くに帰って家を持てるのかとても心配です。リターン家族への家賃補助など杉並区民が離れなくて良い制度などがあると良いなと思います。
- ・西荻窪駅周辺において、マンション建設が続いているように見受けられるが、住民が増加しているにもかかわらず、駅も駅前も狭く、往来がしづらい。もうすぐキャパオーバーになると思う。整備を急ぐかマンション(高層)建設を許可しないでほしいくらいです。

2. ごみ問題(ごみの分別・リサイクル、ごみの収集など)

- ・ゴミ収集場所のルールを守らない利用があり困惑している。これから暑くなると衛生上不安がある。早急に改善して欲しい。
- ・新規移住者のゴミの出し方のルールが、戸別で出されている所が多く、カラスがゴミを漁り、道路上にゴミが散乱している事を目にする事が多い為、転入される際の指導や、新築を立てる業者に事前注意を促す取り組みを行って頂きたいと思います。
- ・ゴミの出し方もルールを守らない人がいて、燃えるゴミ、燃えないゴミを一緒に出す人もいて、外国の人たちも多く住んでいるようなので、最初に説明をよくしてほしいと思います。

- ・ ゴミ処理が不十分で、歩道が汚い事が多すぎる(ゴミ収集日に限らず)。
- ・ 全世帯ゴミは各戸収集にすべき。費用面が課題ならば、ゴミ袋有料化 OK。出来ない理由があるならば、その理由を知らせてほしい。
- ・ 粗大ゴミ、不法投棄をなくす。人に優しく、自然に優しい環境作り。
- ・ 東京都 23 区家庭ゴミ有料化発表について。杉並区は日本一ゴミ分別が厳しい地域(他区に比べプラや紙の分別回収が徹底)であることが評価されるべきです。一律有料化なら、不法投棄が爆発的に増えることが懸念されます。「紙類、ペットボトル、缶、瓶、不燃ごみ」の回収は無料とすべきです。「落葉・枝」は、「生ゴミ」とは区別し、無料とすべきです。
- ・ ゴミ有料はしないでほしい。各自で減らす努力を地域でまず行ってみる。

3. 歩きたばこ、禁煙、環境美化について

- ・ 路上喫煙・ポイ捨て取締強化(長年遵守されておらず啓蒙ではなく罰金強化が必須。毎日何人も見かける)。
- ・ 路上喫煙、公園、駅前、商店街での受動喫煙の取り締まりを何とかしてほしい。居住やマンション、家前での喫煙も防止できないですか？高円寺よりはマシですが。
- ・ 杉並区生活安全及び環境美化に関する条例の歩きタバコについて、運用が出来ているのか大いに不満です。吸うなどとは言わないが、喫煙所を設ける等、対策を講じてほしい。あまりにも多すぎます。
- ・ 地下道は汚いし怖い。
- ・ 少し高円寺駅周辺の衛生面が気になります。鳩が多く、糞だらけな印象。
- ・ 最近、遊歩道の石段のところで飲食をし、食べ散らかしたままの人が増えている(たまに片付けますが腹が立ちます)。
- ・ 自宅周辺(敷地の際、自宅前私道、電柱)に毎日複数犬の糞尿をされて困っています。ごく少量の水を流されても意味はなく、シミが残っており、不衛生で景観も悪く、朝から滅入ります。西荻北 1、2 丁目、上荻 3、4 丁目を歩くと糞尿禁止のステッカーを貼っているお宅が多く見え、悩んでいる人は多いと思います。飼い主さん宛てにマナー向上の対策を何かして頂きたいと願います。
- ・ 杉並区のイメージは駅から出るととにかく下水が臭い、特に荻窪、南側。下水の清掃を願う。
- ・ 荻窪駅に吐瀉物が多く、不快。西口の階段に多い。

4. 公害など(騒音・振動、スモッグ・排気ガス、カラス対策、処理場など)

- ・ 農薬散布など取締強化(農薬散布で健康被害が発生している)。
- ・ 柔軟剤利用対策強化(特に野外や窓付のスペースでの洗濯など路上は常に柔軟剤のニオイがして辛い)。
- ・ 商店街にネズミが多すぎる。近所のゴミ捨て場にも巣があるが一向に減らない。商店街や町会で対応するのは無理だと思うので、行政が駆除に力を入れてくれないとパンデミックになりかねないと思う。
- ・ カラスが多くて危険なのが気になる。
- ・ 最近近くの建物が改修して屋上に電子看板を設置した。原色が多く光も強いので夜 11 時まで消灯せず、マンション内に迷惑している人が多い。電力の無駄でもあり、このような光害に対する規制をもっと厳しくして欲しい。
- ・ ほぼ毎日のように夜中の奇声、喚き声、笑い声が聞こえてきます。警察に都度連絡し、日中には保健所にも相談のご連絡をしておりますが、指導の管轄下ないと事で直接事業者申し出るしかありません。この時代、何が起きるか分からないためあまり物申すこともできなく、大変困っております。区としてできる範疇で規制の強化または指導の徹底など、検討いただければ幸いです。

- ・私の家は「杉並区ドッグラン広場」の前にあります。この施設ができてから、犬や人の声の騒音に苦しめられています。何回も保健所や区長宛ての手紙を出しましたが、対応や対策があまりなされずに精神的に不安定になりました。この施設のコンセプトはマナー向上ですが、マナーとはほど遠く、おしっこをさせ、歩道を自転車で犬を乗せて走り、大声でしゃべり、犬は吠え放題です。
- ・高円寺駅南口広場に 100 匹位の鳩が常時います。感染症等にかからないか心配です。大量にエサをあげている方を目にしました。どうにかならないでしょうか。
- ・近くの区道でガス・下水道工事のため、始終掘り返され、振動が心配です。もっと効率良く工事ができないものなのでしょうか。

3. 交通安全・防災・防犯

1. 交通安全対策(交通規制、取締り、危険地帯、放置自転車)

- ・教会通り、たまに車が通りますが、狭い道路なので、車の進入禁止にしてほしいです。
- ・商店街の駐輪スペースが少ないためか、駐輪してはいけないところに沢山止められています(特にパール商店街のスーパー)。そのため通路も狭くなり、歩きにくいです。また、火災などあった時に消防車両が通行できないことに不安を感じています。
- ・富士見ヶ丘通りの車の走行マナーが良くないと感じています。すれ違いにくいのは理解出来るのですが、歩行者側に大きくはみ出して走行、停車する車を多く見かけます。設定された速度を守っていない車も多いです。
- ・逆走自転車なども取り締まって欲しい(警察の管轄なのでここで言っても仕方ないと思うが)。
- ・自転車利用者のマナーが悪いので、対策を強化してほしい。
- ・歩道を走行する自転車によって、多くの歩行者が危険にさらされています。通行ルールの徹底などを切に願います。
- ・富士見ヶ丘通りの車の通行を制限してほしい。ベランダは車の粉塵だらけで困っています。
- ・夜 12 時過ぎにパートの帰り、パールセンター暗くなります。人はいません。自転車を引いて歩くのは辛いです。12 時過ぎは自転車に乗るのはダメですか？
- ・公園周辺の路上駐車を取り締まり。
- ・自転車走行レーンの車の駐車をなくしてほしい。
- ・小学生、親の交通ルール指導。年に一度の安全教室では足りないのと、子ども乗せ自転車についても保護者に交通ルールを徹底させる機会を。特に浜田山小学校。
- ・モペットを野放しなのがわかりません。違法と知りながらフードで顔を隠し利用する外国人が多数。ながらスマホ、ヘッドホン由来の事故は、事故原因の上位なのではないのでしょうか？歩行者由来のステルス事故原因だと思います。
- ・通学路の速度を 20Km にしてほしい。高井戸小学校、高井戸東三丁目、車がスピードを出して走行しているので、子供の通学時、危険と感じる。
- ・また住宅地中の道路を電動キックボードがすごいスピードで走っているのが怖い。どうかしてほしい。

2. 防災体制の充実

- ・大規模災害の際、町内会でのつながりが重要だが、役員(担い手)の高齢化が進み今までのやり方では対応しきれない。行政も積極的に関与して運営がスムーズに行くようにしてほしい。他地域での取り組み(横浜市など)を参考に充実してほしい。
- ・防災に力を入れて欲しい。特に地震対策で電信柱の地中化、避難場所の拡充、避難グッズの拡充等。

- ・防災士資格取得のための助成金を検討していただきたい。
- ・防災について。以前住んでいた地域で火事がありました。その火災現場の目の前にスタンドパイプが備えてあったが、カギを開けに来る人もなく、消防車が到着して初めて消火活動が始まりました。たまたま鍵の持ち主が遠くにいたのかしれませんが、災害は予定を立てて起きてはくれません。おおきな公園(和田堀公園など)に仮設トイレ、井戸ポンプなど備蓄倉庫などあり、年に一度訓練がありますが、果たして震災時、役所の人が駆けつけてくれるのか疑問。徒歩圏内の近所住民がいざという時動ける体制づくりがとても必要だと思います。知らないだけで既に存在しているのかもしれませんが…。でも存在しているのであれば火事の際のスタンドパイプも機能していたことでしょう。
- ・災害に備えたグッズの選べるカタログを受け取った時は大変驚きましたが、いただいたことをきっかけに自宅での防災を意識するようになりました。ありがとうございました。実際に使うことがないことを祈りつつ、今後も防災について考え、自宅の出来る範囲で取り組みたいと思います。
- ・街も古い家屋などもあり、災害時の火災等が心配です。
- ・あとは富士山の噴火に備えた防災対策をお願い致します。
- ・防災無線が全く聞き取れず危機感を覚えています。大雨警報は窓を開けても雨音と車道の騒音で何かなっているのは分かりますが内容は分かりません。杉並区と世田谷区の境のため。どちらからの防災無線なのか判断できず、結局いつも鳴っていただけで終わってしまいます。高井戸地域区民センターから発信できないもののでしょうか？
- ・災害時に不安があります。自宅はスピーカーも聞こえません。広域避難場も遠い。都立高校が一番近いが、当日は全く使えないのか。
- ・方南地区の災害時の対応が不安です(公園等の避難場所が少ない、道が狭い等)。

3. 防犯対策・治安対策の充実

- ・移民を増やさない対策を本気でして欲しい。日本人が安心して産み育てやすい、住みやすい環境の整備にもっと力を入れて欲しい。
- ・外国人との異文化交流が悪いこととは思わないが、その前に地域の治安を維持する為の施策を行ってほしい。町中に英語の落書きが目立ちますが、こういった些細な事柄も無視できないと思います。
- ・外国人の不法滞在は取り締まってほしい。
- ・電柱、ポスト、区の掲示板等にスプレーでの落書きが多い。落書きをすると刑事処罰する方向で考えていただきたい。また落書きを消してほしい。
- ・平日の昼間からフラフラしている外国人が目立ちます。
- ・杉並区に練馬区から引っ越してきて一人暮らししています。富士見ヶ丘駅が最寄りです。治安もよく、駅前が混雑しすぎずとてもいい街です。
- ・阿佐ヶ谷駅前ではほぼ常に政治活動や宗教の勧誘、不動産勧誘などがおり、商店街でも携帯会社をはじめ抽選をえさにした客引き系の店が非常に多くて迷惑、高齢者がよくつかまって無用なサービスを契約させられているとおもわれる。ガラの悪いフードデリバリー配達員が高架下に常時たまっていたり、夜はアーケード出口に客引きがたまっているもなんら対応されることもなく、音量の大きい廃品回収、飲み屋街でさわぐ客が深夜から朝方までいるがそれらも野放し。頭のなかのリベラルな取り組み以前に、目に見えている日常にまず注力すべき。
- ・駅周辺の防犯カメラが少なく、事故に遭った際にも証拠映像が残っていなかったため、特に荻窪駅周辺の交通量や歩行者が多く事故発生危険性が高い箇所には防犯カメラを積極的に設置してほしい。
- ・最近、週末に他所からの人が増えて治安が悪い(写真を撮る、家ののぞき込み)。以前のほうが良かった(荻外荘近くに居住)。
- ・治安の良い暮らしの維持などを特に希望します。よろしくお願いいたします。
- ・地域の多様性が広がること自体は望ましい一方で、子どもが一人で行動する際の安全面について、少

なからず不安を感じる場面もございます。地域全体の安全確保の観点から、犯罪の未然防止に向けた取り組みや見守り体制の強化についても、引き続きご検討いただけますと幸いです。

- ・治安の良さや緑が多い点も素晴らしく、いろんな区を引っ越してきましたが杉並が一番暮らしやすいです。
- ・地下道は汚いし怖い。
- ・阿佐ヶ谷駅南側の広場にホームレスのおばあちゃんらが居ついて少しずつ治安が不安に思えてきて困っている。

4. 保健・医療の充実

1. 保健・医療の充実

- ・医療連携がとても良く、スムーズに手術を受けることができ、幼い子供2人の事も入院中は上の子(2歳)がすぐに保育園で預かって貰えて助かりました。
- ・駅周辺に最低限全科の医療-小さな事で相談できるクリニックがほしい。
- ・病院が少ない(特に総合病院)。
- ・総合病院の小児科病棟、夜間救急を再開してほしい。
- ・日常を最も支えてくださっている医療に期待をしています。高齢化が進む中、どのような状況にあっても安心できるような医療体制の構築を望んでおります。これからもお世話になります。どうぞよろしくお願い致します。
- ・かかりつけ医が見つげづらい。

5. 社会福祉の充実

1. 児童福祉施策(子育て支援)

- ・我が家は多子家族で子どもが3人いるが、4LDKの家が杉並区にはない。多子家族への支援が薄い。恩恵を感じない。杉並区の出産数を増やしていくには子ども0人→1人産む計画よりも、2人→3人や3人→4人への多子家族計画を促した方が結果を得られやすいと考える。その為にはまず安心、安全に暮らせる住処への支援が必要だと思います。
- ・高齢者や乳幼児への対策が必要なことはわかりますが、小学生、中学生の居場所や施設がとても少なく、子育てが辛いです。夏に屋内で運動ができる場所が欲しいですし、サッカーや野球を思いっきりできる場所が欲しいです。どこもかしこも、ボールはダメ、これはダメ、あれはダメばかり。だから家でゲームをする子が増えています。高齢者や乳幼児にばかり手厚くするのではなく、小、中学生にとっての環境も整えてほしいです。
- ・近年猛暑が続いており(暑い期間も長い)、そんな中、子どもを遊ばせられるところがありません。杉並区は室内の遊び場が充実しているわけでもないと感じるため、子どもの安全性が確保された施設の拡充を願っています。
- ・学校や保育園に関する手書き書類が多く(入園から入園後)、また重複内容が多いので非常に負担です。また学童と保育園の申し込みが少しずれていたり、提出書類もほぼ同じ内容で少し違うなど、(特に就労証明書)会社に都度頼まなければいけないのも不服です。デジタル化を推進していただきたいのと、管轄を超えた書類の共有をお願いしたいです。
- ・小学校の土曜日授業を減らして欲しいです。授業参観や運動会は仕方ないと思いますが、それ以外でも月一くらいで土曜日に学校があります。土曜日授業により、子供と過ごせる時間が減り、また、好きな習い事に通えない日ができました。さらに、土曜日授業の振替休日が月曜日にくる日があり、仕事のため子供を1人にさせるか学童に預けなければならない、さらにお弁当も持たせなければいけないため大変です。先生方にとっても土曜日半日余計に勤務しなければならないし、子供達も週6日学校があるととても疲れてしまいます。振替休日により困っているご家庭も多いと思います。どうぞ、

ご検討ください。

- ・ 子供の教育・遊び環境整備と子育てしながら働く人の環境充実。
- ・ 昨年、病児保育予約サービスに登録申請をした際、未入園児の登録はできないと言われ、啞然としました。未入園児こそ、体調を崩した時に預けられる場所がないと困ります。1年生と2年生の長男長女と、次男を連れて遊びに行ける場所がますます減り、これから梅雨や猛暑の時期をどう過ごすかと悩んでいます。児童館など、低学年のうちは下の子と一緒にあれば幼児ゾーンで遊んでもよい、など臨機応変なルールがあればとても助かります。どうぞご検討ください。
- ・ 子どもの教育環境の充実を図ることを目的として、本年4月より杉並区内にある私立小学校(光塩女学院)へ入学いたしました。現在、杉並区に居住している立場として、私立小学校においても給食費等の補助制度が利用できることにつきましては、大変ありがたく感じております。一方で、入学準備金についても、私立小学校に通う家庭に対して同様の支援をご検討いただけますと幸いです。教育の選択肢に関わらず、等しく支援が行き届く仕組みとなることを希望いたします。また、海外からの居住者が、こちらに引っ越してきた約3年前と比較して増加しているように感じております。
- ・ 不登校で給食を食べられていない子供への補助は大変嬉しく思いました。ありがとうございました。不登校に対する施策が色々と進みつつあると感じていますが、日中気軽に出かけられる、所属できる居場所の拡充が進むと嬉しいです。また、現在別室登校や区の不登校支援先へのゲーム機の持ち込みが区内では禁止と聞いています。ゲーム機の持ち込みができることでコミュニケーションに自信をなくしている子供同士の会話の種になることもあるかと思いますので、曜日や時間を決めるなど制限有でも十分かと思いますので、可能になると良いのではないかなと思っています。
- ・ 小学校以降の子育て支援をさらに充実させてほしい。物価上昇に対応する手当、学童保育の充実などに力を入れてもらえるとありがたい。
- ・ ここ数年、保育園の増加と待機児童減など、子育て支援は感じますが、小学生、中学生、高校生に対しての居場所の確保が難しいと感じます。子供のために、学校教育や行事に多く関わっていますが、現在の子供たちの不安な部分が目につきます。家庭もちろん大切ですが、学校、家庭以外に子供たちの居場所(たとえば、ゆう杉のような場所)が増えると良いなと思います。
- ・ 保育園の人員について。法令より多い配置基準を設けるなど、より安心して子どもを預けられる環境を作してほしい。
- ・ 子どもが安心して住み続けられるまち作り、教育をお願いします。また不妊治療の助成枠の拡大(自費分)をお願いします。
- ・ ベビーシッターの補助金を最低でも小3まで継続してほしいです。土日に仕事が入ることが多く、この2年ほどは補助金にとっても助けられましたが、小学生になると全額負担になるのが大変です。他の区では、小3や小6までに引き上げられています。仕事を続けられれば住民税も多く払えるので、プラマイゼロか少し区にとってもプラスになると思います。
- ・ おむつの支援サービスは大変助かっています。ありがとうございます。
- ・ 小学校の校庭開放を増やして欲しい。小学生が利用できる昔の児童館のような場所が少ない。
- ・ ファミリーサポートでサポーターを探しましたが、いつも見つかりません。子育て支援について低所得層だけでなく、中間層にも現金給付や補助を拡大していただきたい。子育ての不安の9割はお金のことです。
- ・ 昨年、子どもが産まれて、初めて子育て関係の支援が思っていたより充実していることを知りました。子育てプラザや図書館、保育園にとってもお世話になっています。ありがとうございます。
- ・ 高円寺学園の放課後居場所について改善してほしい。学校外の児童は一度帰宅してから利用のルールがありますが、これにより利用できていない。親が家に不在時、学校帰宅から親が帰宅までの間、一人で在宅させるのは不安なため、放課後居場所を利用したいが、「帰宅ルール」があるため、必要な時に利用できない。子供を一人きりにさせないためにも、帰宅ルールをなくし、直接来館OKにしてほしい。区外の私立学校に通っているため、学童は利用せず、放課後すぐ帰宅しているが、親の帰宅が間に合わないため困ることが多い。私立に通っているようが、杉並区在住である限り、区の制度は十

分に利用できるべきであると考えています。※阿佐ヶ谷児童館などでは直接来館可は知っているが、自宅から遠いため利用しづらい。高円寺学園の放課後居場所も児童館と同じように直接来館OKにしてもらいたい。

- ・ 子どもの居場所作りを挙げているが、放課後居場所を夏休み期間中すべての日数を開けてほしい。学童で対応してくれていたコト（休み期間中の弁当の宅配や夏休み期間中の受け入れ）を同様に对应してもらいたい。学童の受入学年を区切るのであれば、放課後居場所も同じ年度に弁当等のサービスを対応して欲しかった。1年遅れでも親の負担が変わってくるので。また小学校により土曜日授業等の日の給食の有無があるのはなぜか？どうして統一されていないのか？近隣の小学校で有無があるのはおかしいと思う。
- ・ 子育てに対する支援が充実していると感じています。
- ・ 2年前、待機児童が0人だったことで杉並区に家を購入しました。ポイント制など当時は画期的なサービスで杉並区は子供を育てるのは、大変良い区でありがたく思っている。
- ・ 子育て支援を頑張ってほしい。特に出生が死亡数を上回らなければ人口は縮小してしまう。
- ・ もっと子育て支援金を増やしてほしい。物価が高騰しているし、子どもに関わるお金がかかりすぎる。
- ・ 子育て応援券が、使えるところや用途が限られていて、使いづらいです。普段の買い物などお店で使えるようにしてほしいです。または応援券ではなく現金支給にほしいです。
- ・ 子どもたちについて。現在保育員に通っているお子さんの中で、満足な食事（園の給食）を一日に一回しか取れていないのではないかと思う子どもが増えていると現役の保育の先生から伺いました。その要因は貧困だけでなく、母親が料理をする気がない、料理のスキルがないなど背景は様々だそうです。杉並区にも地域ごとにいくつか子ども食堂がありますが、その運営を民間の善意、寄附、ボランティアに頼るのではなく、区民税を使って、安定的な支援ができるよう切にお願いしたいです。
- ・ 就学援助に関してです。以前から給食費は出してもらっていましたが、その後、全体が給食費無償になりました。サポートが必要だったからもらっていたのに、「みんな」になった時、以前から援助になっていた家族には何がプラスになったのでしょうか。サポートが必要ない人まで無償にして、サポートが必要な人はステイ。「今年度の家庭の負担を～」と言うわりに、無償になった初年度に全く動かなかった杉並区。意見も伝えましたが何も変わらなかった。「所得がまん中」はおきざりな杉並区です。フラットになるような対策を望みます。
- ・ 区立保育園を利用していますが、先生はみなさん良くしてくださり、息子も「保育園行きたい！」と言うほど楽しく過ごしています。ありがとうございます。区内にベビー、キッズ用品のリサイクルショップがあると良いと思います。
- ・ 杉並区の奨学金、東京都の奨学金のおかげで、二人の子供を高校、大学へ行かせることができ、無事社会人に出来ました。本当に感謝しております。ひとり親世帯のため、子供たちの学歴による就業格差を考えると悩んでいたところ、福祉事務所の方々が丁寧に説明してくださったので、手続きも滞ることなくスムーズにできました。奨学金に関しては貸与型ではなく給付型であるともっとありがたいです。
- ・ 小学校の放課後デイも充実していないので働きにくい。子どもが放課後遊べる居場所がない。
- ・ 放課後等デイサービスについてですが、他の区では週5日間同じ施設に通えるようです。杉並区ではそれが叶いません。改善をお願いします。

2. 高齢者福祉施策

- ・ 高齢者雇用をもっと推進してほしい。
- ・ 高齢者支援などを特に希望します。よろしくお願いいたします。
- ・ 杉並区に長く住み続けたいと思っています。個人でも努力をしますが、老後の住居や生活支援など気持ち豊かに生きて行ける環境整備をお願いしたい。
- ・ あちらこちらに有料老人ホームが建ちますが、夜に灯りがつかない空室が多いです。職員募集の広告

もずっと貼ってあります。介護を必要とする高齢者は増えています。有効利用してほしいものです。

- ・ 行政が高齢者向けの医療保険加入の補助制度を作って欲しい(医療費と税金、社会保険料が高齢者の生活費を相当圧迫している)。
- ・ 高齢者が休めるベンチがほしい。
- ・ 高齢となって自動車運転をしなくなり、移動に不自由をきたしている。バス「すぎ丸」の高齢者無償化、シニアカーの購入補助、歩行者専用道路の整備等、高齢者が増加している区民の移動関係をより充実させていただきたい。
- ・ 介護支援の充実をお願いします。
- ・ 福祉をはじめ、高齢化社会対策等について施策等には満足しています。
- ・ デイサービス等も体力づくりに特化した施設が増えると嬉しいです(高齢者の体力に合わせて無理なく筋力を維持できる施設が気楽に利用できると助かります)。
- ・ もう少しだけで良いので、後期高齢者に配慮をお願いします。金銭的にこの物価高で生活が大変です。

3. 障害者福祉の充実

- ・ 今の区長になってから中野特別支援学校から放課後デイサービスへの移動支援や学童の通う条件など障害児への制度を、柔軟に制度を変えてくださってとても感謝しています。引き続きよろしくお願いします。
- ・ 西荻窪駅近くには障害者が利用できる自転車置き場が存在していましたが数年前に廃止され非常に不便になりました。無人化しても障害者手帳を認識できる装置を設置すれば費用は抑えられはらずで実現をお願いしたい。
- ・ 障害を持つ18才未満の子どもが増えたのか、済美養護学校が増設しつつある。一時期養護学校のバス数が以前より倍増して驚いた。
- ・ 子どもが障害児です。杉並区内の特別支援学校が1校しかなく、人数もどんどん増えており、今後もさらに増加傾向にあると思われます。特別支援学校が区の人口に対して少ないと思います。どうか障害児が安心して過ごせる場所を作って頂きたいと思います。よろしくお願いします。

6. 産業の振興

1. 産業の振興・商店街の活性化

- ・ 税制優遇など自営業を応援する制度を増やしてほしい。
- ・ 商店街などでも、重宝していた商店が閉業したり、縮小化したりということが多く感じる。ますます区内では購買意欲がわかなくなっている。
- ・ コンビニとかでも姉妹都市の野菜を売っているような事や杉並地元野菜が売っている、役所の売店みたいなのが気楽に買えると良い。お煎餅が美味しいと聞いた。
- ・ 高円寺高架下の都市開発はいいと思いますが住民、店舗へのどういうものを作り上げていけばいいのかのアンケートみたいなものがあつた方がいい。
- ・ 西荻高架下が立ち退きになると聞きました。JRの店舗はどこも同じチェーン店で代わり映えせず、ありきたりのどこの駅でも同じ店ができるのは非常に残念です。特に西荻は個性豊かな店(個人店)が多いのが魅力のひとつです。決定した区長には本当にがっかりですね。今の高架下にあるお店がいなくなるのも本当に残念です。
- ・ 高円寺地区の内外問わず愛され賑わい、文化活動に多大な影響を与えている商店街を潰してしまう都市計画道路(227号線)に反対です。優先整備路線にされていることに納得できません。また、高円寺中心地区では物件の民泊化や家賃の引き上げのためのリノベ/建壊しなど、地域の人気にあやかりデベロッパーが営利目的でどんどん手を出しています。個人経営の个性的なお店が無くなっていく状態が続いていることに危機感を感じます。高円寺地区には空き家が沢山あるので、個人経営者や

アーティスト、何かを始めたい若者やコミュニティスペースなどへの空き家の提供を進めて欲しいです。

- ・ 駅回り地元商店街の繁栄対策と企業誘致による働く場所の確保。
- ・ 杉並区は飲食店など素敵なお店が多く、休日にも徒歩圏内で楽しめる場所が多くとても気に入っています。
- ・ とても住み良い街です。大きなスーパーが駅前だけでなく住宅街にもあると嬉しいです。
- ・ 東高円寺、新高円寺、方南町あたりはマンションばかり新築されるが、買い物をする場所やスーパーの少なさは、生活ということを考えた時にかなり不便だと思います。
- ・ 杉並区は高円寺エリアや阿佐ヶ谷エリア、荻窪エリア、方南町エリアなど駅ごとに商店街が残り、人との関わりが少ないこの時代に、人からものを買うことができる素敵な環境があるところが好きです。
- ・ 閑静な住宅街ですよねと、よく言われますが、もう少しランドマーク的な何かがあれば、もっと印象的な街になるのではと考えております。
- ・ 区民の余暇の充実や休日の憩いの場として、大型映画館の誘致および公園の整備(拡充)を強く希望します。
- ・ 駅周辺に空き店舗も多いので、生活に必要な店などを誘致してほしい。目に入る範囲での区内の地区計画は、元々開発が進んでいる地域ばかり(主に JR 沿線)に見える。近隣の 20 年以上居住している方から 20 年前から何も変わらないと聞いたので開発の偏りがあるように感じるので区内広く見てほしい。
- ・ 区境に住んでいるため、杉並区として発信されている情報があまり身近に感じる事が少ない。特に今回の商店街の内容については対象から外れており参考意見がなく申し訳ございません。柏の宮公園、塚山公園で行われているリース作成など子供と参加できるイベントによく参加させて頂いております。もう少し枠が増えることを希望しています。
- ・ 飲食店が少なすぎて食生活がつまらない。せめて地方みたいにフードコートみたいな施設がほしい。
- ・ 緑が多く、落ち着いた地域であるが、駅周辺に活気がない(井の頭線沿線)。交流の場が少ない。
- ・ 駅近に家族でゆっくりできるカフェやファミレスをもっと増やしてほしい。駅ビルが欲しい。
- ・ 商店街に活気がありとても温かい、人との距離が近い街だと感じています。

7. 教育・文化

1. 学校教育施策・青少年教育対策

- ・ 進学校、中高一貫校、保育園、学習塾、習い事、こどもの教育・育成に関わる組織について公立私立ともに充実を図って欲しい。誘致を含めてです。周囲の区民の話を聞いていて杉並区より充実しているように感じる事が多いです。保育園でそのまま水泳や体操教室ができるところや、小学校から送迎付きでスポーツ教室や学習塾にいける環境があるところもあるそうです。英語教室やスポーツ教室を探している時に、他区の方が充実している印象でした。今は他区のスポーツ教室に通わせています。感覚での話になって恐縮ですが、今は子育て環境が居住地域を選ぶ最優先事項ですし、同世代で話していても同じ意見が多いです。悪いと感じることはあまりないですがより充実してもらえると。
- ・ 大学の教育は無償化を希望します。
- ・ 子が通学している学校の老朽化がかなり気になっています。通学中に更新されることがないため非常に残念です。
- ・ 教育(公立学校)環境の質を高くして欲しい。当たり前の教育が公立学校では受けられない現実があり、それによる子どもの(将来の日本を支える社会人)教育を受ける権利、生きる権利までが奪われてしまう。教育現場を覗いてきた体験があり、子供達の居る現在の教育環境の必要性が全く感じられない為。

- ・ 中学の部活動の再編で練習スペースがなくなり、とても子ども達がかawaiiそうです。また、高円寺学園の民間開放は、子どもを守る視点からとても危険だと思います。民間に貸すのはやめてほしいです。
- ・ 子どもたちには本物に触れて育ってほしい。幼児は砂、泥遊びもし、ゲームも小学生まではカードゲームやボードゲームを友だちとするなど。ITC 機器を使うのは、小学校高学年または中学生からで十分(ただし学習障害児には小1から)。
- ・ 公立学校のいじめ問題については未就学児の親としても非常に注意深く見ております。安心して区立の学校に通わせられるよう、どうか状況の改善をお願いいたします。
- ・ 学校現場より外国人の生徒さんの多さに驚いています。全く日本語がわからない状態で入学・転校してこれ、一年もいれば大体理解はできてくるようですが、細かな授業内容や指示など難しい様子です。タブレットも一人一台支給されているのに活用できておらず、もったいないと感じるし予算もあるのですが、日本語教師による日本語の勉強の取り出し授業ももう少しあっても良いと感じます。支援員、介助員、ボランティアの増員はとてもありがたいです。ありがとうございます。
- ・ 小学校のタブレットが重すぎるうえ、使用頻度が低い。デジタル教育の早期化がもたらす功罪を慎重に検討され導入されたものなのか、機種(重量も含め)選定の妥当性を明確に保護者に示していただきたい。
- ・ 小学校や学童保育での連絡用に使われているアプリについて、スマートフォンを持っていない人も利用できるよう、ブラウザ対応をしたものを採用してほしい。保育園で利用していた連絡アプリはブラウザでも使えました。

2. 区立施設(体育施設・文化施設等)の利用

- ・ 23 区の他の区に比べ、子供達が体を動かして遊ぶ場所が少ないと感じます。例えば、児童館に広い体育館がない。公園にバスケットゴールがないなど。
- ・ 区立体育館について要望です。近隣の区市では、2階に観客席があるような広いアリーナを擁する体育館があります。杉並区にも1か所くらいそのような大きな体育館があると良いです。
- ・ 土日休日や平日夜に利用出来る公共の体育館やスペースを気軽に利用できたらいいと思います。
- ・ 生涯学習やNPOに対する支援や文化施設、書店などが不足しているのではないかと。たとえば、何か本を買おうと思っても、区内の書店で間に合うことはほぼなく、吉祥寺や新宿、丸の内などまで出かけなくてはならない。
- ・ 身体を動かすのが好きな子どもがいます。休日にボールを使った遊びができる場所(学校の校庭など)を増やして欲しいです。また、中高生が集中して勉強できる場所を提供して欲しいです。家が狭いので、子ども部屋がありません。図書館はいつも混んでいて、席がとれないと聞きます。
- ・ 私は方南1丁目に住んでおりますが、スポーツをする施設が少なく、方南コミュニティフラットは多目的のホールが小さく、鏡が変な所にあり、使いにくい。もう少し周りに大きな施設がほしい。子どもがのびのび遊ぶ場所も少ない。
- ・ 運動施設(体育館)の利用料を抑えてほしい(23区外に比べて高い)。
- ・ 散歩途中でよくトイレに行きたくなります。区民センターのトイレにいつも駆け込んでいます。大変ありがたい存在です。これからも利用したいので、利用時間や毎日空いているなどの融通がきけばいいと思います。
- ・ 手頃な音楽ホールが杉並公会堂小ホールしかないもので、いつも満杯で借りられません。それぐらいの規模で、良いホールが杉並区にあればと思います。
- ・ 広報で募集している文化・スポーツ関連の講座・コースが、週末や平日夜間に開講しているものが少なく、興味があっても勤め人には参加しづらいものが多いのが残念です。
- ・ 区立体育館の一般使用の種目に偏りあり(不満)。設定時間、枠がどう決められているのか。図書館の新書の貸出の充実。情報入手がよくわからない。知っている人だけが満足する状況だと思う。
- ・ 杉並区立中央図書館の整備に大変満足しており、頻繁に利用させていただいております。ただ休日は

人が多く、学習スペースがすぐ埋まってしまうので、席数の増加などご検討いただけますと幸いです。また図書館のトイレの個室に便座除菌用の消毒液を設置していただきたいです。

- ・高齢者施設や託児施設の整備も大切だと思いますが、それだけでなく、幅広い世代の区民が日常的に楽しめる文化施設の充実も希望します。例えばカフェや交流スペースを併設した図書館、美術館のように居心地よく過ごせる公共施設があると地域の魅力や活気につながると思います。子どもから高齢者まで自然に集まれる「行きたくなる公共施設」を増やしていただけたら嬉しいです。
- ・杉並区の役所、保健所などの施設が偏っていて、井の頭線方面の住民はすごく前々から不便に感じています。もう少し井の頭線沿線にも目を向けてほしいです。
- ・中央図書館がとても素敵であるため、区内の分館の図書館も徐々に建て替えや大幅なリニューアルをして過ごしやすくオシャレな空間にしていってもらえたら嬉しい。
- ・天沼にアクセスの良い図書館がなく不便。近隣に中央図書館のような図書館を建ててほしい。返却だけでも高円寺、中野のように駅北口にポスト返却を作してほしい。コロナの時の弁天公園に図書館ができたのは非常に使いやすい。
- ・人口が増えている。誰もが長時間利用出来る大型図書館を高井戸に作ってほしい。
- ・荻窪駅にも図書館があると嬉しい。または返却ができるポスト設置。

8. 地域コミュニティ

1. 地域コミュニティ振興

- ・町内会の繋がりが機能してないと思う。回覧板も意味があるのかわからない。近所には老人でネット環境には程遠い。
- ・自治会の回覧板をなくして欲しい。
- ・シルバー人材を経済的にも、社会的、教育的にも、もっと活用すべき。核家族化によって、関わる機会が減っている。青少年の心身の育成のために地域内の世代間交流は必須。
- ・何もゆかりの無い杉並区に越して来ましたが、住みやすく環境もよく大好きになりました。地域のお祭りも盛んで、大変楽しませていただいております。おばあちゃんになっても住み続けたいです。
- ・手軽に参加できるイベントを増やすと良いと思います。
- ・町内会がなくて楽です。でもないのが不思議です。

9. 行財政の運営

1. 事務処理の拡充・効率化

- ・高齢者にデジタル化を推奨するのは無理な場合があると思う(PCが使えない方の事や、停電になった時の対策の周知が必要)。
- ・デジタル化に力を入れようとしているのを感じています。このまま続けて欲しいです。
- ・役所での案内やご対応は丁寧にしていますが、待ち時間が短くなるとありがたいです。
- ・区からの連絡や学校/地域でのやり取りについて、未だに紙文書や郵送物も多く、結果としてゴミが増える状況にもなります。もう少しデジタル化が進むと良いのではないかと思います。
- ・さざんかネットをもっと使いやすいシステムにしてほしい。スマホで登録から予約まで完結させてほしい。
- ・杉並区のオンラインはとても使いにくい。知りたいことにたどり着けず、あきらめたこともある。もっとわかりやすくしてください。
- ・業務の効率化や区民サービスの向上のためのデジタル化は重要だと思いますが、その一方で人間性が失われていくのが心配です。バランスを考え進めていくべきではないでしょうか。落ちこぼれる人がないようにしましょう。

- ・文化施設の集約、効率化などではなく、利用者に寄り添ったソフトウェア、サービスの充実に力を入れてくれることを希望します。

2. 職員資質の向上

- ・何事にも誠実であってほしい。
- ・区議会委員に品のない服装の方が多いのが残念です。
- ・杉並区職員は公務員である意識を持っていただきたい。給与は税金から支払われているはずですが。民間企業では考えられない甘さが見受けられます(ごく一部の職員であっても自覚してほしいです)。
- ・先日、区役所にて手続きをしなくてはならず、行きました。各窓口では、わかりやすく親切に対応してくださる職員の方もいれば、とても不親切で、いくら尋ねてもきちんと教えてくださらず、閉口しました。少し時間をずらして、その窓口の方がいない時、他の人に対応してもらいましたら、すぐ終わりました。誰のための区役所かと思います。
- ・困っていることを相談しやすく、解決へと具体的に導いてくれる区政を望む。何度か区役所、保健所など利用したが、丁寧に対応してくれるようになった印象がある。
- ・区役所、税務署、区民センター職員の丁寧な対応やサポートを希望。
- ・以前、杉並区役所の職員の方々と仕事で接する機会があったが、身内意識が強く、外部の我々に対する態度は無関心か冷たいことが多かったのが残念でした。もちろん全員ではなく、親切で分け隔てない方も当然いらっしゃいましたが。杉並区民として残念に感じました。私だけでなく一緒にいた人(2〜3人)も同意見。

3. 行政の推進・合理化

- ・タテ割りではなく、課を超え、連携できることはどんどんして、ネットワークではなく、メッシュワーク的な取り組みを期待します。
- ・区政、都政、国策と連動していることを、分かりやすく示してほしい(税や年金、保険のことなど。公共交通や公園の管轄なども区としてはどこまで?)。

4. 区の広報活動の充実と情報公開

- ・新聞を取っていないので、杉並区報が入ってこない。駅で気づけばとるが、忘れることも多い。回覧板で杉並区報も回してくれると嬉しい。
- ・仕事を引退して以降も、健康、体力ともに問題はないので何かしらの地域貢献が出来たらと考えておりますが、防災、防犯その他諸々ボランティア系の募集情報を区HPや広報等でより充実して頂けるとありがたく存じます。
- ・住環境がよいことをアピールし、区の特徴であるコンテンツ産業に力を入れるべき。食住近接や都心に出なくても充実した生活をもっと特徴づけることは、都心再開発との大きな差別化になり得る。
- ・なみすけに癒されています。今後も杉並区から送付される封筒や資料等に積極的に活用していただきたいです。
- ・なみすけがかわいいです。なみすけのグッズの販売場所を増やしてもらえたら嬉しいです。なみすけグッズも増やしてもらえたら嬉しいです。
- ・最近杉並区就労支援センターのセミナーを受講していますが、とても色々なセミナーが数多く開催されており、びっくりしました。友人に教えてもらうまで知らなかったのも、もっと広報に力を入れたほうがいいのかと思います。あまり参加希望者が増えてもダメなのかな？どちらにしても素晴らしいです。ありがとうございます！
- ・自転車の青切符が始まりましたが、ルールがよくわからないため、自転車に関する講習会も開いて頂きたいと思います。
- ・広報活動に常日頃より尽力している姿勢を高く評価しています。

- ・ Facebook も YouTube もいいですが、長いと見づらいので、10 秒ショート動画を工夫して流してはどうでしょう。10 秒しか集中が続かない層にもリーチを。
- ・ 仕事が忙しくてあまり区のやることに興味がないし、情報が身近にないと感じています。もう少し情報があれば、何かしら参加したりしたいのですが。掲示板みたいなものがあつたらいいと思います。
- ・ 老人で一人暮らしなので、子どものことや学校のことが特にわからない。残念です。子どもの教育、頑張ってください。ホームページなど見ないから、選挙結果がわからず残念です。広報誌とかポストに入っているでしょうが、入ってない気がします。
- ・ 今は子供に関わることを中心に区の政策や取り組みに興味を持ち、情報を得ることが多いです。広報の区の LINE は活用しやすい媒体だと思うので、今後も継続して情報発信してもらいたいです。
- ・ 「広報すぎなみ」の印刷、昔のはっきりした色使い、印字に戻してほしい。今の淡いパステルカラーのような色使いになってからとても読みにくくなった。よろしくお願いします。
- ・ 広報すぎなみ楽しみにしています。

5. 健全な財政運営

- ・ 長年特別区民税を払っているので無駄のないよう活用してください。
- ・ 国の政策により負担を強いられるもの(LED 化、古くは地デジ化など買い替えを強いられるもの)については、補助金を出してほしい。また、リサイクルの観点から、物の適切な処分に積極的になれる仕組み(資源になりそうな粗大ごみの運び出しサービス、月一回だけではない恒常的な洋服リサイクルの場など)を作してほしい。
- ・ 無駄な補助金の削減と財政健全化。
- ・ あきらかに税金泥棒であるふるさと納税を確実に廃止すること。
- ・ ふるさと納税に力を入れてほしい。おいしい飲食店がたくさんあり、返礼品にできるものは多いはず。今の状態だと住民税が流出してばかりなのではないかと心配している。
- ・ 役所内でも対立はあると思いますが、上手に税金を使ってほしい。
- ・ 税金下げて下さい。
- ・ 「防災・防犯そなえようすぎなみ選べるカタログ」であるが、業者を潤わせるために貴重な税金を使ってしまったのではないか。事務経費の割合が高すぎる。防災・防犯用品が使い物にならないものが多く、中国製が多い。それだったら、現金をもらい、自分で購入したほうが、よりよい役に立つものが入手できる。貴重な税金を、業者を潤わせることに使ってしまい、本当に残念である。防災として、もっとやるべきことがあるのではないか。
- ・ 杉並区のみではないが、生活保護を受けて累積金が増えてしまった時、生活保護を受けられなくなるのではなく、累積金は区で回収して子どもの食堂等の資金に回したり、子どもに区の文具店で必要なものが購入できるように区の商品券を配布する等、高齢者も未来ある子供たちも笑顔になれるように対応方法を変更してほしいです。
- ・ 暮らしをより良くするためにも、区の財政強化を頑張してほしい。高齢者も多く、税収入の先細りが懸念されます。ベッドタウンではなく、自ら稼ぐ区になれるよう法人等の誘致を期待します。

6. 住民参加の場の確保

- ・ 区政や区の事業活動に、若年層の声をもっと反映してほしい。
- ・ 先日、岸本区長が阿佐ヶ谷駅前では区民と対話する場面(企画?)があり、お話しさせていただきました。お忙しいと思いますが、あのような場面(企画?)は、とても大切だと考えています。今後もぜひ、継続していただければと思います。よろしくお願いします。
- ・ 区民の意見を取り込んで政策が行われていることが喜ばしく、また誇らしい。他市区、都、国へとこ

のような方法が広がってほしい。

- ・ 区長が変わってから、より区民の声を拾ってくれる区政になったと思う。
- ・ 今は都も国も「上から押しつけ」「従わないものは敵認定」という殺伐とした政治です。せめて区は話し合いと調整が有効なコミュニティであってほしい。
- ・ ここ数年で杉並区が変化していることを実感しています。子どもの権利に関する条例が制定される過程で、児童館など子どもがいる場で条例の中身をパネルで説明し、子どもの意見を集めていたことが印象に残っています。私自身も区が主催する説明会やオープンハウスなどに参加し、はじめて会う同じ区に住む住民と話しあうことができたことは貴重な経験になっています。杉並区がいま行っていることは、住民同士が合意形成を図りながら、誰にとっても生活しやすい仕組みづくりをしているのだと感じています。仕組みづくりには時間がかかると思いますが、こういった取り組みは住民にとって大きな財産になると思うので、これからも対話の区政を継続し、住民目線の自治体であってほしい、と願っています。

7. まちづくりの方向

- ・ ガールズバー等看板・勧誘取締強化(性的な看板や派手な看板が日中も路上に出ている)。
- ・ 緑が多く犯罪なども少なく、災害リスクも高くないため、安心で暮らしやすい環境だと思います。
- ・ 大変住みやすく気に入っております。子供達や高齢の方々が、これからも安心して生活ができる街であり続けてほしいです。
- ・ 住居が世田谷区界のため、ほとんど買い物・医療・図書等、世田谷区でしかまかなえず、日々の生活(目に見える部分)は杉並区の恩恵を受けにくい状況になっている。
- ・ どうしても区役所がある杉並北部に全て集中しすぎ、南部甲州街道あたりまで杉並区としてのサービスが充実されてないので、恩恵にあずかりにくい。隣接の世田谷区の施設、サービスに頼っているのが現状。
- ・ 方南、和泉地域に在住のため、行政サービスや施設の利用があまりできないのが現状です。
- ・ 岸本区長になってから、ノビノビしている感じになっているようで、一步一步改善していただきたい。
- ・ 阿佐ヶ谷駅前の再開発によってより魅力的な街づくり。
- ・ 個人商店が元気で、近くに緑豊かな公園があり、図書館やプールなども、区の施設に陶芸用の窯があったり、充実したサービスに満足しています。
- ・ 各バス停にベンチが置いてあると助かる。

8. 行政の方針

- ・ LGBT 多様性に区長が熱心であることは否定しませんが、まずは子供の教育環境の整備、安全確保、まちづくり、中長期的なインフラ整備など、責任を持って次世代に残すものを考えるべきだと思います。今の区政では子供の安全確保など安心して生活するための施策を蔑ろにされているように思われます。
- ・ 犯罪被害者を保護するような社会の構築、企業や事業所では守られなかった人の救済。
- ・ ①極めて限定的な属性への補助や不評だった防災カタログなどのばら撒きは事務手数料を含め問題だと思うので区民全体どんな属性にも有益と思える施策をして欲しい。②4年間の区政は停滞していると感じるので「対話の区政」を取りやめて責任ある区政を議会で実行して欲しい。
- ・ 杉並区の区政について「杉並区だから」という特色は感じない。他の区との大きな違いがあるとも感じず、東京都政に倣っただけという認識。悪くもなく、特段良い面があるとも言い難く。
- ・ 時期的に区長選を連想してしまいます。いっぱいいる区議の方は車で騒ぐだけではなく、区民の声を聞いて、頑張っている区役所の方をもっと応援してほしい。

- ・介護職を行っている者への手当て、給与増。
- ・太陽光発電の補助金の拡充をお願いします。
- ・公務員の民間企業化を進める。
- ・区長選が6月にありますが、どなたが選ばれるにせよ以前のような不明瞭な決定(あんさんぶる荻窪など)、役所の強引な街づくり政策、業者との癒着が疑われる行動、墮落したような議会のあり方、場当たりの教育行政、ほったらかしのいじめ案件など全て、特に注意して杉並区を運営していただきたいです。
- ・杉並区に対してだけではないのですが、またざっくりとした考えに過ぎないのですが、社会保障というものは、サービスであってはダメだと思います。サービスは受けられる人間、そうでない人間と、どうしてもふるいにかけられてしまいます。ふるいにかけられて、こぼれ落ちる人がなくなるには、きちんとした仕組み作りが必要だと思っています。杉並区にはそういったモデルケースになるような取り組みをしてほしいと思っています。
- ・外国人、外国籍住民増加と共に、排外主義的主張を行うおかしい政治家が増えていますが、多様性は杉並区の特徴の一つだと思います。負けずに頑張ってください。商店街は今の形が必要十分だと思います。
- ・はではでしく改革したり、立派な施策や街をつくるのではなく、庶民の日々の生活が送りやすい落ち着いた街、杉並区であってほしい。岸本区長はスタンドプレーがなく、地道に声を聞き、和の区政を少しずつ進めているように思う。
- ・居住して40年近く、また母の実家なので、70年以上荻窪を知っています。ますます人口が増え、子育て中の電動自転車、バス利用者も増え、駅へ走る人、階段を飛び降りる学生、駅前のビルの建築、活性化のベクトルが違っていませんか。環境は悪化していませんか。土地は切り売りされ、隣家との間は50cm未満。これを区は認可しています。防災の面からも違っていませんか。子育て、介護を経験し、行政には感謝をしています。私達世代はもう歴史上の年代になり、余裕のない若い人々にはついていけません。
- ・杉並は私の生まれ育った大切な唯一の地元です。杉並の魅力を広めてほしいし、サブカルチックなこの街が大好きで、そのような文化も守って頂きたいです。国内外で不安定な情勢が続いておりますが、より良い街となっていくよう杉並区政に期待しております。
- ・外国人が多くて不安です。外国人の受け入れを制限してほしい。小学校にも外国人が多くなり、今後日本人の子どもたちが悪い影響を受けていくのがとても心配です。特に中国人やイスラム系は将来の日本の姿を変えてしまうのではないかと本当に心配しています。日本独自の文化が守られることを願います。
- ・30-40代の働き盛りで税金を多く納めている世代に対する支援が乏しい。子供や老人に対する支援ばかり充実させるのではなく、全世代に対して平等に支援するような体制にしてほしい。

9. この調査について

- ・アンケート対象者の下限をせめて1年以上住んだ方にした方がいいかと思います。私が半年も住んでおらず、知らないことばかりで、申し訳ないアンケート結果になってしまいました。
- ・これだけ長いアンケートなのに、未回答の質問があった状態で「確認画面へ進む」を選択した際に、「未回答質問がある」旨しか表示されない。せめて、該当の質問番号を表示する程度の配慮を行った設計をしてほしい。
- ・アンケート長い。ボリューム多い。たぶん回答率を下げている。
- ・このようなアンケートを具体的にどのように活用するのか、できるのか甚だ疑問。
- ・このアンケートは丸をつけるだけで、意見の深掘りがないので意味があるのかと思ってしまう。統計が取れても、区民の思っている思いとは別の方向で策が進んでしまうのではと心配。何がどうして不満なのか、きちんと聞き取るアンケートでないと、正直無駄なように感じます。これも税金でしょう

から、この使い方は残念です。

- ・施策、取り組み、多くの機会を用意してくださっていることを何となくは把握しておりましたが、地方出身で杉並区に愛着が薄く、具体的にアンケートに答えるとなると何も知らないことを自覚しました。意識するきっかけをありがとうございました。
- ・デジタルでの回答より、紙媒体の方が全体が見えて答えやすいです。
- ・日常生活はアンケート内容について聞いたり、考えたり、見たりなど、それほど意識して生活していませんので、難しい部分もありました。
- ・この区民意向調査を行っていることをお知らせしてほしい。ホームページのお知らせ欄にもなく、検索しないと出てこない。せっかく登録している LINE でののお知らせもなく、急にこのアンケートが投函されて来たので居住状況を抜こうとする詐欺かと思いました。
- ・調査結果は広報すぎなみ等で公表してほしい。総合計画等と抽象的な目的が書いてあったが、回答した身としては、全体の結果が気になるので、どこかしらで%等公表してほしい(区の公式サイトでも可)。
- ・このアンケートのように区民の意向を聞くことが行政の最初の一步だと思います。まずは区民の問題提起を集めることに力を入れてください。よろしくお願いします。

10. その他

- ・現在はたいへん恵まれた環境で心地よく暮らしておりますが、選挙時期等に荻窪駅前等で遭遇する排外主義的な言説、また視覚障害者の方々のための誘導ブロックを塞ぐような、人流を妨げる立ち位置での候補者の演説には辟易しています。演説の内容は自由ですが、立ち位置につきましては、通勤時間には混み合う場所ですし、危険もあるかと思いますので選挙の際には各候補者に駅利用者に危険のない立ち位置での演説を促す等してくださるとたいへん有り難く存じます。どうぞよろしくお願いいたします。
- ・火葬について、火葬料が約8万円で高すぎます。もっと安くできないのでしょうか。公営とかあるのですか。そこの問題ともどもよろしくお願いいたします。
- ・協力の感謝の気持ちとしてミニ情報のプリントが同封されていましたが、「お出かけスポット」に高井戸地域の情報が全く反映されておらず、しかも中央線寄りの情報に潰されていてがっかりしました。区の担当者さんは神田川沿いの桜並木、遊歩道、6年前に開園した高井戸公園、玉川上水緑道あたりを散策されたことはないのでしょうか。お忙しいとは思いますが一度高井戸地域にも足を延ばされてはいかがでしょう？
- ・生まれてから79年高井戸で過ごして来ましたが、行政による取り組みに関してあまり興味を示さなかったと痛感した次第です。今後あと何年生きられるかわかりませんが、行政に頼らなければならないと思いますので努力します。
- ・杉並区役所内に簡単な税金相談、一人暮らしで死んだ後の財産など、相談するところがあると助かります。
- ・今はとても自由で人との付き合いも減り静かな暮らしを感謝しております。このままマイペースに老化現象と向き合い、他者にもさりげなく喜んでもらえるよう努力。
- ・お恥ずかしながら、杉並区に住んでいながら、杉並区の取り組みに興味がありながら、進んで参加する余裕がありません。何か自分のできることがあればと思いながら、日々が過ぎてゆきます。仕事がある若い方々は、尚更と存じます。もっと余裕をもった生活(米国のように)ができれば、ボランティアの精神が心の中から湧き上がってくるのですが。
- ・富士学園が外資に売却されたことは知りませんでした。なぜ外資なのか？今後どうなっていくのか心配です。

V. 使用した調査票

インターネット回答用	
ID	

杉並区区民意向調査

ご協力のお願い

皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、杉並区では、区政の各分野について区民の皆様が日頃感じていらっしゃることをお伺いし、今後の区政に役立てるために、毎年「杉並区区民意向調査」を実施しています。

本年度も調査にあたりまして、区内にお住まいの18歳以上の方々の中から、無作為に3,000人の方々と調査対象者に選ばせていただきました。

調査の結果は、総合計画等の指標や事業を行う参考の目的で、活用させていただきます。

ご多忙のところ、誠に恐縮ですが、この調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和8年5月 杉並区長 岸本 聡子

◎ご記入にあたってのお願い

回答は、あて名のご本人がご記入ください。回答方法は、次の2通りです。ご都合のよい方法でご回答・提出をお願いいたします。

1 同封の調査票で回答

- ・記入は濃いえんぴつ、ボールペン、万年筆でご記入ください。
- ・記入後は、返信用の封筒で提出してください。

2 インターネット回答

- ・杉並区公式ホームページの**右上部にある「検索・メニュー」の「キーワード検索」から「区民意向調査」と検索し、「区民意向調査ご協力のお願い」**にアクセスしてください。
- ・この調査票の左上に記載のインターネット回答用の「ID」を入力してください。
中断される場合は、一番下の「入力内容を一時保存する」を選択してください。
- ・回答内容の確認後、送信してください。
- ・スマートフォンで回答する場合は、右上の2次元コードをご利用ください。



この調査票は、5月26日（火）までに、同封の返信用封筒を用いて、投函していただくか、区公式ホームページのアンケート回答フォームから回答いただきますようお願いいたします。また、身体的なご事情等で投函が困難な場合は、下記の委託事業者「株式会社アダムスコミュニケーション」へご連絡をお願いします。身分証明書を携行した調査員が、ご自宅へ受け取りにお伺いいたします。

「こういう回答が何%」という形で統計処理をいたしますので、個人のお名前などが公表されることは一切ありません。

※ご不明な点がございましたら下記までお問い合わせください。

＜調査に関する問い合わせ先＞

- 株式会社アダムスコミュニケーション 担当 吉野（よしの）
〒168-0074 東京都杉並区上高井戸1-8-17 ブライトコアビル新館6階
電話 03-6847-5757 [受付時間 月～金曜日 10時～12時、13時～17時]
- 杉並区 総務部 区政相談課 担当 高橋（たかはし）・寺島（てらじま）
〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1 電話 03-3312-2111（代）内線1125

杉並区区民意向調査

【定住性と生活環境について】

問 1 あなたは、杉並区に住んで何年になりますか。（○は1つだけ）

1 5年未満	3 10年～19年	5 30年以上
2 5年～9年	4 20年～29年	

問 2 これからも引き続いて、杉並区にお住まいになりますか。（○は1つだけ）

1 住み続けるつもり	3 できれば転居したい	→ 問2-2へ
2 当分の間は住み続けたい	4 転居するつもり	
	5 わからない ⇒ 問3へ	

（問2で「1 住み続けるつもり」「2 当分の間は住み続けたい」と回答の方に）

問2-1 その主な理由は何ですか。（○は2つまで）

1 住み慣れているから	8 子どもの教育のため
2 自分の家（土地）だから	9 地域での人間関係がよいから
3 家の広さなどの居住環境がよいから	10 自然や町並みなどの生活環境が好きだから
4 家賃（地代）が安いから	11 文化や教育などの公共施設が整備されているから
5 通勤・通学に便利だから	12 その他
6 買物など毎日の生活の便がよいから	（具体的に
7 仕事や商売の関係で	）

（問2で「3 できれば転居したい」「4 転居するつもり」と回答の方に）

問2-2 その主な理由は何ですか。（○は2つまで）

1 自分の家（土地）でないから	8 子どもの教育のため
2 家が狭いなど居住環境がよくないから	9 地域での人間関係がよくないから
3 家賃（地代）が高いから	10 自然や町並みなどの生活環境がよくないから
4 相続税・固定資産税の負担が重いから	11 文化や教育などの公共施設が整備されていないから
5 通勤・通学に不便だから	12 その他
6 買物など毎日の生活に不便だから	（具体的に
7 仕事や商売の関係で	）

問 3 現在の杉並区は「住みよいまち」だと思いますか。（○は1つだけ）

1 住みよい	3 あまり住みよくない
2 まあまあ住みよい	4 住みよくない

問4 自宅周辺の生活環境についての評価をおたずねします。
以下について、それぞれ1つだけに○をつけてください。

	良い	まあ良い	あまり 良くない	悪い
① 交通の便	1	2	3	4
② 買物の便	1	2	3	4
③ みどりの豊かさ	1	2	3	4
④ みどりや水（河川等）とのふれあい	1	2	3	4
⑤ 町並みの美しさや落ち着き	1	2	3	4
⑥ 公園や広場	1	2	3	4
⑦ 建物のこみ具合・日当たり	1	2	3	4
⑧ 交通の安全性	1	2	3	4
⑨ 道路の舗装・補修	1	2	3	4
⑩ 騒音や排気ガス	1	2	3	4
⑪ 日常や災害時の安全性	1	2	3	4
⑫ 風紀	1	2	3	4
⑬ 隣近所との人間関係	1	2	3	4
⑭ 生活環境全般	1	2	3	4

問5 あなたは、杉並区のどの地域に最も魅力を感じますか。（○は1つだけ）

1 井草地域 2 西荻地域 3 荻窪地域 4 阿佐谷地域 5 高円寺地域 6 高井戸地域 7 方南・和泉地域	8 特に魅力を感じる地域はない ↓ 問6へ
---	-----------------------------

→（問5で「1」～「7」と回答の方に）

問5-1 その理由を1つ選ぶとしたらどれですか。（○は1つだけ）

1 交通や買物など、生活の便が良い 2 公園やまち並みなど、生活環境が良い 3 歴史や文化などが、まちに根づいている 4 その他（具体的に	)
--	---

【地域防災について】

区では、区立小中学校等に「震災救護所」を設けているほか、「街頭消火器」の設置などの取組を進めていますが、災害の被害を最小限に抑えるには、行政や地域による備えに加え、各家庭での普段からの備えも大切です。

問6 現在、あなたの家庭で行っている防災対策は何ですか。（○はいくつでも）

- | | |
|--|---|
| 1 食料等の備蓄対策
(例：非常用食料・飲料水の用意、日頃利用している食料品等を少し多めに購入しておく日常備蓄 など) | 5 倒壊等の防止対策
(例：住宅の耐震・免震化、ブロック塀倒壊防止 など) |
| 2 停電時の対策
(例：懐中電灯・携帯ラジオ・モバイルバッテリーの用意 など) | 6 家族との連絡対策
(例：家族・親族との待ち合わせ場所の確認、安否確認手段の確保、災害時伝言版アプリの活用 など) |
| 3 けが防止等の対策
(例：家具類の転倒防止・窓ガラスの飛散防止、救急医薬品の用意 など) | 7 その他
(具体的に) |
| 4 火災対策
(例：消火器の用意、感震ブレーカーの設置、風呂水のくみ置き など) | 8 特に何もしていない |

【狭あい道路拡幅整備について】

問7 杉並区では、道幅4m未満の狭い道路（狭あい道路）を拡幅する事業「狭あい道路拡幅整備事業」を区民の皆様とともに進めています。あなたは、狭あい道路に関する次の取組をご存知ですか。（○はいくつでも）

- | | |
|---------------------------------|--|
| 1 狭あい道路沿いでは、建築をする際に道路拡幅が必要なこと | |
| 2 拡幅した道路に支障物件（花壇など）の設置を禁止していること | |
| 3 火災の延焼危険度が高い地区を整備地区としていること | |
| 4 塀の除却などに助成制度があること | |
| 5 事業効果として、消防車などの緊急車両が通行しやすくなること | |
| 6 事業効果として、介護車両や清掃車両が通行しやすくなること | |
| 7 その他（具体的に) | |
| 8 知っている取組はない | |

【駅周辺の満足度について】

問8 あなたが普段利用する駅はどこですか。(○は1つだけ)

1 高円寺駅	7 南阿佐ヶ谷駅	13 高井戸駅	19 八幡山駅
2 阿佐ヶ谷駅	8 方南町駅	14 富士見ヶ丘駅	20 芦花公園駅
3 荻窪駅	9 中野富士見町駅	15 久我山駅	21 下井草駅
4 西荻窪駅	10 永福町駅	16 下高井戸駅	22 井荻駅
5 東高円寺駅	11 西永福駅	17 桜上水駅	23 上井草駅
6 新高円寺駅	12 浜田山駅	18 上北沢駅	24 その他
(具体的に)			

問9 あなたは、普段利用する駅まで、主にどの交通手段を利用していますか。(○は1つだけ)

1 徒歩	5 タクシー
2 自転車	6 自家用車
3 バス(すぎ丸を除く)	7 その他(具体的に)
4 すぎ丸バス	

問10 あなたが普段利用する駅周辺について、どの程度満足していますか。(最も近い意見1つに○)

1 満足 2 やや満足 → 問10-1へ	3 やや不満 4 不満 → 問10-2へ
--	--

(問10で「1 満足」「2 やや満足」と回答した方に)

問10-1 あなたが普段利用する駅周辺について、満足に感じていることは何ですか。(○は2つまで)

- 1 線路を挟んだ地域間の行き来がしやすい
- 2 混雑しておらず、通行しやすい
- 3 交通機関の乗換えがしやすい
- 4 案内表示がわかりやすい
- 5 バリアフリーが行き届いている
- 6 災害時に滞留できるスペースがある
- 7 イベントや待ち合わせ、休憩ができるスペースがある
- 8 公園や商店街など訪れたいスポットがある
- 9 みどりが豊か
- 10 自転車駐車場(駐輪場)が利用しやすい
- 11 自動車駐車場が利用しやすい
- 12 路上駐車がない(少ない)
- 13 自転車が交通ルールを守っている(マナーが良い)
- 14 歩行者が交通ルールを守っている(マナーが良い)
- 15 自転車ナビライン・自転車ナビマークが整備されている
- 16 その他(具体的に

)

(問10で「3 やや不満」「4 不満」と回答した方に)

問10-2 あなたが普段利用する駅周辺について、不満に感じていることは何ですか。(○は2つまで)

- 1 線路を挟んだ地域間の行き来がしづらい
- 2 混雑しており、通行しづらい
- 3 交通機関の乗換えがしづらい
- 4 案内表示がわかりづらい
- 5 バリアフリーが行き届いていない
- 6 災害時に滞留できるスペースがない(少ない)
- 7 イベントや待ち合わせ、休憩ができるスペースがない(少ない)
- 8 公園や商店街など訪れたいスポットがない(少ない)
- 9 みどりが乏しい
- 10 自転車駐車場(駐輪場)が利用しづらい
- 11 自動車駐車場が利用しづらい
- 12 路上駐車が多い
- 13 自転車が交通ルールを守っていない(マナーが悪い)
- 14 歩行者が交通ルールを守っていない(マナーが悪い)
- 15 自転車ナビライン・自転車ナビマークが整備されていない
- 16 その他(具体的に

)

【商店街について】

問11 商店街について、どのような点を魅力に感じていますか。（〇はいくつでも）

1	日常の買い物や飲食
2	個性的な店舗や町並
3	イベントなどによる街の賑わいや地域内の交流
4	安全・安心に街を歩ける環境
5	景観や街歩き
6	子ども連れ・高齢者にやさしい取組
7	その他（具体的に
8	特に魅力を感じない

問12 過去1年間に、以下の商店街のイベントに参加したことがありますか。（〇はいくつでも）

1	盆踊りなどのお祭り	5	スタンプラリー
	※久我山ホテル祭、阿佐谷七夕まつり、 HONANエイサー&ミュージックフェス など	6	その他（具体的に
			※高円寺びっくり大道芸、タウンセブンファ ミリーフェスタなど
2	福引などの抽選会	7	参加したことがない
3	イルミネーション	8	イベントがない・知らない
4	大売出し・セール		

問13 商店街の施設・設備について、どのように感じていますか。（それぞれ最も近い意見1つに〇）

	充実して いる	やや充実 している	あまり 充実して いない	充実して いない	わからな い
① アーケード	1	2	3	4	5
② 防犯カメラ	1	2	3	4	5
③ 夜間照明	1	2	3	4	5
④ レンガ敷・カラー舗装など	1	2	3	4	5

【農にふれあう機会について】

問14 杉並区では、農にふれあう機会の提供を行っています。以下の取組について、あなたの参加状況を教えてください。（それぞれあてはまるものに○を1つ）

	取り組んだことがある	取り組んだことがない	今後取り組みたい
③ 杉並産の野菜、果物や花の購入	1	2	3
④ 杉並産農産物を使ったレストランでの飲食	1	2	3
⑥ 収穫体験への参加	1	2	3
⑦ 区民農園や体験農園等で農作物を育てる	1	2	3
⑧ 農業ボランティアの参加	1	2	3

【環境に配慮した行動について】

問15 環境に配慮した行動への取組についておたずねします。あなたは、以下の取組を行っていますか。以下の取組について、それぞれあてはまるもの1つに○をつけてください。

	いつもしている	おおむねしている	あまりしていない	していない
② LED照明など省エネ機器を使い、不要時は家電製品の電源を切っている	1	2	3	4
② 省エネ性能の高い家電や再生品を購入するなど、環境に配慮した買物をしている	1	2	3	4
③ ごみの分別を徹底するなど、資源・リサイクル活動に取り組んでいる	1	2	3	4
④ マイバッグ持参や生ごみの水切りをするなど、ごみの減量に取り組んでいる	1	2	3	4
⑤ できるだけ徒歩、自転車、公共交通機関を使って移動している	1	2	3	4

【グリーンインフラについて】

問16 近年、都市が抱える課題である都市型水害、ヒートアイランド現象、生物多様性の保全などに対応するため、自然の力を活用する「グリーンインフラ」が注目されています。あなたはグリーンインフラという言葉をご存知ですか。また、グリーンインフラを活用した取組について知っていますか。（グリーンインフラを活用した取組の例：木を植える、草花を大切に育てる、雨が浸み込む庭をつくる、など）（回答は1つ）

- | |
|-------------------------|
| 1 言葉も活用した取組も知っている |
| 2 言葉は知っているが、活用した取組は知らない |
| 3 言葉も活用した取組も知らない |

【健康と医療について】

問17 あなたは、ご自身の健康状態をどのように感じていますか。（○は1つだけ）

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 非常に健康である | 3 あまり健康ではない |
| 2 おおむね健康である | 4 健康ではない |

問18 あなたは、かかりつけ医療機関を決めていますか。（それぞれあてはまるもの1つに○）

	決めており、定期的に受診（利用）している	決めてはいるが、最近受診（利用）していない	特に決めてはいない	必要がない
① かかりつけ医	1	2	3	4
② かかりつけ歯科医	1	2	3	4
③ かかりつけ薬局	1	2	3	4

問19 あなたは、杉並区の休日・夜間の医療体制（救急医療体制）について不安を感じていますか。

（○は1つだけ）

- | | |
|------|--------------|
| 1 はい | 2 いいえ ⇒ 問20へ |
|------|--------------|

（問19で「1 はい」と回答した方に）

問19-1 どのような診療科目に不安を感じていますか。（○はいくつでも）

- | | | |
|-------|---------|-------------|
| 1 小児科 | 4 整形外科 | 7 眼科 |
| 2 内科 | 5 耳鼻咽喉科 | 8 婦人科（産科含む） |
| 3 外科 | 6 歯科 | 9 その他（具体的に |

問20 自殺対策は自分自身に関係することだと思いますか。(○は1つだけ)

- | | |
|----------------|------------------|
| 1 そう思う | 3 どちらかといえばそう思わない |
| 2 どちらかといえばそう思う | 4 そうは思わない |

【人権について】

問21 あなたは、普段生活する中で、他人の立場を尊重・理解するなど、人権を意識しながら生活していますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-----------------|--------------|
| 1 いつも意識している | 3 あまり意識していない |
| 2 ときどき意識することがある | 4 意識していない |

【性の多様性について】

杉並区は、令和5年4月に「性の多様性が尊重される地域社会を実現するための取組の推進に関する条例」を施行しました。この条例に基づき、性的マイノリティのカップルを対象としたパートナーシップ制度の運用を行っています。

問22 あなたは、「性の多様性が尊重される地域社会を実現するための取組の推進に関する条例」について知っていますか。(○は1つだけ)

- | | |
|---------------|----------------|
| 1 名前も内容も知っていた | 3 内容のみ知っていた |
| 2 名前のみ知っていた | 4 名前も内容も知らなかった |

【高齢者在宅支援について】

問23 現在、あなたは介護をしていますか。(○は1つだけ)

- | | |
|------|--------------|
| 1 はい | 2 いいえ ⇒ 問24へ |
|------|--------------|

▶(問23で「1 はい」と回答した方に)

問23-1 介護者のあなたが、身体的、精神的な負担を考えて、これからも在宅での介護を続けたいと思いますか。(○は1つだけ)

- | |
|---------------------------|
| 1 負担なくやっていけると思う |
| 2 何とかやっていけると思う |
| 3 これ以上負担が重くならないとやっていけると思う |
| 4 すでにやっていけない状況にあると思う |
| 5 わからない |

問24 高齢者の身近な相談窓口である「高齢者総合相談窓口 ケア24（地域包括支援センター）」をご存知ですか。（○は1つだけ）

1 知っている

2 知らない

問25 杉並区では、地域で支えあい、サービスや医療を受けながら、高齢になっても安心して暮らせる体制を整えるよう取り組んでいます。あなたは、この体制が整っていると思いますか。

（○は1つだけ）

1 そう思う

4 そう思わない

2 どちらかといえばそう思う

5 わからない

3 どちらかといえばそう思わない

問26 あなたは、いま生きがいを感じていますか。（○は1つだけ）

1 十分感じている

3 あまり感じていない

2 多少感じている

4 感じていない

【障害差別の解消について】

平成28年4月から「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」いわゆる「障害者差別解消法」が施行されています。この法律では、障害のある人もない人も、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現を目指し、障害を理由とした不当な差別的取扱いを禁止し、合理的配慮の提供を求めています。

問27 あなたは、この法律や合理的配慮について、知っていますか。（○は1つだけ）

1 法律も合理的配慮も知っている

3 法律は知らないが、合理的配慮は知っている

2 法律は知っているが、合理的配慮は知らない

4 法律も合理的配慮も知らない

問28 まちで障害のある方が困っているところを見かけた際に、あなたは声をかけたことがありますか。

（○は1つだけ）

1 常に声をかけている

4 見かけたことはあるが、声をかけたことがない

2 できる限り声をかけるようにしている

3 声をかけたことがある

5 困っているところを見かけたことがない

【地域活動について】

問29 あなたは、ボランティア活動をしたことがありますか。(○は1つだけ)

1 現在活動している	4 するかどうかわからない
2 以前活動していたが現在はしていない	5 その他（具体的に)
3 したことはないが活動してみたいと思う	6 活動する気はない

問30 あなたが参加している地域活動、社会活動はありますか。(○はいくつでも)

1 町会・自治会や防災会の活動	5 その他
2 NPOやボランティア団体の活動	(具体的に)
3 文化活動や趣味・スポーツなどの活動	6 取り組んでいる活動はない・活動できない
4 行政への協力活動（民生委員・児童委員、青少年委員など）	

【子どもの権利・子育て支援について】

問31 あなたは、「子どもの権利条約」と「杉並区子どもの権利に関する条例」を知っていますか。

(それぞれあてはまる番号1つに○)

	内容をくわしく知っている	内容について少し知っている	名前だけ聞いたことがある	聞いたことがない・知らない
③ 子どもの権利条約	1	2	3	4
④ 杉並区子どもの権利に関する条例	1	2	3	4

問31-1 あなたは、以下の子どもの権利について知っていますか。(それぞれあてはまる番号1つに○)

	内容をくわしく知っている	内容について少し知っている	聞いたことがある	聞いたことがない・知らない
① 子どもはどんな理由でも差別されない	1	2	3	4
② 子どもの命が守られ、成長できる	1	2	3	4
③ 子どもに関することについて、大人はその子どもにとって最も良いことを優先する	1	2	3	4
④ 子どもは自分に関することについて、自由に意見を表すことができ、大人はそれを尊重する	1	2	3	4

問32 あなたには、18歳未満のお子さんがいらっしゃいますか。(○は1つだけ)

1 いる

2 いない ⇒ 問33へ

▶(問32で「1 いる」と回答した方に)

問32-1 子育てが地域の人に(もしくは社会で)支えられていると感じていますか。(○は1つだけ)

- 1 強く感じている
- 2 どちらかといえば、そう感じている
- 3 どちらかといえば、支えられていないと感じている
- 4 支えられていないと感じている

▶(問32で「1 いる」と回答した方に)

問32-2 地域の子育て支援サービス・施設が利用しやすいと感じていますか。(○は1つだけ)

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1 利用しやすいと感じている | 3 どちらかといえば、利用しにくいと |
| 2 どちらかといえば、利用しやすいと | 感じている |
| 感じている | 4 利用しにくいと感じている |

【多文化共生について】

問33 地域に外国人が増えていくことについて、どのように感じますか。(○はいくつでも)

- 1 外国人・外国語に触れる機会が増え、知見が広がる
- 2 外国の文化を知る機会が増える
- 3 外国人の友人・知人が増える
- 4 外国に興味・関心を持つきっかけになる
- 5 人口が増えてまちに活気が出る
- 6 異文化交流から新しいアイデアがうまれる
- 7 高度な知識や技術を持つ人材が増えることによって社会インフラが維持できる
- 8 日本語が通じない人が増える
- 9 生活するルールや習慣の違いからトラブルが起きる
- 10 多言語対応など外国人のための整備が必要になる
- 11 治安が悪くなる
- 12 漠然とした不安がある
- 13 その他(具体的に)

【運動・スポーツについて】

問34 あなたは、この1年間に運動やスポーツ（体操や散歩〈散策、ペットの散歩など〉を含む）をどれくらいの頻度でしましたか（学校の授業、職業として行ったものを除く）。（○は1つだけ）

- | | |
|------------|-----------------|
| 1 週に3回以上 | 4 3か月に1～2回程度 |
| 2 週に1～2回程度 | 5 年に1～3回程度 |
| 3 月に1～3回程度 | 6 運動やスポーツをしていない |

問35 あなたの、過去6か月、現在、そしてこれから先のスポーツ・運動実施状況や考え方について、最もあてはまるものはどれですか。（○は1つだけ）

- | |
|--|
| 1 現在、スポーツ・運動を行っていない。また、これから先も、するつもりはない |
| 2 現在、スポーツ・運動を行っていない。しかし、近い将来（6か月以内）に始めようと思っている |
| 3 現在、スポーツ・運動を行っている。しかし、定期的（週に2回以上）ではない |
| 4 現在、定期的（週に2回以上）にスポーツ・運動を行っている。しかし、始めてから6か月未満である |
| 5 現在、定期的（週に2回以上）にスポーツ・運動を行っている。また、6か月以上継続している |

問36 あなたは、この1年間に、以下のようなスポーツ・運動の指導・審判やイベントへの協力など、スポーツ・運動に関するボランティア活動を行いましたか。（○はいくつでも）

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1 スポーツ・運動の指導 | 5 子どものスポーツへの協力 |
| 2 スポーツ大会等の審判 | 6 障害者のスポーツへの協力 |
| 3 スポーツイベント等の運営協力 | 7 その他の活動（具体的に ） |
| 4 団体・クラブの運営や世話 | 8 行っていない |

【生涯学習について】

「生涯学習」とは、人々が生涯のいつでもどこでも自由に行う学習活動のことで、学校教育や社会教育センター等における社会教育などの学習機会に限らず、自分から進んで行う学習やスポーツ、文化活動趣味、ボランティア活動などにおけるさまざまな学習活動のことをいいます。

問37 あなたは、この1年くらいの間に、生涯学習をしたことがありますか。(○はいくつでも)

- 1 趣味的なもの(音楽、美術、華道、舞踊、書道、レクリエーション活動など)
- 2 教養的なもの(文学、歴史、科学、語学など)
- 3 社会問題に関するもの(社会・時事、国際、環境など)
- 4 健康に関すること(健康法、医学、栄養など)
- 5 運動・スポーツ(ジョギング、水泳、球技など)
- 6 家庭生活に役立つ技能(料理、洋裁、和裁、編み物など)
- 7 育児・教育(家庭教育、幼児教育、教育問題など)
- 8 就職や転職のために必要な知識・技能(就職や転職に関係のある知識の習得や資格の取得など)
- 9 職業において必要な知識・技能(仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など)
- 10 情報通信分野の知識・技能(プログラムの使い方、ホームページの作り方など)
- 11 ボランティア活動のために必要な知識・技能
- 12 自然体験や生活体験などの体験活動
- 13 その他(具体的に)
- 14 したことはない ⇒ 問38へ

▶ (問37で「1」～「13」のうち1つでも○をした方に)

問37-1 あなたは、生涯学習を通じて身につけた知識・技能や経験を、どのように生かしていますか。(○はいくつでも)

- 1 自分の人生がより豊かになっている
- 2 家庭・日常の生活に生かしている
- 3 自分の健康を維持・増進している
- 4 仕事や就職の上で生かしている(仕事で役立つスキルや資格を身につけた、給与面で優遇を受けた、就職活動に役立ったなど)
- 5 地域や社会での活動に生かしている(学習、スポーツ、文化活動などの指導やボランティア活動など)
- 6 その他(具体的に)
- 7 生かしていない

→ (E)

- 1 文学、音楽、美術、写真、演劇、舞踊など
- 2 映画、漫画、アニメーション及びコンピュータ等を利用した芸術など
- 3 雅楽、能楽、文楽、歌舞伎など伝統芸能
- 4 落語、漫才、歌唱など芸能
- 5 茶道、華道、書道、囲碁、将棋、その他生活に関する文化
- 6 地域で行われるお祭りなどの行事
- 7 特にしていない ⇒ 問39へ

→(問38で「1」～「6」のうち1つでも○をした方に)

問38-1 1か月に文化・芸術鑑賞するだいたいの回数を、杉並区内（自宅での鑑賞を含む）、区外それぞれについてご記入ください。（ない場合は「0」（ゼロ）とご記入ください）

杉並区内 1 か月あたり : 約 () 回

杉並区外 1 か月あたり : 約 () 回

問39 あなたは、仕事と生活の調和が図られていると感じていますか。(○は1つだけ)

- 1** 感じる
2 どちらかといえば感じる
3 どちらかといえば感じない
 4 感じない
 5 その他（具体的に）
)

【杉並区の情報について】

問40 区は、保険・年金・税・教育など、個人に関わるお知らせについては、個別に通知しているほか、広報紙やホームページ、X、LINE、YouTubeなどを活用して、区政や地域の情報を提供しています。あなたが必要とする情報は伝わっていますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|----------------|---------------|
| 1 十分に伝わっている | 4 伝わらないことが多い |
| 2 おおむね伝わっている | 5 まったく伝わっていない |
| 3 必要なことは伝わっている | 6 わからない |

問41 杉並区の広報媒体等の利用状況について伺います。

区では、1日と15日に「広報すぎなみ」を発行しています。また、ホームページやLINE、Xなどのインターネットを活用した情報配信を行っています。さらに、広報番組を制作しケーブルテレビ・ユーチューブでの配信も行っています。あなたは、これらの広報媒体を利用していますか。以下について、それぞれ最も近い番号1つに○をつけてください。

	よく利用 している	たまに利用 している	利用した ことがある	利用した ことがない	わからない
⑪ 広報すぎなみ	1	2	3	4	5
⑫ ホームページ	1	2	3	4	5
⑬ 広報番組（J:COM ケーブルテレビ）	1	2	3	4	5
⑭ ユーチューブ (杉並区公式チャンネル)	1	2	3	4	5
⑮ フェイスブック (広報課)	1	2	3	4	5
⑯ X（地震・水防等）	1	2	3	4	5
⑰ X（広報課）イベン ト情報等	1	2	3	4	5
⑱ L I N E (杉並区公式L I N E)	1	2	3	4	5
⑲ メールニュース	1	2	3	4	5
⑳ 犯罪・防犯情報メール	1	2	3	4	5

【区役所のデジタル化について】

問42 区では、各種申請手続のオンライン対応、税・保険料や手数料等のキャッシュレス決済導入、LINE等のSNSを活用した情報発信など、デジタル技術を活用した区民サービスの向上に取り組んでいますが、あなたは区のデジタル化の取組によって生活が便利になったと感じていますか。

（○は1つだけ）

1 感じている	4 感じていない
2 どちらかといえば感じている	5 わからない
3 どちらかといえば感じていない	

問43 あなたは、区のデジタル化の取組の中で、どのようなことを期待しますか。（○は1つだけ）

1 オンライン手続の充実	4 オープンデータ（誰もが自由に入手し、使用・再配布できるデータ）の拡充
2 キャッシュレス決済の推進	5 その他（具体的に）
3 デジタルデバインド（情報格差）解消に向けた対策の強化	6 特になし

問43-1 (問43で1～5のうち1つでも○をした方に)

具体的に取り組んでほしい場面やサービス等があれば記入してください。

【その他の区政について】

問44 下記(18～19ページ)にあげた施策や取組の中で、杉並区が力を入れていると評価できるものを3つ以内で選び、下の回答欄に番号を記入してください。

「33 その他」の具体的内容

問45 下記(18～19ページ)にあげた施策や取組の中で、杉並区が力の入れ方が不十分だと思うものを3つ以内で選び、下の回答欄に番号を記入してください。

「33 その他」の具体的内容

問46 下記(18～19ページ)にあげた施策や取組の中で、杉並区が今後特に力を入れるべきだと思うものを3つ以内で選び、下の回答欄に番号を記入してください。

「33 その他」の具体的内容

◎区の主な施策や取組

施策や取組	施策や事業に関連するキーワード
1 強くしなやかな防災・減災まちづくり	耐震化、不燃化、橋梁補強、水害対策、狭あい道路、無電柱化
2 地域の防災対応力の強化	災害時の拠点、備蓄物資、自治体間連携、災害情報の収集・発信、災害時要配慮者
3 犯罪が起こりにくい、犯罪を生まないまちづくり	防犯パトロール・防犯カメラ、防犯自主団体、消費者被害
4 地域の魅力あふれる多心型まちづくり	荻窪駅周辺、阿佐ヶ谷駅・西荻窪駅等周辺、地区計画、まちづくり活動
5 人々の暮らしを支える都市基盤の整備	まちづくり基本方針、鉄道連続立体交差化、都市計画道路、生活道路、都市基盤情報
6 誰にとっても移動しやすい地域交通環境の整備	次世代型交通、自転車安全利用、自転車放置防止、交通安全、街路灯
7 暮らしやすい住環境の形成	景観、ユニバーサルデザイン、居住支援、公営住宅、空家、水とみどりのネットワークの形成
8 にぎわいと活力を生み出す地域産業の振興	中小企業経営・創業、就労支援、商店街活性化、観光情報発信、アニメ活用による誘客、都市農業
9 質の高い環境を将来につなぐ気候変動対策の推進	創エネルギー、省エネルギー、環境学習、区施設の省エネ、気候変動対策
10 快適で暮らしやすい資源循環型社会の実現	ごみ排出抑制、資源の有効活用、環境美化活動、ごみ排出マナー
11 グリーンインフラを活用した都市環境の形成	保護樹木・屋敷林、緑化、みどりの普及啓発、生物多様性、水辺環境、公園整備・改修

12	いきいきと住み続けることができる健康づくり	食育活動・介護予防・フレイル予防、生活習慣病予防、がん対策、心の健康
13	地域医療体制の充実	救急医療、災害時医療、在宅医療、感染症対策、障害者の地域医療
14	地域の支え合いと安心して暮らせる体制づくり	支え合いの仕組み、高齢者の地域包括ケア、障害者の地域生活、生活困窮者自立支援、男女共同、動物との共生
15	高齢者とその家族が安心して暮らせる生活の確保と社会参加の支援	認知症予防、地域の見守り、家族介護者支援、生きがい活動、介護サービス
16	障害者の社会参加と地域生活の支援	重度障害者通所施設、就労支援、社会参加支援、高齢障害者の支援、差別解消
17	子どもの権利を尊重し育ちを支える環境の整備・充実	児童相談所、子育て家庭の相談、ひとり親家庭、子どもの貧困、ヤングケアラー、子どもの権利擁護
18	子どもの居場所づくりと育成支援の充実	小学生の居場所、中・高校生の居場所、次世代育成基金
19	安心して子どもを産み育てられる環境の充実	出産・子育て相談、乳幼児親子の居場所、子育てを地域で支える仕組み
20	働きながら安心して子育てできる環境の整備・充実	保育施設、保育の質向上、障害児・病児保育、学童クラブ
21	障害児支援の充実と医療的ケア児の支援体制の整備	未就学児の療育、放課後等の居場所、医療的ケア児の支援
22	学び続ける力を育む学校教育の推進	学び続ける力の育成、ICT活用、就学前教育、教員の働き方改革、部活動の充実、地域との連携
23	多様なニーズに応じたきめ細かな教育の推進	特別支援教育、教育相談、済美養護学校・特別支援学級
24	身近に活用できる教育環境の整備・充実	学校施設の有効活用、新しい学校づくり推進基本方針、小中学校の増改築・長寿命化、図書館
25	生涯にわたる学びの支援	社会教育士、成人学習支援、地域と学校の協働
26	多様な地域活動への支援	町会・自治会・NPO活動支援、地域活動を担う人材の育成・支援、地域活動拠点
27	多様な文化・芸術の振興と多文化交流の推進	芸術会館・公会堂、文化・芸術振興審議会、国際・国内交流、平和事業
28	次世代への歴史・文化の継承	歴史・文化に親しむ機会創出、歴史・文化情報の発信
29	誰もがスポーツに親しむことができる環境づくり	スポーツ・運動に親しむ機会、障害者スポーツ、体育施設整備
30	区政経営改革の推進に関する取組	業務の効率化と区民サービスの向上、持続可能な財政運営、対話協調型の区政、自治・分権、施設マネジメント
31	協働の推進に関する取組	公民連携プラットフォーム（「すぎなみプラス」・「すぎなみボイス」）、多様な主体との連携
32	デジタル化の推進に関する取組	デジタル技術を活用した区民サービスの向上、行政内部のデジタル化による効率化
33	その他	
34	特になし	

問 47 あなたは、杉並区が行っている事業やサービスについて、どの程度満足していますか。

(最も近い意見 1 つに○)

- | | |
|-------------|-----------|
| 1 とても満足している | 3 やや不満である |
| 2 まあ満足している | 4 不満である |

【基本事項】

F 1 あなたの性別をお答えください。(○は 1 つだけ)

- | | | |
|------|------|-------------|
| 1 男性 | 2 女性 | 3 どちらとも言えない |
|------|------|-------------|

F 2 あなたの年齢をお答えください。(○は 1 つだけ)

- | | | |
|-------|--------------|--------------|
| 1 10代 | 4 40代 | 7 65歳以上70歳未満 |
| 2 20代 | 5 50代 | 8 70歳以上75歳未満 |
| 3 30代 | 6 60歳以上65歳未満 | 9 75歳以上 |

F 3 あなたのご職業は次のどれですか。(○は 1 つだけ)

- | | | |
|-----------|-------------|--------------|
| 1 自営業・事業主 | 4 労務職・サービス職 | 7 無職 |
| 2 自由業 | 5 主婦・主夫 | 8 その他(具体的に) |
| 3 事務職・技術職 | 6 学生 | |

F 4 あなたのお住まいは、どの地域にあたりますか。(○は 1 つだけ)

地 域 名	住居表示の町名
1 井草地域	井草、上井草、下井草
2 西荻窪地域	上荻、松庵、善福寺、西荻北、西荻南
3 荻窪地域	天沼、今川、荻窪、清水、本天沼、南荻窪、桃井
4 阿佐谷地域	阿佐谷北、阿佐谷南、成田西、成田東
5 高円寺地域	梅里、高円寺北、高円寺南、堀ノ内、松ノ木、和田
6 高井戸地域	上高井戸、久我山、下高井戸、高井戸西、高井戸東、浜田山、宮前
7 方南・和泉地域	和泉、永福、大宮、方南

F 5 あなたのお住まいは、次のどれにあたりますか。（○は1つだけ）

1 一戸建て・持ち家	5 賃貸の公団・公社・公営住宅
2 一戸建て・借家	6 社宅・公務員宿舎・家族寮
3 分譲マンション（公団・公社含む）	7 同居・間借り・住み込み・独身寮
4 民間賃貸アパート・マンション	8 その他（具体的に

F 6 現在、一緒に住んでいるご家族はあなたを含めて何人ですか。（○は1つだけ）

1 1人	3 3人	5 5人以上
2 2人	4 4人	

F 7 あなたのお宅の家族構成は、次のどれにあたりますか。（○は1つだけ）

1 ひとり暮らし	4 親と子ども夫婦（二世世代家族）
2 夫婦のみまたはパートナー同士のみ （一世世代家族）	5 親と子どもと孫（三世世代家族）
3 親と未婚の子ども（核家族）	6 その他（具体的に

F 8 現在、あなたご自身は、次のどれにあたりますか。（○は1つだけ）

単身者（独身）である	1 18～39歳 2 40～64歳 3 65歳以上
配偶者またはパートナーがいて 子どもがいない	4 18～39歳 5 40～64歳 6 65歳以上
子どもがいる （同居・別居を問わない）	7 一番上の子どもが小学校入学前 8 一番上の子どもが小・中学生 9 一番上の子どもが高校・大学生 10 あなたが64歳以下で一番上の子どもが社会人 11 あなたが65歳以上で一番上の子どもが社会人

【自由意見】

杉並区に対するご意見やご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

以上でアンケートは終わりです。

長時間ご協力いただき、ありがとうございました。

***（参考資料）：行政実態調査経過表**

行政実態調査経過表

回 数 (時期)		第 1 回 (昭和45年10月)	第 2 回 (昭和46年10月)	第 3 回 (昭和47年10月)	第 4 回 (昭和48年10月)	第 5 回 (昭和49年10月)	第 6 回 (昭和50年10月)	第 7 回 (昭和51年10月)
サンプル数		1,000	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400
回 答 数 (回収率)		759 (75.9%)	1,122 (80.1%)	1,117 (79.8%)	1,125 (80.4%)	1,042 (74.4%)	1,126 (80.4%)	1,149 (82.1%)
20歳以上人口		373,794	406,522	402,992	404,681	404,323	379,522	398,932
委 託 先		東京都政調査会	東京都政調査会	東京都政調査会	東京都政調査会	東京都政調査会	日本E．D．P	日本E．D．P
内 容	1	区民の定着性と 近隣生活意識	区民の定着性と 生活意識	杉並区民の 地元意識	地元への関心	地域生活と 定着性	生活動態	区民の特性
	2	区民と行政 との接触	区政への関心と 区長選任	集団活動と 余暇利用	道路交通対策	杉並区民の 消費生活	区長公選	生活環境の評価
	3	区民の権利意識 東京都区政参加	施設整備計画と 区民の要望	地域区民センターの 利用希望	優先対策	自転車の 保有状況	生活環境	緑化対策
	4	広報広聴活動 への要望	区民の 生活環境評価	地域区民センターと 住民参加	生活環境 現状評価	風呂の 保有状況	消費者対策	公害問題
	5	区民のみた杉並 区の生活環境	光化学スモッグと 区民の反応	区の広報物の 利用状況		害虫の発生状況	広報活動	財政問題
	6	区政への要望と 解決の手段				光化学スモッグと 休日診療	区政への要望等	区民施設の 有効利用
	7							休日夜間 急病診療
	8							立会演説会
	9							
	10							

回 数 (時期)		第8回 (昭和52年10月)	第9回 (昭和53年10月)	第10回 (昭和54年10月)	第11回 (昭和55年1月)	第12回 (昭和55年10月)	第13回 (昭和56年10月)	第14回 (昭和57年10月)
サンプル数		1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400
回 答 数 (回収率)		1,152 (82.3%)	1,126 (80.4%)	1,166 (83.3%)	1,144 (81.7%)	1,093 (78.1%)	1,101 (78.6%)	1,090 (77.9%)
20歳以上人口		397,238	400,161	399,007	395,764	395,437	391,745	395,881
委 託 先		日本E. D. P	日本E. D. P	日本E. D. P	日本E. D. P	新情報センター	新情報センター	新情報センター
内 容	1	区民の特性	区民の特性	区民の特性	震災対策特集	読書・図書館	青少年問題	自治意識
	2	緑化対策	地域福祉	震災対策		地域区民 センター	公害	情報公開
	3	公害対策	保健衛生	近隣公害		緑化	余暇行動	公害防止
	4	ボランティア 活動	住民記録の 電算化	出張所のあり方		消費者対策	学校等新聞紙	緑化
	5	保健衛生対策	広報活動	児童		省資源 省エネルギー	福祉対策	消費者関係
	6	社会教育・ 社会体育	環境公害	教育		住宅の不燃化	まちづくり	社会体育
	7	広報広聴	区政の 周知度・要望	保健衛生		保健衛生	広報活動	学童クラブ
	8	区政への要望		年金		便利帳、広報紙	区政への要望	広報活動
	9			広報広聴		自治意識		区政への要望
	10			区政への要望		区政への要望		

回数 (時期)	第15回 (昭和58年10月)	第16回 (昭和59年10月)	第17回 (昭和60年10月)	第18回 (昭和61年10月)	第19回 (昭和62年10月)	第20回 (昭和63年10月)	第21回 (平成元年10月)
サンプル数	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400
回答数 (回収率)	1,140 (81.4%)	1,136 (81.1%)	1,139 (81.4%)	1,096 (78.3%)	1,127 (80.5%)	1,093 (78.1%)	1,102 (78.7%)
20歳以上人口	396,673	401,039	404,753	410,194	411,825	404,180	413,294
委託先	日本E.D.P	日本E.D.P	日本E.D.P	日本E.D.P	日本E.D.P	日本E.D.P	日本E.D.P
内 容	1	定住性	定住性	定住性と アメニティ	定住性と 生活環境	定住性と 生活環境	定住性と 生活環境
	2	健康管理	区民と庁舎	消費生活	区民と庁舎	地域交流	狭あい道路 杉並区基本構想 杉並区長期計画
	3	近隣公害	社会体育	学校開放	震災対策	区政への関心	生涯学習 文化の まちづくり
	4	防災対策	消費生活	プライバシー 保護	保健衛生	基本構想	高齢者福祉 ニューメディア
	5	学校関係	情報公開	特別区の 自治権拡充運動	図書館	行政改革	土地問題 放置自転車
	6	ボランティア 活動	行政改革	広報活動	税金	区政への要望	国際化 出張所
	7	広報活動	広報・広聴	区政への要望	広報・広聴等		広報・広聴 広報・広聴
	8	施設要望					区政への要望
	9						
	10						

回数 (時期)	第22回 (平成2年10月)	第23回 (平成3年10月)	第24回 (平成4年10月)	第25回 (平成5年10月)	第26回 (平成6年10月)	第27回 (平成7年10月)	第28回 (平成8年10月)
サンプル数	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400
回答数 (回収率)	1,170 (83.6%)	1,142 (81.6%)	1,064 (76.0%)	1,212 (86.6%)	1,123 (80.2%)	1,161 (82.9%)	1,088 (77.7%)
20歳以上人口	414,168	416,202	419,260	420,287	420,077	420,288	421,629
委託先	日本E.D.P	日本E.D.P	日本E.D.P	三菱総合研究所	サーベイリサーチ センター	新情報センター	新情報センター
内 容	1	定住性	定住性	定住性	定住性と生活 環境について	定住性と生活 環境について	定住性と生活 環境について
	2	行財政改善	平和都市宣言 平和関連事業	特別区制度改革	区政への関心度 について	特別集会施設に ついて	まちづくりに ついて
	3	区民会館に ついて	年金	区立施設の名称	区立施設に ついて	国際家族年と 児童の権利	区民の防災意識 狭あい道路の 拡幅整備
	4	地域との つながり	老人福祉センター 敬老会館	広報・広聴	区の施策に ついて	健康づくり (保健所)	農業(都市 農業)について 税金
	5	震災対策	住宅	すぎなみ ふるさとまつり	美術館について	生け垣緑化	公会堂について 行財政改善
	6	校外施設に ついて	リサイクル	障害者福祉	区政運営に ついて	学校開放	情報化について わたしの便利帳 (防災ガイド付)
	7	博物館について	スポーツ	区政への要望		区政への要望	区政への要望
	8	広報・広聴	区政への要望				
	9	区政への要望					
	10						

回数 (時期)	第29回 (平成9年10月)	第30回 (平成10年10月)	第31回 (平成12年1月)	第32回 (平成12年10月)	第33回 (平成13年11月)	第34回 (平成14年11月)	第35回 (平成15年10月)
サンプル数	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400
回答数 (回収率)	1,125 (80.4%)	1,150 (82.1%)	1,170 (83.6%)	1,229 (87.8%)	1,150 (82.1%)	1,123 (80.2%)	1,124 (80.3%)
20歳以上人口	423,664	426,300	429,383	432,539	435,227	439,737	442,394
委託先	エスピー研	エスピー研	エスピー研	ぎょうせい	エスピー研	エスピー研	コモン計画 研究所
内 容	1	定住性と 生活環境	定住性と 生活環境	定住性と 生活環境	定住性と 生活環境	定住性と 生活環境	定住性と 生活環境
	2	広報すぎなみに ついて	情報化について	基本構想に ついて	ごみ・リサイクルに ついて	区立公園に ついて	健康と医療、 社会参加活動状況に ついて
	3	ビューすぎなみに ついて	介護保険制度	行財政改革に ついて	消費生活に ついて	インターネット普及状況等と行政サービスの情報化に ついて	地域における 学習活動について
	4	ニューメディアに ついて	ごみと リサイクル	健康づくりに ついて	商店街活性化に ついて	障害者福祉に ついて	用途地域に ついて
	5	老人福祉センター・ 敬老会館	保育	地域活動に ついて	地域防災に ついて	プラスチックごみの分別収集について	スポーツ活動に ついて
	6	文化芸術振興	区政への要望	図書館の利用に ついて	区立宿泊施設に ついて	行政評価に ついて	区議会活動に ついて
	7	出張所と サービスコーナー		区政への要望	高齢者社会における ボランティア活動について	区政への要望	区政への要望
	8	区政への要望			基本構想に ついて		
	9						
	10						

回数 (時期)	第36回 (平成16年10月)	第37回 (平成17年10月)	第38回 (平成18年10月)	第39回 (平成19年10月)	第40回 (平成20年10月)	第41回 (平成21年10月)	第42回 (平成22年10月)
サンプル数	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400
回答数 (回収率)	1,156 (82.6%)	1,103 (78.8%)	1,153 (82.4%)	1,096 (78.3%)	1,103 (78.8%)	1,244 (88.9%)	1,251 (89.4%)
20歳以上人口	※454,186	※455,943	※459,316	※462,798	※466,465	※467,353	※466,243
委託先	エスピー研	エスピー研	エスピー研	サーベイリサーチ センター	エスピー研	エスピー研	第一航業 株式会社
内 容	1	定住性と 生活環境	定住性と 生活環境	定住性と 生活環境	定住性と 生活環境	定住性と 生活環境	定住性と 生活環境
	2	健康と医療、 社会参加活動状況に ついて	健康と医療、 社会参加活動状況に ついて	健康と医療、 社会参加活動状況に ついて	健康と医療、 社会参加活動状況に ついて	健康と医療、 社会参加活動状況に ついて	健康と医療、 社会参加活動状況に ついて
	3	地域防災に ついて	地域防災に ついて	地域防災に ついて	メトロリックシンドローム について	地域防災に ついて	地域防災に ついて
	4	敬老会館に ついて	すぎなみの輝き 度向上について	夕方のチャイムに ついて	地域防災に ついて	「区役所いつでも電話 サービス」(コール センター)について	「区役所いつでも電話 サービス」(コール センター)について
	5	景観まちづくり について	スポーツに ついて	「区役所いつでも電話 サービス」(コール センター)について	「区役所いつでも電話 サービス」(コール センター)について	家庭ごみの戸別 収集と有料化に ついて	男女共同参画社会 の実現について
	6	資源回収に ついて	人と動物との 共生について	「(仮称)杉並子育て 援券」について	「武蔵野の 屋敷林」について	国内外の他都市との 交流について	子育て支援に 関する意向について
	7	過剰包装の 抑制について	みどりについて	「地域ぐるみで教育立 区」について	耐震診断・改修 について	区議会活動に ついて	「マタニティ マーク」について
	8	区政への要望	区道の愛称に ついて	杉並区自治基本 条例について	「めざせ！五つ星の区 役所運動」 について	その他の区政に ついて	「杉並区みどりの基 金」について
	9		区政への要望	その他の区政に ついて	犯罪発生情報(メール 配信)に ついて	その他の区政に ついて	その他の区政に ついて
	10				情報化施策等 について		屋敷林等の 保全について
	11				科学館について		その他の区政に ついて
	12				その他の区政に ついて		

※18歳以上人口

回数 (時期)	第43回 (平成23年10月)	第44回 (平成24年10月)	第45回 (平成25年10月)	第46回 (平成26年10月)	第47回 (平成27年10月)	第48回 (平成28年10月)	第49回 (平成29年10月)
サンプル数	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400
回答数 (回収率)	1,088 (77.7%)	1,204 (86.0%)	1,160 (82.9%)	1,140 (81.4%)	1,158 (82.7%)	1,062 (75.9%)	1,070 (76.4%)
20歳以上人口	※465,458	※466,038	※477,508	※480,397	※483,874	※488,363	※493,382
委託先	ラック計画 研究所	エスピー研	エスピー研	エスピー研	エスピー研	サーベイリサーチ センター	エスピー研
内 容	1	定住性と 生活環境	定住性と 生活環境	定住性と 生活環境	定住性と 生活環境	定住性と 生活環境	定住性と 生活環境
	2	健康と医療、 社会参加活動状況に ついて	健康と医療、 社会参加活動状況に ついて	健康と医療、 社会参加活動状況に ついて	健康と医療、 社会参加活動状況に ついて	健康と医療、 社会参加活動状況に ついて	健康と医療、 社会参加活動状況に ついて
	3	地域防災に ついて	地域防災に ついて	地域防災に ついて	地域防災に ついて	地域防災に ついて	地域防災に ついて
	4	「杉並区自治基本条 例」について	「杉並区基本構想 (10年ビジョン)」 について	「杉並区基本構想 (10年ビジョン)」 について	「杉並区基本構想 (10年ビジョン)」 について	「杉並区基本構想 (10年ビジョン)」 について	「杉並区基本構想 (10年ビジョン)」 について
	5	子育て支援に関す る意向について	区の情報に ついて	区の情報に ついて	区の情報に ついて	区の情報に ついて	区の情報に ついて
	6	「子育て応援券」に ついて	子育て支援に関 する意向について	子育て支援に関 する意向について	子育て支援に関 する意向について	子育て支援に関 する意向について	子育て支援に関 する意向について
	7	就学前教育に関 して	商店街について	商店街について	商店街について	商店街について	商店街について
	8	「杉並区急病医療情 報センター」 について	ゆうゆう館に ついて	高齢者在宅支援 について	高齢者在宅支援 について	高齢者在宅支援 について	高齢者在宅支援 について
	9	図書館の利用に ついて	高齢者在宅支援 について	環境に配慮した 行動について	環境に配慮した 行動について	環境に配慮した 行動について	環境に配慮した 行動について
	10	自転車対策に関 して	緑化について	運動・スポーツに ついて	運動・スポーツに ついて	科学教育の推進 について	運動・スポーツに ついて
	11	その他の区政に関 して	環境に配慮した 行動について	その他の区政に ついて	景観まちづくりに ついて	運動・スポーツに ついて	狭あい道路拡幅 整備について
	12		運動・スポーツに ついて		狭あい道路拡幅 整備について	住宅等の耐震化 について	図書館の利用に ついて
	13		その他の区政に ついて		その他の区政に ついて	狭あい道路拡幅 整備について	期日前投票に ついて
	14					その他の区政に ついて	その他の区政に ついて
	15						緑化について

※18歳以上人口

第 58 回 杉並区区民意向調査

令和 8 年 10 月発行



編集・発行

杉並区 総務部 区政相談課

〒166-8570 杉並区阿佐谷南 1 丁目 15 番 1 号

T E L 03-3312-2111(代)

実施 株式会社アダムコミュニケーション

東京都杉並区上高井戸 1-8-17 ブライトコアビル新館 6 F